



Cisco Prime Collaboration 9.0 プロビジョニング ガイド

2012 年 11 月 7 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Prime Collaboration 9.0 プロビジョニングガイド
© 2007-2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



CONTENTS

はじめに ix

対象読者 ix

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート ix

CHAPTER 1

Provisioning の概要 1-1

プロビジョニング のアーキテクチャ 1-1

Provisioning インターフェイス 1-2

プロビジョニング の特徴と機能 1-8

Dashboards 1-11

使用シナリオ 1-13

CHAPTER 2

サーバの設定 2-1

ライセンスの管理 2-2

ログ ファイルの管理 2-4

プロビジョニングのためにデータ消去のイネーブル化 2-7

メンテナンス モード 2-8

プロビジョニング システムの IP アドレスの変更 2-9

時間帯設定の変更 2-11

Operations Manager の起動 2-11

Cisco Prime Unified Operations Manager の IP Phone Details の起動 2-11

CHAPTER 3

デバイスの管理 3-1

Provisioning へのデバイスの追加 3-1

デバイスの表示と更新 3-5

デバイスの削除 3-6

プロセッサの設定 3-6

コール プロセッサの設定 3-6

コール プロセッサの情報の変更 3-9

コール プロセッサの同期化 3-9

コール プロセッサの削除 3-12

ユニファイド メッセージ プロセッサの設定 3-14

ユニファイド メッセージ プロセッサの同期化 3-17

ユニファイド メッセージ プロセッサの削除 3-18

ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定 3-20

ユニファイド プレゼンス プロセッサの情報の変更	3-21
ユニファイド プレゼンス プロセッサの同期化	3-21
ユニファイド プレゼンス プロセッサの削除	3-22
プロビジョニング での Cisco IOS ルータの設定	3-23
汎用 IOS ルータ情報の変更およびテスト	3-23
汎用 IOS ルータの削除	3-23
AAA サーバを使用するための プロビジョニング の設定	3-24
AAA サーバの追加	3-25
AAA サーバ情報の変更	3-26
AAA サーバの削除	3-27
AAA サーバへの接続のテスト	3-27

CHAPTER 4

管理ドメインおよびサービス エリア 4-1

ドメインの作成	4-2
ドメインの設定	4-3
ドメインの同期化	4-3
ドメインのプロビジョニング属性の編集	4-10
ユーザが関連付けられていない電話機のエクスポート	4-10
LDAP サーバと プロビジョニング の同期化	4-11
ドメインの削除	4-15
サービス エリアの作成	4-17
サービス エリアの設定	4-17
サービス エリアのプロビジョニング属性の編集	4-20
サービス エリアの削除	4-20
Quick Site Builder	4-24

CHAPTER 5

インフラストラクチャ設定 5-1

設定テンプレートの使用	5-1
設定テンプレートの作成	5-39
既存の設定テンプレートの更新	5-45
設定テンプレートの名前の変更	5-47
設定テンプレートのコピーの作成	5-48
設定テンプレートの削除	5-48
テンプレートを使用した設定の生成	5-48
事前構築 Cisco IOS テンプレート	5-49
設定テンプレートのインポートとエクスポート	5-50
インフラストラクチャ設定の使用	5-52
インフラストラクチャ設定インスタンスの追加	5-53
インフラストラクチャ設定インスタンスの編集	5-56

インフラストラクチャ設定インスタンスの削除	5-57
インフラストラクチャ設定スケジューリングの使用	5-58
インフラストラクチャ プロビジョニングの状態	5-60

CHAPTER 6**バッチ プロビジョニング 6-1**

バッチ処理ファイルの作成	6-1
バッチ処理ファイルの作成に関するガイドライン	6-9
サービス エリアのプロビジョニング属性の設定	6-12
インフラストラクチャ製品のプロビジョニング	6-13
バッチ プロジェクトの作成	6-13
バッチ プロジェクトの編集	6-14
バッチ プロジェクトの削除	6-14
バッチ プロジェクトの使用	6-15

CHAPTER 7**インベントリの管理 7-1**

電話インベントリの管理	7-1
インベントリへの電話の追加	7-2
電話情報の更新	7-3
期限切れの電話予約のクリア	7-3
インベントリからの電話の削除	7-4
電話インベントリ レポートの表示	7-4
ディレクトリ インベントリの管理	7-4
ディレクトリ番号の追加	7-5
インベントリへのディレクトリ番号の追加	7-6
ディレクトリ番号の情報の更新	7-6
期限が切れた予約済みディレクトリ番号のクリア	7-7
ディレクトリ番号の削除	7-7
インベントリの検索	7-7
インベントリ検索の使用	7-8
検索レポートの作成	7-14
システム レポートの表示	7-16
Phone Inventory レポートの使用	7-17

CHAPTER 8**加入者とユーザの管理 8-1**

加入者の管理	8-1
加入者の作成	8-1
加入者情報のアップデート	8-2
加入者パスワードのリセット	8-4
加入者の同期	8-6

加入者の削除	8-7
加入者およびサービスの移動	8-7
加入者サービスの移動	8-8
加入者レコードへのアクセス	8-9
加入者ロールの作成	8-9
Pseudo 加入者ロールの使用	8-10
新しい加入者ロールタイプの作成	8-10
加入者ロールタイプのアップデート	8-11
ユーザの管理	8-13
ユーザの作成	8-14
ユーザの同期	8-21
ユーザの加入者レコードへのアクセス	8-22

CHAPTER 9

セルフケア ポータルの管理	9-1
セルフケア アカウントの作成	9-1
セルフケアの起動	9-3
個人設定のカスタマイズ	9-3
セルフケアのユーザの移行スクリプト	9-8

CHAPTER 10

オーダーの管理	10-1
オーダーの表示	10-1
加入者レコードへのアクセス	10-2
製品およびサービスのオーダー	10-3
オーダー処理の例	10-12
Line 製品のエンド ユーザ アソシエーション	10-17
共有電話および共有回線のオーダー	10-19
Presence Services のオーダー	10-23
関連付けられた加入者のない電話の管理	10-24
既存の電話の交換	10-25
電話設定の変更	10-26
電話の所有者の変更	10-27
回線情報の変更	10-29
Extension Mobility Access 情報の変更	10-30
Remote Destination Profile 情報の変更	10-31
Remote Destination Profile Line 情報の変更	10-32
ボイスメールの詳細の変更	10-33
ボイスメール アカウントのロック解除	10-33
オーダーの検索	10-35
バルク サービスのオーダー	10-35

オーダーの処理	10-36
オーダーの承認	10-36
電話の出荷	10-37
電話の受領	10-38
製品のキャンセル	10-38
ワーク オーダーの状態	10-39
Email Notifications	10-40
ドメイン通知テンプレートの設定	10-41
ドメイン通知の設定	10-42
システム通知の設定	10-43
通知設定のテスト	10-44

CHAPTER 11

ルールの設定 11-1

電話ボタン テンプレートの設定	11-1
電話ボタン テンプレートの最大回線数の表示	11-1
ビジネス ルール	11-2
ビジネス ルールの説明	11-2
ビジネス ルールの使用	11-12
ビジネス ルールの設定	11-14
プロビジョニング属性の設定	11-15
プロビジョニング属性の変換テンプレートの設定	11-69
プロビジョニング属性の優先順位の変更	11-70

CHAPTER 12

バックアップおよび復元の実行 12-1

プロビジョニング データベースのバックアップと復元	12-1
単一マシンの Provisioning データベースのバックアップ	12-1
単一マシンの Provisioning データベースの復元	12-2
分散データベース用の Provisioning のバックアップ	12-3
分散データベース用の Provisioning の復元	12-4

APPENDIX A

Maximum Calls および Busy Trigger 属性のデフォルト値のプロビジョニング A-1

INDEX



はじめに

Prime Collaboration サーバの初期セットアップの実行後、このガイドを参照して、すべての Unified コールとメッセージング アプリケーションに対する次のプロビジョニング タスクを実行してください。

- テンプレートを作成し、コール アプリケーションおよびメッセージング アプリケーションを展開します。これらのテンプレートは、今後の展開で新しいサイトまたはロケーションで再利用できます。
- 加入者サービス（許可、アセットの割り当て、出荷、および受領）をアクティブにします。
- 加入者のビジネスレベル サービスを定義します。
- 加入者のアセットを追跡および報告します。

このマニュアルは、複数の薄い冊子で構成される Cisco Prime Collaboration 9.0 マニュアルの 1 つです。ユーザ管理、デバイス管理、音声のプロビジョニング、ネットワーク モニタリング、障害管理など、他の Prime Collaboration タスクを実行するには、『[Cisco Prime Collaboration 9.0 Documentation Overview](#)』を参照して、すべての利用可能なマニュアルのリストを確認してください。

対象読者

このマニュアルは、ビデオ（TelePresence）、テレフォニー（VoIP）など、インフラストラクチャ ベースのリアルタイム コラボレーション サービスで、エンドポイント、管理サーバ、およびサービス固有のネットワーク デバイスを含む、設定、プロビジョニング、インベントリ、およびメンテナンスを担当する音声エンジニアおよびビデオ エンジニアを対象としています。

Prime Collaboration は仮想サーバに展開されます。ユーザは、仮想サーバの設定と CLI を使用した UNIX コマンドに精通している必要があります。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は Really Simple Syndication（RSS）フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

Provisioning の概要

Cisco Prime Collaboration Provisioning は、企業の次世代通信サービスを管理する、スケーラブルな Web ベースのソリューションを提供します。プロビジョニングは、IP テレフォニー、ボイスメール、およびユニファイド メッセージングの統合環境で IP 通信サービスを管理します。このような統合環境として、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express、Cisco Unity、Cisco Unity Express、Cisco Unity Connection などのシステムがあります。



(注)

このマニュアルでは、別途記載のない限り、Cisco Unified Communications Manager に関する記述は Cisco Unified CallManager も対象とするものとします。

Cisco Prime Collaboration プロビジョニング は次の機能を提供します。

- 最初の導入と実装のためのプロビジョニングを行い、その後、個々の加入者の変更に対し、継続的な運用上のプロビジョニングとアクティベーションのサービスを提供するために引き続き展開されています。
- 組織全体の加入者を把握できる、1 つに統合したビュー。ビジネスレベルで管理を抽象化し、自動化を通じてそれをポリシー主導で運用します。これにより、Cisco Unified Communications アプリケーション全体にわたり、加入者サービスを管理します。
- テンプレートの機能。この機能を使用すると、新しいサイトや場所の導入で再利用できる標準設定を定義できます。バッチ プロビジョニングでは、膨大な加入者を同時にロールアウトできます。
- 管理者は、さまざまなレベルでポリシーを設定して、委任した管理を誰が実行できるか、その委任を誰に適用するか、ビジネスレベルのサービスをどのように Cisco コラボレーション システムに適用するか、どの種類のエンド ユーザ（加入者）がどの標準サービスをオーダーできるのかを決定できます。

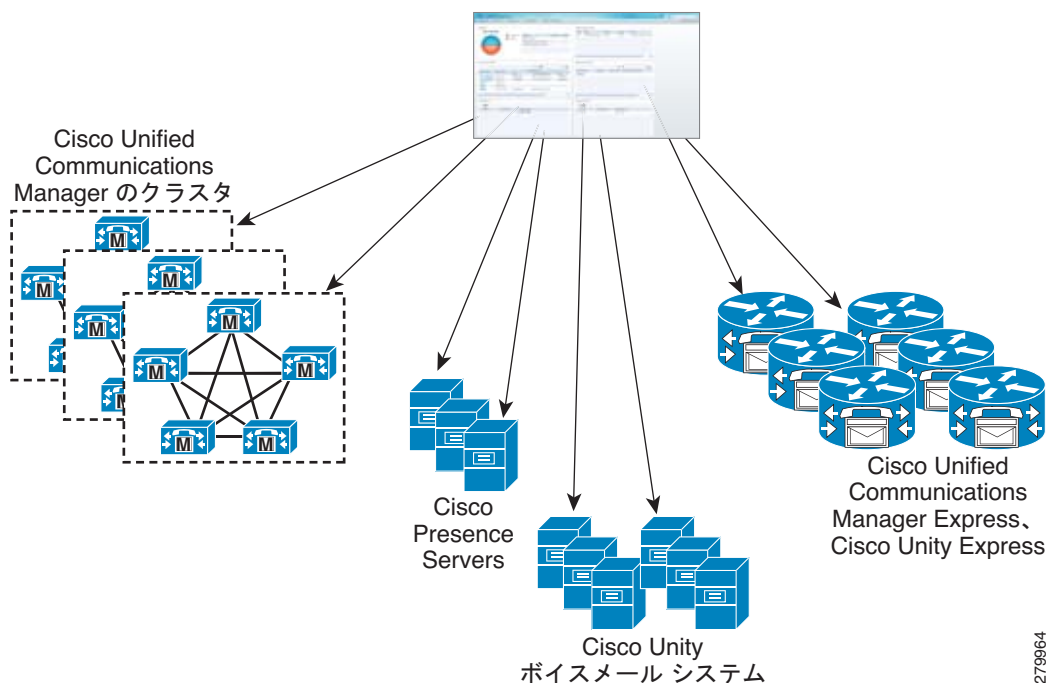
このようなポリシーおよび標準的な設定アプローチの使用により、加入者サービスのプロビジョニングおよびアクティブ化が大幅に単純化されます。同時に、基礎である Cisco Unified Communications アプリケーションを使用するサービスを管理および提供するための総合的な機能を保持しています。

プロビジョニング のアーキテクチャ

プロビジョニング は、J2EE アーキテクチャに基づく Web ベースのアプリケーションです。Cisco Unified Communications アプリケーションに接続するためにさまざまなインターフェイスを使用します（を [図 1-1](#) 参照）。これらのアプリケーションのプラットフォームに、何らかのエージェント ソフトウェアを導入しておく必要はありません。

プロビジョニングは、HTTP、HTTPS、AVVID XML Layer (AXL; AVVID XML レイヤ) –Simple Object Access Protocol (SOAP)、SSH、Telnet などのオープンなインターフェイスを使用して、管理対象であるアプリケーションの設定や照会をリモートで実行します。さまざまなレベルのユーザアクセスを、管理者の手で設定できます。

図 1-1 Provisioning の相互運用性



279964

Provisioning インターフェイス

Prime Collaboration プロビジョニングには、次のインターフェイスがあります。

- 管理および設定のためのグラフィカル ユーザ インターフェイス（「[プロビジョニングの特徴と機能](#)」(P.1-8) を参照）。
- Application Programmable Interface (API)。この API は Cisco Prime Collaboration Provisioning Northbound Interface (Provisioning NBI) と呼ばれます。これは、プロビジョニングのプロビジョニング機能の大半をカバーする SOAP ベースの Web サービス リクエストのセットです。

Provisioning NBI の詳細については、『[Programmers Guide for the Cisco Prime Collaboration 9.0 Provisioning Northbound Interface](#)』を参照してください。



(注) Provisioning NBI を使用するには、追加機能ライセンスを購入する必要があります。基本の（電話機限定）プロビジョニングライセンスを購入しても、Provisioning NBI を使用できません。

- バルク プロビジョニングのためのバッチ インターフェイス バッチ プロビジョニングの詳細については、「[インフラストラクチャ製品のプロビジョニング](#)」(P.6-13) を参照してください。

統合 Prime Collaboration インターフェイス

統合アプリケーションとしての Prime Collaboration は Assurance 機能と Provisioning 機能の利点を兼ね備えています。Prime Collaboration は、統合アプリケーションまたはスタンドアロン アプリケーションとして実行できます。

- 統合アプリケーションを実行する場合は、シングル サインオンを使用して Assurance 機能および Provisioning 機能の両方にログインおよびアクセスできます。[Home] ページの [Design] メニューおよび [Deploy] メニューから、すべての Provisioning 機能にアクセスできます。
- スタンドアロン アプリケーションとして Prime Collaboration を実行する場合は、Assurance と Provisioning に個別にログインできます。

Prime Collaboration には Provisioning を Assurance アプリケーションと統合し、SSO を使用して Assurance から Provisioning システムを設定する機能があります。Prime Collaboration Assurance サーバで、[Administration] > [System Setup] > [Assurance Setup] > [Cisco Prime 360 Integration] に移動し、[Provisioning Server Setup] の下でアタッチするかデタッチする Provisioning アプリケーションの IP アドレスを指定します。詳細については、『[Cisco Prime Collaboration 9.0 Administration Guide](#)』を参照してください。



(注)

統合モードでは、Prime Collaboration Provisioning アプリケーションを再起動またはシャットダウンする前に、Prime Collaboration Assurance から必ずデタッチし、再起動プロセスの後で必ず統合してください。

Provisioning アーキテクチャでは、インターフェイス、主な機能、およびダッシュボードは、統合アプリケーションとスタンドアロン アプリケーションで変わりません。

Provisioning には、Provisioning アプリケーションをインストールしたシステムからアクセスするか、クライアント システムからリモートでアクセスすることができます。ブラウザで、http://IP Address という URL を入力します。ここで、IP Address は、Prime Collaboration サーバのアドレスです。

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションを使用しており、その後サーバを Assurance と統合してある場合は、表 1-1 に用意されている UI ナビゲーションを使用して Prime Collaboration のさまざまなメニューにナビゲートします。

表 1-1 スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning および統合アプリケーションでの UI ナビゲーション

メニュー	スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでの UI ナビゲーション	統合アプリケーションでの UI ナビゲーション
Home	該当なし	該当なし

表 1-1 スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning および統合アプリケーションでの UI ナビゲーション (続き)

メニュー	スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでの UI ナビゲーション	統合アプリケーションでの UI ナビゲーション
Design	[Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup]	[Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup]
	[Design] > [Set Up Devices] > [Call Processor]	[Design] > [Set Up Devices] > [Call Processor]
	[Design] > [Set Up Devices] > [Unified Message Processor]	[Design] > [Set Up Devices] > [Unified Message Processor]
	[Design] > [Set Up Devices] > [Unified Presence Processor]	[Design] > [Set Up Devices] > [Unified Presence Processor]
	[Design] > [Set Up Devices] > [AAA Servers]	[Design] > [Set Up Devices] > [AAA Servers]
	[Design] > [Set Up Deployment] > [Domains]	[Design] > [Set Up Deployment] > [Domains]
	[Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas]	[Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas]
	[Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles]	[Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles]
	[Design] > [Set Up Deployment] > [Template Provisioning]	[Design] > [Set Up Deployment] > [Template Provisioning]
	[Design] > [Set Up Deployment] > [Quick Site Builder]	[Design] > [Set Up Deployment] > [Quick Site Builder]

表 1-1 スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning および統合アプリケーションでの UI ナビゲーション (続き)

メニュー	スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでの UI ナビゲーション	統合アプリケーションでの UI ナビゲーション
Deploy	[Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers]	[Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers]
	[Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers]	[Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers]
	[Deploy] > [Order Management] > [My Activities]	[Deploy] > [Order Management] > [My Activities]
	[Deploy] > [Order Management] > [All Activities]	[Deploy] > [Order Management] > [All Activities]
	[Deploy] > [Order Management] > [Activities for Group]	[Deploy] > [Order Management] > [Activities for Group]
	[Deploy] > [Order Management] > [Activities for User]	[Deploy] > [Order Management] > [Activities for User]
	[Deploy] > [Order Management] > [Search Order]	[Deploy] > [Order Management] > [Search Order]
	[Deploy] > [Infrastructure Configuration]	[Deploy] > [Infrastructure Configuration]
	[Deploy] > [Batch Provisioning]	[Deploy] > [Batch Provisioning]
	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones]	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones]
	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Directory Numbers]	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Directory Numbers]
	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Browser]	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Browser]
	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Search]	[Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Search]

表 1-1 スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning および統合アプリケーションでの UI ナビゲーション (続き)

メニュー	スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでの UI ナビゲーション	統合アプリケーションでの UI ナビゲーション
Report	[Reports] > [Interactive Reports] > [Service Area]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Service Area]
	[Reports] > [Interactive Reports] > [Resource Configuration]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Resource Configuration]
	[Reports] > [Interactive Reports] > [Service Configuration]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Service Configuration]
	[Reports] > [Interactive Reports] > [Phone Inventory]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Phone Inventory]
	[Reports] > [Interactive Reports] > [Directory Number Inventory]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Directory Number Inventory]
	[Reports] > [Interactive Reports] > [Directory Number Block]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Directory Number Block]
	[Reports] > [Interactive Reports] > [Audit Trail]	[Report] > [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] > [Audit Trail]

表 1-1 スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning および統合アプリケーションでの UI ナビゲーション (続き)

メニュー	スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでの UI ナビゲーション	統合アプリケーションでの UI ナビゲーション
Administration	[Administration] > [System Configuration] > [Provisioning Policies] > [Phone Button Templates]	[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Phone Button Templates]
	[Administration] > [System Configuration] > [Provisioning Policies] > [Rules]	[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Rules]
	[Administration] > [System Configuration] > [Provisioning Policies] > [Provisioning Attributes]	[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Provisioning Attributes]
	[Administration] > [System Configuration] > [License Management]	[Administration] > [License Management]
	[Administration] > [System Maintenance] > [Data Maintenance]	[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Data Maintenance]
	[Administration] > [System Maintenance] > [Maintenance Mode]	[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Maintenance Mode]
	[Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management]	[Administration] > [User Management]
	[Administration] > [Users and Device Access Management] > [Infrastructure Configuration Permissions]	[Administration] > [Permission Profiles]
	[Administration] > [Users and Device Access Management] > [Locked Users]	該当なし。このオプションは、[Home] > [Provisioning] ダッシュボードで使用できます。
	[Administration] > [Users and Device Access Management] > [Logged In Users]	[Report] > [Reports] > [Administrative Reports] > [Who Is Logged On]
	[Administration] > [Provisioning Notification Management] > [System Settings]	[Administration] > [Alarm & Event Configuration] > [Notification] > [Provisioning System Settings]
	[Administration] > [Provisioning Notification Management] > [Domain Settings]	[Administration] > [Alarm & Event Configuration] > [Notification] > [Provisioning Domain Settings]
	[Administration] > [Application Suite] > [Launch Monitoring Home page]	該当なし



(注)

[Design] メニューおよび [Deploy] メニューの UI ナビゲーションは、スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning と統合アプリケーションで同じです。このマニュアルに記載されている他のすべての手順に関するナビゲーションは、明記されていない限り、統合 UI の Provisioning を対象としています。スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションで適切な UI に移動するには、表 1-1 を参照してください。

プロビジョニングの特徴と機能

プロビジョニングでは、電話、回線、ボイスメールなどの標準サービスを、加入者（個々の電話、回線、またはボイスメールの所有者）向けにオーダーできます。プロビジョニングは、基盤となる Cisco Unified Communications アプリケーションに対するすべての変更を、サービス リクエスト、つまりオーダーとして処理します。

オーダーを作成して、加入者レベルの変更（電話や回線などに対する変更）や IP 通信レベルのインフラストラクチャ変更（新しいコーリング サーチ スペースやルート パターンのプロビジョニングなど）を実行できます。システムで発生したすべての変更は追跡され、オーダー全体または加入者名別や ID 別に確認可能です。オーダーのレコードを調べると、そのオーダーを開始したユーザ、さまざまな処理手順の時間、オーダーの内容などがわかります。

プロビジョニングでは、オーダー管理機能を委任できるので、サービスの追加、変更、または削除のリクエストを、これらのサービスを配信している音声アプリケーションの基礎知識がなくても、実行できます。Cisco Unified Communications サービスを配信しているテクノロジーに関係なく、プロビジョニングでは同じオーダー環境を提供します。

ここでは、プロビジョニング で利用頻度の高い機能について簡単に説明します。

- 「プロセッサ」(P.1-8)
- 「ドメイン」(P.1-9)
- 「サービス エリア」(P.1-9)
- 「プロビジョニング属性」(P.1-9)
- 「設定テンプレート」(P.1-9)
- 「バッチ プロビジョニング」(P.1-10)
- 「ロールベースのアクセス」(P.1-10)
- 「インベントリ トラッキング」(P.1-11)

プロセッサ

プロビジョニングでは、コール プロセッサ、ユニファイド メッセージ プロセッサ、およびユニファイド プレゼンス プロセッサを作成できます。コール プロセッサは、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のインスタンスごとのプロキシです。

ユニファイド メッセージ プロセッサは、Cisco Unity、Cisco Unity Express、または Cisco Unity Connection のインスタンスごとのプロキシです。ユニファイド プレゼンス プロセッサは、Cisco Unified Presence の各インスタンスのプロキシです。

Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unity システム、および Cisco Unified Presence のデータを、コール プロセッサ、ユニファイド メッセージ プロセッサ、およびユニファイド プレゼンス プロセッサと同期化し、その後にドメインと同期化します。これにより、既存のアクティブ ユーザおよびサービスが プロビジョニング に入力され、すべてのインフラストラクチャおよび加入者の情報を把握できる統合したビューが提供されます。

ユニファイド プレゼンス プロセッサの同期化を実行する前に、Unified Presence サーバと統合された Cisco Unified Communications Manager を Provisioning に追加する必要があります。

プロセッサの詳細については、「[プロセッサの設定](#)」(P.3-6) を参照してください。

ドメイン

ドメインとは、加入者のグループです。グループごとにシステム ユーザを 1 名以上任命し、そのユーザにドメイン グループ内の加入者に対するサービスの管理を任せることができます。さらに、ドメインにはルールまたはポリシーを設定できます。これらのルールとポリシーは、そのドメインに属する加入者向けのサービスに適用されます。ドメイン内の運用に共通のポリシーを適用することも可能です。

ドメインの詳細については、「[ドメインの作成](#)」(P.4-2) を参照してください。

サービス エリア

サービス エリアとは、ドメインの中で IP テレフォニー サービスとメッセージング サービスの構成と管理に使用するグループのことです。サービス エリアは、一般的にはサービスを提供する場所として機能し、オーダー処理の際に使用するプロビジョニング属性値を決めるテンプレートのメカニズムを提供します。

管理ユーザはサービス エリアを設定できます。これは、サービス オーダーを、加入者の設定に関する企業ポリシーとベスト プラクティスに従ったものとするうえで効果的です。

また、サービス エリアは、そのサービス エリアにプロビジョニングされるユーザについて、場所、デバイス プール、コーリング サーチ スペース、およびルート パーティションの各割り当てでどれを使用するかを指定することにより、Cisco Unified Communications Manager のパーティションとサービス クラスを扱います。

サービス エリアの詳細については、「[サービス エリア](#)」(P.4-15) を参照してください。

プロビジョニング属性

プロビジョニング属性とは、アクティベーションの際に、オーダーに対するサービスに適用する設定です。システム管理者は、ドメイン、サービス エリア、または加入者のいずれかのレベル、あるいは個々のオーダーごとなど、システムの中でさまざまなレベルにわたり、プロビジョニング属性を割り当てて、設定できます。

これらのレベルには、オーダー時の属性、加入者ロールの属性、サービス エリア属性、およびドメイン属性が含まれます。属性はさまざまなレベルで階層型をしています。レベルを上げるたびに下位レベルのすべての属性が上書きされて、Cisco Unified Communications Manager に、送信される最後の属性が構成されます。

オーダーの際には、サービス エリアの設定のほか、設定済みのプロビジョニング属性の割り当てが考慮され、プロビジョニングする最終的な製品の設定が決まります。サービス エリア設定とプロビジョニング属性の組み合わせは、加入者サービスのプロビジョニング ポリシーをカスタマイズする柔軟性を管理者にもたらしめます。

プロビジョニング属性の詳細については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください。

設定テンプレート

設定テンプレートを使用すると、一貫性を維持して Cisco Unified Communications の音声インフラストラクチャを自動設定できます。プロビジョニング では、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express、および Cisco Unity Express の初期設定や再設定に使用するテンプレートを作成できます。

テンプレートそのものには、無制限の数のオブジェクトを設定できます。実際のオブジェクトの数は、テンプレートの実行（デバイスへのプッシュ）に要する時間のみで制限されます。

汎用 Cisco IOS 事前定義テンプレートを作成すると、Cisco IOS の汎用的なルータ機能が設定されているプロビジョニングでサポートされる任意のデバイスに、特定の機能を自動設定することができます。

テンプレートにはサブテンプレートも設定できます。これにより、共通で使用する種類の設定情報を、上位レベルのテンプレート全体にわたって繰り返し使用できます。Cisco Unified Communications Manager Express および Cisco Unity Express のテンプレートは、Cisco IOS ソフトウェアのテキストまたは Cisco CLI のテキストをキーワード付きで備えています。

プロビジョニングのテンプレートには、20 種類を超えるオブジェクトを設定できます。このオブジェクトの種類には、デバイス プール、ルート パーティション、コーリング サーチ スペース、ルート リスト、ルート グループ、ルート パターンなどがあります。テンプレートに置いたオブジェクトでは、その属性にキーワードを埋め込むことができます。

デバイスにテンプレートをプッシュするとき、プロビジョニング操作の際に（既存の値の代わりに）使用するキーワード値を定義するオプションのキーワードを指定できます。

設定テンプレートを使用すると、オフィス、場所、リモート サイト、組織オーバーレイの新規ロールアウトなど、さまざまな状況で利用できる設定の標準セットを定義できます。

設定テンプレートの詳細については、「[設定テンプレートの使用](#)」(P.5-1) を参照してください。

インフラストラクチャ設定

プロビジョニングでは、コール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサのインフラストラクチャ設定を参照できます。インフラストラクチャ設定を介して、コール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサの設定に対する処理（追加、編集、または削除）を実行できます。また、保留中の操作やスケジュール操作も表示できます。

インフラストラクチャ設定の詳細については、「[インフラストラクチャ設定の使用](#)」(P.5-52) を参照してください。

バッチ プロビジョニング

1 人の加入者を扱うのであれば、加入者サービスを個別にオーダーできます。しかし、大量のサービスをプロビジョニングするときは、これらを 1 つのバッチにまとめたほうが有利です。バッチ プロビジョニングを使用すると、追加や変更などの、さまざまな種類のオーダーを含む単一のバッチを作成できます。

配置先の Cisco Unified Communications アプリケーションのみで実行される BAT ファイルとは異なり、Provisioning バッチは、Provisioning によって管理される 1 つまたは複数のアプリケーションで実行できます。

また、種類が異なる複数のサービスを 1 つのバッチ操作で処理することもできます。たとえば、電話とボイスメールの追加と変更を 1 つのバッチにまとめることができます。

バッチは、プロビジョニングにアップロードした後、ただちに実行できるほか、スケジュールを設定して別の日時に実行することもできます。

バッチ プロビジョニングの詳細については、「[インフラストラクチャ製品のプロビジョニング](#)」(P.6-13) を参照してください。

ロールベースのアクセス

プロビジョニングでは、ロールに 2 種類のディメンションがあり、システム ユーザであるか、サービス加入者であるかに応じて、どちらを取得できるかが決まります。ユーザのロールは、Provisioning のユーザが利用できる所定の機能へのアクセス許可を定義します。

加入者のロールとは、組織の中で加入者が保有するロールを指します。このロールによって、各加入者に利用が認められるサービスが決まります。ユーザのロールは、システム側で事前に定義しておきます。加入者のロールは、管理者が設定します。

ロールベースのアクセスの詳細については、「[加入者の管理](#)」(P.8-1) および「[ユーザの管理](#)」(P.8-13) を参照してください。

インベントリ トラッキング

プロビジョニングでは、内部のアセット管理インベントリ システムで、すべてのサービスと加入者に関する情報を追跡しています。管理者は、この情報を閲覧し、HTML 形式または Microsoft Excel 形式のレポート テンプレート生成に使用できる高度な検索を作成し、保存できます。設定と電話の情報に関するレポートのサンプルが付属しています。

インベントリ トラッキングの詳細については、「[Phone Inventory レポートの使用](#)」(P.7-17) を参照してください。

Dashboards

次の各トピックでは、頻繁に使用する可能性がある Provisioning の機能について簡単に説明します。一般的に、運用担当者は、毎日ダッシュボードの画面を見て、IP テレフォニー環境を監視します。Provisioning には 3 つのダッシュボードがあります。その内容は次のとおりです。

- **Global Admin Dashboard** : プロセッサ、デバイス、ドメイン、およびユーザの動作ステータスに関するリアルタイム情報を管理します。
- **Domain Admin Dashboard** : ドメインに関連するデバイスおよびユーザの動作ステータスに関するリアルタイム情報を管理します。
- **Subscriber Dashboard** : 実行中のオーダー、保留中のオーダーおよび失敗したオーダーの詳細を管理します。加入者ダッシュボードは、admin、オーダー、およびセルフケアのロール以外のユーザに表示されます。

Provisioning のダッシュボードの利点は次のとおりです。

- 情報へのアクセスが簡単 : プロセッサのキャパシティ、デバイスの同期ステータス、保留中のオーダー、展開の詳細を表示できます。また、ログイン済みのユーザおよびロックされているユーザも表示できます。
- カスタマイズが簡単 : ダッシュボードの変更およびパーソナライズが可能であるため、見たいものを表示するようにダッシュボードのレイアウトを設定できます。
- 軽量の GUI : データは Unified のダッシュボードに表示されます。外部ポップアップ ウィンドウの使用は最小化されています。

Global Admin Dashboard

Home ダッシュボードでは、重要な統計情報、ならびにプロセッサ、保留中のオーダー、デバイス同期化のステータス、ドメインと展開の詳細、およびログイン済みのユーザとロックされているユーザに関する詳細を表示できます。

ダッシュボードは、[Home] の下にあります。

これらのすべてを単一のページに表示できるため、複数ページ間を移動する必要はありません。また、ダッシュボードに示されたリンクをクリックして、関連する詳細情報を表示することもできます。

ライセンスで許可されている音声端末数（電話）および使用されている音声端末数の詳細が円グラフで示されます。この円グラフを表示するためには、Adobe Flash Player をシステムにインストールする必要があります。インストールされていない場合は、インストールするように求められます。

表 1-2 に、Global Admin、Domain Admin、および Subscriber ダッシュボードで使用可能なダッシュレットを示します。

表 1-2 Provisioning のダッシュボード

ダッシュレット	説明	Global Admin	Domain Admin	Subscriber Admin
Capacity	このペインには、プロセッサ関連の詳細がリストされます。プロセッサのリスト、使用可能なライセンス数、および使用されているライセンス数を表示できます。このペインには、使用可能なライセンス数および使用されているライセンス数がグラフィック表示されます。	○	—	—
Pending Order Status	実行中のオーダー、保留中のオーダー、および失敗したオーダーのステータスのリストを表示できます。オーダー番号がハイパーリンクとして示されるため、そのリンクにアクセスしてオーダーの詳細を確認できます。ユーザは、承認および割り当てを待機しているオーダーのリストも表示できます。オーダー関連の詳細については、「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照してください。	○	○	○
Device Sync Status	デバイスおよびデバイスの同期化の詳細を示すリストを表示できます。同期化のステータスおよび完了日が示されます。このペインには検索フィルタがあり、デバイスの名前およびタイプに基づいてデバイスを検索できます。[Device Sync Status] に示される情報は読み取り専用モードです。同期化の詳細については、「同期化のスケジュール」(P.3-12) を参照してください。	○	○	—
Deployment Details	ドメイン グループとグループの設定の詳細を示すリストを表示できます。ドメイン名にアクセスすると、Domain Configuration 画面を起動できます。加入者数、およびドメインに関連付けられているサービス エリアが、同期化完了日と一緒に表示されます。 このペインには検索フィルタがあり、同期化完了日に基づいて、特定のドメイン、加入者、サービス エリアを検索できます。[Deployment Details] ペインに示される情報は読み取り専用モードです。ドメインおよびドメイン設定の詳細については、「ドメインの設定」(P.4-3) を参照してください。	○	○	—

表 1-2 Provisioning のダッシュボード（続き）

ダッシュレット	説明	Global Admin	Domain Admin	Subscriber Admin
Logged-In Users	アクティブセッションを表示し、単一または複数のアクティブセッションをログアウトさせることができます。このペインでは、アクティブセッションの詳細を表示できます。最大 100 人の管理者が同時に共存できます。[Logout] ボタンを使用すると、単一または複数のアクティブセッションを終了できます。このペインは globaladmin 権限がある場合のみ使用できます。「 アクティブセッションの表示またはログアウト 」(P.8-23) を参照してください。	○	—	—
Locked Users	このペインでは、ロックされているユーザのリストを表示できます。[Unlock] ボタンを使用すると、ロックされているユーザのロックを解除できます。このペインは、globaladmin ユーザ権限を持っている場合のみ使用できます。「 ユーザ ID のロック解除 」(P.8-22) を参照してください。	○	—	—

使用シナリオ

Provisioning 機能は、Cisco Prime Collaboration アプリケーションの [Design]、[Deploy]、および [Administration] メニューで利用できます。

次に、Provisioning を使用する場合の一般的なシナリオを示します（これは包括的なリストではありません）。

- 「既存の音声サービスの管理」(P.1-13)
- 「新しい音声インフラストラクチャの導入」(P.1-14)
- 「加入者サービスの管理」(P.1-14)
- 「既存の音声インフラストラクチャへの新規サイトの導入」(P.1-14)

また、場合によっては、Cisco Prime Collaboration 導入のニーズを満たすためにいくつかの高度なアクティビティを実行する必要があります。このアクティビティの例として、次のものが含まれます。

- 「ニーズを満たすための Provisioning 機能のカスタマイズ」(P.1-15)
- 「大量のプロビジョニング アクティビティの実行」(P.1-15)
- 「Provisioning リソースの使用」(P.1-15)
- 「サーバの設定」(P.1-15)

既存の音声サービスの管理

次の Cisco Unified Communications の各デバイスは、通常、それぞれのインターフェイスを使用して管理します。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unified Communications Manager Express
- Cisco Unity

- Cisco Unity Connection
- Cisco Unity Express

これらの音声サービスのサブセットの管理を他のユーザに委任する場合は、次のセクションを参照してください。

- 「プロセッサの設定」(P.3-6)
- 「コール プロセッサの同期化」(P.3-9)
- 「ユニファイド メッセージ プロセッサの同期化」(P.3-17)
- 「ユニファイド プレゼンス プロセッサの同期化」(P.3-21)
- 「ドメインの作成」(P.4-2)
- 「サービス エリアの作成」(P.4-17)
- 「ドメインの同期化」(P.4-3)
- 「オーダーの管理」(P.10-1)

新しい音声インフラストラクチャの導入

Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express とそれに関連するボイスメール システムを新規に追加する場合、すべての導入に適用できる標準化されたアプローチを使用するには、次のセクションを参照してください。

- 「サービス エリアの作成」(P.4-17)
- 「ドメインの同期化」(P.4-3)
- 「オーダーの管理」(P.10-1)
- 「インフラストラクチャ製品のプロビジョニング」(P.6-13)

加入者サービスの管理

現在のオフィスの中の加入者向けのサービスを管理する場合は、次のセクションを参照してください。

- 「加入者の管理」(P.8-1)
- 「オーダーの表示」(P.10-1)
- 「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3)
- 「オーダーの処理」(P.10-36)
- 「製品のキャンセル」(P.10-38)

既存の音声インフラストラクチャへの新規サイトの導入

既存の Cisco Unified Communications Manager に新しい場所またはサイトを追加するには、次のセクションを参照してください。

- 「ドメインの設定」(P.4-3)
- 「サービス エリアの設定」(P.4-17)
- 「ドメインの同期化」(P.4-3)
- 「オーダーの管理」(P.10-1)
- 「インフラストラクチャ製品のプロビジョニング」(P.6-13)

ニーズを満たすための Provisioning 機能のカスタマイズ

Provisioning でさまざまなポリシーを適用する方法のデフォルト設定を変更するには、次のセクションを参照してください。

- 「ビジネス ルール」 (P.11-2)
- 「プロビジョニング属性の設定」 (P.11-15)
- 「電話ボタン テンプレートの設定」 (P.11-1)
- 「加入者ロールの作成」 (P.8-9)

大量のプロビジョニング アクティビティの実行

大量のサービスを導入する場合は、これらのアクティビティを 1 つのバッチにまとめたほうが有利なことがあります。次のセクションを参照してください。

- 「インフラストラクチャ製品のプロビジョニング」 (P.6-13)

Provisioning リソースの使用

Provisioning リソースを管理するには、次のセクションを参照してください。

- 「電話インベントリの管理」 (P.7-1)
- 「ディレクトリ インベントリの管理」 (P.7-4)
- 「インベントリの検索」 (P.7-7)
- 「システム レポートの表示」 (P.7-16)

サーバの設定

サーバの設定については、次のセクションを参照してください。

- 「ライセンスの管理」 (P.2-2)
- 「ユーザの管理」 (P.8-13)
- 「ログ ファイルの管理」 (P.2-4)
- 「プロビジョニングのためにデータ消去のイネーブル化」 (P.2-7)

グローバル検索ツールの使用

検索ツールを使用して、次の作業を実行できます。

- 加入者の特定
- ユーザの特定
- MAC アドレスの特定
- ディレクトリ番号の特定

ビュー ペインの上部にある検索フィールドを使用して検索するには、次の手順を実行します。

-
- | | |
|---------------|--|
| ステップ 1 | [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。 |
| ステップ 2 | 検索フィールドにあるドロップダウン リストから [Subscriber ID]、[Last Name]、[MAC Address]、または [Directory Number] を選択します。 |
| ステップ 3 | 有効な情報を入力します。 |

- ステップ 4** 検索を開始するように **Enter** キーを押します。完全一致が見つかったら、加入者またはエンドポイントデバイスに移動します。

プロビジョニングのローカライズ

Provisioning では、さまざまな言語をサポートできます。ユーザ インターフェイス コンポーネントは、ブラウザの言語設定に基づいて変化します。選択した言語で入力を行うこともできます。

Internet Explorer での言語設定

- ステップ 1** Internet Explorer のメニュー バーで、[Tools] > [Internet Options] を選択します。
- ステップ 2** [Internet Options] ダイアログボックスで、[Languages] をクリックします。
- ステップ 3** [Language Preference] ダイアログボックスで、[Add] をクリックします。
- ステップ 4** [Add Language] ダイアログボックスで、リストから言語を選択し、[OK] をクリックします。言語が、[Language Preference] ダイアログボックスのリストに追加されます。



(注) フランス語およびドイツ語のローカリゼーション ファイルは、<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html?mdfid=280836273&flowid=24181> からダウンロードできます。現行製品のバージョンを選択して [Download Software] ページを表示する必要があります。[Download Software] ページから、ローカリゼーション zip ファイル (UPM_<version number>_localization.zip) をダウンロードできます。

- ステップ 5** 優先順位を設定するには、優先する言語を選択し、[Move Up] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして変更を保存します。
- ステップ 7** もう一度 [OK] をクリックして [Options] ウィンドウを閉じます。

Mozilla Firefox での言語設定

- ステップ 1** Mozilla Firefox のメニュー バーで、[Tools] > [Options] を選択します。
- ステップ 2** [Options] ダイアログボックスで、[Content] をクリックします。
- ステップ 3** [Languages] ペインで、[Choose] をクリックします。
- ステップ 4** [Language] ダイアログボックスで、リストから言語を選択し、[OK] をクリックします。言語が、[Language] ウィンドウのリストに追加されます。



(注) フランス語およびドイツ語のローカリゼーション ファイルは、<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html?mdfid=280836273&flowid=24181> からダウンロードできます。現行製品のバージョンを選択して [Download Software] ページを表示する必要があります。ローカリゼーション zip ファイル (UPM_<version number>_localization.zip) をダウンロードできます。

- ステップ 5** 優先順位を設定するには、優先する言語を選択し、[Move up] をクリックします。
- ステップ 6** [OK] をクリックして変更を保存します。

ステップ 7 もう一度 [OK] をクリックして [Options] ウィンドウを閉じます。



CHAPTER 2

サーバの設定

ライセンス情報の表示、ログ ファイルの管理、Provisioning サーバの IP アドレスの変更ができます。スケジュールされた間隔でデータを削除することもできます。



(注)

分散インストールでは、アプリケーション サーバは起動時に、データベース サーバが稼働中であることを予期します。両方のシステムを同時に再起動すると、アプリケーション サーバはデータベース サーバよりも前に起動する場合があります、すべてのオーダーが初期状態になる可能性があります。これは、2 つのシステム間のタイミングの問題です。この問題が生じた場合は、アプリケーション サーバを再起動してください。

ライセンスの管理

プロビジョニングを使用するには、プロビジョニング イメージ ライセンスと 1 つ以上のスケール ライセンスが必要です。イメージ ライセンスがない場合は、製品が評価モードのままになります。スケール ライセンスによって、プロビジョニングできる電話機の数が増加されます。

Provisioning Northbound Interface (プロビジョニング NBI) 機能を使用するには、プロビジョニング API ライセンスが必要です。



(注)

- 統合モードでは、[License Status Information] ページを表示するには、[Administration] > [License Management] を選択します。
- スタンドアロンの Prime Collaboration Provisioning アプリケーションで、[License Status Information] ページを表示するには、[Administration] > [System Configuration] > [License Management] を選択します。

[License Status Information] ページには、次の情報が表示されます。

- 使用できない機能：機能の使用制限に達しているため、アクセスできない、または有効期限が切れた プロビジョニング のすべての機能。
- 有効な機能：機能と、それに対応する使用制限 (Available)、現在の使用 (Used)、期限満了日 (Expiry) のリスト。

ipt_phones_max 機能は、電話のライセンス制限と現在使用している電話のライセンス数を表示します。CTI ポートは電話数に考慮されません。

nb_api 機能では、プロビジョニング NBI を使用するためのライセンスを持っているかどうかが表示されます。

ipt_ccm_max 機能は、コール プロセッサ数が許容制限を超えているかどうかを確認します。

upp_max 機能は、ユニファイド プレゼンス プロセッサ数が許容制限を超えているかどうかを確認します。

ipt_ump_max 機能は、ユニファイド メッセージ プロセッサ数が許容制限を超えているかどうかを確認します。

- ライセンスのない機能：使用するためのライセンスを持っていない機能。



(注)

分散インストールの場合、2 台のサーバ間のネットワーク接続が失われた後に再確立されるか、プロビジョニング データベース (PostgreSQL データベース) サーバだけが再起動されると、プロビジョニング サーバにログインできず、[Licensing Status Information] ページにライセンス エラーが表示されることがあります。エラー メッセージには、すべての機能を利用できないことが記されています。

この場合は、プロビジョニング サービスを再起動します。

ライセンスの入手方法

新規購入

新規購入では、プロビジョニング イメージ ライセンスと、管理する電話機の MAC アドレス数を対象とする 1 つ以上のスケール ライセンスを購入する必要があります。スケール ライセンスは追加可能なライセンスで、1 つのプロビジョニング インスタンスあたり最大 60,000 です。イメージ ライセンスが存在する必要があります。これがないと、製品は評価モードのままになります。

プロビジョニング NBI ライセンス

オプションのプロビジョニング NBI には、個別のライセンス（プロビジョニング API ライセンス）の購入が必要です。プロビジョニング はプロビジョニング NBI をイネーブルにする前に、ライセンスの購入を確認します。

次の手順は、新規インストール（およびアップグレード）のスケール ライセンス、および プロビジョニング API ライセンスに適用されます。

1. **Product Authorization Key (PAK) の入手**：PAK は、Cisco.com でプロビジョニング を登録するために使用され、リソース制限が含まれます。「[PAK の入手](#)」(P.2-3) を参照してください。
購入した差分ライセンスごとに PAK が提供されるので、その PAK を使用してライセンス ファイルを入手する必要があります。
2. **ライセンス ファイルの入手**：Cisco.com で PAK を登録すると、ライセンス ファイルを取得できます。「[ライセンス ファイルの入手](#)」(P.2-3) を参照してください。
3. **プロビジョニング をインストールするサーバに、ライセンス ファイルをコピーします。**プロビジョニング をすでにインストールしていて、ライセンス ファイルをアップグレードする場合は、プロビジョニング にライセンス ファイルを登録する必要があります。「[プロビジョニング でのライセンス ファイルの登録](#)」(P.2-3) を参照してください。

PAK の入手

PAK は、ソフトウェア権利証明書に記載されています。権利証明書は eDelivery システムから入手できます。eDelivery の詳細については、<http://www.cisco.com/web/partners/tools/edelivery.html> を参照してください。

ライセンス ファイルの入手

PAK と、プロビジョニング がインストールされているシステムの MAC アドレスを Cisco.com (<http://www.cisco.com/go/license>) に登録します。このとき、ログインするように求められます。ログインするには、Cisco.com の登録ユーザである必要があります。



(注)

ライセンス処理ではノードロック テクノロジーが使用されるため、MAC アドレスは必須です。ライセンス ファイルは、指定した MAC アドレスだけで使用できます。ライセンス ファイルは、電子メールで送信されます。ライセンス ファイルを入手したら、ライセンスを プロビジョニング サーバに登録します。

プロビジョニング でのライセンス ファイルの登録

- ステップ 1** ライセンス ファイルを プロビジョニング サーバ上の *Installation location*\license フォルダにコピーします。

システムによって、ライセンス ファイルが有効であるかどうかを確認され、ライセンスがアップデートされます。アップデートされたライセンス情報が [License Status Information] ページに表示されます。

ステップ 2 数分たってもライセンスが自動的に有効にならない場合は、[License Management] ページを選択します。[Show Endpoints] をクリックします。

ライセンスした電話機がアップデートされます。

2 つ以上のライセンスを購入した場合は、[ステップ 1](#) を繰り返して各ライセンスをインストールしてください。

ログ ファイルの管理

プロビジョニング は、Service Enabling Platform (SEP) モジュールのアプリケーション ログ ファイル (sep.log) と、Network Interface and Configuration Engine (NICE) サービスのアプリケーション ログ ファイル (nice.01.log) を書き込みます。ログ ファイルは、/opt/cupm/sep/logs フォルダにあります。

ロギングをディセーブルにはできません。ただし、次の作業を実行できます。

- 必要に応じて、ログレベルを上げ、さらに多くのデータを収集する。
- デフォルト ログレベル (NORMAL) に戻す。

使用可能なログレベルは次のとおりです。

- DETAIL (最も多くの情報を提供)
- LOW
- NORMAL
- HIGH
- EMERGENCY

ログ ファイルは 1 時間ごと、またはログの最大サイズ制限に達するとバックアップされます。デフォルトのサイズ制限は 20 MB です ([「ログ ファイルの最大サイズの変更」 \(P.2-6\)](#) を参照)。ファイルは、sep.log.date stamp timestamp の形式で保存されます。



(注)

ログ ファイルは、プロビジョニング サーバのサイズが 5000 MB を超えたとき、またはログ フォルダ内のログ ファイルの数が 500 を超えたときに削除されます。これらのレベルを変更するには、[「ログのパーズング レベルの変更」 \(P.2-6\)](#) を参照してください。

ログレベルの変更

ステップ 1 プロビジョニング システムで、opt/cupm/sep フォルダに移動します。



(注)

インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール場所は、/opt/cupm です。

ステップ 2 dfc.properties ファイルを開きます。

ステップ 3 dfc.log.level プロパティを適切なレベルに変更します。使用可能なログレベルは次のとおりです。

- DETAIL
- LOW
- NORMAL
- HIGH
- EMERGENCY

ステップ 4 変更を保存します。

ステップ 5 プロビジョニング サービスを再起動します

変更は、プロビジョニング を再起動するまで有効になりません。

- SSH を使用してサーバにログインします。
- /opt/cupm フォルダに移動します。
- `./cupm-app-service.sh stop` コマンドを実行します。
- 次のコマンドを実行して、サービスがダウンしているかどうかを確認します。

```
ps -aef | grep startcupm
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processId2>
```

```
ps -aef | grep nice
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processId2>
```

- ポート 46009 が使用中であるかどうかを判断します (JBoss により使用されます)。

```
netstat -a | grep 46009
```

このポートが使用されている場合は、解放されるまで待機します。

- アプリケーション サービスを開始します。
`./cupm-app-service.sh start` を実行します
 サービスが開始するまで待ちます。



(注)

- ログ レベルを永続的に変更するには、CUPM_INSTALL_DIR/sep/build/bin にある dfc.properties ファイルの dfc.log.level の値を変更し、Provisioning を再起動する必要があります。
 - Provisioning ログは、/opt/cupm/sep/logs に保存されます
- 一時的にログ レベルを変更するには、SSH を使用してルートとして Provisioning サーバにログインします。
 - コマンドプロンプトを開きます。
 - スクリプト ディレクトリに移動します。cd CUPM_INSTALL_DIR/sep/ipt/bin
 - 適切なオプションを使用して次のコマンドを実行し、ログ レベルを変更します。
`./changeloglevel.sh -level loglevel [APPSERVER | NICE | BOTH]`
 APPSERVER、NICE、または BOTH オプションが指定されない場合は、デフォルトのオプション BOTH が使用されます。
 loglevel は DETAIL、LOW、NORMAL、HIGH、または EMERGENCY のいずれかになります。

ログ ファイルの最大サイズの変更

ステップ 1 プロビジョニング システムで、`opt/cupm/sep` フォルダに移動します。



(注) インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール場所は、`/opt/cupm` です。

ステップ 2 `dfc.properties` ファイルを開き、目的のサイズに `dfc.log.maxsize` プロパティを変更します（デフォルトは 20 Mb）。

ステップ 3 変更を保存し、プロビジョニング サービスを再起動します。

変更は、プロビジョニング を再起動するまで有効になりません。

a. SSH を使用してサーバにログインします。

b. `/opt/cupm` フォルダに移動します。

c. `./cupm-app-service.sh stop` コマンドを実行します。

d. 次のコマンドを実行して、サービスがダウンしているかどうかを確認します。

```
ps -aef | grep startcupm
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

```
ps -aef | grep nice
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

e. ポート 46009 が使用中であるかどうかを判断します（JBoss により使用されます）。

```
netstat -a | grep 46009
```

このポートが使用されている場合は、解放されるまで待機します。

ステップ 4 アプリケーション サービスを開始します。

`./cupm-app-service.sh start` を実行します

サービスが開始するまで待ちます。

ログのパージング レベルの変更

ステップ 1 プロビジョニング システムで、`opt\cupm\sep` フォルダに移動します。



(注) インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール場所は、`/opt/cupm` です。

ステップ 2 `ipt.properties` ファイルを開き、次のいずれかまたは両方を行います。

- ファイルの最大サイズのレベルを変更するには、`dfc.purge.log.maxused_mb` プロパティを適切なレベルに変更します。
- ログ ファイルの最大数のレベルを変更するには、`dfc.purge.log.maxlogsaved` プロパティを適切なレベルに変更します。

ステップ 3 変更を保存します。

ステップ 4 プロビジョニング サービスを再起動します

変更は、プロビジョニング を再起動するまで有効になりません。

- a. SSH を使用してサーバにログインします。
- b. /opt/cupm フォルダに移動します。
- c. ./cupm-app-service.sh stop コマンドを実行します。
- d. 次のコマンドを実行して、サービスがダウンしているかどうかを確認します。

```
ps -aef | grep startcupm
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

```
ps -aef | grep nice
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

- e. ポート 46009 が使用中であるかどうかを判断します (JBoss により使用されます)。

```
netstat -a | grep 46009
```

このポートが使用されている場合は、解放されるまで待機します。

ステップ 5 アプリケーション サービスを開始します。

./cupm-app-service.sh start を実行します

サービスが開始するまで待ちます。

プロビジョニングのためにデータ消去のイネーブル化

スケジュールした間隔でデータを消去するように プロビジョニング を設定できます。

プロビジョニング は、次のタイプのデータを保持します。

- **Order** : 製品のプロビジョニング (電話機、回線、ボイスメール、またはいずれかのバンドルなど) のオーダーが行われると、オーダー データのオブジェクトが作成され、システムに保存されます。
- **ServiceAction** : 製品のプロビジョニング中に、アプリケーションがデバイスと通信すると作成されるオブジェクト。デフォルトでは、Service Action データのパーキングがイネーブルです。
- **Task** : インフラストラクチャ設定の更新のスケジューリング。インフラストラクチャ設定によって、設定をローカルに保存できます。保存された設定はタスクに組み込み、デバイスにプッシュできます。
- **Workflow** : 製品のオーダーが行われると、ワークフロー (承認、出荷、受領) を通過してから、サービス アクティベータに届きます。
- **Audit Trail** : PIN/Password の変更ごとに、PIN/Password がリセットされ、次のログオン時に PIN/Password が変更され、Unity または Unity Connection デバイス内の加入者のボイス メールがロックを解除され、監査エントリが作成されます。



(注)

データは、保持期間または保持カウントの基準に達すると消去されます。たとえば、データが保持期間より古い場合、削除されます。また、データ カウントが保持カウントを超えると、データは削除されます。

ステップ 1

[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Data Maintenance] を選択します。(スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの UI のパスを選択するには、表 1-1 を参照してください)。

[Data Maintenance Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 消去をスケジュールするデータの行にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [Retention Time] カラムで、データを保持する日数を変更します（デフォルトは 7 日。ただし、ServiceAction の場合は 30 日）。

ステップ 4 [Retention Count] カラムで、保持するデータの数を選択します。



(注) 保持カウントは、プロビジョニングで保持して消去しないオブジェクトの数です。たとえば、オーダー総数が 1000 で、保持カウントが 100 の場合、プロビジョニングでは 900 のオーダーが消去され、最新の 100 のオーダーだけが保持されます。

Retention Count のデフォルト設定は次のとおりです。

- Orders : 100
- ServiceAction : 無制限
- Task : 50
- Workflow : 50
- Audit Trail : 50

ステップ 5 (任意) 消去されたデータを削除する前にファイルにエクスポートするには、[Export Before Purge] フィールドで [Yes] を選択し、データの保存先となるディレクトリの場所を入力します。



(注) エクスポートされるのは Orders データと Workflow データだけです。ServiceAction データはエクスポートされません。

ステップ 6 消去の間隔を選択します（デフォルトは 24 時間です）。

[Purging Information] ペインに、次にスケジュールされている消去と前回の消去の時期が表示されます。

ステップ 7 [Update] をクリックします。

Provisioning データを削除するには、[Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Data Maintenance] を選択します（スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションで、[Administration] > [System Maintenance] > [Data Maintenance] を選択）。[Data Maintenance Configuration] ページでデータを設定できます。

メンテナンス モード

Provisioning をメンテナンス モードにすると、ドメイン、プロセッサ、サービス エリアの削除など、通常モードでは使用できない、ユーザに影響を与える操作を行うことができます。

管理者以外のユーザは、自分に割り当てられているロールに従ってすべての Provisioning 以外のページにアクセスできます。Provisioning リンクは利用できますが、ユーザがこれらのページにアクセスしようとするアプリケーションが現在メンテナンス モードであることを示すメッセージが表示されます。

ステップ 1 [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Maintenance Mode] を選択します。

[Application Mode] ページが表示されます。

ステップ 2 [Enter Maintenance Mode] をクリックします。

ログイン ページに警告が表示され、システムの使用は管理権限を持つユーザに制限されることがユーザに通知されます。ドメインの削除など、通常モードでは使用できないメンテナンス オプションが使用可能になります。

ステップ 3 ドメインの削除などのメンテナンス アクティビティを実行します。

ステップ 4 メンテナンス アクティビティが完了したら、[System Administration] > [Maintenance Mode] を選択します。

[Application Mode Management] ページが表示されます。

ステップ 5 [Exit Maintenance Mode] をクリックします。

ログイン ページの警告が消え、ユーザは通常通りにログインできるようになります。ドメインの削除などのメンテナンス オプションは、もう使用できません。

プロビジョニング システムの IP アドレスの変更

単一マシンの設定で IP アドレスを変更すると、システムで IP アドレスを変更した後で、プロビジョニング を停止して再起動する必要があります。

分散設定で IP アドレスを変更する場合は、どのシステムの IP アドレスも変更できます。「[プロビジョニング サーバの IP アドレスの変更（分散設定用）](#)」(P.2-9) または「[プロビジョニング データベース サーバの IP アドレスの変更（分散設定用）](#)」(P.2-10) を参照してください。

プロビジョニング サーバの IP アドレスの変更（分散設定用）

この手順が必要なのは、分散設定の場合だけです。プロビジョニング サーバの IP アドレスを変更した後で、この手順を実行します。

ステップ 1 プロビジョニング サービスを再起動します

変更は、プロビジョニング を再起動するまで有効になりません。

- a. SSH を使用してサーバにログインします。
- b. /opt/cupm フォルダに移動します。
- c. `./cupm-full-service.sh stop` コマンドを実行します。
- d. 次のコマンドを実行して、サービスがダウンしているかどうかを確認します。

```
ps -aef | grep startcupm
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

```
ps -aef | grep nice
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

- e. ポート 46009 が使用中であるかどうかを判断します（JBoss により使用されます）。

```
netstat -a | grep 46009
```

このポートが使用されている場合は、解放されるまで待機します。

ステップ 2 アプリケーション サービスを開始します。

`./cupm-full-service.sh start` を実行します

サービスが開始するまで待ちます。

ステップ 3 プロビジョニングを実行しているシステムで、次のファイルをアップデートします。

- `opt/cupm/sep/dfc.properties` : 新しい IP アドレスで次の行を更新します。

```
dfc.postgres.host=<DB_SERVER_ADDR>
```

- `opt/cupm/EnterprisePlatform-4.2.0.GA_CP09/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml` : 新しい IP アドレスで次の行を更新します。

```
<connection-url>jdbc:postgresql://<DB_SERVER_ADDR>:5432/cupm</connection-url>
```

ステップ 4 Provisioning データベースが稼働しているファイルシステムの `opt/cupm/pgsql9.0\data/pg_hba.conf` ファイルに対して、新しい IP アドレスで次の行を更新します。

`pg_hba.conf` ファイルは、`/opt/postgres/9.0/data/pg_hba.conf` にあります。

プロビジョニング データベース サーバの IP アドレスの変更（分散設定用）

この手順が必要なのは、分散設定の場合だけです。プロビジョニング データベース サーバの IP アドレスを変更した後で、この手順を実行します。

ステップ 1 プロビジョニング サービスを再起動します

変更は、プロビジョニング を再起動するまで有効になりません。

- SSH を使用してサーバにログインします。
- `/opt/cupm` フォルダに移動します。
- `./cupm-full-service.sh stop` コマンドを実行します。
- 次のコマンドを実行して、サービスがダウンしているかどうかを確認します。

```
ps -aef | grep startcupm
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

```
ps -aef | grep nice
```

実行中のプロセスがある場合は、次のコマンドを使用して、これらのサービスを停止します。

```
kill -9 <processID1> <processID2>
```

- ポート 46009 が使用中であるかどうかを判断します（JBoss により使用されます）。

```
netstat -a | grep 46009
```

このポートが使用されている場合は、解放されるまで待機します。

ステップ 2 アプリケーション サービスを開始します。

SSH を使用してサーバにログインします。

`/opt/cupm` に移動します。

`./cupm-db-service.sh stop` を実行します

ステップ 3 プロビジョニングを実行しているシステムで、次のファイルをアップデートします。

- `/opt/cupm/sep/dfc.properties` : 新しい IP アドレスで次の行を更新します。

```
dfc.postgres.host=<DB_SERVER_ADDR>
```

- `/opt/cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml` : 新しい IP アドレスで次の行を更新します。

```
<connection-url>jdbc:postgresql://<DB_SERVER_ADDR>:5432/cupm</connection-url>
```

ステップ 4 次のコマンドを実行して、Postgres サービスを開始します。

SSH を使用してサーバにログインします

/opt/cupm に移動します

`./cupm-db-service.sh start` を実行します。

ステップ 5 アプリケーション サービスを開始します。

`./cupm-app-service.sh start` を実行します

サービスが開始するまで待ちます。

時間帯設定の変更

時間帯設定と場所を変更できます。グリニッジ標準時（GMT）とも呼ばれ、うるう秒で更新される協定世界時（UTC）を指定できます。

ステップ 1 プロビジョニング ホーム ページの右上隅から [Time Zone] アイコンを選択します。

[Time Zone Settings (UTC Offset)] ページが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかを入力して、タイム ゾーン設定を変更します。

- 新規の UTC オフセット。
- 新しい場所（任意）。

ステップ 3 [Apply] をクリックしてタイム ゾーンを保存します。

Operations Manager の起動

Operations Manager を購入して実行していると、プロビジョニング から Operations Manager を起動できます。

このオプションは、スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションだけにあります。

ステップ 1 [Administration] > [Application Suite] > [Launch Monitoring Home Page] を選択します。

ステップ 2 [Cisco Unified Communications Management Suite] ページで、[Cisco Prime Unified Operations Manager] リンクをクリックします。

Cisco Prime Unified Operations Manager の IP Phone Details の起動

Operations Manager を購入して実行していると、Operations Manager から [IP Phone Details] ダイアログボックスを起動するように、プロビジョニング を設定できます。[IP Phone Details] ダイアログボックスは、加入者レコードから起動します。

この機能を使用する前に、プロビジョニング を設定する必要があります（「[Cisco Prime Unified Operations Manager の IP Phone Details を開くためのプロビジョニング の設定](#)」（P.2-12）を参照）。

設定手順を実行すると、加入者レコードに [Details] ボタンが表示されます。[Details] ボタンを押すと、Operations Manager から [IP Phone Details] ダイアログボックスが表示されます（「[Cisco Prime Unified Operations Manager の IP Phone Details ダイアログボックスを開く](#)」(P.2-12) を参照）。

Cisco Prime Unified Operations Manager の IP Phone Details を開くための プロビジョニングの設定

ステップ 1 プロビジョニング システムで、*opt/cupm/sep* フォルダに移動します。



(注) インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール ディレクトリは、*opt/cupm* です。

ステップ 2 *ipt.properties* ファイルを開きます。

ステップ 3 *ipt.properties* ファイルで、次のプロパティを変更します。

- *dfc.ipt.operationsmanager.host*: <hostname> : Operations Manager システムのホスト名または IP アドレスを入力します。
- *dfc.ipt.operationsmanager.port*: <port> : Operations Manager が使用するポート番号を入力します。

ステップ 4 ファイルを保存して、閉じます。

ステップ 5 プロビジョニング を停止して開始します。

Cisco Prime Unified Operations Manager の IP Phone Details ダイアログボックスを開く

ステップ 1 適切な加入者の加入者レコードを開きます（「[加入者レコードへのアクセス](#)」(P.10-2) を参照）。

ステップ 2 詳細を表示する電話をクリックします。

ステップ 3 [Details] ボタンをクリックします。

[Operations Manager] ログイン ページが表示されます（[IP Phone Details] ダイアログボックスを表示するには、Operations Manager の有効なクレデンシャルが必要です）。

ステップ 4 Operations Manager にログインします。

Operations Manager の [IP Phone Details] ダイアログボックスが表示されます。

Prime Collaboration Provisioning での IPv6 サポート

Prime Collaboration Provisioning は IPv6 対応です。IPv6 対応とは、IPv6 機能情報を含むが、伝送には IPv4 を使用するものとして定義されます。

IPv6 対応アプリケーションとして、Prime Collaboration Provisioning は、引き続き IPv4 リンク経由で、Cisco Unified Communications Manager デバイスと通信します。

Provisioning Manager の IPv6 対応には、次のことも適用されます。

- [Call Processor Configuration] ページでは、IPv4 IP アドレスだけを入力できます。IPv6 アドレスを入力するとエラー メッセージが表示されます。

- Prime Collaboration Provisioning は、IPv4 プロトコルを使用して Cisco Unified Communications Manager と通信しますが、IPv4 または IPv6 プロトコルを使用する電話をプロビジョニングできません。



CHAPTER 3

デバイスの管理

コール プロセッサ、ユニファイド メッセージ プロセッサ、およびユニファイド プレゼンス プロセッサを Provisioning に追加できます。

プロビジョニングを使用するには、初めに、IP テレフォニー環境の一部である IP 通信インフラストラクチャ デバイスを追加する必要があります。

コール プロセッサは、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のデバイスの各インスタンスのプロキシです。ユニファイド メッセージ プロセッサは、Cisco Unity、Cisco Unity Express、または Cisco Unity Connection のデバイスの各インスタンスのプロキシです。ユニファイド プレゼンス プロセッサは、Cisco Unified Presence の各インスタンスのプロキシです。

プロビジョニングでは、Cisco IOS ルータもサポートされます。Cisco IOS ルータ デバイスがプロビジョニングに追加されると、このデバイスはプロビジョニングに汎用 IOS ルータとして表示されます。プロビジョニングでは、この汎用 IOS ルータ機能を通して、ルータ上に追加の音声機能を設定できます。



(注)

デバイスの中には、複数の機能を持つものもあります。追加するデバイスに複数の機能がある場合も、そのデバイスを追加する必要があるのは 1 回だけです。機能を初期設定時に追加することも、デバイスの追加後に [Update Device] ページ（「[デバイスの表示と更新](#)」(P.3-5) を参照）で機能を更新することもできます。

Provisioning へのデバイスの追加

さまざまなデバイスを Provisioning に追加するには、各デバイスの適切なタイプと機能を選択する必要があります。



(注)

プロビジョニングにコール プロセッサを作成する前に、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Business Edition、Cisco Unified Communications Manager Express、Cisco Unity、Cisco Unity Connection、Cisco Unity Express デバイスが正しく設定されているかを確認する必要があります。これらのデバイスの設定に関する詳細については、[Setting Up Devices for Prime Collaboration Provisioning](#) を参照してください。

デバイスを Provisioning に追加するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
- ステップ 2 [Device Configuration] ページで、[New Device] をクリックします。

ステップ 3 名前、IP アドレスなどの必要な情報を入力します。



(注) [Name] フィールドに使用できる文字は、スペース、英数文字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、ピリオド (.)、およびアットマーク (@) です。

ステップ 4 各デバイスのデバイス タイプと機能およびアプリケーションを選択するには、表 3-1 を参照してください。

ステップ 5 [Save] をクリックします。デバイスが作成されたことを示すメッセージが表示されます。

表 3-1 に、特定のコール プロセッサの場合に選択する、デバイス タイプおよび機能に関する情報を示します。

表 3-1 Provisioning へのデバイスの追加 - [Device Type] フィールドおよび [Capability] フィールド

追加	Device Type	Capability/Application	その他の情報
Cisco Unified Communications Manager	Media Server	Unified / CM	デバイスを設定するために [Configure Unified CM] というリンクが [Device Configuration] ページに表示されます（詳細については、「Cisco Unified Communications Manager コール プロセッサの設定」(P.3-8) を参照してください）。
Cisco Unified Communications Manager Business Edition	Media Server	Unified / CM	デバイスを設定するために [Device Configuration] ページに 2 つのリンク ([Configure Unified CM] と [Configure Unity Connection]) が表示されます（詳細については、「Cisco Unified Communications Manager コール プロセッサの設定」(P.3-8) および「Cisco Unity Connection ユニファイド メッセージ プロセッサの設定」(P.3-16) を参照してください）。
Cisco Unified Communications Manager Express	Cisco ルータ	Unified / CME	デバイスを設定するために [Configure Unified CME] というリンクが [Device Configuration] ページに表示されます（詳細については、「Cisco Unified Communications Manager Express コール プロセッサの設定」(P.3-8) を参照してください）。

表 3-1 Provisioning へのデバイスの追加 - [Device Type] フィールドおよび [Capability] フィールド (続き)

追加	Device Type	Capability/Appli cation	その他の情報
Cisco Unity	Media Server	Unity	デバイスを設定するために [Configure Unity] というリンクが [Device Configuration] ページに表示されます (詳細については、「 Cisco Unity ユニファイド メッセージ プロセッサの設定 」(P.3-15) を参照してください)
Cisco Unity Connection	Media Server	Unity Connection	デバイスを設定するために [Configure Unity Connection] というリンクが [Device Configuration] ページに表示されます (詳細については、「 Cisco Unity Connection ユニファイド メッセージ プロセッサの設定 」(P.3-16) を参照してください)。
Cisco Unity Express	Cisco ルータ	Unity Express	デバイスを設定するために [Configure Unity Express] というリンクが [Device Configuration] ページに表示されます (詳細については、「 Cisco Unity Express ユニファイド メッセージ プロセッサの設定 」(P.3-16) を参照してください)
Cisco Unity Presence	Media Server	Unified Presence	<p>デバイスを設定するために [Configure Unified Presence] というリンクが [Device Configuration] ページに表示されます (詳細については、「Cisco ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定」(P.3-20) を参照してください)</p> <p>(注) アップグレードが済むと、Presence 内の新しい製品はオーダー可能製品として表示されなくなります。新しい製品をユーザ タイプに関連付ける必要があります。このことは、すべての新しいオーダー可能製品に当てはまります。</p>
Cisco IOS ルータ	Cisco ルータ	汎用 IOS ルータ (注) [Generic IOS Router] フィールドについては、 表 3-2 を参照してください。	ルータの接続をテストするには、このページに表示された [Test Router Connection] リンクをクリックします (「 汎用 IOS ルータの削除 」(P.3-23) を参照してください)。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition デバイスの使用

Provisioning で Cisco Unified Communications Manager Express に基づいてコール プロセッサを作成する前に、次のことを行う必要があります。

- ディレクトリ番号の自動割り当てをディセーブルにします。この作業は、Cisco IOS インターフェイスから行います。
- Cisco Unified Communications Manager Express の Ephone 自動登録をディセーブルにします。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition を使って作業する場合は、次の点に注意してください。

- Cisco Unified Communication Management Business Edition デバイスの一部である Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection をプロビジョニングのスタンドアロンプロセッサとして追加する場合は、次のガイドラインに従ってください。
 - Cisco Unified Communications Manager Business Edition デバイスの一部である Cisco Unified Communications Manager は、他のスタンドアロンのユニファイドメッセージングプロセッサとペアにすることができます。ただし、同じ Cisco Unified Communications Management Business Edition デバイスの一部、または同じ Cisco Unified Communications Manager Business Edition デバイス内に共存する Cisco Unity Connection とペアにすることはできません。



(注) 共存する Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection をペアにするには、同じサーバに共存する Cisco Unity Connection と Cisco Unified Communications Manager を関連付け、サービスエリアを設定する必要があります。

- Communications Manager Business Edition の一部である Cisco Unity Connection を、同じ Cisco Unified Communications Manager Business Edition デバイスに存在しない他のコールプロセッサと組み合わせることはできません。
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition の一部の加入者製品には制限があります。
 - Cisco Unified Communications Manager Business Edition ユーザが 1 つのデバイスに所有できるボイスメールおよび電子メールは 1 つだけです。

プロビジョニングの疑似ユーザは、Cisco Unified Communications Manager Business Edition デバイスにボイスメールを所有できません。

Cisco Unity Connection デバイスの使用

Cisco Unity Connection クラスタリングおよびフェールオーバーのサポートのためには、次の点に注意してください。

- Cisco Unity Connection クラスタ サーバ ペアを含む Cisco Unity Connection を追加する場合は、ペアのパブリッシュ サーバだけを追加します。
- プライマリ Cisco Unity Connection がセカンダリ Cisco Unity Connection にフェールオーバーする場合、IP アドレスをセカンダリ デバイスに変更できます。その場合、プロビジョニングは、フェールバックが発生する前にセカンダリ デバイスと通信します。
- 設定で Cisco Unity を使用する場合は、Cisco Unified Communications Manager ボイスメール ポートを設定します。

ネットワークに複数のロケーションがある場合は、プロビジョニングに対して、Cisco Unity Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタのいずれかに、すべてのロケーションを個々に追加します。プロビジョニングでは、ローカル加入者およびパブリック同報リストだけが管理されます。リモート ロケーションは管理されません。

これらのデバイスの詳細については、『[Setting Up Devices for Prime Collaboration Provisioning](#)』を参照してください。

表 3-2 に、汎用 IOS ルータの追加に使用するフィールドを示します。

表 3-2 汎用 IOS ルータのフィールド

フィールド	説明
Name	Cisco IOS ルータの名前。使用できる文字は、スペース、英数文字（A～Z、a～z、0～9）、アンダースコア（_）、ハイフン（-）、ピリオド（.）、およびアットマーク（@）です。
IP Address	ルータの IP アドレス。
Device Type	アプリケーションがインストールされるハードウェアのタイプ。[Cisco Router] を選択します。
Username	ルータのユーザ名。
Password（およびその確認）	ルータのパスワード。
Device Protocol	デバイスへの接続に使用するプロトコル。
Enable Password（およびその確認）	ルータのイネーブル パスワード。
Capability/Application	デバイスの、またはデバイスにインストールされるアプリケーションの機能。

デバイスの表示と更新

デバイスを プロビジョニング に追加した後に、デバイスの情報を表示して変更を加えることができます。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
- ステップ 2** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで選択可能リストから必要なデバイスを選択します。
- ステップ 4** 情報を表示するには、[Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Update Device] ページで、必要に応じてフィールドを編集します。（フィールドの説明については、表 3-2、表 3-3、または表 3-6 を参照してください）。



(注) デバイスのデバイス タイプは変更できませんが、デバイスの機能は変更可能です。

- ステップ 6** 変更を加えたら、[Save] をクリックします。
- ステップ 7** デバイスの設定を変更する場合は、[Configure] をクリックします（デバイスの機能/アプリケーションが [Configure] の横に表示されます）。
- ステップ 8** 変更を加えて、[Save] をクリックします。

デバイスの削除

特定のデバイスを プロビジョニング から完全に削除するには、そのデバイスを [Device Configuration] ページで削除する必要があります。既存のプロセッサを プロビジョニング から削除しただけでは、機能しか削除されません。

-
- ステップ 1** Provisioning をメンテナンス モードにします。
 - ステップ 2** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
 - ステップ 3** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
 - ステップ 4** 検索ページで選択可能リストから必要なデバイスを選択します。
 - ステップ 5** [Options] ペインで、[Delete Device] をクリックします。



(注) [Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

- ステップ 6** 確認ダイアログボックスで、削除するには [OK] をクリックします。
デバイスの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。
-

プロセッサの設定

ここでは、コール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサの設定および同期の方法に関する情報を示します。

Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity システムのデータをコール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサと同期してから、ドメインと同期すると、既存のアクティブなユーザとサービスが プロビジョニング に読み込まれ、すべてのインフラストラクチャおよび加入者情報を一元的に表示できるようになります。

ドメインを同期した後は、プロビジョニング を使用して個々のユーザ アカウントを直接管理できます。基盤となる Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unity システムを使用する必要はありません。

作成したコール プロセッサまたはユニファイド メッセージ プロセッサを同期した後に、プロセッサのデバイス タイプを変更しないでください。たとえば、Cisco Unified Communications Manager 用のコール プロセッサを作成した場合は、コール プロセッサのタイプを Cisco Unified Communications Manager Express に変更しないでください。

アウトオブバンドで設定を行う（つまり、プロセッサに対して直接設定を行うけれども Provisioning との同期を行わない）場合は、オーダーが失敗することがあります。プロビジョニング をプロビジョニングを行うプロセッサと常に同期させる必要があります。

コール プロセッサの設定

デバイスを プロビジョニング に追加した後に、デバイスのセットアップを完了するには、プロビジョニング に対してそのデバイスを設定する必要があります。

表 3-3 に、コール プロセッサを設定するためのフィールドの説明を示します。



(注) [Configure a New Call Processor] ページにどのフィールドが表示されるかは、選択されたデバイス タイプとバージョンによって決まります。すべてのフィールドが表示されるわけではありません。

表 3-3 コール プロセッサのフィールド

フィールド	説明
Name	コール プロセッサの名前。使用できる文字は、スペース、英数文字 (A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9)、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、ピリオド (.), およびアットマーク (@) です。
Device Name	デバイスの名前。
Associated CUP Name	関連付けられた Cisco ユニファイド プレゼンス プロセッサの名前。
Type	デバイスのタイプ (Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express)。このフィールドは編集できません。
IP Address	Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。
Device Type	アプリケーションがインストールされているハードウェアのタイプ: [Media Server] または [Cisco Router]。
Version	Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のバージョン番号。
Device Protocol	デバイスとの通信に使用するプロトコル。
LDAP Directory Integration	<p>この値は、Cisco Unified Communications Manager で設定された値と正確に一致する必要があります。Cisco Unified Communications Manager が外部 Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) と統合されている場合、加入者はプロビジョニングによって作成されず、Cisco Unified Communications Manager を通じて同期されます。</p> <p>オーダーを発行するときに Cisco Unified Communications Manager で加入者が使用可能な状態にない場合、ワークフロー サブシステムは、事前に定義された時間 (デフォルトでは 24 時間)、その加入者が Cisco Unified Communications Manager で使用可能になるのを待ってから、オーダーの処理を継続します。</p> <p>この 24 時間の待機時間は、プロビジョニングの ipt.properties ファイルで設定できます。次の設定を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> dfc.oem.extdir.retries : 24 dfc.oem.extdir.retry_interval : 3600 <p>(注) [LDAP Directory Integration] を設定できるのは、Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.0 以降の場合だけです。</p>
User Name	選択したプロトコルに基づくユーザ名。
Password (およびその確認)	Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のユーザ名のパスワード。
Enable Password (およびその確認)	Cisco Unified Communications Manager Express で設定されたイネーブルパスワード。
Capability/Application	デバイスの、またはデバイスにインストールされるアプリケーションの機能。

表 3-3 コール プロセッサのフィールド（続き）

フィールド	説明
Extension Mobility Details（任意）	
Service Name	コール プロセッサに設定された Extension Mobility サービスの名前。
Service URL	コール プロセッサに設定された Extension Mobility サービスの URL。 http:// <i>IPAddress</i> /emapp/EMAppServlet?device=#DEVICENAME# <i>IPAddress</i> は、Extension Mobility がインストールされているサーバの名前または IP アドレスです。

Cisco Unified Communications Manager コール プロセッサの設定

ここでは、Cisco Unified Communications Manager をベースとするコール プロセッサを設定する手順を説明します。デバイスが設定されると、そのデバイスはコール プロセッサとして プロビジョニングに表示されます。

-
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
 - ステップ 2** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
 - ステップ 3** 検索ページで、必要な Cisco Unified Communications Manager デバイスをクリックします。
 - ステップ 4** [View Device] ページで、[Update] をクリックします。
 - ステップ 5** 表示される [Update Device] ページで、[Configure Unified CM] をクリックします。
 - ステップ 6** コール プロセッサの必須フィールドの情報を入力します（フィールドの説明については、表 3-3 を参照してください）。
 - ステップ 7** [Save] をクリックします。
-

Cisco Unified Communications Manager Express コール プロセッサの設定

ここでは、Cisco Unified Communications Manager Express をベースとするコール プロセッサを設定する手順を説明します。デバイスが設定されると、そのデバイスはコール プロセッサとして プロビジョニングに表示されます。

-
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices] を選択します。
 - ステップ 2** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
 - ステップ 3** 検索ページの使用可能なプロセッサのリストで、目的の Cisco Unified Communications Manager Express デバイスをクリックします。
 - ステップ 4** [View Device] ページで、[Update] をクリックします。
 - ステップ 5** 表示される [Update Device] ページで、[Configure Unified CME] をクリックします。
 - ステップ 6** Cisco Unified Communications Manager Express デバイスのバージョンを入力し、[Save] をクリックします。
-

コール プロセッサの情報の変更

コール プロセッサを作成して設定した後で、その情報を表示して設定に変更を加えることができます。



(注)

作成したコール プロセッサを同期した後、プロセッサのデバイス タイプを変更しないでください。たとえば、Cisco Unified Communications Manager 用のコール プロセッサを作成した場合は、コール プロセッサのタイプを Cisco Unified Communications Manager Express に変更しないでください。

-
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Device Setup] > [Call Processors] を選択します。
 - ステップ 2** [Call Processor Configuration] ページで、[View Call Processor] をクリックします。
 - ステップ 3** 検索ページで、必要なコール プロセッサを選択します。
 - ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
 - ステップ 5** 表示される [Update Call Processor] ページで、必要に応じてフィールドを編集し、[Save] をクリックします（フィールドの説明については、表 3-3 を参照してください）。
-

コール プロセッサの同期化

コール プロセッサを同期するには、インフラストラクチャと加入者を同期します。インフラストラクチャ データとは、プロビジョニング で加入者サービスを設定するためにコール プロセッサに存在している必要がある設定のことです。

インフラストラクチャの同期化を実行すると、インフラストラクチャ データがコール プロセッサのインフラストラクチャ データと同期します。インフラストラクチャの同期化では、複数の加入者にわたって使用されるコール プロセッサ情報が取得されます。



(注)

インフラストラクチャおよび加入者の同期化プロセスは、一方向のプロセスです。プロビジョニングはデバイスからデータを取得するだけで、デバイスにデータを送ることはありません。プロビジョニングが情報を取得するオブジェクトのリストについては、「同期される Cisco Unified Communications Manager オブジェクト」(P.3-11) を参照してください。

同期化は任意の順序で別々に実行できます。ただし、データの整合性を維持するため、次の順序で連続して同期化を実行することを推奨します。

1. インフラストラクチャの同期化
2. 加入者の同期化



(注)

プロビジョニングを新規インストールした後は、その他のタスクを実行する前にインフラストラクチャと加入者を同期化します。同期化は一度に複数実行しないでください（プロセッサの同期化またはドメインの同期化）。すべての同期化を連続して実行してください。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] > [Call Processors] を選択します。
- ステップ 2** [Call Processor Configuration] ページで、[View Call Processor] をクリックします。
- ステップ 3** 表示される検索ページで、使用可能なコールプロセッサのリストから必要なコールプロセッサを選択します。



(注) コールプロセッサがすでに同期されている場合は、[Synchronization] セクションに詳細が表示されます。

- ステップ 4** [Options] ペインで、[Synchronize] をクリックします。
- ステップ 5** インフラストラクチャまたは加入者の同期化を実行できます。実行する同期化の下に [Start] をクリックします。
- 同期化が完了したら、[Synchronization] セクションに同期化情報が表示されます。
- ステップ 6** [Done] をクリックします。

コールプロセッサの同期化が完了したら、ログが作成されます。このログには、割り当てできなかったオブジェクトのリストが含まれます。また、コールプロセッサから不明な要素が取得された場合は、警告メッセージが表示されます。このログは、コールプロセッサの同期化を実行するたびに上書きされます。



(注)

警告メッセージの「Skipped unexpected element」は無視してかまいません。このメッセージは、Cisco Unified Communications Manager から送信された項目がプロビジョニングでサポートされていないことを示します。

- ステップ 7** 右側ペインで、[View Detailed Synchronization Log] をクリックします。
- [View Detailed Synchronization Log] リンクは、同期化中に警告またはエラーが発生した場合だけ表示されます。警告またはエラーが発生しなかった場合、このリンクは表示されません。
- インフラストラクチャまたは加入者の同期化のステータスが長時間変わらない場合は、Nice サービスが動作していることを確認してください。Nice サービスが停止している場合は、サービスを再起動して、インフラストラクチャまたは加入者の同期化をやり直してください。
- アナログ電話機を管理する場合には、ipt.properties ファイルを更新する必要があります。このファイルで、dfc.ipt.cisco.callmanager.analog_phone_support を Y に更新してから、加入者の同期を実行します。Provisioning を再起動してください。

同期される Cisco Unified Communications Manager オブジェクト

表 3-4 と表 3-5 に、プロビジョニング でインフラストラクチャおよび加入者の同期化を実行したときに同期される Cisco Unified Communications Manager オブジェクトを示します。

表 3-4 インフラストラクチャの同期化によって同期される Cisco Unified Communications Manager オブジェクト

<ul style="list-style-type: none"> • AAR Group • Call Park • Calling Search Space • Unified CM Group • Call Pickup Group • Common Device Config • Conference Bridge • Date Time Setting • Device Pool • Device Profile • Dial Plan • Dial Plan Tag • Digit Discard Instruction • Enable Password Router • Gatekeeper • Geo Location • Geo Location Filter • Hunt Group • Hunt List • Hunt Pilot • H323 Gateway • H323 Trunk • Line Group • Location • Media Resource Group • Media Resource List 	<ul style="list-style-type: none"> • Meet-Me Number/Pattern • Message Waiting • MOH Audio Source • Phone Profile • Phone Template • Presence Group • Region • Remote Destination Profile • Resource Priority Namespace List • Route Filter • Route Group • Route List • Route Partition • Route Pattern • SIP Trunk • SIP Profile • Softkey Template • SRST • Translation Pattern • UC Service Profile • VG202 • VG204 • VG224 • VGVoicemail Pilot • Voicemail Port • Voicemail Profile
--	---

表 3-5 加入者の同期化によって同期される Cisco Unified Communications Manager オブジェクト

<ul style="list-style-type: none"> • Calling Search Space • Device Pool • Directory Number • IP Phone • License Capabilities 	<ul style="list-style-type: none"> • Line • Location • Phone • Remote Destination Profile • Remote Destination Profile Line • User
---	--

同期化のトラブルシューティング

コール プロセッサの同期で問題が発生した場合に、同期をトラブルシューティングできます。

[Call Processor Configuration] ページに、Cisco Unified Communications Manager デバイスと同期できなかった項目が示されます。たとえば、このページに次のメッセージが表示される場合があります。

```
Completed. But the following objects could not be synchronized: [SecurityProfile,
DialPlanTag, SIPTrunk, PhoneTemplate, DigitDiscardInstruction]
```

不完全な同期化が起こる原因としては、次のことが考えられます。

- ネットワークの問題により、項目が適切に同期できなかった。これが原因かどうかを確認するには、`nice.log` ファイルを分析します。このファイルに次の情報が表示されている場合は、ネットワークの問題が原因である可能性があります。

```
java.security.PrivilegedActionException:com.sun.xml.messaging.saaj.SOAPEExceptionImpl:Message send failed.
```

- 項目の設定に問題がある。この場合は、`nice.log` ファイルをコピーして、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡してください。

同期化のスケジュール

Provisioning には、プロセッサとドメインの定期的な同期のスケジュールリングに使用できる、コマンドライン スクリプト ユーティリティが用意されています。同期スクリプトを使用することにより、複数の時間帯に異なる間隔で同期操作のサブセットを定期的にスケジュールすることができます。`/opt/cupm/sep/build/bin/` フォルダにある `sync.sh` ファイルを使用する必要があります。

コール プロセッサの削除

コール プロセッサを削除するには、次の条件が満たされている必要があります。

- アクティブなリリース済みオーダーがない（回復不能または回復可能なエラーを含む）
- アクティブなバッチ プロジェクトがない
- 同期化の実行中でない
- 関連付けられたユニファイド プレゼンス プロセッサがない

これらの条件が満たされていない場合、コール プロセッサを削除しようとする、削除操作は開始されないというメッセージがページに表示されます。削除オプションを使用可能にするには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

コール プロセッサの削除の実行中は、削除が完了するまでアクティビティは実行されません。



(注) 特定のデバイスを プロビジョニング から完全に削除するには、そのデバイスを [Device Configuration] ページで削除する必要があります。既存のコール プロセッサを プロビジョニング から削除しただけでは、機能しか削除されません（「[デバイスの削除](#)」(P.3-6) を参照）。

- ステップ 1** Provisioning をメンテナンス モードにします（「[メンテナンス モード](#)」(P.2-8) を参照）。
- ステップ 2** [Design] > [Set Up Devices] > [Call Processor] を選択します。
- ステップ 3** [Call Processor Configuration] ページで、[View Call Processor] をクリックします。
- ステップ 4** 検索ページで、必要なコール プロセッサを選択します。
- ステップ 5** [Options] ペインで、[Delete Call Processor] をクリックします。



(注) [Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

- ステップ 6** 表示される確認ダイアログボックスで、削除するには [OK] をクリックします。コール プロセッサの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。

Cisco Unified Communications Managers のスロットリングの値の設定

プロビジョニング のスロットリングの設定値は、Cisco Unified Communications Manager の設定値以下である必要があります。Cisco Unified Communications Manager のスロットリングの設定値を変更した場合、プロビジョニング の同じ設定も変更する必要があります。

プロビジョニング のスロットリングの設定は、ipt.properties ファイルに設定されています（ファイルは、/opt/cupm/sep フォルダにあります）。



(注) インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール ディレクトリは、/opt/cupm です。

次のプロパティ（ipt.properties ファイル内）は、Cisco Unified Communications Manager に送信された書き込み要求の制御に使用されます。

- dfc.ipt.axl.soap.MaxAXLWritesPerMinute: 20

このプロパティは、1 分当たりの書き込み要求のデフォルト数を指定します。この値は、バージョンやデバイス固有の値が指定されていない場合に使用されます。

- dfc.ipt.axl.soap.MaxAXLWritesPerMinute.ccm501: 50

このプロパティは、Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.0 (1) に対する 1 分当たりの書き込み要求の数を指定します。この値は、デバイス固有の値が指定されていない場合に使用されます。

- dfc.ipt.axl.soap.MaxAXLWritesPerMinute.<IP address>: 20

このプロパティは、IP アドレスで指定された特定の Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.0 (1) に対する 1 分当たりの書き込み要求の数を指定します。

たとえば dfc.ipt.axl.soap.MaxAXLWritesPerMinute.1.2.3.4: 20 は、IP アドレスが 1.2.3.4 の Cisco Unified Communications Manager の値を 20 に設定します。

ユニファイドメッセージプロセッサの設定

デバイスをプロビジョニングに追加した後に、デバイスのセットアップを完了するには、プロビジョニングに対してそのデバイスを設定する必要があります。

表 3-6 に、ユニファイドメッセージプロセッサを設定するためのフィールドの説明を示します。



(注)

[Configure a New Unified Message Processor] ページにどのフィールドが表示されるかは、選択されたデバイス タイプとバージョンによって決まります。すべてのフィールドが表示されるわけではありません。

表 3-6 ユニファイドメッセージプロセッサのフィールド

フィールド	説明
Name	ユニファイドメッセージプロセッサの名前。使用できる文字は、スペース、英数文字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、ピリオド (.)、およびアットマーク (@) です。
Type	Cisco Unity デバイスのタイプ (Cisco Unity、Cisco Unity Connection、Cisco Unity Express のいずれか)。
IP Address	Cisco Unity、Cisco Unity Connection、または (Cisco Unity Express がインストールされている) IOS ルータの IP アドレス。
Device Type	アプリケーションがインストールされるハードウェアのタイプ。[Media Server] または [Cisco Router] です。
Version	デバイスのバージョン。
LDAP Directory Integration	Cisco Unity Connection が外部 LDAP と統合されるかどうかを指定します。
(注) このオプションは、Cisco Unity Connection だけで使用できます。	<p>ボイスメール アカウントをプロビジョニングしているときに [Yes] を選択した場合は、Provisioning によって、Cisco Unity Connection の LDAP ユーザ リストが検索されます。ユーザ名がリスト内に見つかった場合、ユーザの詳細がインポートされ、ボイスメール アカウントがプロビジョニングされます。</p> <p>[No] を選択した場合、Provisioning は LDAP ユーザ リストを検索せず、ボイスメール アカウントをプロビジョニングするための通常のプロセスに従います。</p>
Username	<p>このフィールドは大文字と小文字が区別されます。このフィールドに指定するユーザ名は、次のものと一致する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unity : データベース パスワード Cisco Unity Connection : Cisco Unity Connection 管理者権限を持っている任意のユーザ。 Cisco Unity Express : Cisco Unity Express がインストールされているルータのユーザ名。

表 3-6 ユニファイド メッセージ プロセッサのフィールド (続き)

フィールド	説明
Password (およびその確認)	このフィールドは大文字と小文字が区別されます。このフィールドに指定するパスワードは、次のものと一致する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity : データベース パスワード • Cisco Unity Connection : 管理者パスワード。 • Cisco Unity Express : Cisco Unity Express がインストールされているルータのパスワード。
Create by Import	Cisco Unity に新しいボイスメール アカウントが作成されたときに Exchange サーバに新しいアカウントを作成するかどうかを示します。 このフィールドを選択した場合、Exchange サーバにユーザ アカウントは作成されません。ユーザ アカウントは、Exchange サーバにすでに存在する場合だけ関連付けられます。
Port	Cisco Unity データベースへの接続に使用するポート。
Protocol	デバイスへの接続に使用するプロトコル。
Enable Password (およびその確認)	Cisco Unity Express がインストールされているルータのイネーブル パスワード。
Capability/Application	デバイスの、またはデバイスにインストールされるアプリケーションの機能。
(任意) CUE Line User Name	Cisco Unity Express モジュールのユーザ名。
(任意) CUE Line Password (およびその確認)	Cisco Unity Express モジュールのパスワード。
Service Engine Interface Number	ルータ上の Cisco Unity Express サービス エンジンのインターフェイス番号。

Cisco Unity ユニファイド メッセージ プロセッサの設定

ここでは、Cisco Unity をベースとするユニファイド メッセージ プロセッサの設定の手順を説明します。デバイスが設定されると、そのデバイスはユニファイド メッセージ プロセッサとして プロビジョニング に表示されます。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
- ステップ 2** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、目的の Cisco Unity デバイスをクリックします。
- ステップ 4** [View Device] ページで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** 表示される [Update Device] ページで、[Configure Unity] リンクをクリックします。
- ステップ 6** 表示されたフィールドに必要な情報を入力します (フィールドの説明については、表 3-6 を参照してください)。
- ステップ 7** [Save] をクリックします。

Cisco Unity Connection ユニファイド メッセージ プロセッサの設定

ここでは、Cisco Unity Connection をベースとするユニファイド メッセージ プロセッサの設定の手順を説明します。デバイスが設定されると、そのデバイスはユニファイド メッセージ プロセッサとしてプロビジョニング に表示されます。

-
- | | |
|---------------|--|
| ステップ 1 | [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。 |
| ステップ 2 | [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。 |
| ステップ 3 | 検索ページで、目的の Cisco Unity Connection デバイスをクリックします。 |
| ステップ 4 | [View Device] ページで、[Update] をクリックします。 |
| ステップ 5 | [Update Device] ページで、[Configure Unity Connection] リンクをクリックします。 |
| ステップ 6 | 必要なフィールドの情報を入力します（フィールドの説明については、表 3-6 を参照してください）。 |
| ステップ 7 | [Save] をクリックします。 |
-

Cisco Unity Express ユニファイド メッセージ プロセッサの設定

ここでは、Cisco Unity Express をベースとするユニファイド メッセージ プロセッサの設定の手順を説明します。デバイスが設定されると、そのデバイスはユニファイド メッセージ プロセッサとしてプロビジョニング に表示されます。

-
- | | |
|---------------|--|
| ステップ 1 | [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。 |
| ステップ 2 | [View Device] をクリックします。 |
| ステップ 3 | 検索ページで、目的の Cisco Unity Express デバイスをクリックします。 |
| ステップ 4 | [View Device] ページで、[Update] をクリックします。 |
| ステップ 5 | [Update Device] ページで、[Configure Unity Express] リンクをクリックします。 |
| ステップ 6 | [Configure a New Unified Message Processor] ページで、必要なフィールドの情報を入力します（フィールドの説明については、表 3-6 を参照してください）。 |
| ステップ 7 | [Save] をクリックします。 |
-

ユニファイド メッセージ プロセッサの情報の変更

ユニファイド メッセージ プロセッサが作成されて設定された後で、その情報を表示して設定に変更を加えることができます。



(注)

作成したユニファイド メッセージ プロセッサを同期した後に、ユニファイド メッセージ プロセッサのデバイス タイプを変更しないでください。たとえば、Cisco Unity 用のユニファイド メッセージ プロセッサを作成した場合は、ユニファイド メッセージ プロセッサのタイプを Cisco Unity Connection に変更しないでください。

-
- | | |
|---------------|---|
| ステップ 1 | [Design] > [Set Up Devices] > [Unified Message Processor] を選択します。 |
|---------------|---|

- ステップ 2** [Configure a Unified Message Processor] ページで、[View Unified Message Processors] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なユニファイド メッセージ プロセッサを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Update Unified Message Processor] ページで、必要に応じてフィールドを編集します。（フィールドの説明については、表 3-6 を参照してください。）
- ステップ 6** [Save] をクリックします。

ユニファイド メッセージ プロセッサの同期化

ユニファイド メッセージ プロセッサを同期するには、インフラストラクチャと加入者を同期します。インフラストラクチャ データとは、プロビジョニング で加入者サービスを設定するためにユニファイド メッセージ プロセッサに存在している必要がある設定のことです。

インフラストラクチャの同期化を実行すると、プロビジョニング のユニファイド メッセージング インフラストラクチャ データがユニファイド メッセージ プロセッサと同期します。



(注)

インフラストラクチャおよび加入者の同期化プロセスは、一方向のプロセスです。プロビジョニング はデバイスからデータを取得するだけで、デバイスにデータを送ることはありません。

インフラストラクチャ データは次のもので構成されます。

- **SubscriberTemplate** : Cisco Unity、Cisco Unity Connection、および電子メール メッセージ プロセッサの加入者テンプレート。
- **UnifiedMessagingFeatureSpecification** : Cisco Unity、Cisco Unity Connection、および電子メール メッセージ プロセッサのサービス クラス。

加入者の同期化を実行すると、プロビジョニング のユニファイド メッセージング加入者データがユニファイド メッセージ プロセッサと同期します。

加入者データは次のもので構成されます。

- **UMInfo** : 加入者のボイスメールおよび電子メール情報に関連する、Cisco Unity、Cisco Unity Connection、および Cisco Unity Express の加入者。
- **VoiceMailInfo** : UMInfo および EmailInfo に関連する、Cisco Unity、Cisco Unity Connection、および Cisco Unity Express の加入者。
- **EmailInfo** : VoiceMailInfo および UMInfo に関連する、Cisco Unity および Cisco Unity Connection の加入者。

データの整合性を維持するため、次の順序で連続して同期化を実行することを推奨します。

1. インフラストラクチャの同期化
2. 加入者の同期化



(注)

新しく プロビジョニング をインストールしたら、まずインフラストラクチャの同期化を実行する必要があります。同期化は一度に複数実行しないでください（プロセッサの同期化またはドメインの同期化）。すべての同期化を連続して実行してください。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Unified Message Processor] を選択します。
- ステップ 2** [Unified Message Processor Configuration] ページで、[View Unified Message Processor] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なユニファイド メッセージ プロセッサを選択します。
- [View Unified Message Processor] ページが表示されます。ユニファイド メッセージ プロセッサがすでに同期されている場合は、[Synchronization] セクションに詳細が表示されます。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Synchronize] をクリックします。
- ステップ 5** インフラストラクチャまたは加入者の同期化を実行できます。
- ステップ 6** 実行する同期化の下の [Start] をクリックします。
- 同期化が完了したら、[Synchronization] セクションに同期化情報が表示されます。



(注) Cisco Unity Express の同期化中にデバイス接続エラーが発生した場合は、Cisco Unity Express システム上の Telnet セッションをすべて閉じてから、同期化をやり直してください。Cisco Unity Express で同時に許可される Telnet セッションは 1 つだけです。プロビジョニング では、Cisco Unity Express デバイスで別の Telnet セッションが開いている場合、その Cisco Unity Express との同期化はできません。

- ステップ 7** [Done] をクリックします。
- ユニファイド メッセージ プロセッサの同期化が完了したら、割り当てできなかったオブジェクトをリストするログが作成されます。また、ユニファイド メッセージ プロセッサから不明な要素が取得された場合は、警告メッセージが表示されます。このログは、ユニファイド メッセージ プロセッサの同期化を実行するたびに上書きされます。
- ステップ 8** 右側ペインで、[View Detailed Synchronization Log] をクリックします。
- ログが表示されます。[View Detailed Synchronization Log] リンクは、同期化中に警告またはエラーが発生した場合だけ表示されます。警告またはエラーが発生しなかった場合、このリンクは表示されません。



(注) 警告メッセージの「Skipped unexpected element」は無視してかまいません。このメッセージは、Cisco Unified Communications Manager から送信された項目が プロビジョニング でサポートされていないことを示します。

ユニファイド メッセージ プロセッサの削除

ユニファイド メッセージ プロセッサを削除するには、次の条件が満たされている必要があります。

- アクティブなリリース済みオーダーがない（回復不能または回復可能なエラーを含む）
- アクティブなバッチ プロジェクトがない
- 同期化の実行中でない

これらの条件が満たされていない場合、ユニファイド メッセージ プロセッサを削除しようとする、削除操作は開始されないというメッセージがページに表示されます。削除オプションを使用可能にするには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

ユニファイド メッセージ プロセッサの削除の実行中は、削除が完了するまでアクティビティは実行されません。



(注)

特定のデバイスを プロビジョニング から完全に削除するには、そのデバイスを [Device Configuration] ページで削除する必要があります。既存のユニファイド メッセージ プロセッサを プロビジョニング から削除しただけでは、機能しか削除されません（「[デバイスの削除](#)」(P.3-6) を参照）。

-
- ステップ 1** Provisioning をメンテナンス モードにします（「[メンテナンス モード](#)」(P.2-8) を参照）。
- ステップ 2** [Design] > [Set Up Devices] > [Unified Message Processor] を選択します。
- ステップ 3** [Unified Message Processor Configuration] ページで、[View Unified Message Processor] をクリックします。
- ステップ 4** 検索ページで、必要なユニファイド メッセージ プロセッサを選択します。
- ステップ 5** [Options] ペインで、[Delete Unified Message Processor] をクリックします。



(注)

[Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

-
- ステップ 6** 確認ボックスで、ユニファイド メッセージ プロセッサを削除するには [OK] をクリックします。
- ユニファイド メッセージ プロセッサの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。
-

ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定

表 3-7 に、ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定に使用するフィールドを示します。



(注)

[Configure a New Presence Processor] ページにどのフィールドが表示されるかは、選択されたデバイス タイプとバージョンによって決まります。すべてのフィールドが表示されるわけではありません。

Cisco ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定

表 3-7 ユニファイド プレゼンス プロセッサのフィールド

フィールド	説明
Name	ユニファイド プレゼンス プロセッサの名前。使用できる文字は、スペース、英数文字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、ピリオド (.)、およびアットマーク (@) です。
Device Name	関連付けられたデバイスの名前。
Associated CUCM Name	関連付けられた Cisco Unified Communications Manager の名前。
IP Address	Cisco ユニファイド プレゼンス プロセッサの IP アドレス。
Type	デバイスのタイプ。このフィールドは編集できません。
Version	ユニファイド プレゼンス プロセッサのバージョン番号。
Device Protocol	デバイスとの通信に使用するプロトコル。
User Name	選択したプロトコルに基づくユーザ名。
Password (およびその確認)	Cisco Unified Presence のユーザ名に対するパスワード。

ここでは、Cisco Unified Presence をベースとするユニファイド プレゼンス プロセッサの設定の手順を説明します。デバイスが設定されると、そのデバイスはユニファイド プレゼンス プロセッサとしてプロビジョニングに表示されます。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
- ステップ 2** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要な Cisco Unified Presence デバイスをクリックします。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Update Device] ページで、[Configure Unified Presence] をクリックします。
- ステップ 6** ユニファイド プレゼンス プロセッサの必須フィールドの情報を入力します (フィールドの説明については、表 3-7 を参照してください)
- ステップ 7** [Save] をクリックします。

ユニファイド プレゼンス プロセッサの情報の変更

ユニファイド プレゼンス プロセッサが作成されて設定された後で、その情報を表示して設定に変更を加えることができます。



(注)

作成したユニファイド プレゼンス プロセッサを同期した後に、プロセッサのデバイス タイプを変更しないでください。

-
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Unified Presence Processor] を選択します。
- ステップ 2** [Presence Processor Configuration] ページで、[View Presence Processor] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なユニファイド プレゼンス プロセッサを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
が表示されます。
- ステップ 5** [Update Presence Processor] ページで、必要に応じてフィールドを編集します。(フィールドの説明については、表 3-3 を参照してください)。
- ステップ 6** [Save] をクリックします。
-

ユニファイド プレゼンス プロセッサの同期化

インフラストラクチャの同期化を使用すると、プロビジョニング のユーザ設定インフラストラクチャ データがユニファイド プレゼンス プロセッサと同期します。



(注)

同期化を実行する前に、ユニファイド プレゼンス プロセッサと統合された Cisco Unified Communications Manager を Provisioning に追加します。

インフラストラクチャの同期化プロセスは、一方向のプロセスです。プロビジョニング はデバイスからデータを取得するだけで、デバイスにデータを送ることはありません。

同期化は一度に複数実行しないでください (プロセッサの同期化またはドメインの同期化)。

インフラストラクチャの同期化を実行するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Unified Presence Processor] を選択します。
- ステップ 2** [Presence Processor Configuration] ページで、[View Presence Processor] をクリックします。
- ステップ 3** 必要なユニファイド プレゼンス プロセッサを選択します。
[View Presence Processor] ページが表示されます。ユニファイド プレゼンス プロセッサがすでに同期されている場合は、[Synchronization] セクションに詳細が表示されます。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Synchronize] をクリックします。
- ステップ 5** [Start] をクリックして、インフラストラクチャの同期化を実行します。



(注)

Cisco Unified Presence 9.0 以降では、加入者の同期化はディセーブルされます。

ステップ 6 [Done] をクリックします。

プレゼンス プロセッサの同期化が完了したら、ログが作成されます。このログには、割り当てできなかったオブジェクトが一覧表示されます。

ユニファイド プレゼンス プロセッサの同期化が完了したら、割り当てできなかったオブジェクトをリストするログが作成されます。また、ユニファイド プレゼンス プロセッサから不明な要素が取得された場合は、警告メッセージが表示されます。このログは、ユニファイド プレゼンス プロセッサの同期化を実行するたびに上書きされます。

ステップ 7 右側ペインで、[View Detailed Synchronization Log] をクリックします。

ログが表示されます。[View Detailed Synchronization Log] リンクは、同期化中に警告またはエラーが発生した場合だけ表示されます。警告またはエラーが発生しなかった場合、このリンクは表示されません。

**(注)**

警告メッセージの「Skipped unexpected element」は無視してかまいません。このメッセージは、Cisco Unified Communications Manager から送信された項目が プロビジョニング でサポートされていないことを示します。

ユニファイド プレゼンス プロセッサの削除

ユニファイド プレゼンス プロセッサを削除するには、次の条件が満たされている必要があります。

- アクティブなリリース済みオーダーがない（回復不能または回復可能なエラーを含む）
- アクティブなバッチ プロジェクトがない
- 同期化の実行中でない

これらの条件が満たされていない場合、ユニファイド プレゼンス プロセッサを削除しようとする、削除操作は開始されないというメッセージがページに表示されます。削除オプションを使用可能にするには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

ユニファイド プレゼンス プロセッサの削除の実行中は、削除が完了するまでアクティビティは実行されません。

**(注)**

特定のデバイスを プロビジョニング から完全に削除するには、そのデバイスを [Device Configuration] ページで削除する必要があります。既存のユニファイド プレゼンス プロセッサをプロビジョニングから削除しただけでは、機能しか削除されません（「[デバイスの削除](#)」(P.3-6) を参照）。

ステップ 1 Provisioning をメンテナンス モードにします（「[メンテナンス モード](#)」(P.2-8) を参照）。**ステップ 2** [Design] > [Set Up Devices] > [Unified Presence Processor] を選択します。**ステップ 3** [Presence Processor Configuration] ページで、[View Presence Processor] をクリックします。**ステップ 4** 検索ページで、必要なユニファイド プレゼンス プロセッサを選択します。**ステップ 5** [Options] ペインで、[Delete Presence Processor] をクリックします。

(注) [Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

- ステップ 6** 確認ダイアログボックスで、削除するには [OK] をクリックします。ユニファイドプレゼンス プロセッサの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。

プロビジョニングでの Cisco IOS ルータの設定

プロビジョニングでは、Cisco IOS ルータがサポートされます。プロビジョニングでは、汎用 IOS ルータ機能を通して、ルータ上に追加の音声機能を設定することができます。



(注) プロビジョニングで汎用 IOS ルータをセットアップする方法は、コール プロセッサやユニファイド メッセージ プロセッサと比べて、いくつかの点で大きく異なります。最大の違いは、汎用 IOS ルータは同期化されないこと、および特定のドメインやサービス エリアには関連付けられないことです。

汎用 IOS ルータ情報の変更およびテスト

プロビジョニングでは、Cisco IOS ルータがサポートされます。プロビジョニングでは、汎用 IOS ルータ機能を通して、ルータ上に追加の音声機能を設定することができます。

汎用 IOS ルータを プロビジョニング に追加した後で（「表 3-2 に、汎用 IOS ルータの追加に使用する フィールドを示します。」（P.3-5）を参照）、情報の表示、変更、および接続のテストを実施できます。プロビジョニングによるルータ接続性のテストは、ルータが プロビジョニング に追加されたときに指定された IP アドレスとクレデンシャルに基づいて行われます。



(注) プロビジョニングで汎用 IOS ルータをセットアップする方法は、コール プロセッサやユニファイド メッセージ プロセッサと比べて、いくつかの点で大きく異なります。最大の違いは、汎用 IOS ルータは同期化されないこと、および特定のドメインやサービス エリアには関連付けられないことです。

汎用 IOS ルータを更新するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。
- ステップ 2** [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なデバイスを選択します。
- ステップ 4** 情報を表示するには、[Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Update Device] ページで、必要に応じてフィールドを編集します。（フィールドの説明については、表 3-2 を参照してください）。それから [Save] をクリックします。
- ステップ 6** ルータの接続をテストするには、[Test Router Connection] をクリックします。プロビジョニングによってルータの接続性がテストされます。テストに合格したかどうかを示すメッセージがページに表示されます。

汎用 IOS ルータの削除

汎用 IOS ルータを削除するには、そのルータに対する保留中オーダーが存在してはなりません。

汎用 IOS ルータ機能の削除は、メンテナンス モードでなくても実行できます。



(注)

汎用 IOS ルータ以外の機能がルータに対して設定済みの場合に、その機能を削除するには、メンテナンス モードにする必要があります（詳細については、「[コールプロセッサの削除](#)」(P.3-12) または「[ユニファイドメッセージプロセッサの削除](#)」(P.3-18) を参照してください）。

ここでは、汎用 IOS ルータ デバイスを プロビジョニング から削除する手順を説明します。

ステップ 1 [Design] > [Set Up Devices] > [Devices Setup] を選択します。

ステップ 2 [Device Configuration] ページで、[View Device] をクリックします。

ステップ 3 検索ページで、削除するデバイスを選択します。

ステップ 4 [Options] ペインで、[Delete Device] をクリックします。



(注)

[Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

ステップ 5 確認ボックスで、デバイスの削除を確認するには [OK] をクリックします。デバイスの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。

AAA サーバを使用するための プロビジョニング の設定

ユーザが プロビジョニング にログインしたときに AAA サーバを使用して認証するように、プロビジョニング を設定できます。プロビジョニング は認可またはアカウント情報を取得しません。また、AAA サーバに情報を書き込みません。



(注)

プロビジョニング で追加できるのは、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバまたは Access Control Server (ACS) サーバのいずれかです。

AAA サーバは、ドメインごとにイネーブル化されます。AAA サーバを追加したら、ドメインに割り当てます。そのドメイン内のすべてのユーザは、その AAA サーバに対して認証されます。AAA サーバをドメインに関連付けないと、そのドメインのすべてのユーザはローカルで認証されます。



(注)

管理者アカウント (globaladmin) は常にローカルで認証されます。

Cisco Secure Access Control Server を使用するように プロビジョニング を設定する場合は、次の点に注意してください。

- [Test Connection] ボタンをクリックすると、IP アドレスの接続だけがチェックされます。
- 共有秘密キーは、認証にのみ使用されます。
- 誤った共有秘密キーを入力した場合、プロビジョニング にログインしようすると、不正な秘密キーであることを示すエラーが表示されます。
- ACS サーバは、認証だけに使用されます。ACS では、プロビジョニング との同期はサポートされていません。

- Provisioning では、Access Control Server (ACS) 4.2 だけがサポートされます。

AAA サーバの追加

はじめる前に

ACS サーバを追加する場合、[ACS Admin] ページに移動して、[Network Configuration] タブで プロビジョニング サーバを AAA クライアント (TACACS 付き) として追加します。

表 3-8 に、AAA サーバの追加に使用するフィールドを示します。



(注)

[AAA Server Configuration] ページに表示されるフィールドは、[Server Type] フィールドで選択した AAA サーバによって異なります。すべてのフィールドが表示されるわけではありません。

表 3-8 [AAA Server Configuration] のフィールド

フィールド	説明
AAA Server Name	AAA サーバ名。
Server Type	AAA サーバのタイプ。ACS または LDAP のいずれか。
LDAP Server Type	LDAP サーバのタイプ。 (注) プロビジョニング でサポートしているのは、Microsoft AD 2000、2003、2008 だけです。
AAA Server IP Address	AAA サーバの IP アドレス。
Server Port	AAA サーバのポート番号。
Backup Server IP Address	バックアップ AAA サーバの IP アドレス。
Backup Server Port	バックアップ AAA サーバのポート番号。
Admin Distinguished Name	LDAP ディレクトリへのアクセス権を所有する LDAP マネージャの管理ユーザ ID。
Admin Password	管理ユーザのパスワード (LDAP マネージャ)。
Confirm Admin Password	確認のために管理ユーザのパスワードを再入力します。
LDAP User Search Base	ユーザの検索ベース。プロビジョニングはこのベース (CN=Users、DC=Cisco、DC=com) を元にユーザを検索します。
Use SSL	プロビジョニングで、プロビジョニングと AAA サーバとの転送チャンネルに Secure Socket Layer (SSL) 暗号を使用する場合にオンにするチェックボックス。
ACS Authentication Protocol	ACS サーバによって認証に使用されるプロトコル。
Enable Data Encryption	プロビジョニングと ACS サーバの間のデータの暗号化をイネーブル化します。

ステップ 1 [Design] > [Set Up Devices] > [AAA Servers] を選択します。

■ AAA サーバを使用するための プロビジョニング の設定

- ステップ 2** [AAA Server Configuration] ページで、AAA サーバで [New AAA Server] をクリックします。
- ステップ 3** AAA サーバに関する必要な情報を入力します（フィールドの詳細については、表 3-8 を参照してください）。
- ステップ 4** [Save] をクリックします。

AAA サーバの SSL サポートのイネーブル化



(注) SSL がサポートされるのは LDAP サーバだけです。

AAA サーバの SSL をイネーブルにするには、LDAP サーバの SSL 認証を プロビジョニング にインポートする必要があります。プロビジョニング には、SSL 認証をインポートするコマンドライン スクリプトが用意されています。

- ステップ 1** SSH を使用してサーバにログインします。
- ステップ 2** /opt/cupm/sep/build/bin ディレクトリに移動します。



(注) インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール ディレクトリは、/opt/cupm です。

- ステップ 3** コマンド プロンプトで、次のコマンドを実行します。
- ```
./ImportSSLCertificate.sh <operation> <alias> [path]
```

フィールドの説明は次のとおりです。

- operation : コマンドが実行する処理。import または delete のいずれかを入力できます。
- alias : 認証が プロビジョニング のキー ストアに保存されるときにの文字列。
- path : 認証の保存先となるパス（たとえば、/opt/cupm/servercert.cer）。これが必要なのは、認証をインポートする場合だけです。

- ステップ 4** プロビジョニング を再起動します。
- ステップ 5** [AAA Server Configuration] ページに移動し、[Use SSL] チェックボックスをオンにします。



(注) プロビジョニング の SSL 認証を削除するには、同ジスクリプトを実行して、該当する処理の delete を入力します。

## AAA サーバ情報の変更

AAA サーバを追加したら、その情報をアップデートできます。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [AAA Servers] を選択します。
- ステップ 2** [AAA Server Configuration] ページで、AAA サーバで [View AAA Server] をクリックします。

- ステップ 3** 必要な AAA サーバを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Update a AAA Server] ページで、必要に応じてフィールドを編集します。(フィールドの説明については、「[AAA サーバの追加](#)」(P.3-25) を参照してください)。
- ステップ 6** [Save] をクリックします。

## AAA サーバの削除

AAA サーバを削除する前に、ドメインに割り当てられていないことを確認します。

- ステップ 1** Provisioning をメンテナンス モードにします(「[メンテナンス モード](#)」(P.2-8) を参照)。
- ステップ 2** [Design] > [Set Up Devices] > [AAA Servers] を選択します。
- ステップ 3** [AAA Server Configuration] ページで、AAA サーバで [View AAA Server] をクリックします。
- ステップ 4** 必要な AAA サーバを選択します。
- ステップ 5** [Options] ペインで、[Delete AAA Server] をクリックします。



(注) [Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

- ステップ 6** 確認ダイアログボックスで、削除するには [OK] をクリックします。AAA サーバの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。

## AAA サーバへの接続のテスト

AAA サーバを プロビジョニング に追加したら、サーバへの接続をいつでもテストできます。



(注) AAA サーバを追加すると、メインとバックアップの両方の AAA サーバへの接続テストが自動的に実行されます。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Devices] > [AAA Servers] を選択します。
- ステップ 2** [AAA Server Configuration] ページで、AAA サーバで [View AAA Server] をクリックします。
- ステップ 3** 必要な AAA サーバを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Test Connection] をクリックします。テストが正常に終了したかどうかを示すメッセージが表示されます。





# CHAPTER 4

## 管理ドメインおよびサービス エリア

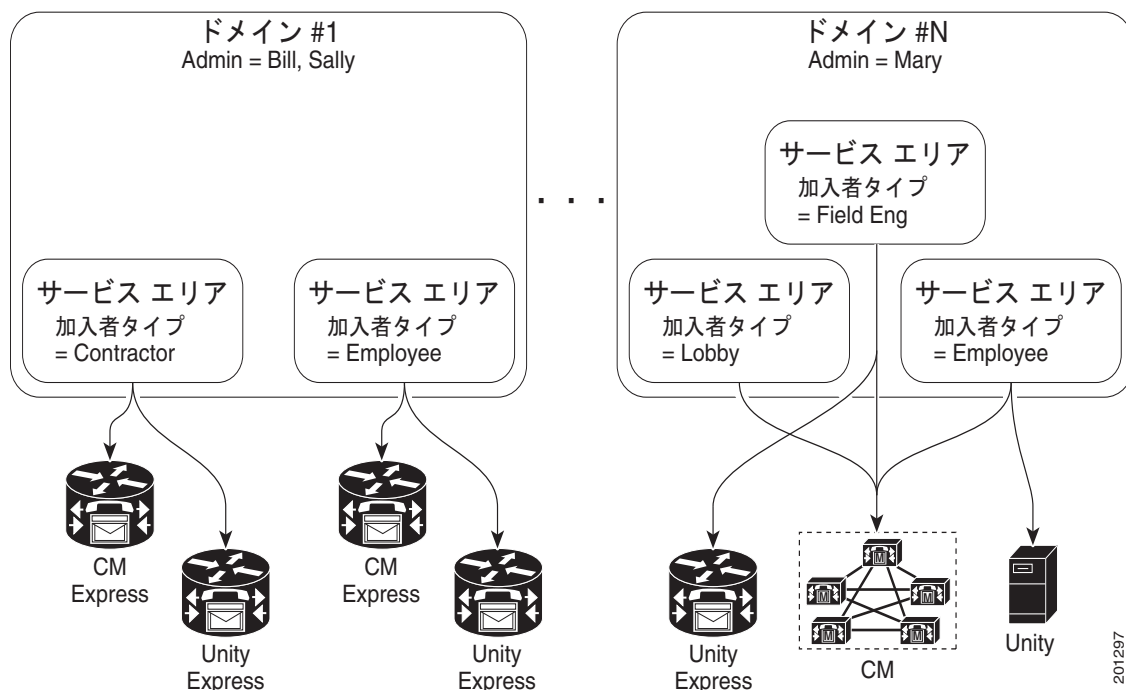
ドメインとは、加入者のグループです。グループごとにシステム ユーザを 1 名以上任命し、そのユーザにドメイン内の加入者に対するサービスの管理を任せることができます。また、ドメインにはルールまたはポリシーを設定できます。これらのルールとポリシーは、そのドメイン内の加入者のサービスに適用されます。ドメイン内の運用に共通のポリシーを適用することも可能です。

1 人のユーザが複数のドメインを管理できます（そのユーザに適切な権限ロールが割り当てられている場合）。ユーザは常に、サービス ドメインと呼ばれるプライマリ ドメインに属します。ユーザのサービスはすべて、サービス ドメインでプロビジョニングされます。

プロビジョニングでドメインを使用するには、次の操作を実行する必要があります。

- ドメインの作成と設定：これには、コール プロセッサとユニファイド メッセージ プロセッサの割り当てが含まれます（ユニファイド メッセージ プロセッサはオプション）。
- サービス エリアの作成と設定：これには、コーリング サーチ スペース、ルート パーティション、およびデバイス プールの選択、サービス エリアにアクセスできるユーザ タイプの指定、ディレクトリ番号ブロックの設定が含まれます。

図 4-1 ドメインの設定



201297

## ドメインの作成

表 4-1 に、ドメインの作成に必要なフィールドの説明を示します。

表 4-1 [Configure a New Domain] ページのフィールドの説明

| フィールド               | 説明                                                                                         |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| Domain ID           | ドメインの名前。使用できる文字は、スペース、英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）、および特殊文字 _ - . / : ; = ? @ ^ ' { } [ ]   ~ です。 |
| (任意)<br>Description | ドメインの説明。                                                                                   |

ドメインを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。
  - ステップ 2** [Configure a New Domain] ページで、必要に応じてフィールドに入力します。
  - ステップ 3** [Save] をクリックします。
- [Update Domain] ページが表示されます。ドメインの設定については、「[ドメインの設定](#)」(P.4-3) を参照してください。

## カスタマー ドメイン テンプレートの使用

複数のドメインを実装する場合は、実装に必要なデフォルトのビジネス ルールとユーザ タイプに従ってカスタマー ドメイン テンプレートを設定できます。

新しく作成したドメインは、カスタマー ドメイン テンプレートからビジネス ルールとユーザ タイプの標準セットを継承します。これらのビジネス ルールとユーザ タイプは、ドメインの作成後に各ドメインの要件に応じて変更できます。Customer Domain Template に対して加えた変更は、それ以降に新しく作成されるドメインにだけ反映されます。

カスタマー ドメイン テンプレートは、プロビジョニング のインストール時にデフォルトで作成されます。カスタマー ドメイン テンプレートを設定する際は、新規ドメインに対してビジネス ルールや加入者ロールを指定するのと同じように、ビジネス ルールや加入者ロールを指定します。

Provisioning 2.1 からアップグレードする場合、次の製品が新規機能と一緒に追加されますが、カスタマー ドメイン テンプレートに自動的に関連付けられません。

- Mobility
- Nokia S60 などの電話機
- iPhone 製品

これらの新しい Provisioning 機能を使用するには、カスタマー ドメイン テンプレートを編集する必要があります。



## ドメインの設定

ドメインを作成したら、そのドメイン用のコール プロセッサを 1 つ以上選択する必要があります。また、ユニファイド メッセージ プロセッサを 1 つ以上選択することもできます。ドメインの情報には、サービス エリアや、新規ドメインへのアクセス権を持つ加入者ロールなどがあります。



(注)

コール プロセッサまたはユニファイド メッセージ プロセッサをドメインに追加するときは、それらを事前に作成しておく必要があります。コール プロセッサとユニファイド メッセージ プロセッサは、複数のドメイン間で共有できます。

表 4-2 に、ドメインの設定に必要なフィールドの説明を示します。

表 4-2 ドメインの設定フィールド

| フィールド                     | 説明                                                                                          |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| Domain ID                 | ドメインの名前。使用できる文字は、スペース、英数字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、および特殊文字 _ - . / : ; = ? @ ^ ' { } [ ]   ~ です。 |
| Description               | ドメインの説明。                                                                                    |
| AAA Server                | 認証に使用可能な AAA サーバのリスト。                                                                       |
| Call Processor            | ドメインのコール プロセッサ。                                                                             |
| Unified Message Processor | ドメインのユニファイド メッセージ プロセッサ。                                                                    |
| Subscriber Roles          | デフォルトの プロビジョニング 加入者ロールが含まれます。                                                               |
| Service Area              | ドメインの地域、組織、または技術的な境界。                                                                       |

- ステップ 1 [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。
- ステップ 2 [Domain Configuration] ページから、[View Domain] をクリックします。
- ステップ 3 検索ページで、必要なドメインを選択します。
- ステップ 4 [View Domain] ページの [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5 必要なフィールドの情報を [Update Domain] ページに入力し、[Save] をクリックします。

## ドメインの同期化

プロビジョニング での同期化には、インフラストラクチャ、加入者、ドメインの 3 種類があります。インフラストラクチャの同期化では、プロビジョニング によって使用される Cisco Unified Communications Manager のオブジェクトのうち、個々の加入者に固有ではないものがすべて検出されます。加入者の同期化では、個々の加入者に関連するオブジェクトがすべて検出されます。

ドメインの同期化では、加入者の同期化で検出された既存の加入者が、ドメインおよび適切なサービス エリアに追加されます。

インフラストラクチャ同期化と加入者同期化では、情報がデバイスから取得されます。これらは、単方向の同期化です。これらの同期化の実行時に、プロビジョニング によってデバイスが更新されることはありません。すべてのデバイスについて、インフラストラクチャの同期化と加入者の同期化が完了してから、ドメインの同期化を開始する必要があります。

ドメインの同期化では、プロセッサの同期化からのデータが集約されます。ドメイン同期化の実行中にデバイスがアクセスされることはありません。

ドメインの同期化中、プロビジョニング は次のことを行います。

- ユニファイド メッセージ プロセッサのボイスメール、電子メール、およびユニファイド メッセージングのデータを プロビジョニング のユーザ情報に関連付ける。
- ユニファイド メッセージ プロセッサで割り当てられたボイスメール ディレクトリ番号をコール プロセッサのボイスメール ディレクトリ番号に同期する。
- 加入者とそのオーダー済み製品を プロビジョニング インベントリと同期し、新しい加入者の作成とその加入者レコードの更新を行う。
- ユーザ アカウントを同期し、ユーザがログインできるように プロビジョニング を更新する（ログインが作成されるのはセルフケア ルールが有効な場合だけです。「[CreateSelfCareAccounts](#)」(P.11-4) を参照)。
- サービスをサービス エリアに関連付ける。

ドメインの同期化に使用される基準は、ビジネス ルールによって決定します（「[ドメインの同期化用のビジネス ルール](#)」(P.4-7) を参照）。

ドメインを完全に同期するには、次の手順を実行する必要があります。

1. ドメインに設定したコール プロセッサごとに、インフラストラクチャと加入者の同期化を実行します。
2. ドメインに設定したユニファイド メッセージ プロセッサごとに、インフラストラクチャと加入者の同期化を実行します。
3. ドメインの同期化を実行します。



(注)

ドメインに設定したコール プロセッサまたはユニファイド メッセージ プロセッサが同期されている場合、ドメインの同期化も完了していることが推奨されます。

ドメインの同期化を実行するときは、次のことに注意してください。

- Cisco Unified Communications Manager Express との加入者の同期化によって プロビジョニング に加入者を追加する場合、姓、名、電話番号、および部門データは プロビジョニング に取得されません。[Manage Subscriber] ページのこれらのフィールドには、「Unknown」と表示されます。  
加入者情報は プロビジョニング を介してアップデートできますが、この情報は Cisco Unified Communications Manager Express システムに適用され、ephone 記述フィールドのユーザに関する既存の情報をすべて書き換えますので注意してください。
- 同期化は一度に複数実行しないでください（ドメインの同期化またはプロセッサの同期化）。すべての同期化を連続して実行してください。
- ドメインおよびサービス エリアに存在するデバイスが Cisco Unified Communications Manager Express だけであり、その Cisco Unified Communications Manager Express で ephone username コマンドが設定されていない場合、ドメインの同期化中に Provisioning に加入者は作成されません。Cisco Unified Communications Manager Express ですべての加入者について ephone username コマンドが設定されていることを確認してください。
- 電話機、Soft Phone、回線、EM 回線、またはデバイス プロファイルについて一致するサービス エリアが複数見つかった場合、Provisioning では最初に一致したサービス エリアに割り当て、ドメイン同期化ログに警告メッセージを表示します。（「[ドメインの削除](#)」(P.4-15) を参照）。
- デバイス プロファイルは、Cisco Unified Communications Manager で Extension Mobility サービスに登録されている場合に限り、加入者のレコードに Extension Mobility Access 製品として追加されます。

- Remote Destination Profile に一致するサービス エリアは、Remote Destination Profile の Device Pool と Calling Search Space に基づきます。
- サービス エリアに追加した Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence を 9.0 バージョンにアップグレードする場合、次の製品は加入者レコードから削除されます。
  - Enable Presence
  - Enable Presence Client
  - Client User Settings

加入者レコードが、User Services 製品の詳細で更新されます。

サービス エリアに Cisco Unified Communications Manager 8.x と Cisco Unified Presence 8.x がある場合、Enable Presence、Enable Presence Client、および Client User Settings 製品の詳細は、加入者レコードに保持されます。

- Provisioning によって、エンタープライズ レベルでサービスをイネーブルまたはディセーブルにして、デバイス プロファイルをプロビジョニングできます。

デバイス プロファイルにサービスが関連付けられている場合、そのデバイス プロファイルは、一致するサービス URL が見つかった場合にだけ、加入者に関連付けられます。



(注) デバイス プロファイルにサービスが関連付けられていない場合、またはサービスがエンタープライズ レベルでイネーブルになっている場合でも、Extension Mobility サービスは、加入者に関連付けることができます。

表 4-3 に、ドメインの同期化で一致するサービス エリアの検索に使用する属性を示します。

表 4-3 サービス エリアに一致する属性



| プロセッサ タイプ                  | 製品                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | サービス エリアに一致する属性                                                                                                                                                      |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Call Processor             | Phone                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | DevicePool                                                                                                                                                           |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Common Device Config                                                                                                                                                 |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Calling Search Space (Device)                                                                                                                                        |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Location                                                                                                                                                             |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Phone Protocol                                                                                                                                                       |
|                            | [Line]                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | DevicePool                                                                                                                                                           |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Common Device Config                                                                                                                                                 |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Calling Search Space (Line)                                                                                                                                          |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Location                                                                                                                                                             |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Route Partition                                                                                                                                                      |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Protocol                                                                                                                                                             |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Voice Gateway References                                                                                                                                             |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Unified Message Processor (Voicemail)                                                                                                                                |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <br>(注) Line は Call Processor に所属しますが、ボイスメールに関しては Unified Message Processor に依存します。 |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Email Processor (Email)                                                                                                                                              |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <br>(注) Line は Call Processor に所属しますが、電子メールに関しては Email Processor に依存します。          |
|                            | Soft Phone                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                    |
|                            | Extension Mobility Access                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                    |
|                            | Extension Mobility Access Line                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | Calling Search Space                                                                                                                                                 |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Route Partition                                                                                                                                                      |
|                            | Mobility                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | —                                                                                                                                                                    |
| Remote Destination Profile | Device Pool                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | Device Pool                                                                                                                                                          |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Calling Search Space                                                                                                                                                 |
|                            | Unified Presence Processor (Client User Settings)。<br>Enable Presence Client は、Client User Settings 製品に関連付けられています。<br>Enable Presence は Call Processor に所属しますが、Client User Settings に関しては Unified Presence Processor に依存します。<br>(注) Enable Presence、Enable Presence Client、および Client User Settings 製品は、Cisco Unified Presence 8.x だけで使用できます。 |                                                                                                                                                                      |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                      |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                      |
|                            | User Services                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                    |

表 4-3 サービス エリアに一致する属性 (続き)

| プロセッサ タイプ                  | 製品                     | サービス エリアに一致する属性                                     |
|----------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------|
| Unified Presence Processor | Client User Settings   | —                                                   |
| Unified Message Processor  | Unified Messaging Info | この製品は、関連する電子メール製品またはボイスメール製品上に設定されるサービス エリアに追加されます。 |

**ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。

**ステップ 2** [Domain Configuration] ページから、[View Domain] をクリックします。

**ステップ 3** 検索ページで、必要なドメインを選択します。



(注) ドメインがすでに同期されている場合は、[Last Synchronization] セクションに詳細が表示されます。

**ステップ 4** [View Domain] ページの [Options] ペインで、[Synchronize] をクリックします。



(注) 同期化ルールが設定されていないと、ドメインの同期化を開始できません。同期化ルールを設定してから、次に進みます。「ドメインの同期化用のビジネス ルール」(P.4-7) を参照してください。

**ステップ 5** [Start] をクリックします。

同期化が完了したら、[Last Synchronization] セクションに同期化情報が表示されます。

**ステップ 6** [Done] をクリックします。

ドメインの同期化が完了したら、ログが作成されます。このログには、割り当てできなかったオブジェクトのリストが含まれます。「ドメインの削除」(P.4-15) を参照してください。このログには、ドメインの同期化中にサービス エリアに割り当てできなかった製品が示されます。このログは、ドメインの同期化を実行するたびに上書きされます。

**ステップ 7** ログの詳細を表示するには、ページの下部にある [View Detailed Synchronization Log] をクリックします。

ログ メッセージの説明については、「ドメインの同期化ログ メッセージ」(P.4-9) を参照してください。

## ドメインの同期化用のビジネス ルール

ビジネス ルールは、ドメインにユーザを追加するための基準を決定します。



(注) ドメインの同期化を実行し、設定されているドメイン ルールを Non-RestrictedDomainSync に変更してから、別のドメインの同期化を実行する場合は、前に同期されていないサービスが Non-RestrictedDomainSync ルールに基づいてサービス エリアに配置されます («Non-RestrictedDomainSync» (P.11-9) を参照)。

ドメインの同期化が適切に機能するには、次の 5 つのルールのうち 1 つ以上が設定されている必要があります。

- **AssociateAllUsersInCallProcessor** : これを有効にした場合、ドメイン内のすべてのコール プロセッサに設定されているすべてのユーザ アカウントが、同期されるドメインに割り当てられます。このルールは、**AssociateUsersByDeptCode** ルールよりも優先されます。
- **AssociateOnlyExistingUsers** : これを有効にした場合、ドメインの同期化によって新しいユーザは作成されません。ドメイン内の既存のユーザのサービスだけが同期されます。
- **AssociateUsersByDeptCode** : これを有効にした場合は、コール プロセッサ ユーザ アカウントの部門コードがルール設定で指定されたリスト内の部門コードと一致する場合に限り、そのユーザ アカウントがドメインの同期化時に関連付けられます。
- **AssociateUsersByLocation** : これを有効にした場合は、コール プロセッサ ユーザ アカウントの電話機の場所がルール設定で指定されたリスト内の電話機の場所と一致する場合に限り、そのユーザ アカウントがドメインの同期化時に関連付けられます。
- **AssociateUsersByDevicePool** : これを有効にした場合は、コール プロセッサ ユーザ アカウントの電話機または **Remote Destination Profile** に設定されたデバイス プール値が、ルール設定で指定されたリスト内のデバイス プール値と一致する場合に限り、そのユーザ アカウントがドメインの同期化時に関連付けられます。

残りのドメイン同期化ルールは、上記のルールと共存します（優先順位はありません）。

共存型のドメイン同期化ルールは次のとおりです。

- **AssociateAllUsersInUMProcessor** : このルールを有効にした場合は、特定のユニファイド メッセージ プロセッサの全ユーザ アカウントが 1 つの **Provisioning** ドメインに割り当てられます。そうでない場合は、特定のユニファイド メッセージ プロセッサのユーザ アカウントのうち、コール プロセッサに一致するユーザ アカウントがあるものだけが割り当てられます。
- **TakePrimaryUserInfoFromUMProcessor** : このルールを有効にした場合は、ユーザおよび加入者の情報は関連付けられたユニファイド メッセージ プロセッサ アカウントから更新されます。そうでない場合は、これらの情報はコール プロセッサから更新されます。
- **Non-RestrictedDomainSync** : このルールを有効にした場合は、一部のドメイン同期操作のルールが削減されるとドメイン同期が実行されます。**Non-RestrictedDomainSync** ビジネス ルールは、加入者のサービスが追加されるサービス エリアを決定します。詳細については、[「Non-RestrictedDomainSync」 \(P.11-9\)](#) を参照してください。



(注)

必須のルールを 1 つも有効にせずにドメインの同期化を実行しようとすると、**[Synchronize Domain]** ページに、いずれかのルールを有効にする必要があることを伝えるメッセージが表示されます。このページの **[Configure Synchronization Rules]** リンクをクリックすると **[Configure Domain Sync Rules]** ページが開き、そこで必要なドメイン同期化ルールを設定できます。詳細については、[「ドメイン同期化の設定」 \(P.11-12\)](#) を参照してください。

必須のルールが 2 つ以上有効になっている場合は、その中の 1 つだけが適用されます。

ルールの優先順位は次のとおりです。

1. **AssociateAllUsersInCallProcessor**
2. **AssociateOnlyExistingUsers**
3. **AssociateUsersByDeptCode**
4. **AssociateUsersByDevicePool**
5. **AssociateUsersByLocation**

1 番目のルール (AssociateAllUsersInCallProcessor) が有効な場合、その他すべてのルールの設定は無視されます。2 番目のルール (AssociateOnlyExistingUsers) が有効な場合、最後の 3 つのルールの設定は無視されます。最後の 3 つのルールは加法的です。つまり、このうち 2 つのルールが有効な場合は、その両方の制約を満たすユーザだけが同期されます。

#### ドメインの同期化用のビジネス ルールの設定例

ドメインに 3 つのコール プロセッサ (CCM1、CCM2、CCM3) があり、次のルールが有効であるとします。

- AssociateUsersByDeptCode : 設定値は Dept1
- AssociateUsersByDevicePool : 設定値は CCM2:DevicePool2、CCM3:DevicePool3
- AssociateUsersByLocation : 設定値は CCM3:Location3

ドメインを同期すると、次のユーザが同期されます。

- CCM1 : 部門コードが Dept1 のユーザ
- CCM2 : 部門コードが Dept1 で、なおかつ電話機のデバイス プールが DevicePool2 であるユーザ
- CCM3 : 部門コードが Dept1、電話機のデバイス プールが DevicePool3 で、なおかつ場所が Location3 であるユーザ

#### ドメインの同期化ログ メッセージ

ここでは、[Domain Synchronization Log] レポートに表示される可能性のある一部のメッセージについて説明します。

**「The Phone SEP123123123123 could not be added to the customer record because a service area with the following properties could not be found:**

**Call Processor: TestCCM**

**Voice Device Group: TestVDG**

**Call Search Space: TestCSS**

**Location: Hub\_None」**

表示されている設定のサービス エリアに、電話機を割り当てることができませんでした。

この問題を解決するには、同じ設定でサービス エリアを作成するか、Cisco Unified Communications Manager で電話機の設定を変更します。

**「Duplicate username encountered.So skipping the creation of this user: TestUser from the Call Processor: TestCCM」**

同じ ID のユーザが プロビジョニング に存在しますが、ID の大文字と小文字の区別が異なることを示します。このユーザに属するサービスは同期されません。

この問題を解決するには、Cisco Unified Communications Manager から一方のユーザを削除します。

**「No matching voice mail info found for directory number 123400000」**

同期化で、ディレクトリ番号に対するボイスメールを検出できませんでした。この問題が発生するのは、ユニファイド メッセージ プロセッサで同期化が実行されなかった（したがって、ボイスメールが プロビジョニング に存在しない）場合や、そのディレクトリ番号のコール プロセッサ、ルート パーティション、およびボイスメールのユニファイド メッセージ プロセッサが設定されたサービス エリアが存在しない場合です。

この問題を解決するには、ユニファイド メッセージ プロセッサで加入者の同期化を実行するか、適切な設定でサービス エリアを作成します。

「The device profile line Line 1 - 123400000 could not be added to the customer record because a service area with the following properties could not be determined in the domain Cisco:

Call Processor: TestCCM

Route Partition: null

Call Search Space (Line): TestCSS」

表示されている設定のサービス エリアに、デバイス プロファイルの回線を割り当てることができませんでした。

この問題を解決するには、同じ設定でサービス エリアを作成するか、Cisco Unified Communications Manager で回線の設定を変更します。

## ドメインのプロビジョニング属性の編集

ドメイン レベルでプロビジョニング属性を設定できます。ドメイン レベルで設定されたプロビジョニング属性は、他のレベル（サービス エリア、加入者タイプ、詳細オーダー）で設定されたすべてのプロビジョニング属性によって上書きされます。プロビジョニング属性の詳細については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください。

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。
  - ステップ 2** [Domain Configuration] ページで、[View Domain] をクリックします。
  - ステップ 3** 検索ページで、必要なドメインを選択します。
  - ステップ 4** [View Domain] ページの [Options] ペインで、[Edit Provisioning Attributes] をクリックします。
  - ステップ 5** [Provisioning Attribute Management] ページから、必要に応じて属性を更新し、[Done] をクリックします。（プロビジョニング属性の説明については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください）。
- 

## ユーザが関連付けられていない電話機のエクスポート

実際のユーザ名または疑似ユーザ名を使用して、ユーザが関連付けられていない電話機をエクスポートし、バッチ インポートすることができます。これらの電話機は、[Subscriber Dashboard] を使って管理することもできます。プロビジョニング では、ユーザが関連付けられていないすべての電話機を 1 つのファイルにエクスポートすることができます。このアクションはドメイン レベルで実行されます。実行時に、どのコール プロセッサからエクスポートするかを選択できます。



(注) エクスポートできるのは、ハードウェア電話機だけです。SoftPhone や Extension Mobility はエクスポートできません。

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。  
[Domain Configuration] ページが表示されます。
  - ステップ 2** [View Domain] をクリックします。  
検索ページに、使用可能なドメインが一覧表示されます。
  - ステップ 3** 必要なドメインを選択します。  
[View Domain] ページが表示されます。



- ステップ 4 [Options] ペインで、[Export Phones Without Associated Users] をクリックします。
- ステップ 5 [Suffix for User IDs] フィールドで、作成する電話機のリストの種類を選択します。
- ステップ 6 [Call Processor to Export From] フィールドに、エクスポート元のコール プロセッサを追加します。
- ステップ 7 [Export] をクリックします。
- ステップ 8 確認のボックスで [OK] をクリックします。レポートが作成されます。
- ステップ 9 レポートを表示するには、[View Export Data File] をクリックします。

エクスポートされたファイルでは、1 つの行が 1 つの電話機の所有者変更データを表します。  
[NewUserID] カラムは、PseudoUserID ルールに基づいて生成されます。[NewLastName] カラムは、電話機の説明を使用して生成されます。説明記述が存在しない場合は、MAC アドレスが使用されます。

---

## LDAP サーバと プロビジョニング の同期化

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバの情報を プロビジョニング と同期することができます。プロビジョニング では、この情報を使用して新しい加入者を作成したり、既存の加入者情報を更新したり、加入者を削除したりできます。LDAP サーバの同期化を設定して、どのアクションを実行するかを決定します。

LDAP サーバを使用するように プロビジョニング を設定する方法については、「[AAA サーバを使用するための プロビジョニング の設定](#)」(P.3-24) を参照してください。

表 4-4 に、LDAP サーバの同期化の設定に使用するフィールドを示します。

表 4-4 [Update LDAP Services Settings] ページのフィールド

| フィールド                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Mode                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>Authentication Only : LDAP サーバは、ユーザ認証にのみ使用されます。</li> <li>Authentication and Synchronization : LDAP サーバは、ユーザ認証とユーザ情報の取得の両方に使用されます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Update Existing User Details     | <ul style="list-style-type: none"> <li>All fields : LDAP サーバでユーザ情報が変更されると、プロビジョニング でも同じ情報が更新されます。</li> <li>Do not update : LDAP サーバでユーザ情報が変更された場合でも、プロビジョニング ではユーザ情報は更新されません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Delete Users                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>Do not delete : LDAP サーバでユーザが削除された場合、プロビジョニング では対応するユーザ/加入者は削除されません。</li> <li>Delete if user has no services : LDAP サーバでユーザが削除された場合に、そのユーザが プロビジョニング にサービスを所有していないときは、プロビジョニング で対応するユーザ/加入者が削除されます。</li> <li>Always delete : LDAP サーバでユーザが削除された場合、プロビジョニング でも対応するユーザ/加入者が削除されます。ユーザが何らかのサービスを所有している場合、ユーザは削除されません。</li> </ul>                                                                                            |
| User Search Base                 | <p>ユーザの検索ベース。プロビジョニング は、ベース下でユーザを検索します。CN-Users、DC-Cisco、DC-com。</p> <p>この検索ベースは LDAP の同期化にのみ使用され、認証には使用されません。</p> <p>Microsoft Active Directory サーバで、<b>dsquery user</b> コマンドを使用して完全なユーザ検索ベースをリストできます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Field Mapping                    | <p>特定の LDAP ユーザ フィールドに対応する、Cisco Unified Communications Manager 内のユーザ フィールドを一覧表示します。プロビジョニング で設定できるフィールドは、次のフィールドだけです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Contact phone number : 電話番号または ipPhone を選択します。</li> <li>Contact email : メールまたは sAMAccountName を選択します。</li> </ul> <p>Cisco Unified Communications Manager と LDAP 間のすべてのフィールド マッピングのリストについては、表 4-5 を参照してください。</p>                                                                               |
| Filter Query for Synchronization | <ul style="list-style-type: none"> <li>Synchronize all users : すべてのユーザが同期されます。</li> <li>Simple query : 次のフィールドの組み合わせを使用して、クエリーを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザ ID</li> <li>Department</li> <li>Contact phone number</li> <li>Contact email</li> </ul> <p>文字列を部分的に検索するには、アスタリスク (*) を使用します。</p> </li> <li>Advanced query : LDAP クエリーは、次の例のように入力できます。<br/>((&amp;(sAMAccountName=johndoe)(department=Cisco*)(mail=john@cisco.com)))</li> </ul> |

表 4-5 に、プロビジョニングと LDAP サーバ間のフィールド マッピングを示します。指定したプロビジョニング フィールドのデータは、対応する LDAP フィールドのユーザ データに同期されます。

表 4-5 LDAP フィールド マッピング

| プロビジョニング フィールド          | LDAP フィールド                          |
|-------------------------|-------------------------------------|
| Phone Number            | telephoneNumber または ipPhone number。 |
| Email                   | mail または sAMAccountName。            |
| User ID <sup>1</sup>    | sAMAccountName。                     |
| First Name <sup>1</sup> | givenName。                          |
| Last Name <sup>1</sup>  | sn。                                 |

1. Provisioning では設定できません。

## LDAP サーバの同期化の設定

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。
- ステップ 2** [Domain Configuration] ページから、[View Domain] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なドメインを選択します。
- ステップ 4** [View Domain] ページの [Options] ペインで、[LDAP Services] をクリックします。
- ステップ 5** [View LDAP Services Settings] ページで、[Update Services Setting] をクリックします。  
[Update LDAP Services Settings] ページが表示されます。
- [Update LDAP Services Settings] ページでは、プロビジョニングが LDAP サーバから取得した情報を設定します（このページのフィールドの説明については、表 4-4 を参照してください）。
- ステップ 6** LDAP サーバでのすべての変更をプロビジョニングに同期するには、次の情報を選択します。
- Mode : [Authentication and Synchronization]。
  - Update existing user details : [All fields]。
  - Delete Users : [Always delete]。
  - User Search base : ユーザ検索ベースを入力します。
  - Filter query for sync : [Synchronize all users]。
- ステップ 7** [Save] をクリックします。
- ステップ 8** [View LDAP Services Settings] ページで [Start] をクリックします。  
同期が開始されます。
- 

## LDAP サーバの同期化のスケジューリング

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。
- ステップ 2** [Domain Configuration] ページから、[View Domain] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なドメインを選択します。
- ステップ 4** [View Domain] ページの [Options] ペインで、[LDAP Services] をクリックします。

- ステップ 5** [View LDAP Services Settings] ページで、[Synchronize Server] をクリックします。
- ステップ 6** [Synchronize LDAP Server] ページで、[Set Schedule] をクリックします。
- ステップ 7** [Set LDAP Synchronization Schedule] ページで、スケジューリング パラメータを設定します。
- ステップ 8** [Save] をクリックします。

## LDAP 同期化レポートの表示

LDAP の同期化が終わると、レポートが作成されます。このレポートには、同期化中に実行できなかった操作が一覧表示されます。操作の失敗は、LDAP サーバに入力されたデータの誤りや、ユーザ設定の誤りなどが原因となります。

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。
- ステップ 2** [Domain Configuration] ページから、[View Domain] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なドメインを選択します。
- ステップ 4** [View Domain] ページの [Options] ペインで、[LDAP Services] をクリックします。
- ステップ 5** [View LDAP Services Settings] ページで、[View AAA Synchronization Report] をクリックします。

LDAP 同期化レポートが表示されます（レポート内のメッセージの説明については、[「LDAP 同期化レポートの説明」](#)（P.4-14）を参照してください）。

## LDAP 同期化レポートの説明

ここでは、[LDAP Synchronization] レポートに表示される可能性のある一部のメッセージについて説明します。

### 「The following users were not created because they are already present in another Domain: user1, user2」

表示されているユーザは LDAP サーバに存在しますが、すでに別のドメインに存在しているため、現在のドメイン内のプロビジョニングに作成できませんでした。

この問題を解決するには、他方のドメインからユーザを削除して、LDAP の同期化を再実行します。

### 「The following users were not deleted because they have services: user1 user2」

このメッセージは、[Delete if user has no services] がイネーブルである場合に表示されます。表示されているユーザは LDAP サーバでは削除されていますが、プロビジョニングにサービスを所有しています。

この問題を解決するには、次のいずれかを実行した後に、LDAP の同期化を実行します。

- プロビジョニングでユーザのサービスを取り消します。
- Cisco Unified Communications Manager でユーザのサービスがすでに削除されている場合は、Cisco Unified Communications Manager 加入者とドメインの同期化を実行します。

### 「The following users were not deleted because the delete option was not set: user1 user2」

これらのユーザは LDAP サーバでは削除されていますが、[Do not delete] がイネーブルであるために、LDAP の同期化中に削除されませんでした。

この問題を解決するには、[Delete if user has no services] または [Always Delete] をイネーブルにして、LDAP の同期化を再実行します。

## ドメインの削除

ドメインを削除すると、加入者、ルール、サービス エリア、ディレクトリ番号ブロック、および加入者ルールが削除されます。IM の Unified Presence ユーザ設定の音声端末、ディレクトリ番号、ライセンス機能、およびインスタンスは Global Resources 名前空間に移動します。ドメインを削除するには、次の条件が満たされている必要があります。

- アクティブなリリース済みオーダーがない（回復不能または回復可能なエラーを含む）
- アクティブなパッチ プロジェクトがない
- ドメインの同期化の実行中でない
- コール プロセッサまたはユニファイド メッセージ プロセッサの同期化の実行中でない

これらの条件が満たされていない場合、ドメインを削除しようとする、削除操作は開始されないというメッセージがページに表示されます。削除オプションを使用可能にするには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

ドメインの削除の実行中は、ドメインの削除が完了するまでアクティビティは実行されません。

**ステップ 1** Provisioning をメンテナンス モードにします（「メンテナンス モード」（P.2-8）を参照）。

**ステップ 2** [Design] > [Set Up Deployment] > [Domains] を選択します。

**ステップ 3** [Domain Configuration] ページから、[View Domain] をクリックします。

**ステップ 4** 検索ページで、必要なドメインを選択します。

**ステップ 5** [View Domain] ページの [Options] ペインで、[Delete Domain] をクリックします。

確認のダイアログが表示され、ドメインの削除の確認が求められます。



**(注)** [Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

**ステップ 6** [OK] をクリックします。

ドメインの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。

## サービス エリア

サービス エリアは、必要な IP テレフォニーおよびメッセージング サービスを、地域、組織、または技術的な境界を越えて構造化し、管理するために使用します。サービス エリアは、ビジネスの視点から見たサービスを、そのサービスを提供する技術に対応付けます。

たとえば、Cisco Unified Communications Manager に関連付けられたサービス エリアでは、Cisco Unified Communications Manager 内で各製品が使用するデバイス グループ、ルート パーティション、コーリング サーチ スペース、ロケーション、および外線電話番号マスクが定義されます。

この場合、サービス エリアを設定するときに、サービス エリアに対して選択したコール プロセッサに基づいて、サービス エリアに割り当て可能なルート パーティションのリストが提示されます。サービス エリアに関連付けられたルート パーティションがない場合、ディレクトリ番号と回線は Cisco Unified Communications Manager のデフォルト ルート パーティションに作成されます。

Cisco Unity および Cisco Unity Connection ユニファイド メッセージ プロセッサでは、ユニファイド メッセージ プロセッサをサービス エリアに割り当てる場合、加入者テンプレートと加入者 Class of Service (CoS; サービス クラス) を設定できます (加入者テンプレートと加入者 CoS にはそれぞれ、Text-To-Speech (TTS) 機能が有効なものと無効なものがあります)。これらのテンプレートは、サービス エリアでの加入者のボイスメール プロビジョニングに使用できます。

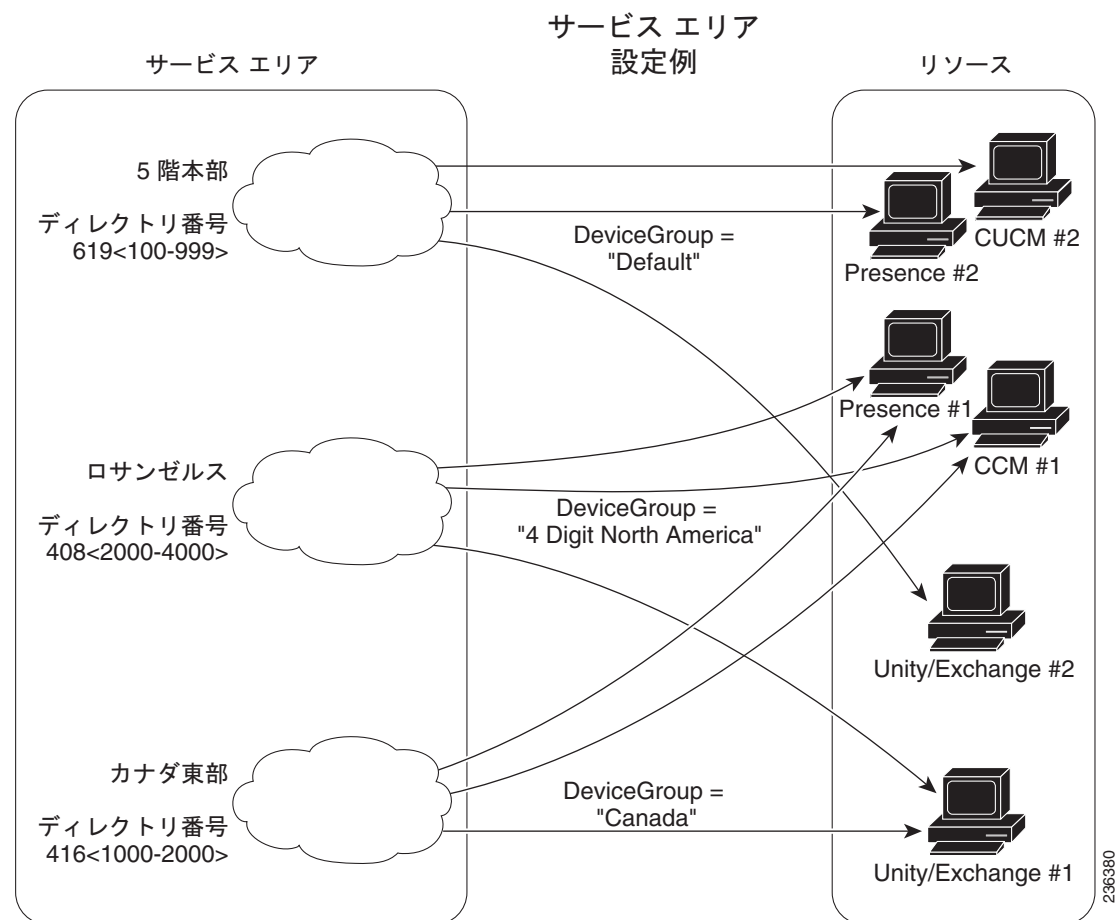


(注)

コール プロセッサとして Cisco Unified Communications Manager Express を設定したサービス エリアでは、デバイス グループだけが選択に使用できます。コーリング サーチ スペースとルート パーティションは使用できません。

図 4-2 に、サービス エリアを作成および設定する際に、ルート パーティション、デバイス グループ、コーリング サーチ スペース、およびドメインに対してサービス エリアがどのように関連付けられるかを示します。また、主要なボイスメール設定とコール転送動作もサービス エリアによって決定されます。

図 4-2 サービス エリアの設定



## サービス エリアの作成

表 4-6 に、サービス エリアを作成するためのフィールドの説明を示します。

表 4-6 サービス エリアを作成するためのフィールド

| フィールド           | 説明                                                                                        |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| Service Area ID | サービス エリアの名前。有効な値は、英数字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、アスタリスク (*)、およびピリオド (.) です。 |
| Domain          | サービス エリアが属するドメイン。                                                                         |

**ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択します。

**ステップ 2** [Service Area Configuration] ページで、[New Service Area] をクリックします。

**ステップ 3** [Service Area ID] フィールドに、新しいサービス エリアの名前を入力します。

**ステップ 4** サービス エリアが属するドメインを選択します。

**ステップ 5** [Save] をクリックします。

[Edit Service Area] ページが表示されます。サービス エリアの設定方法については、「[サービス エリアの設定](#)」(P.4-17) を参照してください。

## サービス エリアの設定

サービス エリアを設定するときは、次の操作が可能です。

- コール プロセッサと関連するオブジェクト (Cisco Unified Communications Manager では、コーリング サーチ スペース、ルート パーティション、デバイス プールなど) を指定することにより、サービス エリアを対応するコール プロセッサ オブジェクトに対応付ける。同様に、サービス エリアをユニファイド メッセージ プロセッサとユニファイド プレゼンス プロセッサに対応付ける。
- サービス エリアの加入者タイプを指定する (サービス エリアから製品をオーダーできるのは、サービス エリア内のユーザだけです)。  
ドメイン ルールの DefaultUserType に基づくデフォルトの加入者ロールは、Employee (従業員) です。
- サービス エリア ユーザのディレクトリ番号ブロックを作成する。
- サービス エリア内で新しくオーダーされた回線のデフォルトの電話番号マスクとコール転送設定を設定する。
- 選択したコール プロセッサにプレゼンス プロセッサが関連付けられている場合に、ユニファイド プレゼンス プロセッサの設定にプレゼンス プロセッサを表示する。



(注)

サービス エリアをドメインに割り当てた後で、そのサービス エリアを変更することはできません。また、コール プロセッサ、ユニファイド メッセージ プロセッサ、またはユニファイド プレゼンス プロセッサをサービス エリアに割り当てた後で、それらを変更することもできません。

表 4-7 に、サービス エリアを設定するためのフィールドの説明を示します。

表 4-7 サービス エリアの設定フィールド

| フィールド                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Service Area ID                        | サービス エリアの名前。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Domain                                 | サービス エリアが属するドメイン。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Call Processor Settings                | 使用可能な設定は、コール プロセッサのデバイス タイプによって異なります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Name                                   | サービス エリアのコール プロセッサ（読み取り専用）。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Phone Protocol                         | 電話機がオーダーされたときに設定されるプロトコル。選択した Cisco Unified Communications Manager のバージョンが Session Initiation Protocol（SIP）をサポートする場合、選択肢は SIP と Skinny Client Control Protocol（SCCP）です。それ以外の場合は SCCP が表示されます。<br><br>(注) このフィールドが表示されるのは、Cisco Unified Communications Manager 5.0 以降を選択した場合だけです。                                                                                          |
| Call Search Space (phone) <sup>1</sup> | 電話機および内線移動プロファイルに割り当てられるコーリングサーチスペース。空白のままでもかまいません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Call Search Space (Line) <sup>1</sup>  | 電話機および内線移動プロファイルの回線に割り当てられるコーリングサーチスペース。空白のままでもかまいません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Common Device Config <sup>1</sup>      | サービス エリアの共通のデバイス設定。Common Device Configuration では次の設定を制御できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>Softkey Template</li><li>User Hold MOH Audio Source</li><li>Network Hold MOH Audio Source</li><li>User Locale</li><li>MLPP Indication</li><li>MLPP Preemption</li><li>MLPP Domain</li></ul> (注) このフィールドが表示されるのは、Cisco Unified Communications Manager 6.0 を選択した場合だけです。 |
| Location <sup>1</sup>                  | デバイスに割り当てられるロケーション。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Route Partition <sup>1</sup>           | サービス エリアのルート パーティション。これは Cisco Unified Communications Manager のパーティションと同じです。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Device Pool                            | サービス エリアのデバイス プール。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Voice Gateway References               | サービス エリアの音声ゲートウェイ参照。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Unified Presence Processors            | 使用可能な設定は、ユニファイド プレゼンス プロセッサのデバイス タイプによって異なります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Name                                   | ユニファイド プレゼンス プロセッサの名前。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Unified Message Processors             | 使用可能な設定は、ユニファイド メッセージ プロセッサのデバイス タイプによって異なります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



表 4-7 サービス エリアの設定フィールド (続き)

| フィールド                                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                                            | サービス エリアのユニファイド メッセージ プロセッサ (該当する場合)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Email Processors                                | <p>Cisco Unity Connection の場合にだけ使用可能で、Internet Message Access Protocol (IMAP) クライアントのサポートのために外部 Exchange Server と統合されます。</p> <p>Cisco Unity Connection で IMAP 用の Exchange Server を設定するには、Cisco Unity Connection システムで [System Settings] &gt; [External Services] &gt; [Add New] を選択し、必要なフィールドに入力します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Subscriber Template without TTS Enabled         | ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者に対してユニファイド メッセージングを無効にするために使用される加入者テンプレート。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Subscriber CoS with TTS Enabled <sup>2</sup>    | <p>ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者に対してユニファイド メッセージングを有効にするために使用されるサービス クラス テンプレート。これは加入者テンプレートとともに使用されます。</p> <p>CoS の TTS をイネーブルにするには、Cisco Unity Connection で次の設定を行う必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unity Connection 2.1 の場合は、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– [Allow Users to Access Voice Mail Using an IMAP Client] フィールド ([Licensed Features] の下) を選択する。</li> <li>– [Allow Users to Access Voice Recognition or Text to Speech for E-mail] フィールド ([Licensed Features] の下) と、[Allow Users to Use Text to Speech to Read E-mail] フィールド ([Features] の下) を選択する。</li> </ul> </li> <li>• Cisco Unity Connection 7.0 の場合は、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– [Allow Users to Access Voice Mail Using an IMAP Client] フィールド ([Licensed Features] の下) を選択する。</li> <li>– [Allow Access to Advanced Features] フィールドおよび [Allow Access to Email in Third-Party Message Stores] フィールド ([Licensed Features] の下) を選択する。</li> </ul> </li> </ul> |
| Subscriber CoS without TTS Enabled <sup>2</sup> | ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者に対してユニファイド メッセージングを無効にするために使用されるサービス クラス テンプレート。これは加入者テンプレートとともに使用されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Subscriber Roles                                | サービス エリアへのアクセス権を持つ加入者ロール。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Directory Number Blocks                         | サービス エリアの DNB は、サービス エリア バッチ プロビジョニングの拡張機能です。「ディレクトリ番号ブロックの作成」(P.4-21) を参照してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

1. Unified Communications Manager だけに適用されます。

2. Unity と Unity Connection だけに適用されます。

サービス エリアが属するドメインを同期する前に、サービス エリアの次のフィールドを指定することを推奨します。

- Call Processors
- Call Search Space
- Route Partition
- Device Group
- Unified Message Processor
- Location



(注)

コール プロセッサ、ユニファイド メッセージ プロセッサ、またはユニファイド プレゼンス プロセッサをサービス エリアに割り当てた後で、それらを削除することはできません。

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択します。
- ステップ 2** [Service Area Configuration] ページで、[View Service Area] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なサービス エリアを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** 初回設定時には、コール プロセッサを選択します（コール プロセッサをサービス エリアに設定した後で、そのコール プロセッサを変更することはできません）。
- ステップ 6** 必要な情報を更新します。フィールドの説明については、[表 4-7](#)を参照してください。
- ステップ 7** [Save] をクリックします。
- 

## サービス エリアのプロビジョニング属性の編集

サービス エリア レベルでプロビジョニング属性を設定できます。サービス エリア レベルで設定されたプロビジョニング属性は、加入者タイプまたはドメイン レベルで設定されたプロビジョニング属性よりも優先されます。プロビジョニング属性の詳細については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください。

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択します。
- ステップ 2** [Service Area Configuration] ページで、[View Service Area] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なサービス エリアを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Edit Provisioning Attributes] をクリックします。
- ステップ 5** 必要に応じて属性を更新し、[Done] をクリックします（プロビジョニング属性の説明については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください）。
- 

## サービス エリアの削除

サービス エリアを削除するには、次の条件が満たされている必要があります。

- アクティブなリリース済みオーダーがない（回復不能または回復可能なエラーを含む）
- アクティブなバッチ プロジェクトがない
- ドメインの同期化の実行中でない
- プロセッサの同期化の実行中でない

これらの条件が満たされていない場合、サービス エリアを削除しようとする、削除操作は開始されないというメッセージがページに表示されます。削除オプションを使用可能にするには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

サービス エリアの削除の実行中は、削除が完了するまでアクティビティは実行されません。

- 
- ステップ 1** Provisioning をメンテナンス モードにします（「[メンテナンス モード](#)」（P.2-8）を参照）。
- ステップ 2** [Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択します。
- ステップ 3** [Service Area Configuration] ページで、[View Service Area] をクリックします。
- ステップ 4** 検索ページで、必要なサービス エリアを選択します。
- ステップ 5** [Options] ペインで、[Delete Service Area] をクリックします。



**(注)** [Options] ペインに [Delete] コマンドを表示するには、システムをメンテナンス モードにする必要があります。

- 
- ステップ 6** 確認ダイアログボックスで、[OK] をクリックしてサービス エリアを削除します。
- サービス エリアの削除が始まり、削除の状況を示す経過表示バーが [Options] ペインに表示されます。
- 

## ディレクトリ番号ブロックの作成

ディレクトリ番号ブロック内の番号は、それらが作成される Cisco Unified Communications Manager に対して相対的です。したがって、ディレクトリ番号ブロックのプレフィックス部分は、Numbering Plan Area/Network Numbering Exchange (NPA/NXX) に対応する場合も、対応しない場合もあります。特定の Cisco Unified Communications Manager 上のディレクトリ番号がコール セットアップ中にどのように解釈されるかは、最終的に各種ゲートウェイを経由したルーティングによって決まります。

たとえば、Prefix = 408、First Number = 0、Last Number = 100、Minimum Length = 4 の場合、ディレクトリ番号ブロックの範囲は 4080000 ~ 4080100 になります。プロビジョニング では、Cisco Unified Communications Manager と同様にディレクトリ番号が処理されます。

加入者が、ディレクトリ番号ブロックを持たないサービス エリアからサービスをオーダーしようとした場合、そのオーダーはディレクトリ番号ブロックが追加されるまでワークフロー内で一時保留になります。また、Directory Number Inventory インベントリを使用して個々のディレクトリ番号を設定することもできます。詳細については、「[ディレクトリ インベントリの管理](#)」（P.7-4）を参照してください。

### E.164 のサポート

Cisco Unified Communications Manager バージョン 7.x 以降を使用している場合は、Provisioning で国際エスケープ文字 + を設定できます。これにより、電話のユーザが、着信側に関連付けられる国際直接ダイヤル プレフィックス/国際エスケープ コードを記憶し、入力する必要なしに、コールを発信できるようになります。デュアルモード電話などの電話モデルによっては、電話ユーザは電話のキーパッドで + をダイヤルできます。その他の場合、電話ユーザは、+ を含むコール ログ ディレクトリ エントリにアクセスすることによって、コールに返信できます。

国際エスケープ文字 + は、完全な E.164 番号形式の国際アクセス コードを示します。たとえば、NANP 番号には、形式 +1 214 555 1234 で、E.164 国際形式が含まれます。+ は、グローバル ダイヤルプランを実現するために、さまざまな国のサービス プロバイダによって、国際アクセス コードに置き換えられる先頭の文字です。

+ または \+ を入力して、国際エスケープ文字を示すことができます。

E.164 形式のディレクトリ番号を使用する場合は、次の点に注意してください。

- ディレクトリ番号では、番号の先頭（プレフィックス）だけで、国際エスケープ文字を設定できます（\+5678、+0034 など）。
  - サポートされているパターンに対して国際エスケープ文字を設定するために、パターンまたはディレクトリ番号フィールドに \+ または + を入力できます。
  - [Chosen Line] オプションを使用して、オーダーした回線に対して E.164 形式のディレクトリ番号を割り当てることができます。
  - E.164 は、Cisco Unified Communications Manager Express でサポートされていません。
  - Cisco Unity Connection 7.x および 8.x バージョンで E.164 形式のディレクトリ番号回線に対してボイスメールをプロビジョニングするときに、Provisioning は、ディレクトリ番号から + 記号を削除することによって、内線番号を自動的に設定します。オーダーの完了後に、ディレクトリ番号は (+ 記号付きで) [Alternate Extension] フィールドに自動的に入力されます。Unity Connection 9.0 以降のバージョンでは、[Alternate Extension] フィールドは自動的に入力されません。
  - Enhanced Phone Service、Unified Messaging Service、Messaging Service などのバンドル製品をオーダーするときに、[Auto-assigned Line type] オプションを選択した場合、オーダーの作成中にボイスメール製品に対して [Alternate Extension] フィールドは自動的に入力されません。代替内線番号は、使用可能な位置の末尾に追加され、オーダーの完了時に表示されます。
- [Chosen Line type] オプションを選択した場合、オーダーの作成中に、ボイスメールに対する [Alternate extension] は、(最初のインデックスで) 自動的に入力されます。
- ミートミー パターン、コールパーク パターン（とダイレクト コール パークなどの関連するコールパーク機能）、および Call Pickup パターンは、国際エスケープ文字 + をサポートしていません。したがって、これらの機能に対して設定するパターン フィールドで、\+ を入力することはできません。

Provisioning は、以下に対する [Directory Number] フィールドで、「+」文字をサポートしています。


- ディレクトリ番号 (DN) ブロック (サービス エリアの下)
- EM Access Line および RDP Line 製品
- プロビジョニング属性
  - 短縮ダイヤル
  - ビジー ランプ フィールド
  - コール転送
- インフラストラクチャ製品
  - 同報リスト
  - 基本コール キューイング

表 4-8 に、ディレクトリ番号ブロックを作成するためのフィールドの説明を示します。

表 4-8 ディレクトリ番号ブロックのフィールドの説明

| フィールド          | 説明                                                  |
|----------------|-----------------------------------------------------|
| Prefix         | ディレクトリ番号ブロックのプレフィックス。                               |
| First Number   | ディレクトリ番号ブロックの開始番号。                                  |
| Last Number    | ブロックの最後のディレクトリ番号。                                   |
| Minimum Length | プレフィックスを除くディレクトリ番号の最小桁数。番号にゼロを埋めるためにシステムによって使用されます。 |

新しいディレクトリ番号ブロックを追加するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択します。
- ステップ 2** [Service Area Configuration] ページで、[View Service Area] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なサービス エリアを選択します。
- ステップ 4** [Options] ペインで、[Update] をクリックします。
- ステップ 5** [Directory Number Block] フィールドで、[Add] アイコン (  ) をクリックします。  
[Add New Directory Number Block] 画面が表示されます。
- ステップ 6** 必要に応じてフィールドに入力します。
- ステップ 7** [Add] をクリックします。[Edit Service Area] 画面に、サービス エリアが更新されたことを知らせる確認メッセージが表示されます。
- 

## サービス エリアまたは同じコール プロセッサに割り当てられているディレクトリ番号ブロックの表示

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択します。
- ステップ 2** [Service Area Configuration] ページで、[View Service Area] をクリックします。
- ステップ 3** 検索ページで、必要なサービス エリアを選択します。
- ステップ 4** [Directory Number Block] フィールドで、次のいずれかを行います。
- サービス エリアに割り当てられているディレクトリ番号ブロックを表示するには、次の手順を実行します。
    - a. [Assigned to this Service Area] ドロップダウン リストをクリックします。
    - b. ディレクトリ番号ブロックを選択します。ディレクトリ番号ブロックの詳細が表示されます。
  - 同じコール プロセッサに割り当てられているディレクトリ番号ブロックを表示するには、次の手順を実行します。
    - a. [Assigned to the Same Call Processor] ドロップダウン リストをクリックします。
    - b. ディレクトリ番号ブロックを選択します。ディレクトリ番号ブロックの詳細が表示されます。
-

# Quick Site Builder

Provisioning 管理者は、Quick Site Builder を使用することで、単一のウィンドウで簡単にドメインを作成し、ドメインに複数のサービス エリアを設定できます。これにより、初日の作業に費やす時間を短縮できます。Quick Site Builder を使用して、最大 21 のサービス エリアを持つドメインを作成できます。

Quick Site Builder では、サイトを作成できますが、管理することはできません。ドメインに関連付けられている既存のサービス エリアを修正することはできません。Quick Site Builder で作成したサービス エリアのみ修正できます。

サービス エリアの各画面を使用して、サイトの修正や削除を行うことができます。ディレクトリ番号ブロックの割り当てやプロビジョニング属性の設定など、高度なサービス エリア設定は、サービス エリアを作成した後でのみ可能になります。Quick Site Builder を使用して、サービス エリアのクローンやコピーの作成、マルチ編集、およびフィルタリングを行うことができます。

セッションは、[Quick Site Builder] 画面を閉じるまでアクティブなままになります。

## Quick Site Builder でのドメインと複数のサービス エリアの設定

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Quick Site Builder] を選択します。
- ステップ 2** 既存のドメイン名を選択するか、または新しいドメインの名前を入力します。  
既存のドメインを選択すると、選択したドメインに関連付けられた値が表示されます。



**(注)** この画面では、既存のドメインに関連する詳細を修正できません。

- ステップ 3** ドメインに関連する詳細を入力します。
- ステップ 4** [Configure Servicearea] をクリックします。  
[Service Area Configuration] ペインがリフレッシュされ、21 行がリストされます。必須フィールドのみ列名としてリストされます。[Settings] ボタンをクリックして、フィールド名を追加または削除します。
- ステップ 5** サービス エリアに関連する詳細を入力します。
- ステップ 6** [Save] をクリックして、サービス エリアをドメインに追加します。
- ステップ 7** [Expand] ボタンをクリックして、任意フィールドの詳細を表示および入力します。
- ステップ 8** [Save] をクリックして、任意の詳細を追加します。



**(注)** 必須の詳細を指定せずに、行に任意の詳細を指定することはできません。

- ステップ 9** [Edit] をクリックして、既存のサービス エリアの詳細を修正します。
- ステップ 10** [Clear] をクリックして、選択したサービス エリアの必須および任意の詳細をクリアします。  
[Clear] オプションでは、そのサービス エリアに関連する詳細のみ、行からクリアされます。行は、[Service Area Configuration] ペインから削除されません。
- ステップ 11** [Clone] をクリックして、既存のサービス エリアの詳細で、新しいサービス エリアを作成します。  
サービス エリアのクローニングの間、最初の空の行に新しいサービス エリアがリストされます。
- ステップ 12** マルチ編集を実行するには、複数のサービス エリアを選択して [Edit] をクリックします。

マルチ編集ページのフィールドに設定する値は、次の方法で表示されます。

- 選択した複数行の間で、ある値がある列内に出現する回数が最も多い場合、その値が表示されます。  
たとえば、3 行を選択した場合で、そのうち 2 行に同じ値 **a** が入っており、3 番目の行には値 **b** が入っている場合、値 **a** が表示されます。
- 選択した複数行の間で、異なる値が同じ回数だけ列内に出現する場合には、値は表示されず、フィールドは空になります。  
たとえば、2 行を選択した場合で、そのうち 1 行に値 **a** が入っており、他の行には値 **b** が入っている場合、どちらの値も表示されません。

**ステップ 13** 複数のサービス エリアの選択をキャンセルする場合には、[Uncheck] を選択します。

**ステップ 14** ドメインと複数のサービス エリアを作成する場合、または複数のサービス エリアを既存のドメインに関連付ける場合には、[Create Site] をクリックします。

設定したフィールド値は、[Service Area Configuration] ペインにのみ表示されます。経過表示バーが表示され、設定の進行状況が示されます。設定が完了すると、成功メッセージが表示されます。

Quick Site Builder を使用してドメインを作成すると、ドメインが正常に作成された時点で成功メッセージが表示されます。正常に作成されたサービス エリアに対して、[Complete] チェック マークが表示されます。

正常に設定されたサービス エリアに対して、[DN Block] フィールド名および [Provisioning Attribute] フィールド名がハイパーリンクとして表示されます。[DN Block] および [Provisioning Attribute] に値を指定していない場合、[Exit] をクリックすると、新しく設定したサービス エリアが [Quick Site Builder] 画面に表示されません。

[Design] > [Set Up Deployment] > [Service Areas] を選択して、[DN Block] と [Provisioning Attribute] の詳細を指定する必要があります。

[Quick Site Builder] 画面がリフレッシュされます。

**ステップ 15** [Update] リンクをクリックして、サービス エリアに対するディレクトリ番号ブロックを指定します。  
[Directory Number Block(s)] 画面が表示されます。

**ステップ 16** 必要な詳細情報を入力します。

**ステップ 17** [Add] をクリックします。

[Assigned Directory Number Block(s)] ペインに、新しく作成したディレクトリ番号ブロックが表示されます。

**ステップ 18** [Close] をクリックして、[Directory Number Block(s)] 画面を閉じます。

**ステップ 19** [Update] リンクをクリックして、プロビジョニング属性を追加します。

[Provisioning Attribute Management] ページが表示されます。

**ステップ 20** サービス エリアのプロビジョニング属性を更新します。

**ステップ 21** [Done] をクリックします。(プロビジョニング属性の説明については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください)。







## CHAPTER 5

# インフラストラクチャ設定

設定テンプレートを使用して Unified Communications Manager、Unified Communications Manager Express、Unity Express、Unity、Unity Connection、および汎用 IOS ルータを設定できます。  
[Infrastructure Configuration] ページを使用して、コール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサの設定に対する処理（追加、編集、または削除）を実行できます。

## 設定テンプレートの使用

設定テンプレートを使用すると、次のことを実行できます。

- 新しい Unified Communications Manager、Unified Communications Manager Express、Unity、Unity Connection、Unity Express、および汎用 IOS ルータの設定。
- 既存の Unified Communications Manager、Unified Communications Manager Express、Unity Express、または汎用 IOS ルータの展開の拡大（たとえば、新しいサイトまたはロケーションの導入）。

設定テンプレートを作成するには、設定テンプレートにインフラストラクチャ データ オブジェクトを追加します。表 5-1 ～表 5-3 に、プロビジョニング で使用できるインフラストラクチャ データ オブジェクトを示します。

インフラストラクチャ設定テンプレートのすべてのフィールドが、すべてのバージョンの Cisco Unified Communications Manager に適用できるわけではありません。

最大 5 レベルのネストされたテンプレートを作成できます。ネストされたテンプレートをループさせることはできません。

表 5-1 インフラストラクチャ データ オブジェクト（Unified Communications Manager のリリース）

| インフラストラクチャ データ オブジェクト                     | Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|-------------------------------------------|--------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                           | 7.1.x                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Analog Voice Gateway Reference            | Y                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Cisco Fax Relay                           | N                                    | N     | N     | Y     | Y   |
| Cisco Unified Communication Manager Group | N                                    | N     | N     | Y     | Y   |

表 5-1 インフラストラクチャ データ オブジェクト (Unified Communications Manager のリリース)  
(続き)

| インフラストラ<br>クチャ データ オ<br>ブジェクト          | Cisco Unified<br>Communications Manager |       |       |       |     |
|----------------------------------------|-----------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                        | 7.1.x                                   | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| CTI Route Point                        | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Call Park                              | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Call Pickup<br>Group                   | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Call Queuing                           | N                                       | N     | N     | N     | Y   |
| Call Search<br>Space                   | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Common Device<br>Config                | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Description                            | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| Device Pool                            | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Enable Telnet                          | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| H323 Gateway                           | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Hunt List                              | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Hunt Pilot                             | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Line Group                             | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Location                               | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| MAC Address<br>(Last 10<br>Characters) | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| Media Resource<br>Group                | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Media Resource<br>Group List           | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Meet-Me<br>Conference                  | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Modem<br>Passthrough                   | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| Module in Slot 0                       | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| MT Package<br>Capability               | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| Remote<br>Destination<br>Profile       | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Remote<br>Destination<br>Profile Line  | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| RES Package<br>Capability              | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |

表 5-1 インフラストラクチャ データ オブジェクト (Unified Communications Manager のリリース)  
(続き)

| インフラストラ<br>クチャ データ オ<br>ブジェクト | Cisco Unified<br>Communications Manager |       |       |       |     |
|-------------------------------|-----------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                               | 7.1.x                                   | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| RTP Package Capability        | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| RTP Report Interval (secs)    | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| RTP Unreachable OnOff         | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| RTP Unreachable timeout (ms)  | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Route Group                   | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Route List                    | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Route Partition               | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Route Pattern                 | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Simple SDP                    | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| SIP Trunk                     | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| SIP Profile                   | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| SST Package Capability        | N                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| T38 Fax Relay                 | N                                       | N     | N     | Y     | Y   |
| Translation Pattern           | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Unified CM Group              | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| VG202                         | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| VG204                         | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| VG224                         | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Voice Region                  | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Voiceport                     | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Voicemail Pilot               | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Voicemail Profile             | Y                                       | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 5-2 インフラストラクチャ データ オブジェクト (Cisco Unified Communications Manager : Session Management Edition)

| インフラストラクチャ データ オブジェクト | Cisco Session Management Edition |       |       |       |     |
|-----------------------|----------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                       | 7.1.x                            | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| SIP Trunk             | Y                                | Y     | Y     | Y     | Y   |
| SIP Profile           | Y                                | Y     | N     | Y     | Y   |

表 5-3 インフラストラクチャ データ オブジェクト (Cisco ユニファイド メッセージ プロセッサ)

| インフラストラクチャ データ オブジェクト                                   | Cisco ユニファイド メッセージ プロセッサ |       |       |       |     |
|---------------------------------------------------------|--------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                                         | 7.1.x                    | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Distribution List (Cisco Unity Connection) <sup>1</sup> | Y                        | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Distribution List (Cisco Unity)                         | Y                        | Y     | N     | Y     | Y   |

1. Distribution List (Cisco Unity Connection) は、Cisco Unified Communications Manager 7.1.3 以降でサポートされます。

多くのインフラストラクチャ データ オブジェクト フィールドでは、リストに項目を追加し、リスト内で項目を上下に移動できます。これらの操作の詳細については、次の項を参照してください。

- 「設定テンプレート内のリストへの項目の追加」(P.5-46)
- 「設定テンプレート内の項目順序の変更」(P.5-46)



(注)

手動でテキストを入力するデータ オブジェクト フィールドはすべて、大文字と小文字が区別されます。

表 5-4 CTI Route Point データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                | 説明                                                                                                                   |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                 | オブジェクト名。                                                                                                             |
| Description          | 説明 (任意)。                                                                                                             |
| Device Pool          | 使用可能なデバイス プールのリスト。デバイス プールは、このデバイスのプロパティのコレクション (Unified CM グループ、日付/時刻グループ、リージョン、デバイスの自動登録用コーリング サーチ スペースなど) を指定します。 |
| Common Device Config | 共通のデバイス設定 (ソフトウェア テンプレートやユーザ ロケールなど)。                                                                                |

表 5-4 CTI Route Point データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                                 | 説明                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Call Search Space                     | 収集された（発信側）番号のルーティング方法を決定するために検索されるルート パーティションのコレクションを指定します。                                                                                                                                           |
| Location                              | このロケーションに行き来するコールが使用できる合計帯域幅を指定します。設定値の <b>None</b> は、このルート ポイントで使用される帯域幅がロケーション機能によって追跡されないことを意味します。                                                                                                 |
| Directory Numbers                     | ディレクトリ番号を入力します。これらのディレクトリ番号は、 <b>Cisco Unified Communications Manager</b> に存在していない必要があります。                                                                                                            |
| Route Partition for Directory Numbers | 使用可能なルート パーティション。                                                                                                                                                                                     |
| Media Resource Group List             | メディア リソース グループの優先順位付けされたリストを提供します。アプリケーションは、 <b>Media Resource Group List</b> で定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースから必要なメディア リソース（保留音サーバなど）を選択します。<br><br>このフィールドが空白の場合は、デバイス プールで定義されたメディア リソース グループが使用されます。 |
| User Locale                           | 電話機ユーザに関連付けられたユーザ ロケール。 <b>User Locale</b> は、言語、フォント、日付と時刻のフォーマット、英数字キーボードのテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。                                                                                       |
| User Hold MOH Audio Source            | ユーザが保留操作を開始したときに再生される保留音のオーディオソース。                                                                                                                                                                    |
| Network Hold Audio Source             | ネットワークが保留操作を開始したときに再生されるオーディオソース。                                                                                                                                                                     |

表 5-5 Call Park インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド           | 説明                                                      |
|-----------------|---------------------------------------------------------|
| Number/Range    | コール パーク内線番号または番号の範囲を入力します。                              |
| Description     | 説明（任意）。                                                 |
| Route Partition | 使用可能なルート パーティションのリスト。                                   |
| Unified CM      | 使用可能な <b>Cisco Unified Communications Manager</b> のリスト。 |

表 5-6 Call Pickup Group インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド           | 説明                    |
|-----------------|-----------------------|
| Name            | オブジェクト名。              |
| Number          | 一意のディレクトリ番号（整数）。      |
| Description     | 説明（任意）。               |
| Route Partition | 使用可能なルート パーティションのリスト。 |

表 5-6 Call Pickup Group インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                          | 説明                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Calling Party Information                      | コール ピックアップ グループへの視覚的な通知メッセージに発信者の識別情報を含めます。この設定が適用されるのは、Call Pickup Group Notification Policy が Visual Alert または Audio and Visual Alert に設定されている場合だけです。 |
| Available Member Call Pickup Groups            | 使用可能なコール ピックアップ グループのリスト。コール ピックアップ グループのリストの順序は、ディレクトリ番号とパーティションではなく、グループの名前です。                                                                        |
| Call Pickup Group Notification Policy          | コール ピックアップ グループの通知ポリシーを設定します。                                                                                                                           |
| Call Pickup Group Notification Timer (seconds) | コールがダイヤル先端末に最初に着信してから、コール ピックアップ グループ内の他の端末に通知が送信されるまでの遅延時間を設定します。                                                                                      |
| Directory Number Info                          | ルート パーティションを示したディレクトリ番号のリスト。加入者に関連付けられているか、リンクされているディレクトリ番号だけをコール ピックアップ グループに追加できます。<br><br>(注) 一度に追加または削除 (あるいは、追加と削除の組み合わせ) ができるディレクトリ番号は、200 個までです。 |
| Called Party Information                       | コール ピックアップ グループへの視覚的な通知メッセージに着信者の識別情報を含めます。この設定が適用されるのは、Call Pickup Group Notification Policy が Visual Alert または Audio and Visual Alert に設定されている場合だけです。 |

表 5-7 Call Search Space インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                      | 説明                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                       | オブジェクト名。                                                                                                                                                                                                        |
| Description                | 説明 (任意)。                                                                                                                                                                                                        |
| Available Route Partitions | 使用可能なルート パーティションのリスト。ルート パーティション リストは厳密には必要ありませんが、少なくとも 1 つの値を指定しておく必要があります。<br><br>Cisco Unified Communications Manager にすでに存在しているルート パーティションを参照するか、このコーリング サーチ スペースよりも前に同じ設定テンプレートでルート パーティションを定義している必要があります。 |

表 5-8 Common Device Config インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                      | 説明                                         |
|----------------------------|--------------------------------------------|
| Name                       | オブジェクト名。                                   |
| Softkey Template           | Cisco IP Phone のソフトキーの設定を指定するソフトキー テンプレート。 |
| User Hold MOH Audio Source | ユーザが保留操作を開始したときに再生される保留音のオーディオソース。         |

表 5-8 Common Device Config インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                     | 説明                                                                                                      |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Network Hold Audio Source | ネットワークが保留操作を開始したときに再生されるオーディオ ソース。                                                                      |
| User Locale               | 電話機ユーザに関連付けられたユーザ ロケール。User Locale は、言語、フォント、日付と時刻のフォーマット、英数字キーボードのテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。 |
| MLPP Indication           | デバイス プール内の優先トーン再生機能のあるデバイスが、MLPP 優先コールを発信するときにその機能を使用するかどうかを指定します。                                      |
| MLPP Preemption           | デバイス プール内の、進行中のコールのプリエンプション機能のあるデバイスが、MLPP 優先コールを発信するときにその機能を使用するかどうかを指定します。                            |
| MLPP Domain               | このデバイスに関連付けられた Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) ドメイン。                                        |

表 5-9 Unity 同報リスト インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド


| フィールド                                               | 説明                                                                                  |
|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Alias                                               | 同報リストのエイリアス名。                                                                       |
| Display Name                                        | 同報リストの名前。                                                                           |
| Extension                                           | 電話システムが接続に使用する内線番号。                                                                 |
| Owner                                               | 加入者または同報リスト用のコール ハンドラの所有者。                                                          |
| Owner Type                                          | 所有者のタイプ。                                                                            |
| Show Distribution List in Email Server Address Book | 電子メール サーバ アドレス帳で同報リスト名を表示します。                                                       |
| Member List                                         | 同報リストに関連付けられたメンバーのリスト。Alias/MemberType の形式を使用します。                                   |
|                                                     |  |
|                                                     | (注) デフォルトのシステム同報リストは削除できません。                                                        |

表 5-10 Unity Connection 同報リスト インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド          | 説明                                        |
|----------------|-------------------------------------------|
| Alias          | 同報リストのエイリアス名。                             |
| Display Name   | 同報リストの名前。                                 |
| Extension      | 電話システムが接続に使用する内線番号。                       |
| Partition      | ユーザまたは外部発信者が到達可能な同報リストの範囲の定義に使用するパーティション。 |
| Allow Contacts | 連絡先を同報リストのメンバーに追加できるかどうかを指定します。           |

表 5-10 Unity Connection 同報リスト インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                | 説明                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Accept Messages from Foreign Systems | VPIM ロケーションとして構成されたリモート ボイス メッセージング システム上のユーザはこの同報リストにメッセージを送信できます。                                                                                                                             |
| Member List                          | 同報リストに関連付けられたユーザのリスト。Alias/MemberType の形式を使用します。<br><br>一度に 200 メンバーのみ追加、修正、または削除できます。<br><br>パフォーマンスを向上させるために、それぞれ 500 メンバーを持つ、最大で 20 の同報リストを推奨しています。500 を超えるメンバーを管理する場合には、ネストされた同報リストを推奨できます。 |

表 5-11 Device Pool インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                                    | 説明                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                                     | オブジェクト名。                                                                                                                                                                                |
| Cisco Unified CM Group                   | 使用可能な Cisco Unified Communications Manager グループのリスト。                                                                                                                                    |
| Date/Time Group                          | このデバイス プール内のデバイスに割り当てる日付/時刻グループ。                                                                                                                                                        |
| Region                                   | このデバイス プール内のデバイスに割り当てる Cisco Unified Communications Manager リージョン。                                                                                                                      |
| Softkey Template                         | Cisco IP Phone のソフトキーの設定を指定するソフトキー テンプレート。                                                                                                                                              |
| SRST Reference                           | このデバイス プール内のデバイスに割り当てる Survivable Remote Site Telephony (SRST) リファレンス。                                                                                                                  |
| Calling Search Space for Auto-Generation | このデバイス プール内のデバイスに割り当てる、Cisco Unified Communications Manager に自動登録されるコーリング サーチ スペース。                                                                                                     |
| Media Resource Group List                | メディア リソース グループの優先順位付けされたリストを提供します。アプリケーションは、Media Resource Group List で定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースから必要なメディア リソース (保留音サーバなど) を選択します。このフィールドが空白の場合は、デバイス プールで定義されたメディア リソース グループが使用されます。 |
| Network Hold MOH Audio Source            | ネットワークが保留操作を開始したときに再生されるオーディオ ソース。                                                                                                                                                      |
| User Hold MOH Audio Source               | ユーザが保留操作を開始したときに再生される保留音のオーディオ ソース。                                                                                                                                                     |
| Network Locale                           | 電話機とゲートウェイに関連付けられたロケール。                                                                                                                                                                 |
| User Locale                              | 電話機ユーザに関連付けられたユーザ ロケール。User Locale は、言語、フォント、日付と時刻のフォーマット、英数字キーボードのテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。                                                                                 |
| Connection Monitor Duration              | IP Phone が SRST から登録解除されて Cisco Unified Communications Manager に再登録されるまでの時間を定義します。この間、IP Phone は Cisco Unified Communications Manager への接続をモニタします。                                      |



表 5-11 Device Pool インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド           | 説明                                                                           |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------|
| MLPP Indication | デバイス プール内の優先トーン再生機能のあるデバイスが、MLPP 優先コールを発信するときにその機能を使用するかどうかを指定します。           |
| MLPP Preemption | デバイス プール内の、進行中のコールのプリエンプション機能のあるデバイスが、MLPP 優先コールを発信するときにその機能を使用するかどうかを指定します。 |
| MLPP Domain     | このデバイスに関連付けられた Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) ドメイン。             |

表 5-12 H323 Gateway インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                                          | 説明                                                                                                                   |
|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                                           | オブジェクト名。                                                                                                             |
| Description                                    | 説明 (任意)。                                                                                                             |
| Device Pool                                    | 使用可能なデバイス プールのリスト。デバイス プールは、このデバイスのプロパティのコレクション (Unified CM グループ、日付/時刻グループ、リージョン、デバイスの自動登録用コーリング サーチ スペースなど) を指定します。 |
| Call Classification                            | このゲートウェイを使用する着信コールが、ネットワークの外側へ向かうか (OffNet)、ネットワーク上にあるか (OnNet) を指定します。                                              |
| Media Resource Group List                      | メディア リソース グループの優先順位付けされたリストを提供します。                                                                                   |
| Location                                       | このデバイスのロケーション。                                                                                                       |
| Media Termination Point Required               | H.323 でサポートされていない機能 (保留や転送など) を実装するためにメディア ターミネーション ポイントを使用している場合は [Yes] を選択します。                                     |
| Retry Video Call As Audio                      | コールを受信するビデオ エンドポイントに適用されます。                                                                                          |
| Wait for Far End H.245 Terminal Capability Set | Cisco Unified Communications Manager が、自身の H.245 端末機能セットを送信する前に、遠端の H.245 端末機能セットを受信する必要があることを指定します。                 |
| MLPP Domain                                    | このデバイスに関連付けられた Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) ドメイン。                                                     |
| Significant Digits Value                       | 着信コールで保持される末尾からの桁数を表します。                                                                                             |
| Calling Search Spaces                          | 収集された (発信側) 番号のルーティング方法を決定するために検索されるルート パーティションのコレクションを指定します。                                                        |
| AAR Calling Search Space                       | 帯域幅不足が原因でコールがブロックされた場合に、収集された (発信側) 番号の他のルーティング方法を決定するために検索されるルート パーティションのコレクションを指定します。                              |
| Prefix DN                                      | 着信コールの着番号に追加されるプレフィックス番号。                                                                                            |
| Redirecting Number IE Delivery - Inbound       | Cisco Unified Communications Manager への着信 SETUP メッセージに含まれる Redirecting Number IE を受け入れる場合は [Yes] を選択します。             |
| Calling Party Selection                        | ゲートウェイ上の発信コールでは、ディレクトリ番号情報を送信できます。送信するディレクトリ番号を選択します。                                                                |

表 5-12 H323 Gateway インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                     | 説明                                                                                                                  |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Calling Party Presentation                | Cisco Unified Communications Manager で発信側電話番号の表示を許可するか、禁止するかを選択します。                                                 |
| Called Party IE Number Type Unknown       | 着信側ディレクトリ番号の数字タイプの形式を選択します。                                                                                         |
| Calling Party IE Number Type Unknown      | 発信側ディレクトリ番号の数字タイプの形式を選択します。                                                                                         |
| Called Numbering Plan                     | 着信側ディレクトリ番号の番号計画の形式を選択します。                                                                                          |
| Calling Numbering Plan                    | 発信側ディレクトリ番号の番号計画の形式を選択します。                                                                                          |
| Caller ID DN                              | 発呼回線 ID に使用するパターンを 0 ～ 24 桁で入力します。                                                                                  |
| Display IE Delivery                       | 発信側および着信側のネーム デリバリー サービスにおいて、SETUP、CONNECT、および NOTIFY メッセージでの表示情報要素の配信を有効にします。                                      |
| Redirecting Number IE Delivery - Outbound | コールを転送するとき、Cisco Unified Communications Manager からの発信 SETUP メッセージに、コールの最初の転送番号と転送理由を示す Redirecting Number IE を含めます。 |
| Packet Capture Mode                       | このフィールドは、H.323 ゲートウェイの暗号化シグナリング情報のトラブルシューティングを行う場合に設定します。                                                           |
| Common Device Config                      | 共通のデバイス設定 (ソフトキー テンプレートやユーザ ロケールなど)。                                                                                |
| SRTP Allowed                              | Cisco Unified Communications Manager で、ゲートウェイを経由したセキュア コールおよびノンセキュア コールを許可する場合は [Yes] を選択します。                       |
| Trace Flag                                | 未使用。                                                                                                                |
| Version Stamp                             | 未使用。                                                                                                                |
| CTI                                       | 未使用。                                                                                                                |
| Enable Outbound FastStart                 | 発信コールに対して H323 FastStart 機能を有効にする場合は [Yes] を選択します。                                                                  |
| AAR Group                                 | 帯域幅不足が発生した場合の代替ルーティング グループを選択します。                                                                                   |
| Packet Capture Duration                   | このフィールドは、H.323 ゲートウェイの暗号化シグナリング情報のトラブルシューティングを行う場合に設定します。                                                           |

表 5-13 Hunt List インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                  | 説明                                                   |
|------------------------|------------------------------------------------------|
| Name                   | オブジェクト名。                                             |
| Description            | 説明 (任意)。                                             |
| Cisco Unified CM Group | 使用可能な Cisco Unified Communications Manager グループのリスト。 |
| Enable this Hunt List  | ハント リストを有効にする場合は [Yes] を選択します。                       |
| Available Line Group   | 使用可能な回線グループのリスト。                                     |

表 5-14 Hunt Pilot インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                                          | 説明                                                                                        |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| Pattern Definition                             |                                                                                           |
| Pattern                                        | ハント パイロット。数字とワイルドカードを含めることができますが、スペースは使用できません。                                            |
| Route Partition                                | パーティションを使用してハント パイロットへのアクセスを制限する場合は、適切なパーティションを選択します。                                     |
| Description                                    | 説明（任意）。                                                                                   |
| Numbering Plan                                 | 番号計画を選択します。                                                                               |
| Route Filter                                   | ハント パイロットに @ ワイルドカードが含まれている場合は、ルート フィルタを選択できます。                                           |
| MLPP Precedence                                | MLPP 優先設定。                                                                                |
| Hunt List                                      | 追加するハント パイロットに関連するハント リストを選択します。                                                          |
| Urgent Priority                                | Cisco Unified Communications Manager がコールをすぐにルーティングする必要がある場合に桁間タイミングを中断する場合、[Yes] を選択します。 |
| Block Enabled                                  | ブロックを有効または無効にします。                                                                         |
| Release Cause                                  | Block Enabled フィールドの設定に依存します。解放原因を選択する場合は、Block Enabled を [True] に設定する必要があります。            |
| Calling Party Transformations                  |                                                                                           |
| Use Calling Party's External Phone Number Mask | 発信コールの Calling Line Identification (CLID; 発呼回線 ID) に完全な外線電話番号を使用する場合は [Yes] を選択します。       |
| Calling Party Transformation Mask              | 変換マスク値を入力します。                                                                             |
| Calling Party Prefix Digits (Outgoing Calls)   | プレフィックス番号を入力します。                                                                          |
| Calling Line Presentation                      | 発信側電話番号をコール単位で許可または禁止するための補足サービスとして使用されます。                                                |
| Calling Name Presentation                      | 発信側の名前をコール単位で許可または禁止するための補足サービスとして使用されます。                                                 |
| Connected Party Transformations                |                                                                                           |
| Connected Line Presentation                    | 着信側電話番号をコール単位で許可または禁止するための補足サービスとして使用されます。                                                |
| Connected Name Presentation                    | 着信側の名前をコール単位で許可または禁止するための補足サービスとして使用されます。                                                 |
| Called Party Transformations                   |                                                                                           |
| Called Party Discard Digits                    | このハント パイロットに関連付ける数字破棄命令を選択します。                                                            |
| Called Party Transformation Mask               | 変換マスク値を入力します。                                                                             |
| Called Party Prefix Digits (Outgoing Calls)    | プレフィックス番号を入力します。                                                                          |
| Queuing                                        |                                                                                           |
| Queue Calls                                    | コール キューイングをイネーブルにするには、このチェックボックスをオンにします。                                                  |

表 5-14 Hunt Pilot インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Network Hold MOH Source and Announcements                    | 保留音と、コールがキューに保持されている場合に再生する通知を含むオーディオ ソース ファイルを選択します。                                                                                                                                                                                        |
| Maximum Number of Callers Allowed in a Queue                 | <p>ハント パイロットごとにキューに配置する発信者の最大数を指定する値を入力します。</p> <p>コール キューイングでは、ハント パイロットごとに最大 100 人の発信者をキューに配置できます。特定のハント パイロットでこの制限に達した後、後続のコールは代替番号にルーティングできます。</p>                                                                                       |
| Enable This When Queue is Full                               | キューがいっぱいになった場合に、代替的な番号にコールをルーティングするには、このチェックボックスをオンにします。                                                                                                                                                                                     |
| Route the Call to This Destination When the Queue is Full    | <p>キューがいっぱいになった場合に、コールをルーティングするディレクトリ番号を入力します。</p> <p>このフィールドでは、数字 (0 ~ 9)、大文字のエックス (X)、アスタリスク (*)、およびハッシュ記号 (#) を使用できます。</p>                                                                                                                |
| Full Queue Calling Search Space                              | キューがいっぱいになった場合に、コールを転送するために使用するコーリング サーチ スペースを指定します。                                                                                                                                                                                         |
| Maximum Wait Time in Queue                                   | <p>キュー内の各コールに対して、最大待機時間を指定する値 (秒単位) を入力します。</p> <p>各発信者は、ハント パイロットあたり最大 3600 秒までキューに入れることができます。この制限に達した後、その発信者は代替番号にルーティングされます。</p>                                                                                                          |
| Enable This When Max Wait Time is Met                        | 最大待機時間に達した場合に、代替番号にコールをルーティングするには、このチェックボックスをオンにします。                                                                                                                                                                                         |
| Route the Call to This Destination If Max Wait Time is Met   | 最大待機時間に達した場合に、コールをルーティングするディレクトリ番号を入力します。                                                                                                                                                                                                    |
| Maximum Wait Time Calling Search Space                       | 最大待機時間に達した場合に、コールを転送するために使用するコーリング サーチ スペースを指定します。                                                                                                                                                                                           |
| Enable This When No Hunt Members are Logged In               | ハント メンバーがまったくログインまたは登録していない場合に、代替番号にコールをルーティングするには、このチェックボックスをオンにします。                                                                                                                                                                        |
| Route the Call to This Destination If there is No Agent      | <p>コールの時点で、使用可能なハント パイロットのメンバーがまったくいない、または登録されていない場合に、コールをルーティングするディレクトリ番号を入力します。</p> <p>コール キューイングで、ハント パイロット メンバーは、Do Not Disturb (DND) を非アクティブにし、さらにハント グループにログインしている場合に、使用可能であると見なされます。その他のすべての場合、回線メンバーは、使用できない、またはログオフしていると見なされます。</p> |
| No Hunt Members Logged In or Registered Calling Search Space | ハント メンバーがまったくログインまたは登録していない場合に、コールを転送するために使用するコーリング サーチ スペースを指定します。                                                                                                                                                                          |

表 5-15 Line Group インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                        | 説明                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                         | オブジェクト名。                                                                                                                                                                                                      |
| RNA Reversion Timeout        | コールの応答がない場合、および最初のハント オプション「Try next member; then, try next group in Hunt List」が選択されている場合に、Cisco Unified Communications Manager が、この回線グループの次の使用可能なメンバーまたはアイドル状態のメンバー、または次の回線グループへのコールの分散を開始するまでの時間を秒単位で入力します。 |
| Distribution Algorithm       | 回線グループ レベルで適用する分散アルゴリズムを選択します。                                                                                                                                                                                |
| Hunt Algorithm No Answer     | 指定の分散アルゴリズムに対して、回線グループの応答のないメンバーにコールが分散された場合に使用する Cisco Unified Communications Manager のハント オプションを選択します。                                                                                                      |
| Hunt Algorithm Busy          | 指定の分散アルゴリズムに対して、回線グループのビジー状態のメンバーにコールが分散された場合に使用する Cisco Unified Communications Manager のハント オプションを選択します。                                                                                                     |
| Hunt Algorithm Not Available | 指定の分散アルゴリズムに対して、回線グループの使用不可のメンバーにコールが分散された場合に使用する Cisco Unified Communications Manager のハント オプションを選択します。                                                                                                      |
| Directory Numbers            | Cisco Unified Communications Manager にすでに存在するディレクトリ番号を入力します。                                                                                                                                                  |

表 5-16 Location インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name            | オブジェクト名。                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Audio Bandwidth | このロケーションと他のロケーションを結ぶリンク上のすべての音声コールで使用できる音声の最大帯域幅 (kbps 単位) を入力します。<br><br>(注) このオプションは、Cisco Unified Communications Manager 9.0 以降だけで利用できます。Cisco Unified Communications Manager 8.x 以前のバージョンでは、[Audio Kilobytes] フィールドが表示されます。                                           |
| Video Bandwidth | このロケーションと他のロケーションを結ぶリンク上のすべてのビデオコールで使用できるビデオの最大帯域幅 (kbps 単位) を入力します。無制限にする場合は 0 を指定し、まったく使用しない場合は -1 を指定します。<br><br>(注) このオプションは、Cisco Unified Communications Manager 9.0 以降だけで利用できます。Cisco Unified Communications Manager 8.x 以前のバージョンでは、[Video Kilobytes] フィールドが表示されます。 |

表 5-17 Media Resource Group インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                      | 説明                                     |
|----------------------------|----------------------------------------|
| Name                       | オブジェクト名。                               |
| Description                | 説明（任意）。                                |
| Available Devices          | 選択できる使用可能なメディア リソース。                   |
| Is Multicast for MOH Audio | 保留音に対してマルチキャストを使用する場合は [Yes] をクリックします。 |

表 5-18 Media Resource Group List インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                                | 説明                        |
|--------------------------------------|---------------------------|
| Name                                 | オブジェクト名。                  |
| Description                          | 説明（任意）。                   |
| Available Media Resource Group Names | 選択できる使用可能なメディア リソース グループ。 |

表 5-19 ミートミー番号/パターン データ オブジェクト フィールド

| フィールド                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Directory Number or Pattern | ミートミー番号/パターンまたは番号の範囲を入力します。<br><br>範囲を設定するには、角カッコ内でダッシュを使用し、その後ろに数値を入力します。たとえば、範囲 1000 ～ 1050 を設定するには、10[0-5]0 と入力します。<br><br>このフィールドには、最大 24 文字まで入力できます。                                                                                                                                           |
| Description                 | 説明には、最大 50 文字まで使用できます。二重引用符 (")、バックスラッシュ (\)、ダッシュ (-)、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、またはかぎカッコ (<>) は、使用できません。                                                                                                                                                                                               |
| Partition                   | パーティションを使用してミートミー番号/パターンへのアクセスを制限するには、ドロップダウン リストから必要なパーティションを選択します。                                                                                                                                                                                                                                |
| Minimum Security Level      | ドロップダウン リストから、このミートミー番号/パターンに対する最低セキュリティ レベルを選択します。<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>非セキュアな電話機を使用している参加者が会議に参加することをブロックするには、[Authenticated] を選択します。</li> <li>非セキュアな電話機を使用している参加者が会議に参加することをブロックするには、[Encrypted] を選択します。</li> <li>すべての参加者に会議への参加を許可するには、[Non Secure] を選択します。</li> </ul> |

表 5-20 Route Group インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド             | 説明                                      |
|-------------------|-----------------------------------------|
| Name              | オブジェクト名。                                |
| Available Members | 選択できる使用可能なデバイス。                         |
| Ports             | デバイスが個々に設定可能なポートをサポートしている場合は、ポートを選択します。 |

表 5-21 Route List インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                                                     | 説明                                                   |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| Name                                                      | オブジェクト名。                                             |
| Description                                               | 説明（任意）。                                              |
| Cisco Unified CM Group                                    | 使用可能な Cisco Unified Communications Manager グループのリスト。 |
| Enable this Route List                                    | ルート リストを有効にする場合は [Yes] を選択します。                       |
| Available Member Route Group                              | 使用可能なルート グループのリスト。                                   |
| Available Member Use Fully Qualified Calling Party Number | 使用可能なルート グループが、完全修飾された発番号を使用する必要があるかどうかを指定します。       |
| Member Calling Party Transformation Mask                  | 変換マスク値。                                              |
| Member Calling Party Prefix Digits                        | プレフィックス番号。                                           |
| Available Member Discard Digits Instruction               | このルート リストに関連付ける数字破棄命令を指定します。                         |
| Member Called Party Transformation Mask                   | 変換マスク値。                                              |
| Member Called Party Prefix Digits                         | プレフィックス番号。                                           |

表 5-22 Route Partition インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド       | 説明       |
|-------------|----------|
| Name        | オブジェクト名。 |
| Description | 説明（任意）。  |

表 5-23 Route Pattern インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド           | 説明                                                   |
|-----------------|------------------------------------------------------|
| Pattern         | 数字とワイルドカードを含む有効なルート パターン。                            |
| Route Partition | パーティションを使用してルート パターンへのアクセスを制限する場合は、適切なパーティションを選択します。 |

表 5-23 Route Pattern インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Description                                    | 説明 (任意)。                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Numbering Plan                                 | 番号計画。デフォルト設定は North American Numbering Plan (NANP; 北米番号計画) です。                                                                                                                                                                                                                                    |
| Route Filter                                   | ルート パターンに @ ワイルドカードが含まれている場合は、ルート フィルタを選択できます。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| MLPP Precedence                                | MLPP 優先設定。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Gateway, Route List, or SIP Trunk              | 追加するルート パターンに関連するゲートウェイまたはルート リストを選択します。リストに表示されない値を入力することもできます。カスタム値を入力する場合は、ゲートウェイであるか、ルート リストであるか、または SIP トランクであるかを必ず指定します。名前の後に、次のいずれかを追加します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [GW]: ゲートウェイ</li> <li>• [RL]: ルート リスト</li> <li>• [ST]: SIP トランク</li> </ul> たとえば、gatewayname[GW] となります。 |
| Is Gateway Destination Type Gateway            | 宛先デバイスがゲートウェイかどうかを示します。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Urgent Priority                                | [Yes] を選択した場合、Cisco Unified Communications Manager がコールをすぐにルーティングする必要がある場合に桁間タイミングが中断されます。                                                                                                                                                                                                        |
| Block Enabled                                  | ブロックを有効または無効にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Release Cause                                  | Block Enabled フィールドの設定に依存します。解放原因を選択する場合は、Block Enabled を [True] に設定する必要があります。                                                                                                                                                                                                                    |
| Call Classification                            | このルート パターンを通じてルーティングされるコールが、ローカル ネットワークの外側へ向かうか (OffNet)、ローカル ネットワーク上にあるか (OnNet) を示します。                                                                                                                                                                                                          |
| Allow Device Override                          | [Yes] を選択した場合は、関連するゲートウェイまたはトランクに設定された Call Classification 設定に基づいて、発信コールが OffNet または OnNet と見なされます。                                                                                                                                                                                               |
| Provide Outside Dial Tone                      | [Yes] を選択した場合、アウトサイド ダイヤル トーンが提供されます。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Use Calling Party's External Phone Number Mask | 発信コールの Calling Line Identification (CLID; 発呼回線 ID) に完全な外線電話番号を使用する場合は [Yes] を選択します。                                                                                                                                                                                                               |
| Calling Party Transformation Mask              | 変換マスク値。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Calling Party Prefix Digits (Outgoing Calls)   | プレフィックス番号。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Calling Line ID Presentation                   | このルート パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で着信側電話機のディスプレイへの発信側電話番号の表示を許可するか、禁止するかを指定します。                                                                                                                                                                                                 |
| Calling Name Presentation                      | このルート パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で着信側電話機のディスプレイへの発信側の名前の表示を許可するか、禁止するかを指定します。                                                                                                                                                                                                  |



表 5-23 Route Pattern インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                        | 説明                                                                                                |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Connected Line ID Presentation               | このルート パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で発信側電話機のディスプレイへの接続先電話番号の表示を許可するか、禁止するかを指定します。 |
| Connected Name Presentation                  | このルート パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で発信側電話機のディスプレイへの接続先の名前の表示を許可するか、禁止するかを指定します。  |
| Called Party Discard Digits (Outgoing Calls) | このルート パターンに関連付ける数字破棄命令を指定します。                                                                     |
| Called Party Transformation Mask             | 変換マスク値。                                                                                           |
| Called Party Prefix Digits (Outgoing Calls)  | プレフィックス番号。                                                                                        |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                | 説明                                                                                                                                       |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AAR Group            | AAR (自動代替ルーティング) グループとは、帯域幅不足のためにブロックされるコールをルーティングするときに使用されるプレフィックス番号です。<br><br>AAR グループの設定が「None」の場合は、ブロックされたコールの再ルーティングは試行されません。       |
| Call Classification  | このトランクを使用する着信コールを、ネットワーク外と見なすか (OffNet)、ネットワーク上にあると見なすか (OnNet)、システムのデフォルト設定を使用するかを指定します。                                                |
| Common Device Config | このトランクに割り当てる共通デバイス設定を選択します。<br><br>共通デバイス設定には、特定のユーザに関連付けられている属性 (サービスまたは機能) が含まれています。共通デバイス設定は、[Common Device Configuration] ページで設定します。 |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Connected Party Transformation CSS | <p>DID や E164 番号のような別のフォーマットで接続先の番号を表示するには、デバイスで着信側番号を変換することを選択します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、200 OK メッセージや mid-call update/reinvite メッセージなどの各種の SIP メッセージのヘッダーに、変換後の番号を取り入れます。</p> <p>選択した着信側変換 CSS に、このデバイスに割り当てる着信側トランスフォーメーション パターンが含まれていることを確認してください。</p> <p>[Connected Party Transformation CSS] を [None] と設定した場合は、変換の照合と適用は行われません。設定する着信側変換 CSS が属するパーティションが非ヌル パーティションであり、ルーティングには使用されないことを確認してください。</p> |
| Device Name                        | オブジェクト名。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Description                        | 説明 (任意)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Device Pool                        | 使用可能なデバイス プールのリスト。デバイス プールは、このデバイスのプロパティのコレクション (Unified CM グループ、日付/時刻グループ、リージョン、デバイスの自動登録用コーリング サーチ スペースなど) を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Location                           | このロケーションと中央のロケーション (またはハブ) との間のコールに使用可能な総帯域幅を指定します。ロケーション設定が「Hub_None」の場合は、使用可能な帯域幅は無制限です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Media Resource Group List          | メディア リソース グループの優先順位付けされたリストを提供します。アプリケーションは、Media Resource Group List で定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースから必要なメディア リソース (保留音サーバなど) を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Media Termination Point Required | <p>H.323 でサポートされない機能（保留や転送など）を実装するために Media Termination Point (MTP; メディア ターミネーション ポイント) を使用するかどうかを示します。</p> <p>機能を実装するためのメディア ターミネーション ポイントを使用する必要がある場合は、[Media Termination Point Required] チェックボックスをオンにします。機能を実装するためのメディア ターミネーション ポイントを使用する必要がない場合は、[Media Termination Point Required] チェックボックスをオフにします。</p> <p>このチェックボックスは、H.323 クライアントおよび H.245 Empty Capabilities Set をサポートしない H.323 デバイスだけでオンにしてください。または、単一ソースを通してメディア ストリーミングを終端させる場合にオンにしてください。</p> <p>このチェックボックスが選択されて MTP が必須になっている場合に、いずれかのデバイスがビデオ エンドポイントのときは、コールはオーディオだけとして動作します。</p> |
| Retry Video Call as Audio        | <p>コールを受信するビデオ エンドポイントに適用されます。トランクの場合は、この設定が関係するのは Cisco Unified Communications Manager から受信されるコールであり、Wide Area Network (WAN; ワイドエリア ネットワーク) から受信されるコールには関係しません。</p> <p>デフォルトでは、このチェックボックスはオンです。オンのときは、ビデオ コールとして接続できないコールは、コール制御に送られて再ルーティングされる前に、即座にオーディオ コールとして再試行されます。</p> <p>このチェックボックスをオフにした場合は、ビデオとして接続できないビデオ コールがオーディオ コールとしての接続を試行されることはありません。そのコールはコール制御に送られ、コール制御によって自動代替ルーティング (AAR) グループやルート/ハント リストを介してルーティングされます。</p>                                                                                                              |
| Unattended Port                  | <p>オンの場合は、不在ポート（たとえばボイスメール ポート）へのコールのリダイレクトや転送が可能になります。デフォルト値はオフです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SRTP Allowed            | <p>Cisco Unified Communications Manager によるトランクを経由したセキュア コールとノンセキュア コールを許可する場合に選択します。</p> <p>このチェックボックスをオフにすると、Cisco Unified Communications Manager とトランクとの SRTP ネゴシエーションは行われず、RTP が使用されます。</p> <p>このチェックボックスをオンにする場合は、IPSec を設定することをお勧めします。これは、キーなどのセキュリティ関連の情報がコールのネゴシエーション中に公開されるのを防ぐためです。</p> <p>IPSec が正しく設定されていない場合は、Cisco Unified Communications Manager とゲートウェイの間のシグナリングがセキュアではなくなると考えてください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Use Trusted Relay Point | <p>Cisco Unified Communications Manager によってこのメディア エンドポイントとともに Trusted Relay Point (TRP; 信頼できるリレー ポイント) デバイスを挿入するかどうかを、リストから選択します。次の値のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Default</b> : このデバイスに関連付けられている共通デバイス設定の [Use Trusted Relay Point] 設定を使用します。</li> <li>• <b>Off</b> : このデバイスでの TRP の使用をディセーブルにします。この設定は、このデバイスに関連付けられている共通デバイス設定の [Use Trusted Relay Point] 設定よりも優先されます。</li> <li>• <b>On</b> : このデバイスでの TRP の使用をイネーブルにします。この設定は、このデバイスに関連付けられている共通デバイス設定の [Use Trusted Relay Point] 設定よりも優先されます。</li> </ul> <p>TRP デバイスは MTP または TRP というラベルが付いているトランスコーダ デバイスを指定します。</p> <p>エンドポイントに複数のリソース (たとえば、トランスコーダや RSVPAgent) が必要な場合は、TRP は関連付けられたエンドポイント デバイスに最も近い位置に配置されます。</p> <p>TRP と MTP の両方がエンドポイントに必要な場合は、TRP が必須の MTP として使用されます。</p> <p>TRP と RSVPAgent の両方がエンドポイントに必要な場合は、最初に、TRP としても使用できる RSVPAgent の検出が試行されます。</p> <p>TRP とトランスコーダの両方がエンドポイントに必要な場合は、最初に、TRP としても指定されているトランスコーダの検出が試行されます。</p> |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Incoming Calling Party Unknown Number Prefix | [Default] に設定されている場合は、コール プロセッサは次レベルの設定（デバイス プール/サービス パラメータ）のプレフィックスを使用します。それ以外の場合は、設定された値が使用されます。ただし、フィールドが空の場合はプレフィックスは割り当てられません。                                                                                                                                                                                                                                    |
| MLPP Domain                                  | <p>このデバイスに関連付ける MLPP ドメインを選択します。このフィールドが空の場合は、デバイスの MLPP ドメインはデバイス プールに対して設定された値から継承されます。</p> <p>デバイス プールに MLPP ドメインの設定がない場合は、このデバイスの MLPP ドメインは MLPP Domain Identifier エンタープライズ パラメータの設定値から継承されます。</p>                                                                                                                                                                |
| Remote-Party-Id                              | Cisco Unified Communications Manager からリモートの宛先への発信 SIP メッセージの中で Remote-Party-ID (RPID) ヘッダーを送信することを許可します。[Yes] を選択すると、SIP トランクによって常に RPID ヘッダーが送信されます。                                                                                                                                                                                                                 |
| Asserted-Identity                            | <p>SIP メッセージの中で Asserted-Type ヘッダーおよび SIP Privacy ヘッダーを送信することを許可します。</p> <p>[Yes] を選択すると、SIP トランクによって常に Asserted-Type ヘッダーが送信されます。SIP トランクによって SIP Privacy ヘッダーが送信されるかどうかは、[SIP Privacy] の設定によって決まります。</p> <p>[No] を選択した場合は、SIP トランクの SIP メッセージには Asserted-Type ヘッダーおよび SIP Privacy ヘッダーは含まれません。</p> <p>詳細については、この表の [Asserted-Type] と [SIP Privacy] の説明を参照してください。</p> |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Asserted-Type | <p>SIP トランクのメッセージに追加する Asserted Identity ヘッダーのタイプを指定します。</p> <p>次のいずれかの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Default</b> : デフォルト値を表します。SIP トランクによって送信されるヘッダーのタイプは、SIP トランクが Cisco Unified Communications Manager コール制御から受信したスクリーニング表示情報によって決まります。</li> <li>• <b>PAI</b> : Privacy-Asserted Identity (PAI) ヘッダーが発信 SIP トランク メッセージで送信されます。この値は、Cisco Unified Communications Manager から受信したスクリーニング表示の値よりも優先されます。</li> <li>• <b>PPI</b> : Privacy Preferred Identity (PPI) ヘッダーが発信 SIP トランク メッセージで送信されます。この値は、Cisco Unified Communications Manager から受信したスクリーニング表示の値よりも優先されます。</li> </ul> <p>(注) これらのヘッダーが送信されるのは、[Asserted Identity] チェックボックスがオンの場合だけです。</p> |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SIP Privacy        | <p>SIP トランク メッセージに追加する SIP Privacy ヘッダーのタイプを指定します。</p> <p>次のいずれかの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Default</b> : デフォルト値を表します。SIP トランクが Cisco Unified Communications Manager コール制御から受信した名前と番号表示の値によって SIP Privacy ヘッダーが構成されます。</li> </ul> <p>例 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 名前と番号の表示が禁止されている場合は、SIP トランクによって SIP Privacy ヘッダーが送信されます。</li> <li>— 名前と番号の表示が許可されている場合は、SIP トランクによって Privacy ヘッダーは送信されません。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>None</b> : SIP トランクによって Privacy:none というヘッダーが追加されます。これは、表示が許可されることを意味します。この値は、Cisco Unified Communications Manager から受信した表示情報の値よりも優先されます。</li> <li>• <b>ID</b> : SIP トランクによって Privacy:id というヘッダーが追加されます。これは、名前と番号の両方とも表示が禁止されることを意味します。</li> </ul> <p>この値は、Cisco Unified Communications Manager から受信した表示情報の値よりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ID Critical</b> : SIP トランクによって Privacy:id;critical というヘッダーが追加されます。これは、名前と番号の両方とも表示が禁止されることを意味します。</li> </ul> <p>「critical」というラベルは、このメッセージに対して要求されたプライバシー サービスが重要であることを意味します。そのプライバシー サービスをネットワークが実行できない場合は、要求は拒否されます。</p> <p>この値は、Cisco Unified Communications Manager から受信した表示情報の値よりも優先されます。</p> <p>(注) これらのヘッダーが送信されるのは、[Asserted Identity] チェックボックスがオンの場合だけです。</p> |
| Significant Digits | <p>着信コールで保持される末尾からの桁数を表します。この設定は、着信コールの処理に使用されます。ここで指定された桁数は、H.323 デバイスへの着信コールをルーティングするときに使用されます。</p> <p>収集する有意な桁の数（0 ～ 32）を選択してください。この数は、コールされた番号の右（最終桁）からの有意な桁の数です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Connected Party ID Presentation                 | <p>Cisco Unified Communications Manager は、Connected Line ID Presentation (COLP; 接続先回線 ID の表示) を補足サービスとして使用して、接続先番号を発信側に通知します。SIP トランク レベルの設定は、コール単位の設定よりも優先されます。</p> <p>デフォルト値は [Default] で、「許可」を意味します。Cisco Unified Communications Manager から接続先回線情報を送信する場合は、[Default] を選択してください。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager から接続先回線情報を送信しない場合は、[Restricted] を選択してください。</p> |
| Connected Name Presentation                     | <p>Cisco Unified Communications Manager は、Connected Name Presentation (CONP; 接続先名の表示) を補足サービスとして使用して、接続先の名前を発信側に通知します。SIP トランク レベルの設定は、コール単位の設定よりも優先されます。</p> <p>デフォルト値は [Default] で、「許可」を意味します。Cisco Unified Communications Manager から接続先名情報を送信する場合は、[Default] を選択してください。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager から接続先名情報を送信しない場合は、[Restricted] を選択してください。</p>          |
| Calling Search Space                            | 使用可能なコーリング サーチ スペース。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| AAR Calling Search Space                        | 自動代替ルーティング (AAR) コーリング サーチ スペース。帯域幅不足が原因でコールがブロックされた場合に、収集された (発信側) 番号の他のルーティング方法を決定するために検索されるルート パーティションのコレクションを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Prefix DN                                       | 着信コールの着番号に追加されるプレフィックス番号。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Redirecting Diversion Header Delivery - Inbound | <p>[Yes] (デフォルト) は、Cisco Unified Communications Manager への着信 INVITE メッセージの中の Redirecting Number を受け入れる場合に選択します。</p> <p>[No] は、Cisco Unified Communications Manager への着信 INVITE メッセージの中の Redirecting Number を除外する場合に選択します。</p> <p>Redirecting Number を使用するののは、音声メッセージング統合を行う場合だけです。Redirecting Number をサポートするように音声メッセージング システムが設定されている場合は、[Yes] を選択してください。</p>                 |



表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Called Party Transformation CSS                 | <p>デバイスに表示される着信側番号をローカライズできます。選択した着信側変換 CSS には、このデバイスに割り当てる着信側トランスフォーメーション パターンが含まれている必要があります。</p> <p>[Called Party Transformation CSS] を [None] と設定した場合は、変換の照合と適用は行われません。設定する着信側変換 CSS が属するパーティションが非ヌル パーティションであり、ルーティングには使用されないことを確認してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Use Device Pool Called Party Transformation CSS | <p>[Yes] を選択した場合は、このデバイスに割り当てられているデバイス プール内で設定された着信側変換 CSS が使用されます。</p> <p>[No] を選択した場合は、[Trunk Configuration] ページでデバイスに対して設定された着信側変換 CSS が使用されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Calling Party Transformation CSS                | <p>デバイスに表示される発呼側番号をローカライズできます。選択した発呼側変換 CSS に、このデバイスに割り当てる発呼側トランスフォーメーション パターンが含まれていることを確認してください。</p> <p>コールを発信する前に、デバイスは番号分析を使用して変換を適用する必要があります。[Calling Party Transformation CSS] を [None] と設定した場合は、変換の照合と適用は行われません。</p> <p>設定した発呼側トランスフォーメーション パターンが属するパーティションが非ヌル パーティションであり、ルーティングには使用されないことを確認してください。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| Calling Party Selection                         | <p>ゲートウェイ上での発信コールで送信されるディレクトリ番号を選択します。</p> <p>どのディレクトリ番号を送信するかを、次のオプションを使用して指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Originator</b> : 発信側デバイスのディレクトリ番号を送信します。</li> <li>• <b>First Redirect Number</b> : リダイレクト元デバイスのディレクトリ番号を送信します。</li> <li>• <b>Last Redirect Number</b> : コールをリダイレクトする最後のデバイスのディレクトリ番号を送信します。</li> <li>• <b>First Redirect Number (External)</b> : リダイレクト元デバイスの外部ディレクトリ番号を送信します。</li> <li>• <b>Last Redirect Number (External)</b> : コールを最後にリダイレクトするデバイスの外部ディレクトリ番号を送信します。</li> </ul> |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Calling Line ID Presentation | <p>Cisco Unified Communications Manager は、Calling Line ID Presentation (CLIP; 発呼回線 ID の表示) を補足サービスとして使用して、着信側電話機画面での発呼側番号表示を制御します。</p> <p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Default</b> : 表示設定を変更しない場合に選択します。</li> <li>• <b>Allowed</b> : 発呼側番号情報を表示する場合に選択します。</li> <li>• <b>Restricted</b> : 発呼側番号情報を表示しない場合に選択します。</li> </ul>                                                                                               |
| Calling Name Presentation    | <p>Cisco Unified Communications Manager は、Calling Name ID Presentation (CNIP; 発呼者名の表示) を補足サービスとして使用して発呼者の名前を通知します。SIP トランクレベルの設定は、コール単位の設定よりも優先されます。</p> <p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Default</b> : 表示設定を変更しない場合に選択します。</li> <li>• <b>Allowed</b> : Cisco Unified Communications Manager から発呼者名情報を送信する場合に選択します。</li> <li>• <b>Restricted</b> : Cisco Unified Communications Manager から発呼者名情報を表示しない場合に選択します。</li> </ul> |
| Caller ID DN                 | <p>トランクからの発信コールにおける発信者 ID のフォーマットに使用するパターン (0 ~ 24 桁) を入力します。</p> <p>北米での例 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>555XXXX</b> : 可変発信者 ID。X は内線番号を表します。エリア コードが指定されていない場合は、セントラル オフィスによって番号にエリア コードが付加されます。</li> <li>• <b>5555000</b> : 固定発信者 ID。この形式は、コールを発信した内線番号ではなく <b>Corporate</b> 番号を送信する場合に使用します。エリア コードが指定されていない場合は、セントラル オフィスによって番号にエリア コードが付加されます。</li> </ul>                                                                               |
| Caller Name                  | <p>発信元 SIP デバイスから受信した発信者名よりも優先させる発信者名を入力します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Redirecting Diversion Header Delivery - Outbound | <p>[Yes] が選択されている場合は、Cisco Unified Communications Manager からの発信 INVITE メッセージに Redirecting Number が追加されます。これは、コールが転送されるときに元の着信側番号とリダイレクト理由を示すためです。</p> <p>[No] が選択されている場合は、最初の Redirecting Number とリダイレクト理由は発信 INVITE メッセージから除外されます。</p> <p>Redirecting Number が使用されるのは、音声メッセージング統合を行う場合だけです。Redirecting Number をサポートするように音声メッセージング システムが設定されている場合は、[Yes] を選択してください。</p>                                                                |
| Destination Address                              | <p>このトランクが通信する相手であるリモート SIP ピアです。このフィールドに指定できる値は、有効な V4 IP アドレス、完全修飾ドメイン名、または DNS SRV レコードです ([Destination Address is an SRV] フィールドで [yes] が選択された場合だけ)。</p> <p>SIP トランクが受け入れる着信要求は、このトランクに関連付けられた SIP トランク セキュリティ プロファイルで指定された宛先アドレスおよび着信ポートからのものだけです。</p> <p>リモート端が Cisco Unified Communications Manager クラスタである場合は、このフィールドで DNS SRV を選択することを推奨します。DNS SRV レコードには、クラスタ内のすべての Cisco Unified Communications Manager が含まれている必要があります。</p> |
| Destination Address is an SRV                    | 設定される [Destination Address] が SRV レコードであることを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Destination Port                                 | <p>宛先ポートを入力します。1024 ～ 65535 の範囲内のポートを入力してください（デフォルト値は 5060）。</p> <p>同じポート番号を複数のトランクに対して指定できます。</p> <p>宛先アドレスが DNS SRV ポートである場合は、値を入力しないでください。デフォルトのポート番号 5060 は、SIP ポートを表します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Geolocation                                      | このデバイスが位置情報に関連付けられていないことを示す、未指定の位置情報。設定済みの位置情報を選択することもできます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Geolocation Filter                               | デバイスに位置情報フィルタを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Incoming Port                                    | 着信ポート番号。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Outgoing Transport Type                          | 発信トランスポートのタイプ（TCP または UDP）。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| MTP Preferred Originating Codec                  | <p>優先発信コーデックを指定します。</p> <p>G.79 コーデックを SIP トランクとともに使用するように設定する場合は、G.79 コーデックをサポートするハードウェア MTP またはトランスコーダを使用する必要があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Send Geolocation Information             | 関連するデバイスの位置情報を送信します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| SIP Trunk Security Profile               | <p>SIP トランクに適用するセキュリティ プロファイルを選択します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager Administration で定義されるすべての SIP トランクにセキュリティ プロファイルを適用する必要があります。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager をインストールすると、事前定義された非セキュアの SIP トランク セキュリティ プロファイルが自動登録用に作成されます。</p> <p>SIP トランクに対するセキュリティ機能をイネーブルにするには、新しいセキュリティ プロファイルを作成して SIP トランクに適用してください。トランクがセキュリティをサポートしない場合は、非セキュア プロファイルを選択してください。</p> <p>プロファイルに含まれている設定を表示するには、Cisco Unified Communications Manager で [System] &gt; [Security Profile] &gt; [SIP Trunk Security Profile] を選択します。</p> <p>セキュリティ プロファイルの設定方法については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。</p> |
| Rerouting Calling Search Space           | SIP ユーザ (A) が別のユーザ (B) とのコールを第三者 (C) に転送 (REFER) できるかどうかを指定します。転送が完了すると、B と C が接続されます。この場合に使用される再ルーティング用コーリング サーチ スペースは、最初の SIP ユーザ (A) のものです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Out-Of-Dialog Refer Calling Search Space | Cisco Unified Communications Manager によって SIP ユーザ (A) への着信コール (B) を第三者 (C) に転送 (REFER) する処理を、SIP ユーザ (A) の関与なしで行う場合に使用されます。この場合に使用されるアウトオブダイアログ コーリング サーチ スペースは、SIP ユーザ (A) のものです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Packet Capture Mode     | <p>暗号化のトラブルシューティング専用です。パケット キャプチャは、CPU 使用量の増大や、コール処理の中断の原因となることがあります。</p> <p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>None</b> : このオプションはデフォルト設定です。パケット キャプチャが実行されていないことを示します。この設定は、パケット キャプチャの完了後に行います。</li> <li>• <b>Batch Processing Mode : Cisco Unified Communications Manager</b> が、復号化されたメッセージや暗号化されていないメッセージをファイルに書き込み、システムが各ファイルを暗号化します。</li> </ul> <p>システムでは、毎日新しいファイルが新しい暗号キーを使用して作成されます。<b>Cisco Unified Communications Manager</b> はファイルを 7 日間保存し、さらにファイルを暗号化するキーを安全な場所に保存します。<b>Cisco Unified Communications Manager</b> は、<b>PktCap</b> 仮想ディレクトリにファイルを保存します。</p> <p>1 つのファイルには、タイム スタンプ、送信元 IP アドレス、送信元 IP ポート、宛先 IP アドレス、パケット プロトコル、メッセージの長さ、およびメッセージが含まれます。</p> <p><b>IREC</b> ツールでは、<b>HTTPS</b>、管理者のユーザ名とパスワード、および指定日を使用して、キャプチャされたパケットを含む 1 つの暗号化ファイルを要求します。</p> <p>同様にこのツールでは、暗号化ファイルを復号化するためのキー情報を要求します。</p> <p>パケット キャプチャをイネーブルまたはディセーブルにした後に、トランクをリセットする必要はありません。</p> |
| Packet Capture Duration | <p>暗号化のトラブルシューティング専用です。パケット キャプチャは、CPU 使用量の増大や、コール処理の中断の原因となることがあります。</p> <p>このフィールドは、パケット キャプチャの 1 つのセッションに割り当てられた最大分数を指定します。デフォルト設定は 0 で、範囲は 0 ～ 300 分です。</p> <p>パケット キャプチャを開始するには、フィールドに 0 以外の値を入力します。パケット キャプチャが完了すると、値「0」が表示されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Presence Group                | <p>Unified Presence の機能を設定します。SIP トランクに対するプレゼンス グループを選択します。選択したグループによって、SIP トランクに接続されたデバイス/アプリケーション/サーバをモニタできる宛先が指定されます。</p> <p>[Presence Group] のデフォルト値は、標準プレゼンス グループであり、インストール時に設定されます。Cisco Unified Communications Manager Administration で設定されるプレゼンス グループは、ドロップダウン リストボックスにも表示されます。</p> <p>プレゼンス認証は、プレゼンス グループと連携して、グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックします。</p>                                                                                                                                                                                                           |
| PSTN Access                   | <p>このトランクを介したコールが PSTN に到達する可能性があることを示します。このトランク デバイスを介したいずれのコールも PSTN に到達しない場合でも、このチェックボックスはオンにします。</p> <p>たとえば、タンデム トランクまたは H.323 ゲートキーパールーテッド トランクについて、コールが PSTN に到達する可能性がある場合はこのチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、システムによってアップロード Voice Call Record (VCR; 音声コール レコード) が作成され、このトランク デバイスを介したコールが検証されます。</p> <p>デフォルトでは、このチェックボックスはオンのままになります。</p>                                                                                                                                                                                                       |
| Route Class Signaling Enabled | <p>ドロップダウン リストから、ポートのルート クラス シグナリングをイネーブルまたはディセーブルにします。</p> <p>次のいずれかの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Default</b> : この値を選択すると、デバイスには Route Class Signaling サービス パラメータの設定が使用されます。</li> <li>• <b>Off</b> : ルート クラス シグナリングをイネーブルにするには、この値を選択します。この設定によって、Route Class Signaling サービス パラメータが上書きされます。</li> <li>• <b>On</b> : ルート クラス シグナリングをディセーブルにするには、この値を選択します。この設定によって、Route Class Signaling サービス パラメータが上書きされます。</li> </ul> <p>ルート クラス シグナリングは、特別なルーティングまたは終了要求を受信側のデバイスに伝達します。ホットライン機能をサポートするポートに対しては、ルート クラス シグナリングをイネーブルにする必要があります。</p> |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SUBSCRIBE Calling Search Space | <p>SIP トランクに接続するデバイス、サーバ、またはアプリケーションからのプレゼンス要求を Cisco Unified Communications Manager によってどのようにルーティングするかを設定します。</p> <p>この設定を利用すると、SIP トランクに対するプレゼンス (SUBSCRIBE) 要求に、コール処理サーチ スペースとは別のコーリング サーチ スペースを適用することができます。</p> <p>SIP トランクに対するプレゼンス要求に使用する SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースを選択してください。Cisco Unified Communications Manager Administration で設定されたすべてのコーリング サーチ スペースが [SUBSCRIBE Calling Search Space] ドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>SIP トランク用の別のコーリング サーチ スペースをドロップダウン リストから選択しなかった場合の [SUBSCRIBE Calling Search Space] のデフォルト値は [None] です。</p> <p>この目的専用の SUBSCRIBE コーリング サーチ スペースを設定するには、他のコーリング サーチ スペースと同様に新しいコーリング サーチ スペースを設定します。</p> |
| SIP Profile                    | <p>この SIP トランクに使用する SIP プロファイルを選択します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Trunk Service Type                    | <p>トランク サービスのタイプを指定します。次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>None</b> : トランクがコール制御ディスカバリ、Extension Mobility Cross Cluster、または Cisco Intercompany Media Engine に使用されない場合は、このオプションを選択します。</li> <li>• <b>Call Control Discovery</b> : このオプションを選択すると、トランクがコール制御ディスカバリをサポートできるようになります。<br/> [Advertising Service] ウィンドウでこのトランクを CCD アドバタイジング サービスに割り当てると、トランクは、SAF ネットワークを使用するリモートのコール制御エンティティからの着信コールを処理します。<br/> [Requesting Service] ウィンドウでこのトランクを CCD 要求サービスに割り当てると、トランクは学習パターンへの発信コールを処理します。</li> <li>• <b>Extension Mobility Cross Cluster</b> : このオプションを選択すると、トランクが Extension Mobility Cross Cluster (EMCC) 機能をサポートできるようになります。<br/> このオプションを選択すると、[Media Termination Point Required]、[Unattended Port]、[Destination Address]、[Destination Address IPv6]、および [Destination Address is an SRV] の設定がブランクのままかオフになって、設定に使用できなくなり、デフォルト値が保持されます。</li> <li>• <b>Cisco Intercompany Media Engine</b> : このフィールドを設定する前に、Cisco IME サーバがインストールされ、使用可能であることを確認します。</li> </ul> |
| Transmit UTF-8 for Calling Party Name | <p>デバイス プールのユーザ ロケール設定を指定して、Unicode を送信するかどうか、また、受信した Unicode 情報を変換するかどうかを決定します。</p> <p>送信側のデバイスに対してこのチェックボックスをオンにした場合に、デバイス プールのユーザ ロケール設定が終端電話機のユーザ ロケールに一致すると、デバイスは Unicode を送信します。ユーザ ロケール設定が一致しない場合、デバイスは ASCII を送信します。</p> <p>受信側のデバイスは、送信側のデバイス プールのユーザ ロケール設定に基づいて、着信する Unicode 文字を変換します。ユーザ ロケール設定が終端電話機のユーザ ロケールに一致する場合、電話機に文字が表示されます。</p> <p>[Transmit UTF-8 for Calling Party Name] チェックボックスは、デフォルトでオフのままになります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |



表 5-24 SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Use Device Pool Connected Party Transformation CSS | <p>このデバイスに割り当てられているデバイス プール内で設定された着信側変換 CSS を使用できるようにします。</p> <p>このチェックボックスをオフにすると、[Trunk Configuration] ウィンドウでこのデバイスに設定した着信側変換 CSS が使用されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| DTMF Signaling Method                              | <p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• No Preference (デフォルト) : Cisco Unified Communications Manager は DTMF ネゴシエートの方式として DTMF を選択します。したがって、コールのための MTP は必要ありません。</li> </ul> <p>Cisco Unified Communications Manager が MTP を割り当てる必要がある場合 ([Media Termination Point Required] チェックボックスがオンの場合) は、SIP トランクの DTMF ネゴシエートは RFC 2833 に従って行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RFC 2833 : トランク上で使用する優先 DTMF 方式が RFC 2833 である場合に、この設定を選択します。</li> </ul> <p>Cisco Unified Communications Manager は、MTP の使用状況にかかわらず、できる限り RFC 2833 のネゴシエートを試みます。失敗した場合は、アウトオブバンド方式が使用されます (ただし、ピア エンドポイントがこの方式をサポートしている場合)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• OOB and RFC 2833 : アウトオブバンドと RFC 2833 の両方を DTMF に使用する場合に、この設定を選択します。</li> </ul> <p>ピア エンドポイントがアウトオブバンドと RFC 2833 の両方をサポートしている場合は、Cisco Unified Communications Manager はアウトオブバンドと RFC 2833 の両方の DTMF 方式のネゴシエートを行います。</p> <p>その結果、同じ DTMF キープレスに対して 2 つの DTMF イベント (アウトオブバンドと RFC 2833) が送信されます。</p> |



(注)

Provisioning で SME デバイスをコール プロセッサとして追加すると、Session Management Edition (SME) で SIP Trunk インフラストラクチャ データ オブジェクトをプロビジョニングできます。

表 5-25 SIP Profile インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド       | 説明             |
|-------------|----------------|
| Name        | SIP プロファイルの名前。 |
| Description | SIP プロファイルの説明。 |

表 5-25 SIP Profile インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Default MTP Telephony Event Payload Type | RFC2833 テレフォニー イベントに対するデフォルトのペイロード タイプを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Resource Priority Namespace List         | 設定済みの [Resource Priority Namespace Network Domain] リストを選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Early Offer for G Clear Calls            | 標準ベースの G.Clear (CLEARMODE) と独自の Cisco Session Description Protocols (SDP) の両方をサポートします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Redirect by Application                  | <p>SIP トランクでこの SIP Profile を設定するには、このチェックボックスをオンにします。それによって、Cisco Unified Communications Manager 管理者は、次のことを行えるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リダイレクトされたコンタクトが 3xx 応答で受信された場合に、特定のコーリング サーチ スペースを適用する。</li> <li>リダイレクトされたコンタクトに対して番号分析を適用し、コールが正しくルーティングされていることを確認する。</li> <li>サービス パラメータで設定できるリダイレクション (再帰リダイレクション) の数を制限することによって、DOS 攻撃を防止する。</li> <li>リダイレクションの実行中にその他の機能を起動できるようにする。</li> </ul> |
| Disable Early Media on 180               | 発信側の電話機でローカル リングバックを再生し、200 OK 応答の受信時にメディアを接続するには、このチェックボックスをオンにします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Outgoing T.38 INVITE include audio mline | システムが Microsoft Exchange からの信号を受け付け、オーディオから T.38 ファクスにコールを切り替えるように指定できます。この機能を使用するには、この SIP プロファイルを SIP トランクに設定する必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Enable ANAT                              | このオプションにより、デュアルスタック SIP トランクが IPv4 と IPv6 の両方のメディアを提供できるようになります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Timer Invite Expires                     | SIP INVITE が期限切れになるまでの時間を秒数で指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Timer Register Delta                     | このパラメータは、[Timer Register Expires] の設定とともに指定します。電話機は、登録期間が終わる [Timer Register Delta] 秒前に再登録します。登録期間は、SIP Station KeepAlive Interval サービス パラメータの値によって決まります。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Timer Register Expires                   | <p>SIP を実行している電話機が REGISTER メッセージの Expires ヘッダーで送信する値を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルト値は 3600 (1 時間) です。</p> <p>REGISTER への 200 OK 応答で、Cisco Unified Communications Manager は、SIP Station KeepAlive Interval サービス パラメータの設定値を含む Expires ヘッダーを指定します。</p> <p>200 OK 内のこの値によって、登録が期限切れになるまでの時間 (秒数) が決まります。電話機は、この期間が終わる [Timer Register Delta] 秒前に登録を更新します。</p>                                                                    |
| Timer T1                                 | SIP メッセージの再送信タイマーの最小値をミリ秒数で指定します。有効値は任意の正数です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

表 5-25 SIP Profile インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                          | 説明                                                                                                                                                         |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Timer T2                       | SIP メッセージの再送信タイマーの最大値をミリ秒数で指定します。有効値は任意の正数です。                                                                                                              |
| Retry INVITE                   | INVITE 要求が送信される最大回数を指定します。有効値は任意の正数です。                                                                                                                     |
| Retry Non-INVITE               | INVITE 要求が再送信される最大回数を指定します。有効値は任意の正数です。                                                                                                                    |
| Start Media Port               | メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポートの始まりを指定します。範囲は 16384 ~ 32767 です。                                                                                        |
| Stop Media Port                | メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポートの終わりを指定します。範囲は 16384 ~ 32767 です。                                                                                        |
| Call Pickup URL                | SIP を実行している電話機がコール ピックアップ機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。                                                               |
| Call Pickup Group Other URI    | SIP を実行している電話機がコール ピックアップ グループの他の機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。                                                       |
| Call Pickup Group URI          | SIP を実行している電話機がコール ピックアップ グループ機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。                                                          |
| Meet Me Service URI            | SIP を実行している電話機がミーティング機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。                                                                   |
| User Info                      | REGISTER メッセージ内の user= パラメータを設定します。                                                                                                                        |
| DTMF DB Level                  | インバンド DTMF デジットのトーン レベルを指定します。                                                                                                                             |
| Call Hold Ring Back            | 呼び出し音を鳴らして、まだ他に保留中の相手がいることを通知できるようにします。                                                                                                                    |
| Anonymous Call Block           | 番号非通知呼び出しのブロックを設定します。                                                                                                                                      |
| Caller ID Blocking             | 発信者 ID のブロッキングを設定します。                                                                                                                                      |
| Do No Disturb Control          | Do Not Disturb 機能をイネーブルにします。                                                                                                                               |
| Telnet Level for 7940 and 7960 | Telnet をサポートする電話機に対する、Telnet レベルの設定パラメータを制御します。                                                                                                            |
| Timer Keep Alive Expires       | フェールオーバーが必要になったときにバックアップ Cisco Unified Communications Manager が使用可能であることを保証するために、バックアップ Cisco Unified Communications Manager に送信されるキープアライブ メッセージの間隔を指定します。 |
| Timer Subscribe Expires        | 加入が期限切れになるまでの時間を秒数で指定します。この値は、[Expires] ヘッダー フィールドに挿入されます。                                                                                                 |
| Timer Subscribe Delta          | [Timer Subscribe Expires] によって管理されるように、加入期間が終わる [Timer Subscribe Delta] 秒前に再加入します。                                                                         |
| Maximum Redirections           | コールをドロップする前に電話機がコールのリダイレクトを許可する最大回数を指定します。                                                                                                                 |

表 5-25 SIP Profile インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                                          | 説明                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Off Hook To First Digit Timer                  | 電話の受話器が外されてから最初のディジット タイマーが設定されるまでの経過時間をミリ秒で指定します。範囲は、0 ～ 150,000 ミリ秒です。                                                                                                  |
| Call Forward URI                               | SIP を実行している電話機が自動転送機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。                                                                                    |
| Abbreviated Dial URI                           | SIP を実行している電話機が短縮ダイヤル機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。                                                                                  |
| Conference Join Enabled                        | Cisco Unified IP Phone 7940 または 7960 を使用している会議開始者が電話を切った場合、その電話機が残りの会議参加者を参加させようとするかどうかを指定します。                                                                            |
| RFC 2543 Hold                                  | コール保留の信号が Cisco Unified Communications Manager に送信される場合、RFC2543 に従って接続アドレスを 0.0.0.0 に設定できるようにするかを指定します。この操作により、RFC3264 をサポートしないエンドポイントとの下位互換性を確保できます。                     |
| Semi Attended Transfer                         | Cisco Unified IP Phone 7940 または 7960 の発信者が、コールの呼び出し音が鳴っているときに、在席転送の 2 番目のレッグを転送できるかどうかを指定します。準在席転送をイネーブルにする場合は、このチェックボックスをオンにします。準在席転送をディセーブルにする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。 |
| Enable VAD                                     | Voice Activation Detection (VAD) をイネーブルにするかどうかを指定します。VAD をディセーブルにする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。VAD がイネーブルである場合、音声検出時にメディアは伝送されません。                                           |
| Stutter Message Waiting                        | 電話機がオフフックになったときにメッセージが待機している場合に、スタッターダイヤル トーンが聞こえるようにするかを指定します。メッセージが待機していてもスタッターダイヤル トーンが聞こえないようにする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。                                             |
| Reroute Incoming Request to new Trunk based on | コールの再ルーティングを行う SIP トランクを識別するときに Cisco Unified Communications Manager が使用する方法を指定します。                                                                                       |
| RSVP Over SIP                                  | RSVP over SIP トランクを設定するために Cisco Unified Communications Manager で使用する方法を指定します。                                                                                            |
| Fall back to local RSVP                        | 失敗したエンドツーエンドの RSVP コールがローカル RSVP にフォールバックして、コールを確立できるようにします。                                                                                                              |
| SIP Rel1XX Options                             | すべての SIP 暫定応答（100 Trying メッセージ以外）をリモートの SIP エンドポイントに確実に送信されるかどうかを決定する、SIP Rel1XX を設定します。                                                                                  |

表 5-26 Translation Pattern インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド               | 説明                           |
|---------------------|------------------------------|
| Translation Pattern | 数字とワイルドカードを含むトランスレーション パターン。 |
| Route Partition     | 使用可能なルート パーティション。            |

表 5-26 Translation Pattern インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド (続き)

| フィールド                                          | 説明                                                                                                      |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Description                                    | 説明 (任意)。                                                                                                |
| Dial Plan                                      | 番号計画。                                                                                                   |
| Route Filter                                   | ルート フィルタ (任意)。                                                                                          |
| MLPP Precedence                                | Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 優先設定。                                                       |
| Call Search Space                              | 使用可能なコーリング サーチ スペース。                                                                                    |
| Block Enabled                                  | ブロックを有効または無効にします。                                                                                       |
| Release Cause                                  | Block Enabled フィールドの設定に依存します。解放原因を選択する場合は、Block Enabled を [True] に設定する必要があります。                          |
| Use Calling Party's External Phone Number Mask | 発信側の外線電話番号マスクを使用するかどうかを指定します。                                                                           |
| Calling Party Transform Mask                   | 変換マスク値。                                                                                                 |
| Calling Party Prefix Digits (Outgoing Calls)   | プレフィックス番号。                                                                                              |
| Calling Line ID Presentation                   | このトランスレーション パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で着信側電話機のディスプレイへの発信側電話番号の表示を許可するか、禁止するかを指定します。 |
| Calling Name Presentation                      | このトランスレーション パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で着信側電話機のディスプレイへの発信側の名前の表示を許可するか、禁止するかを指定します。  |
| Connected Line ID Presentation                 | このトランスレーション パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で発信側電話機のディスプレイへの接続先電話番号の表示を許可するか、禁止するかを指定します。 |
| Connected Name Presentation                    | このトランスレーション パターンについて、Cisco Unified Communications Manager で発信側電話機のディスプレイへの接続先の名前の表示を許可するか、禁止するかを指定します。  |
| Called Party Discard Digits                    | このトランスレーション パターンに関連付ける数字破棄命令。                                                                           |
| Called Party Transform Mask                    | 変換マスク値。                                                                                                 |

表 5-27 Unified Call Manager Group インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                              | 説明                                                                                                                            |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                               | オブジェクト名。                                                                                                                      |
| Unified CMs                        | 使用可能な Cisco Unified Communications Manager のリスト。                                                                              |
| Auto-Registration Unified CM Group | 自動登録が有効な場合に、この Cisco Unified Communications Manager グループをデフォルトの Cisco Unified Communications Manager グループにする場合は、[Yes] を選択します。 |

表 5-28 Voice Region インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド       | 説明                                                                                                                    |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name        | オブジェクト名。                                                                                                              |
| Audio Codec | コーデックの設定。<br><br>新しいバージョンの Cisco Unified Communications Manager の場合 (4.1 以上)、[Default Codec] フィールドは、選択したオプションに設定されます。 |

表 5-29 Voicemail Pilot インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                | 説明                                          |
|----------------------|---------------------------------------------|
| Number               | ボイスメール パイロット番号。                             |
| Description          | 説明（任意）。                                     |
| Calling Search Space | 使用可能なコーリング サーチ スペース。                        |
| Is Default           | このパイロット番号がシステムのデフォルトのボイス メールパイロットかどうかを示します。 |

表 5-30 Voicemail Profile インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド              | 説明                                   |
|--------------------|--------------------------------------|
| Name               | オブジェクト名。                             |
| Description        | 説明（任意）。                              |
| Voicemail Pilot    | 使用可能なボイスメール パイロット。                   |
| Voicemail Box Mask | 自動登録電話機用のボイス メールボックス番号の書式設定に使用するマスク。 |
| Is Default         | このボイスメール プロファイルがシステムのデフォルトかどうかを示します。 |

表 5-31 VG202、VG204、および VG 224 インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド

| フィールド                                      | 説明                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Gateway Name                               | ゲートウェイの名前。                                                                                                                            |
| Protocol                                   | ゲートウェイに関連付けられたプロトコル。                                                                                                                  |
| MAC Address (Last 10 Characters)           | 選択したデバイスの MAC アドレス。<br><br>[MAC Address] フィールドを更新すると、関連付けられたすべての電話の MAC アドレスが更新されます。ただし、加入者レコードの MAC アドレスを更新するには、ドメイン同期化を実行する必要があります。 |
| Description                                | デバイスの説明。                                                                                                                              |
| Cisco Unified Communications Manager Group | Cisco Unified Communications Manager のグループ。                                                                                           |
| Module in Slot <Number>                    | スロット番号を持つモジュール。                                                                                                                       |

表 5-31 VG202、VG204、および VG 224 インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールド（続き）

| フィールド                        | 説明                                 |
|------------------------------|------------------------------------|
| Subunit <Number>             | サブユニットの番号。                         |
| Modem Passthrough            | モデム パススルーをイネーブルまたはディセーブルにします。      |
| Cisco Fax Relay              | Cisco FAX リレーをイネーブルまたはディセーブルにします。  |
| T38 Fax Relay                | T.38 FAX リレーをイネーブルまたはディセーブルにします。   |
| RTP Package Capability       | RTP パッケージ機能をイネーブルまたはディセーブルにします。    |
| MT Package Capability        | MT パッケージ機能をイネーブルまたはディセーブルにします。     |
| RES Package Capability       | RES パッケージ機能をイネーブルまたはディセーブルにします。    |
| PRE Package Capability       | PRE パッケージ機能をイネーブルまたはディセーブルにします。    |
| SST Package Capability       | SST パッケージ機能をイネーブルまたはディセーブルにします。    |
| RTP Unreachable OnOff        | RTP 到達不能タイムアウトをイネーブルまたはディセーブルにします。 |
| RTP Unreachable timeout (ms) | ミリ秒単位の RTP 到達不能タイムアウト。             |
| RTP Report Interval (secs)   | 秒単位の RTP レポート間隔。                   |
| Simple SDP                   | 簡易 SDP をイネーブルまたはディセーブルにします。        |

## 設定テンプレートの作成

- ステップ 1** [Design] > [Provisioning Template] を選択します。
- ステップ 2** [Set Up Configuration Template] ページで、[New] アイコン (📄) をクリックします。
- ステップ 3** 表示されるプロンプトに設定テンプレートの名前を入力し、[OK] をクリックします。
- ここでテンプレートに項目を追加できます（「[設定テンプレートへの項目の追加](#)」（P.5-39）を参照）。

## 設定テンプレートへの項目の追加

ここでは、設定テンプレートに項目を追加する方法について説明します。追加できる項目は、個々のオブジェクトまたは既存の設定テンプレートのいずれかです。

これらのインフラストラクチャ オブジェクトには、名前に変数 *DOMAIN* および *SERVICEAREA* を含むことで、それぞれの属するドメインまたはサービス エリアに基づく一意の名前を指定できます。


設定テンプレートを送信するとき、プロビジョニングは *DOMAIN* と *SERVICEAREA* をそれぞれドメイン名とサービス エリア名に置き換えるため、新しいオブジェクトには自動的に一意の名前が割り当てられます。これは、プロビジョニングによる Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express、または Cisco Unity Express 上でのパーティション化に必要なインフラストラクチャ要素になります。

設定は、設定テンプレートで定義された順に行われます。これらのオブジェクトの自動設定に関する依存関係は、オブジェクトを手動で設定する場合と同じです。したがって、設定テンプレートでは適切な順序でオブジェクトを定義する必要があります。

これらの依存関係に関する詳細、およびその他の要件については、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express、または Cisco Unity Express の該当するマニュアルを参照してください。


多くのインフラストラクチャ データ オブジェクト フィールドでは、リストに項目を追加し、リスト内で項目を上下に移動できます。これらの操作の詳細については、次の項を参照してください。

- 「設定テンプレート内のリストへの項目の追加」(P.5-46)
- 「設定テンプレート内の項目順序の変更」(P.5-46)

- 
- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページを開きます（「設定テンプレートの作成」(P.5-39) を参照）。
- ステップ 2** [Existing Configuration Template] アイコン (  ) をクリックします。
- ステップ 3** 必要な設定テンプレートをクリックします。
- ステップ 4** [Add a new item] をクリックします。
- ステップ 5** [Add] フィールドで、次のいずれかを行います。
- 新しい項目を作成するには、[New Item] をクリックして **ステップ 6** に進みます。
  - 既存の設定テンプレートを追加するには、[Name] をクリックして次の手順を実行します。
    - a. 表示されたページで、必要な設定テンプレート名を選択します。
    - b. [Save] をクリックします。設定テンプレートが追加されます。
    - c. **ステップ 7** に進みます。
- ステップ 6** [Device Type] フィールドで、デバイス タイプを選択します。オプションには、[Generic IOS Router]、[Unified CM]、[Unified CME]、[Unity Connection]、[Unity Express] があります。
- [Unified CME IOS Template] で項目タイプとして [Unified CME] を選択するか、または [Unified CME IOS Template] で項目タイプとして [Unity Express] を選択した場合、[Commands] フィールドが表示されます。次の手順を実行します。
  - 次の手順を実行します。
    - a. 適切な Cisco IOS コマンドを入力します。
 

Cisco Unified Communications Manager Express および汎用 IOS ルータの場合は、Cisco IOS コマンドは設定端末モードでデバイスに適用されます。Cisco IOS コマンドの **configure terminal** および **exit** が内部でコマンドに追加されます。

Cisco Unity Express の場合、コマンドを設定端末モードで実行させるには、テンプレートの先頭に **configure terminal** コマンドを追加する必要があります。

 (注) サブモジュール モード コマンドの入力を必要とするデバイスの場合は、サブモジュール モードの開始と終了のコマンドを入力する必要があります。プロビジョニング では、入力したコマンドの構文はチェックされません。
    - b. [Save] をクリックします。
 

項目が設定テンプレートに追加されます。
  - [Generic IOS Router] を選択し、次に [Generic IOS Router Template] を選択すると、ページがリフレッシュされ、[Commands] フィールドが表示されます。
    - a. 適切な Cisco IOS コマンドを入力します。



Cisco Unified Communications Manager Express および汎用 IOS ルータの場合は、Cisco IOS コマンドは設定端末モードでデバイスに適用されます。Cisco IOS コマンドの *configure terminal* および *exit* が内部でコマンドに追加されます。



(注) サブモジュール モード コマンドの入力を必要とするデバイスの場合は、サブモジュール モードの開始と終了のコマンドを入力する必要があります。プロビジョニング では、入力したコマンドの構文はチェックされません。

b. [Save] をクリックします。

項目が設定テンプレートに追加されます。

- [Generic IOS Router] を選択し、次に [Generic IOS Router Pre-Built] を項目タイプとして選択すると、ページがリフレッシュされ、[Directory Name] フィールドが表示されます。

ディレクトリがドロップダウン リストに表示されてない場合は、次の Cisco.com から汎用 Cisco IOS 事前構築テンプレートをダウンロードしてください。

<http://www.cisco.com/cisco/software/cart.html?mdfid=&flowid=28441&treeMdfld=268439477&isLatestRel=Y&imageGuId=4B0DA57133B20054BE589851239F4D61B73E16FD&adoption=DN>

汎用 Cisco IOS 事前構築テンプレートは、次の命名規則を持つファイルのペアによって構成されています。

<Name>-swconfig.txt : このファイルには、Cisco IOS コマンドが含まれています。

Config-UserGuide-<Name>.txt : このファイルには、swconfig ファイルで使用されるキーワードに関する情報が含まれています。

まだ実行していない場合は、プロビジョニング システムにアクセスして、サブディレクトリ `${CUPM-INSTALLED}\sep\ipt\ios-pre-b` に移動します。ダウンロードしたファイルを、プロビジョニング プラットフォームのサブディレクトリにコピーします。ここに、Sample という名前のディレクトリがあることを確認します。新しいディレクトリを作成し、汎用 Cisco IOS 事前構築テンプレートのタイプにわかりやすい名前を付けます。

まだ実行していない場合は、ios-pre-built 下に作成したいいずれかのサブディレクトリに、事前構築テンプレートのファイルのペアをコピーします。

- a. 事前構築テンプレートを含むディレクトリを選択します。

ファイル名の入力を求めるプロンプトが表示されます。



(注) アナログ音声ゲートウェイを設定するディレクトリとして、Analog Voice Gateway Configurations を選択します。

- b. 自動設定に使用する事前構築テンプレートのファイル名を選択します。

テンプレートで使用するすべてのキーワードに対するキーワード リスト エントリのセットが表示され、読み取り専用の [Commands] フィールドが表示されます。

- c. キーワードに、CLI で置き換えられる値を設定します。  
このリストにキーワードを少なくとも 1 つ入力する必要があります。または、すでに作成したキーワードリストを使用できます。
- d. [Save] をクリックします。  
項目が設定テンプレートに追加されます。
- [Unified CM] を選択した場合は、次の手順を実行します。
  - a. [Item Type] リストで、インフラストラクチャ データ オブジェクトを選択します。画面がリフレッシュされ、選択したオブジェクトのオプションが表示されます。表示されるオプションは、選択したオブジェクトによって異なります（各インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールドの説明については、表 5-4 ～表 5-30 を参照してください）。
  - b. 必要に応じてフィールドに入力します。ドロップダウン リストに必要な項目が含まれていない場合は、「設定テンプレート内のリストへの項目の追加」(P.5-46) を参照してください。
  - c. [Save] をクリックします。  
項目が設定テンプレートに追加されます。
- [Unity Connection] を選択した場合は、次の手順を実行します。
  - a. [Item Type] リストで、インフラストラクチャ データ オブジェクトを選択します。画面がリフレッシュされ、選択したオブジェクトのオプションが表示されます。表示されるオプションは、選択したオブジェクトによって異なります（各インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールドの説明については、表 5-9 を参照してください）。
  - b. 必要に応じてフィールドに入力します。ドロップダウン リストに必要な項目が含まれていない場合は、「設定テンプレート内のリストへの項目の追加」(P.5-46) を参照してください。
  - c. [Save] をクリックします。  
項目が設定テンプレートに追加されます。
- [Unity] を選択した場合は、次の手順を実行します。
  - a. [Item Type] リストで、インフラストラクチャ データ オブジェクトを選択します。画面がリフレッシュされ、選択したオブジェクトのオプションが表示されます。表示されるオプションは、選択したオブジェクトによって異なります（各インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールドの説明については、表 5-9 を参照してください）。
  - b. 必要に応じてフィールドに入力します。ドロップダウン リストに必要な項目が含まれていない場合は、「設定テンプレート内のリストへの項目の追加」(P.5-46) を参照してください。
  - c. [Save] をクリックします。  
項目が設定テンプレートに追加されます。
- [Unity] を選択した場合は、次の手順を実行します。
  - a. [Item Type] リストで、インフラストラクチャ データ オブジェクトを選択します。画面がリフレッシュされ、選択したオブジェクトのオプションが表示されます。表示されるオプションは、選択したオブジェクトによって異なります（各インフラストラクチャ データ オブジェクトのフィールドの説明については、表 5-9 を参照してください）。
  - b. 必要に応じてフィールドに入力します。ドロップダウン リストに必要な項目が含まれていない場合は、「設定テンプレート内のリストへの項目の追加」(P.5-46) を参照してください。
  - c. [Save] をクリックします。  
項目が設定テンプレートに追加されます。

**ステップ 7** 次のいずれか、または複数の操作を行います。

- 設定テンプレートに別の項目を追加します。この手順のステップ 4 に進んでください。
- 設定テンプレート内の項目の順序を変更します（「[設定テンプレート内の項目順序の変更](#)」(P.5-46) を参照）。
- 設定テンプレートの項目のコピーを作成します（「[設定テンプレート内の項目のコピーの作成](#)」(P.5-47) を参照）。
- 設定テンプレートを終了します。[Exit] をクリックします。



## キーワード置換の使用

設定テンプレートを作成する際に同じ定義パラメータを複数回使用する場合は、キーワード置換を設定すると操作が簡単になります。キーワード置換を使用して文字列を作成し、その文字列を設定テンプレートに入力すると、その文字列は対応する値に置き換えられます。

### キーワードの追加

**ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページを開きます（「[設定テンプレートの作成](#)」(P.5-39) を参照）。

**ステップ 2** 次のいずれかを実行します。

- 新しいリストにキーワードを追加するには、キーワード置換リストの横の [New] アイコン  をクリックします。  
新しい空のキーワード リストが作成されます。
- 既存のリストにキーワードを追加するには、[Edit] アイコン  をクリックします。
- 新しいキーワード リストを作成し、すべてのキーワードとそれらの値をローカル キーワード リストに追加するには、[New Import] アイコンをクリックします。
- すべてのキーワードとその値をローカル キーワード リストに結合し、すべての汎用 Cisco IOS 事前構築項目を既存のキーワード リストに結合するには、[Merge/Edit] アイコンをクリックします。  
[Keyword List] ページが表示されます。  
キーワード リスト名を変更するには、リストの名前をクリックし、表示されたダイアログボックスに新しい名前を入力します。  
[OK] をクリックします。

**ステップ 3** [Keyword] フィールドに文字列を入力します。文字列はドル記号 (\$) で始める必要があります。



#### 注意

キーワードはすべて `${ }` で囲みます。また、キーワードの末尾に他の文字が追加されている場合、キーワード置換は失敗します。

たとえば、次のような文字列を入力します。

`${Region}`

**ステップ 4** [Value] フィールドに、対応する値を入力します。たとえば、「San Jose」と入力します。

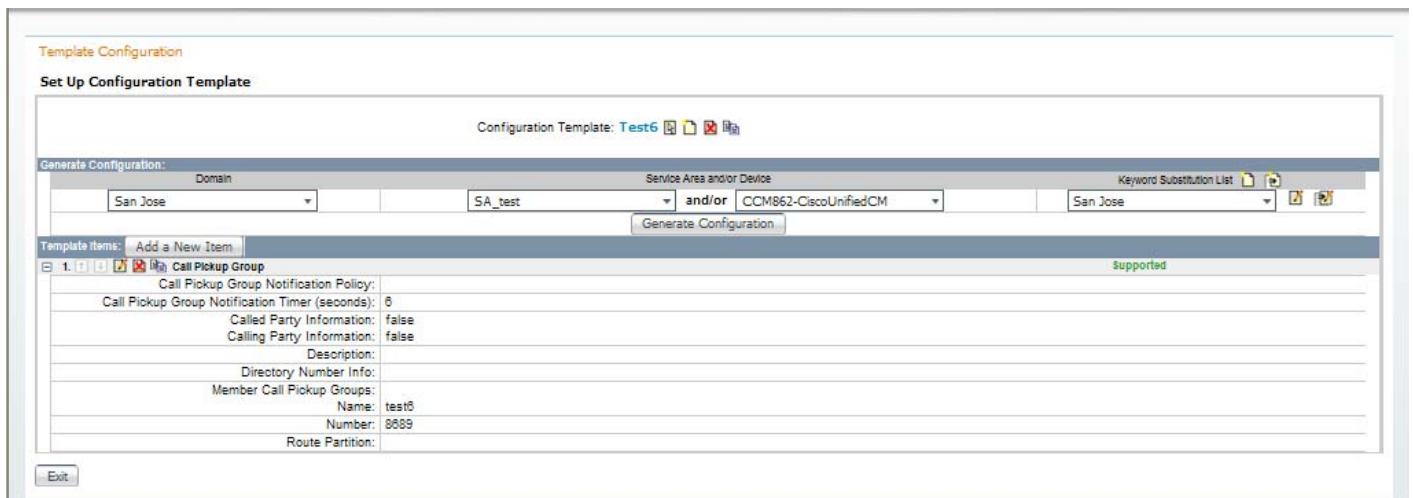
**ステップ 5** [Update] をクリックします。

**ステップ 6** [Done] をクリックします。

これで、この例では、`${Region}` という文字列を入力した場合、その文字列が **San Jose** という値に置き換えられます。

図 5-1 に、設定テンプレートでのキーワード置換の使用例を示します。この例では、キーワードを使用してルートパーティションとコーリングサーチスペースを作成しています。キーワードリストの名前は *San Jose* で、`Site = SJ` というキーワードが 1 つ登録されています。


図 5-1 キーワード置換を使用した設定テンプレート





## キーワードの編集

- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページを開きます（「[設定テンプレートの作成](#)」(P.5-39) を参照）。
- ステップ 2** [Keyword Substitution List] フィールドで、編集するキーワードを含むキーワードリストを選択します。
- ステップ 3** [Edit] アイコン (🔍) をクリックします。
- ステップ 4** [Keyword List] ページで、必要に応じて値を変更します。
- ステップ 5** [Update] をクリックします。
- ステップ 6** [Done] をクリックします。


## キーワードの削除

- 
- |        |                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | [Set Up Configuration Template] ページを開きます（「 <a href="#">設定テンプレートの作成</a> 」(P.5-39) を参照）。                      |
| ステップ 2 | [Keyword Substitution List] フィールドで、削除するキーワードを含むキーワード リストを選択します。                                             |
| ステップ 3 | [Edit] アイコン (  ) をクリックします。 |
| ステップ 4 | [Keyword List] ページで、削除するキーワードの [Remove] カラムのチェックボックスをオンにします。                                                |
| ステップ 5 | [Update] をクリックします。                                                                                          |
| ステップ 6 | [Done] をクリックします。                                                                                            |
- 

## キーワード リストの削除

- 
- |        |                                                                                                                                     |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | [Set Up Configuration Template] ページを開きます（「 <a href="#">設定テンプレートの作成</a> 」(P.5-39) を参照）。                                              |
| ステップ 2 | [Keyword Substitution List] フィールドで、削除するキーワード リストを選択します。                                                                             |
| ステップ 3 | [Edit] アイコン (  ) をクリックします。                         |
| ステップ 4 | [Keyword List] ページで、[Delete] アイコンをクリックします (  )。 |
| ステップ 5 | 確認のボックスで [OK] をクリックします。                                                                                                             |
- 

## 既存の設定テンプレートの更新

- 
- |        |                                                                                                                                                         |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | [Design] > [Provisioning Template] を選択します。                                                                                                              |
| ステップ 2 | [Set Up Configuration Template] ページで、[Chooser] アイコン (  ) をクリックします。 |
| ステップ 3 | 必要な設定テンプレートを選択します。                                                                                                                                      |
| ステップ 4 | [Set Up Configuration Template] ページで、必要に応じて情報を更新します。                                                                                                    |
-

## 設定テンプレート内の項目順序の変更

テンプレートを送信すると、設定テンプレートでの項目の順序どおりに項目が自動設定されます。項目番号の横にある上向きまたは下向き矢印をクリックして、次のものの順序を変更できます。

- テンプレート項目。
- インフラストラクチャ データ オブジェクト フィールドの項目。すべての項目の順序を変更できるわけではありません。フィールドの項目の順序を変更できる場合は、そのフィールドの横に上向きおよび下向き矢印が表示されます。

### テンプレート項目の順序の変更

[Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」（P.5-45）を参照）、該当する項目の横の上向きまたは下向き矢印をクリックします。項目が移動します。

### インフラストラクチャ データ オブジェクト フィールドの項目の順序の変更

- ステップ 1** [Add a Configuration Template] ページ（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」（P.5-45）を参照）で、移動する項目を選択します。



**(注)** 移動する項目は、順序変更可能なインフラストラクチャ データ オブジェクト フィールドに存在する必要があります。

- ステップ 2** フィールドの横の上向きまたは下向き矢印をクリックします。項目が移動します。

## 設定テンプレート内の項目の編集

項目を設定テンプレートに追加した後で、項目を編集できます。

- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」（P.5-45）を参照）、編集する項目の [Edit] アイコン (✎) をクリックします。[Edit a Configuration Template Item] ページが表示されます。
- ステップ 2** 適切な変更を行います。
- ステップ 3** [Update] をクリックします。

## 設定テンプレート内のリストへの項目の追加

インフラストラクチャ データ オブジェクト フィールドのリストには、Cisco Unified Communications Manager にすでに存在する項目だけが表示されます。設定テンプレートの送信時に作成される項目を設定テンプレートで定義することもできます。新しい項目は、設定テンプレートが送信された時点以降にだけ存在します。これらの項目が、同じ設定テンプレート内の他の項目の必要条件になる場合があります。


この理由のため、プロビジョニング では、手動でリストにオプションを追加できるようになっていません。たとえば、同じ設定テンプレートでルート パーティションとコーリング サーチ スペースを定義できます。設定テンプレートでコーリング サーチ スペース項目を定義するにはルート パーティションを指定する必要がありますが、ルート パーティションはまだ作成されていないため、設定テンプレート内のオプションとしてルート パーティションは表示されません。

次の手順は、コーディング サーチ スペースで使用するルート パーティションの名前を設定テンプレートのリストに追加する方法を示します。

- 
- ステップ 1** [Edit a Configuration Template Item] ページ（「[設定テンプレート内の項目の編集](#)」(P.5-46) を参照）で、リストの横のプラス記号 (+) をクリックします。次のプロンプトが表示されます。
- ステップ 2** オプションの名前を入力して [OK] をクリックします。  
入力したオプションがリストに表示されます。
- 


## 設定テンプレート内の項目のコピーの作成

設定テンプレートでテンプレート項目の複製を作成し、それを編集できます。これにより、同じ項目の複数のバージョンを作成することが可能です。

[Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」(P.5-45) を参照）、コピーする項目の [Copy] アイコン () をクリックします。

項目のコピーが設定テンプレートに追加されます。必要に応じてコピーを編集できます。

## 設定テンプレート内の項目の削除


- 
- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」(P.5-45) を参照）、削除する項目の [Delete] アイコン () をクリックします。
- ステップ 2** [OK] をクリックします。項目が削除されます。
- 

## 設定テンプレートの名前の変更


- 
- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」(P.5-45) を参照）、設定テンプレートの名前をクリックします。
- ステップ 2** 新しい名前を入力して [OK] をクリックします。
-

## 設定テンプレートのコピーの作成

設定テンプレート全体のコピーを作成し、必要に応じてそれを編集できます。

- 
- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」（P.5-45）を参照）、設定テンプレート名の横の [Copy] アイコン（）をクリックします。
- `_copy` が追加された名前で設定テンプレートのコピーが作成されます。
- ステップ 2** 必要に応じて、設定テンプレートの名前を変更し、内容を編集します。
- 

## 設定テンプレートの削除

- 
- ステップ 1** [Set Up Configuration Template] ページで（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」（P.5-45）を参照）、設定テンプレート名の横の [Delete] アイコン（）をクリックします。確認を求めるメッセージが表示されます。
- ステップ 2** [OK] をクリックします。設定テンプレートが削除されます。
- 

## テンプレートを使用した設定の生成

設定テンプレートを適用するには、該当するドメイン、サービス エリア、またはデバイスに設定テンプレートを送信します。

- 
- ステップ 1** テンプレートの [Set Up Configuration Template] ページを開きます（「[既存の設定テンプレートの更新](#)」（P.5-45）を参照）。
- ステップ 2** （任意）ドメインを選択します。サービス エリアとデバイスのリストに、選択したドメインに属するサービス エリアとデバイスが表示されます。
- 
- (注)** ドメインが選択されない場合は、プロビジョニング 内のすべてのデバイスがリストに表示されます。
- 
- ステップ 3** サービス エリアとデバイスの一方または両方を選択します。サービス エリアを選択するとデバイス リストが更新され、選択したサービス エリアに属するデバイスだけが表示されます。
- 
- (注)** サービス エリアまたはデバイスを選択すると、各テンプレート項目に [Supported] と [Unsupported] のいずれかが表示されます。サポートされていない項目は、選択したデバイスまたはサービス エリア内のデバイスに対して有効なテンプレート項目ではありません。そのようなテンプレート項目は、生成されたテンプレートには追加されません。
- 
- ステップ 4** （任意）キーワード リストを選択します。これはテンプレートにキーワードが含まれている場合にだけです。
- ステップ 5** [Generate Configuration] をクリックします。



**ステップ 6** [OK] をクリックします。

設定が生成され、[Batch Project] ページが表示されます。設定のプロビジョニングのスケジュール設定に関する詳細については、「[バッチプロジェクトの使用](#)」(P.6-15) を参照してください。

## 事前構築 Cisco IOS テンプレート

事前構築 Cisco IOS テンプレートは、シスコから多くのアプリケーションに対して配布されており、シスコ内の複数の管理製品によってサポートされています。

事前構築 Cisco IOS テンプレートは、次の 2 つのファイルで定義されます。

- `<Name>-swconfig.txt` : このファイルには、Cisco IOS コマンドが含まれています。これは、キーワードが「アット」記号 (@) で区切られる点で、汎用 Cisco IOS コマンドのコマンド属性とは異なります。
- `Config-UserGuide-<Name>.txt` : このファイルには、`swconfig.txt` ファイルで使用されるすべてのキーワードがリストされます。キーワードには、先頭に @ 文字が含まれている必要があります。先頭文字が @ 文字ではない場合、コメントとして処理されます。

`<Name>` に **C2851\_GigE-ASSTwOSPF-DMVPN-CME-H323-FaxRelay** を使用すると、テキストファイルは次のようになります。

- `C2851_GigE-ASSTwOSPF-DMVPN-CME-H323-FaxRelay-swconfig.txt`
- `Config-UserGuide-C2851_GigE-ASSTwOSPF-DMVPN-CME-H323-FaxRelay.txt`

ファイルが欠落している場合、または命名規則に従っていない場合は、Provisioning の事前構築テンプレート ファイル名に名前が表示されません。

テキスト ファイル内にエラーが検出された場合は、エラー メッセージが表示されます。エラー メッセージが表示された場合は、テンプレート項目の作成をキャンセルして、問題を修正する必要があります。最も一般的なエラーは、`swconfig.txt` ファイルで使用されているキーワードが、`Config-UserGuide-<Name>.txt` ファイル内で相互参照されていないことです。

`Config-UserGuide-<Name>.txt` ファイル内の非コメント行は、コメントで区切られており、3 つの必須カラムが存在します。その内容は次のとおりです。

- **Keyword Name** : 先頭に @ 文字を含むキーワードの完全な名前。キーワード名の有効な文字は、英数字、アンダースコア、左角カッコ ([)、および右角カッコ (]) です。
- **Keyword Description** : Cisco IOS コマンド内で、キーワード値が表す意味を説明する自由形式のテキスト フィールド。
- **Keyword Label** : キーワードの目的に関するより簡単な説明。

## Provisioning の事前構築機能

プロビジョニングは、事前構築テンプレート ファイル用に次の追加機能を提供します。

- キーワード用の汎用 Cisco IOS テンプレート形式を使用して、swconfig.txt ファイル内のキーワードを指定できます。

汎用 Cisco IOS テンプレートの形式は、次のとおりです。

`${KEY_WORDNAME}`



(注) プロビジョニングでは、具体的にはダッシュ (-) など、汎用 Cisco IOS テンプレートでサポートされる追加文字をキーワード名に含めることができます。

事前定義 Cisco IOS 形式は、次のとおりです。

`@KEYWORD_NAME`

- キーワード値をデフォルトに設定するため、およびキーワード値を検証するために、Config-UserGuide-<Name>.txt ファイルに、次の 3 つのオプションのカラムを追加できます。
  - Type : キーワード検証を判断するための 4 つのタイプの 1 つ。タイプには、STRING、NUMERIC、IPV4、および IPV6 があります。事前構築テンプレートに関連付けられたローカル キーワード リストに値を入力すると、その値が検証され、検証が失敗した場合はエラーメッセージが表示されます。テンプレート項目を保存する前に、エラーを修正する必要があります。
  - Default Value : ローカル キーワード リストを作成する際に初期的に使用される値。
  - Length : STRING タイプの長さは、この値を超えることはできません。

任意のキーワードに値 CUPM\_SKIP を使用できますが、この値を含む行は、デバイスに送信される Cisco IOS コマンドには含まれません。

## Provisioning でサポートされない事前構築機能

キーワード名が空の各カッコ ([ ]) で終了している場合、このキーワードに複数の値を割り当てることができることを意味しています。Provisioning では、1 つの値のみ設定できます。

## 設定テンプレートのインポートとエクスポート

テンプレート インポート/エクスポート ツール (configtemplate.sh) を使用すると、プロビジョニング サーバとの間で設定テンプレートのインポートやエクスポートを実行できます。

configtemplate.sh ファイルは、/opt/cupm/sep/ipt/bin フォルダにあります。

テンプレート インポート/エクスポート ツールを使用するときは、次のことに注意してください。

- テンプレートを別の プロビジョニング サーバにインポートするときに、インポート対象のテンプレートに特定のコール プロセッサ固有の属性が含まれている場合は、テンプレートをインポートする プロビジョニング サーバでそのコール プロセッサを追加して同期化する必要があります。
- エクスポートされた設定テンプレート ファイルに変更を加えないでください。
- ネストしているテンプレートを別々にインポート/エクスポートしないでください。
- all オプションを使用するときは、すべてのファイルが同じディレクトリに存在している必要があります。そうでない場合は、インポートに失敗します。

- ネストしているテンプレートの 1 つを指定したときに、そのテンプレートに従属するテンプレートはインポート/エクスポートされません。従属するテンプレートは個別にインポート/エクスポートする必要があります。まとめてインポート/エクスポートするには、*all* オプションを使用します。このときに、すべての従属ファイルが指定のディレクトリに存在している必要があります。



(注) この方法で事前構築 Cisco IOS テンプレートをエクスポートすることはできません。事前定義テンプレートは、Provisioning データベースには格納されません。これらのテンプレートは、*ios-pre-built* ディレクトリ下のサブディレクトリにコピーされた際に、暗黙的にインポートされます。

## 設定テンプレートのインポート

**ステップ 1** プロビジョニング システムで、コマンド プロンプトを開きます。

**ステップ 2** コマンド プロンプトで、*/opt/cupm/sep/ipt/bin* フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./configtemplate.sh -import <XML file name> -d <directory>
```

それぞれの説明は次のとおりです。

- *<XML file name>* : インポートするテンプレートの名前です。



(注) *<XML file name>* の代わりに *all* を指定することもできます。このようにすると、ディレクトリに存在するすべてのテンプレート (xml ファイル) がインポートされます。

- *<directory>* : インポートするファイルが存在するディレクトリです。これは任意です。この引数を省略した場合のデフォルトは、カレント ディレクトリです。

例 : `./configtemplate.sh -import RoutePattern.xml -d /opt/cupm/templates`



(注) コマンドをインポートする前に、フォルダ内のファイルが .xml ファイルのみであることを確認してください。

## 設定テンプレートのエクスポート

- ステップ 1** プロビジョニング システムで、コマンド プロンプトを開きます。
- ステップ 2** コマンド プロンプトで、`/opt/cupm/sep/ipt/bin` フォルダに移動し、次のコマンドを実行します。

```
./configtemplate.sh -export <template name> -d <directory>
```

それぞれの説明は次のとおりです。

- `<template name>` : エクスポートするテンプレートの名前です。



**(注)** `<template name>` の代わりに `all` を指定することもできます。このようにすると、存在するすべてのテンプレートがエクスポートされます。

- `<directory>` : ファイルのエクスポート先のディレクトリです。これは任意です。この引数を省略した場合のデフォルトは、カレント ディレクトリです。

例 : `./configtemplate.sh -export RoutePattern -d /opt/cupm/templates`



**(注)** テンプレートをエクスポートする場合は、常に新しいディレクトリ名を使用してください。既存のディレクトリ名を使用すると、新しいテンプレートが正しくエクスポートされません。

## インフラストラクチャ設定の使用

プロビジョニングの [Infrastructure Configuration] ページでは、コール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサのインフラストラクチャ設定を見ることができます。このページで、コール プロセッサおよびユニファイド メッセージ プロセッサの設定の追加、編集、削除を行うことができます。また、保留中の操作の表示や、操作のスケジュール設定も可能です（「[インフラストラクチャ設定 スケジューリングの使用](#)」(P.5-58) を参照）。



インフラストラクチャ設定を使用するには、Infrastructure Configuration Management 権限ロールが割り当てられ、対応するインフラストラクチャ製品に対する権限が割り当てられている必要があります（「[インフラストラクチャ設定権限の管理](#)」(P.8-20) を参照）。

インフラストラクチャ データ オブジェクト（製品）のフィールドの説明については、[表 5-4](#) ～ [表 5-30](#) を参照してください。



**(注)** インフラストラクチャ設定機能は、Cisco Unified Communications Manager デバイスに基づくコール プロセッサ、および Cisco Unity または Cisco Unity Connection のみに基づくユニファイド メッセージ プロセッサに適用されます。

## インフラストラクチャ設定インスタンスの追加

- ステップ 1** [Deploy] > [Infrastructure Configuration] を選択します。
- ステップ 2** [Infrastructure Configuration] ページで、プロセッサを選択するには、[Chooser] アイコン (  ) をクリックします。
- ステップ 3** 目的のプロセッサをクリックします。
- ステップ 4** [Products] ペインで、どの製品のインスタンスを追加するかを選択します。
- その製品の設定済みインスタンスがすべて、[Configured Instances] ペインに表示されます。[Show Filter] をクリックすると、検索ペインが表示されます。設定済みインスタンスのリストを絞り込むための検索基準を入力できます。
- ステップ 5** [Configured Instances] ペインで、[Add New] をクリックします。
- ステップ 6** [Infrastructure Configuration - Configure Product Instance] ページで、必要な情報を入力します。フィールドの横のアスタリスク (  ) は、必須フィールドを示します。
- 情報の具体的な入力方法については、次に示す項を参照してください。
- 「複合属性の使用」(P.5-53)
  - 「インフラストラクチャ設定内の項目の選択」(P.5-55)
  - 「インフラストラクチャ設定内の項目順序の変更」(P.5-55)



(注) インフラストラクチャ データ オブジェクト (製品) のフィールドの説明については、表 5-4 ~ 表 5-30 を参照してください。

- ステップ 7** [Submit] または [Save local copy] をクリックします。
- [Submit] をクリックすると、オーダーはただちにプロセッサに送信されます。[Save local copy] をクリックすると、設定されたインスタンスはローカルにだけ保存されます。後でオーダーをプロセッサに送信するには、[Submit] をクリックするか、インフラストラクチャ設定スケジューリング機能を使用します (「インフラストラクチャ設定スケジューリングの使用」(P.5-58) を参照)。
- また、[Save local copy] を選択すると、オブジェクトのプロビジョニング状態が [Uncommitted Add] となります (プロビジョニング状態の詳細については、「インフラストラクチャ プロビジョニングの状態」(P.5-60) を参照してください)。動作ステータスは非アクティブです。つまり、オブジェクトはまだデバイスに送信されていません。

### 複合属性の使用

属性の中には、子属性を持てるものがあります。この子属性の設定を繰り返すと、テーブルのような構造体を作られます。このような属性を「複合属性」と呼びます。インフラストラクチャ設定の中で、複合属性が存在する製品は、CTI Route Point、Route Group、および Route List です。複合属性はこの他に、加入者製品にも存在します。

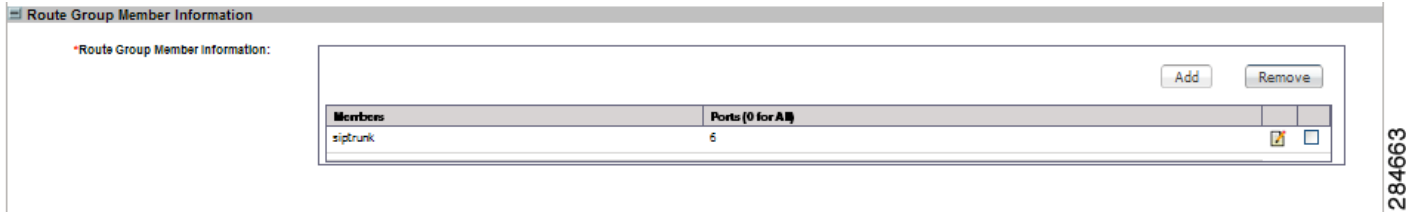
たとえば、Phone 製品には短縮ダイヤルがあり、Line 製品にはコール転送のすべての設定があり、Voicemail 製品には Unity 代替内線番号があります。

複合属性とは、一部の製品に対する設定です。このような属性の値は、他の属性と同様に、[Infrastructure Configuration - Configure Product Instance] ページでプロセッサ、製品、およびインスタンスを選択した後に入力されます。

図 5-2 および図 5-3 に、複合属性の例を示します。

複合属性の設定

図 5-2                    例 1：複合属性



- ステップ 1** [Infrastructure Configuration - Configure Product Instance] ページ (「[インフラストラクチャ設定インスタンスの追加](#)」(P.5-53) を参照) で、テーブル内の [Add] をクリックします。
- ステップ 2** フィールドに必要な情報を入力します。
- ステップ 3** [OK] をクリックします。


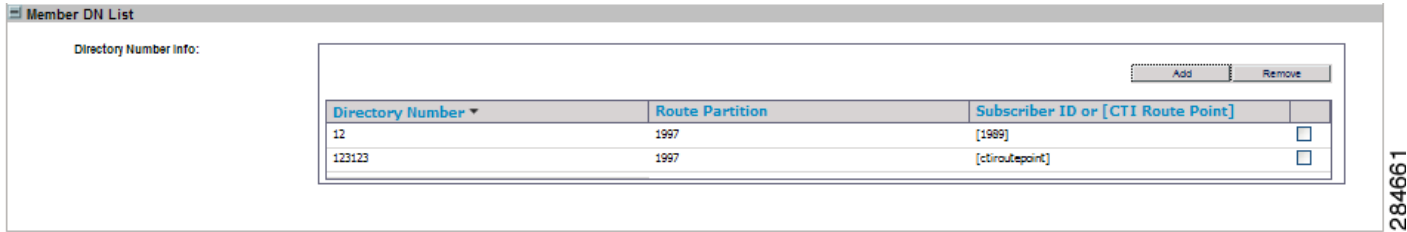
新しい情報がテーブルに表示されます。行を追加するには、上記のステップを繰り返します。追加済みのエントリ（行）を編集するには、その行の横の編集（) アイコンをクリックします。編集パネルが開きます。変更を加えて [OK] をクリックします。複合属性テーブル内の行が更新されます。エントリ（行）を削除するには、その行の横のチェックボックスをオンにして [Remove] をクリックします。

図 5-3                    例 2：複合属性




- ステップ 1** [Infrastructure Configuration - Configure Product Instance] ページ (「[インフラストラクチャ設定インスタンスの追加](#)」(P.5-53) を参照) で、テーブル内の [Add] をクリックします。
- ステップ 2** [Available Values] ペインで、追加するオプションをクリックします。

選択したオプションが、[Selected Values] ペインに表示されます。検索ページの上部にある検索フィールドを使用して、一覧表示されたオブジェクトを絞り込みます。

**ステップ 3** 必要なすべてのオブジェクトを選択したら、[Select] をクリックします。

これで、選択したオブジェクトがテーブルに表示されます。エントリ（行）を削除するには、その行の横のチェックボックスをオンにして [Remove] をクリックします。

## インフラストラクチャ設定内の項目の選択

項目を選択するには、ドロップダウン リストでその項目をクリックします。フィールドの横に選択アイコン（) が表示されることもあります。この選択アイコンをクリックすると、検索ページが開き、選択可能な項目が一覧表示されます。

複数の項目を指定可能なフィールドの場合は、検索ページで項目をダブルクリックしてから [Select] をクリックします。




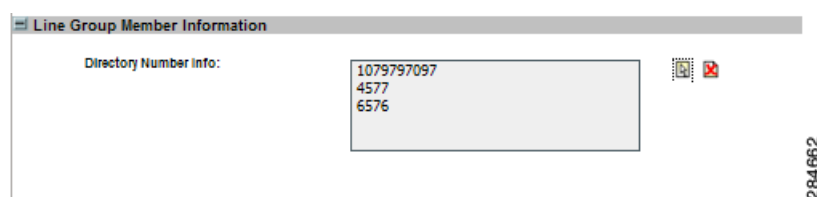
(注) 項目をこのフィールドから削除するには、その項目をクリックしてから  アイコンをクリックします。

図 5-4 に、この種のフィールドの例を示します。

図 5-4 例 : [Directory Number Info] フィールド



## インフラストラクチャ設定内の項目順序の変更

インフラストラクチャ設定のフィールドの中には、項目の順序を変更できるものがあります。

**ステップ 1** [Processor Configuration - Configure Product Instance] ページ（「[インフラストラクチャ設定インスタンスの追加](#)」(P.5-53) を参照）で、移動する項目を選択します。



(注) 選択する項目は、順序変更可能なインフラストラクチャ設定フィールドに存在する必要があります。

**ステップ 2** フィールドの横の上向きまたは下向き矢印をクリックします。項目が移動します。

図 5-5 に、この種のフィールドの例を示します。

図 5-5 例 : [Member Call Pickup Groups] フィールド





284659

## インフラストラクチャ設定インスタンスの編集



(注)

設定済みのインスタンスをクリックしたときに表示される [Associated Products] ボタンをクリックすると、そのインスタンスと他の製品インスタンスとの間の関係が表示されます。

- ステップ 1 [Deploy] > [Infrastructure Configuration] を選択します。
- ステップ 2 [Infrastructure Configuration] ページで、[Chooser] アイコン (  ) をクリックします。
- ステップ 3 目的のプロセッサをクリックします。
- ステップ 4 [Products] ペインで、目的のインスタンスを持つ製品をクリックします。
- ステップ 5 設定を変更するインスタンスを選択します。
- ステップ 6 [Processor Configuration - Configure Product Instances] ページで、[Modify] をクリックします。  
編集可能な設定が表示されます。
- ステップ 7 [Local Configuration] タブで、必要な変更を行います。フィールドの横のアスタリスク (  ) は、必須フィールドを示します。



(注)

Cisco Unified Communications Manager 内で数値が設定されている項目の値の設定を解除するには、値として 0 を入力する必要があります。値を消去しただけでは、Cisco Unified Communications Manager 内の設定は解除されません。



**ステップ 8** 情報の具体的な入力方法については、次に示す項を参照してください。

- 「複合属性の使用」(P.5-53)
- 「インフラストラクチャ設定内の項目の選択」(P.5-55)
- 「インフラストラクチャ設定内の項目順序の変更」(P.5-55)



(注) インフラストラクチャ データ オブジェクト (製品) のフィールドの説明については、表 5-4 ～ 表 5-30 を参照してください。


**ステップ 9** [Submit] または [Save local copy] をクリックします。

[Submit] をクリックすると、オーダーはただちにプロセッサに送信されます。[Save local copy] をクリックすると、設定されたインスタンスはローカルにだけ保存されます。後でオーダーをプロセッサに送信するには、[Submit] をクリックするか、インフラストラクチャ設定スケジューリング機能を使用します（「インフラストラクチャ設定スケジューリングの使用」(P.5-58) を参照）。

また、[Save local copy] を選択すると、オブジェクトのプロビジョニング状態が [Uncommitted Update] となります（プロビジョニング状態の詳細については、「インフラストラクチャ プロビジョニングの状態」(P.5-60) を参照してください）。動作ステータスはアクティブです。

## インフラストラクチャ設定インスタンスの削除

**ステップ 1** [Deploy] > [Infrastructure Configuration] を選択します。

**ステップ 2** [Infrastructure Configuration] ページで、[Chooser] アイコン (  ) をクリックします。

**ステップ 3** 目的のコール プロセッサをクリックします。

**ステップ 4** [Products] ペインで、目的のインスタンスを持つ製品をクリックします。

**ステップ 5** [Configured Instances] ペインで、削除するインスタンスをクリックします。  
が表示されます。

**ステップ 6** [Processor Configuration - Configure Product Instance] ページで、[Delete from processor] または [Mark for deletion] をクリックします。

[Delete from processor] を選択すると、ただちに削除オーダーがプロセッサに送信されます。[Mark for deletion] を選択した場合は、設定済みインスタンスはローカルでだけ削除されます。後でオーダーをプロセッサに送信するには、[Delete from processor] をクリックするか、インフラストラクチャ設定スケジューリング機能を使用します（「インフラストラクチャ設定スケジューリングの使用」(P.5-58) を参照）。

また、[Mark for deletion] を選択すると、オブジェクトのプロビジョニング状態が [Uncommitted Delete] となります（プロビジョニング状態の詳細については、「インフラストラクチャ プロビジョニングの状態」(P.5-60) を参照してください）。動作ステータスはアクティブです。

インスタンスに削除対象のマークを付けても、そのインスタンスが他のインフラストラクチャ製品や加入者製品で選択不可能になることはありません。たとえば、あるルートパーティションに削除対象のマークが付いている場合も、そのルートパーティションは Line 製品や Phone 製品およびコーリングサーチスペースでの選択が可能です。

**ステップ 7** 確認のボックスで [OK] をクリックします。

## インフラストラクチャ設定スケジューリングの使用

インフラストラクチャ設定スケジューリング機能を使用すると、保留中操作を持つインスタンスをグループ化してプロビジョニングのスケジュールを設定することができます。

インフラストラクチャ設定のスケジューリングを行うには、タスクを作成する必要があります。タスクに保留中の設定を追加できます。この設定とは、追加、変更、または削除の操作です。2 つ以上のプロセッサからの保留中項目を同じタスクに入れることができます。また、このタスクのスケジュールは、決められた時間に実行するように設定することも、別のタスクの実行が正常終了した後に実行するように設定することもできます。

## スケジュール設定済みのインフラストラクチャ設定タスクの表示

**ステップ 1** [Deploy] > [Infrastructure Configuration] を選択します。

**ステップ 2** [Infrastructure Configuration] ページで、[Schedule Configuration] をクリックします（右上）。タスクが一覧表示されます。このページで、プロセッサに対するタスクを見ることができます。



**ヒント**

結果を絞り込むには、検索機能を使用します。検索機能を使用するには、結果ページの [Show Filter] をクリックすると、検索条件が表示されます。

## インフラストラクチャ設定タスクのスケジュール設定



**(注)**

タスクを作成した後で、そのステータスが「進行中 (in progress)」「完了 (completed)」、または「failed (失敗)」の場合は、タスクを更新できません。タスクが開始する前は、スケジュールの日時の変更や、タスクの一部として送信する保留中項目の追加と削除を行うことができます。

**ステップ 1** [Deploy] > [Infrastructure Configuration] を選択します。

**ステップ 2** [Infrastructure Configuration] ページで、[Schedule Configuration] をクリックします（右上）。

**ステップ 3** [Add New] をクリックします。  
が表示されます。

**ステップ 4** [Schedule Pending Configuration - Configure Task] ページで、必要な情報を入力します。

- Name
- Description

- **Initiation** : タスクを開始するトリガーを指定します (選択できるのは 1 つだけです)。
  - なし。
  - **Date** : このオプションを選択したときに表示される選択アイコン (📅) をクリックします。表示されたカレンダー ボックスで、目的の日付をクリックして [Select] をクリックします。
  - **Task** : タスクをリストから選択します。
- **Operation Type** : インフラストラクチャ設定インスタンスを追加、変更、または削除できます。1 つのタスクで複数の操作を実行できません。選択できる操作タイプは 1 つだけです。

**ステップ 5** タスクの詳細を選択します。

- a. [Task Details] の横にある選択アイコン (▶) をクリックします。検索ページが表示されます。
- b. 値を選択します。
- c. [Select] をクリックします。値が [Schedule Pending Configuration - Configure Task] ページに表示されます。

**ステップ 6** [Schedule Pending Configuration - Configure Task] ページの [Save] をクリックします。

タスクが保存されると、そのタスク内の項目に対して処理が実行されます。どのように実行されるかは、タスクの開始タイプによって決まります。

タスクの開始タイプが「日時」の場合は、その日時になるとタスクの実行が開始します。そのタスクのすべての項目が指定されたオーダーが作成されます。タスクのステータスは「進行中 (in progress)」に変化し、それ以降は変更も削除もできなくなります。タスク内のすべての項目が正常に完了した場合は、タスクのステータスが **complete** に変化します。項目の 1 つが失敗した場合は、残りの項目は実行されず、タスクのステータスは「中止 (aborted)」に変化します。中止または失敗したタスクを再実行できません。新しいタスクを作成する必要があります。

開始タイプが「別タスク」の場合は、別タスクの正常完了後にタスクが開始します。別タスクが異常終了した場合は、このタスクが開始することはありません。このことは、[List of Tasks] ページに表示されます。

## スケジュール設定済みのインフラストラクチャ設定タスクの削除

**ステップ 1** [Deploy] > [Infrastructure Configuration] を選択します。

**ステップ 2** [Infrastructure Configuration] ページで、[Schedule Configuration] をクリックします (右上)。

**ステップ 3** 削除するタスクをクリックします。

**ステップ 4** [Schedule Pending Configuration - Configure Task] ページの [Delete] をクリックします。

## インフラストラクチャ設定タスクの消去

インフラストラクチャ設定のスケジューリング タスク ([Completed]、[Failed]、および [Aborted]) は、システムに保存されます。これらのタスクは、定期的に消去することができます。

データをパージするアクティビティはすべて、[Data Maintenance Configuration] ページから実行されます。データのパージの詳細については、「[プロビジョニングのためにデータ消去のイネーブル化](#) (P.2-7) を参照してください。

## インフラストラクチャ プロビジョニングの状態

ここでは、インフラストラクチャ設定アクティビティを実行したときにインフラストラクチャ設定要求の状態がどのように変化するかを説明します。

インフラストラクチャ設定プロセスが取る状態は、次のとおりです。

- **Uncommitted Add** : 設定はローカルに作成されていますが、プロセッサ上には存在しません。
- **Add in Progress** : 保留中設定の処理が進行中であり、オーダーを通して設定が行われている途中です。この状態では、変更を行うことはできません。
- **Add Failed** : このオブジェクトに対する操作に失敗しました。
- **Add Scheduled** : 保留中の設定済みオブジェクトを処理するタスクのスケジュールが設定済みであり、実行待ちです。この状態では、変更を行うことはできません。
- **Uncommitted Update** : プロセッサ上に存在するオブジェクトがローカルでは変更済みですが、まだプロセッサに送信されていません。
- **Update in progress** : 変更操作がオーダーの一部として進行中です。この状態では、変更を行うことはできません。
- **Updated Failed** : 変更操作に失敗しました。
- **Update Scheduled** : プロセッサ上のオブジェクトを変更するための保留中設定が、タスクの一部としてスケジュールされています。この状態では、変更を行うことはできません。
- **Uncommitted Delete** : プロセッサ上に存在するオブジェクトに削除対象のマークが付いています。このオブジェクトの削除は、まだプロセッサに対して要求されていません。
- **Delete in progress** : 削除操作がオーダーの一部として進行中です。この状態では、変更を行うことはできません。
- **Delete Failed** : 削除操作に失敗しました。
- **Delete Scheduled** : オブジェクトをプロセッサから削除するための保留中設定が、タスクの一部としてスケジュールされています。この状態では、変更を行うことはできません。



## CHAPTER 6

# バッチ プロビジョニング

ユーザを作成し、このユーザのサービスを自動的にプロビジョニングするには、バッチ プロビジョニングを使用します。バッチ プロビジョニングを使用すると、新しい事業所の展開やレガシー システムからの移行を簡単に行うことができます。

## バッチ処理ファイルの作成

バッチ プロビジョニングを実行するには、次の操作を実行する必要があります。

1. ユーザとプロビジョニングするサービスを記述したスプレッドシートを作成し（通常は電話機と回線を含めます）、そのスプレッドシートをタブ区切りのテキスト ファイル（バッチ処理ファイルと呼びます）に変換します。
2. バッチ処理ファイルを プロビジョニング のバッチ プロジェクトにアップロードします。
3. バッチ プロジェクトを実行するか、後で実行するためにスケジュール設定します。プロビジョニング では、ファイルに記述されたデータに基づいて、ユーザの作成と回線および電話機のプロビジョニングが行われます。

スケジュール設定したプロジェクトのリスト、および実行中のプロジェクトの詳細を表示することもできます。



(注)

オーダーのプロビジョニング中は、ステータスが **[Completed]** と表示されます。**[Completed]** リンクをクリックして、デバイスに関連する更新を表示します。

バッチ処理ファイルには、カラム ヘッダーを 1 行含める必要があります。データ カラムは任意の順序でかまいませんが、タブ区切りテキスト ファイルに保存する必要があります。データの編集には、最終的にここで示すガイドラインに準拠したファイルが作成されさえすれば、どのようなテキスト エディタを使用してもかまいません。たとえば、Microsoft Excel でバッチ ファイルを作成し、それをタブ区切りファイルとしてエクスポートできます。

プロビジョニング には、よく使用されるほとんどの処理を含むサンプル ファイルが付属しています。これらのサンプル ファイルは、`\sep\ipt\config\sample\batchProvisioning` フォルダにあります。

表 6-1 に、どのバッチ処理ファイルにも必要なカラムの説明を示します。

表 6-1 バッチ処理ファイルに必要なカラム

| カラム        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Order Type | <p>オーダー タイプ。有効なオプションは次のとおりです（大文字と小文字が区別されます）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• add</li> <li>• cancel</li> <li>• change : Voicemail、Email、および Unified Messaging には使用できません。</li> <li>• addUser : 複数のユーザを一度に追加します。1 人の加入者とその加入者の製品を追加する場合は、通常、Add オーダー タイプを使用します。一度に複数の加入者を追加する場合は、addUser オーダー タイプを使用します。</li> <li>• changeUser : 複数のユーザの情報を一度に変更します。</li> <li>• deleteUser : 複数のユーザを一度に削除します。</li> <li>• addServiceArea : 複数のサービス エリアを一度に追加します。</li> <li>• changeServiceArea : 複数のサービス エリアを一度に変更します。</li> <li>• deleteServiceArea : 複数のサービス エリアを一度に削除します。</li> <li>• moveSubscriber : 加入者を新しいドメインに移動します。必須カラムに情報を入力するほかに、製品名に基づくキー属性も入力する必要があります（たとえば、moveService サンプル ファイルを参照してください）。</li> <li>• moveService : 加入者サービスを、同じドメイン内の新しいサービス エリアに移動します。</li> </ul> <p>ipt.properties に次の 2 つのプロパティを設定して、移動バッチ動作を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>– dfc.ipt.subscribermovement.maxunit : 加入者移動バッチ内で一致するユニットの最大数。デフォルト値は、6 です。（moveSubscriber だけに適用されます）。</li> <li>– dfc.ipt.subscribermovement.batch_pause : 移動バッチ処理行でエラーが発生するたびに、バッチ プロジェクトを続行するか、停止するかを制御する値（0 または 1）。デフォルト値は、1 です（moveSubscriber と moveService だけに適用されます）。</li> </ul> |

表 6-1 バッチ処理ファイルに必要なカラム (続き)

| カラム          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下は、同報リストのバッチ プロビジョニングに固有です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– Add-New-Members : 同報リストに新しいメンバーを追加します。</li> <li>– Remove-Members : 同報リストからメンバーを削除します。</li> </ul> </li> <li>• addDevice : 複数のデバイスを一度に追加します。</li> <li>• updateDevice : 複数のデバイスを一度に変更します。</li> <li>• deleteDevice : 複数のデバイスを一度に削除します。</li> <li>以下は、アナログ電話機のバッチ プロビジョニングに固有です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– add : アナログ電話機またはアナログ電話機と回線を追加します。アナログ音声ゲートウェイ コンフィギュレータがロードされ、音声ポート IOS テンプレートとダイヤル ピア IOS テンプレートがプロビジョニングされるアナログ電話機を追加します。</li> <li>– change : アナログ電話機を変更または交換します。</li> <li>– cancel : アナログ電話機をキャンセルします。Unified Communications Manager 内で電話機がキャンセルされ、デバイスから音声ポートとダイヤル ピアが削除されます。</li> </ul> </li> </ul> |
| ユーザ ID       | <p>オーダーをどの プロビジョニング ユーザ ID に対してプロビジョニングするかを指定します。</p> <p>addServiceArea、changeServiceArea、および deleteServiceArea の場合は、このフィールドを空のままにできます。</p> <p>すべてのインフラストラクチャ製品で、ユーザ ID は <i>icadmin</i> です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Product Name | <p>製品名。入力値はオーダー タイプによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Add orders : オーダー可能な製品 (バンドルを含む) にする必要がありますが、サブタイプは指定できません (たとえば、「Cisco 7960」ではなく「Phone」を使用します)。アナログ電話機をオーダーする場合には、<code>ipt.properties</code> ファイル内の <code>dfc.ipt.cisco.callmanager.analog_phone_support</code> を Y に更新します。</li> <li>• Cancel : ユーザの加入者レコードに含まれる任意の製品名を指定できます。これにはバンドルは含まれません。従属オブジェクトは、その親が削除されると自動的に削除されます。</li> <li>• Change : オーダー可能な製品にする必要があります。</li> <li>• addUser および deleteUser : 空白のままにします (何かを入力しても無視されます)。</li> <li>• addServiceArea、changeServiceArea、deleteServiceArea、moveSubscriber : 空白のままにします。</li> </ul>                                                                                                                  |
| Service Area | <p>オーダーの対象となるサービス エリアの名前。</p> <p>addUser、deleteUser、および moveSubscriber の場合は空白のままにします (何かを入力しても無視されます)。</p> <p>すべてのインフラストラクチャ製品について、プロセッサ名が指定されている場合、サービス エリアは不要です。プロセッサ名が指定されていない場合、サービス エリアとドメイン名が必要です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

表 6-1 バッチ処理ファイルに必要なカラム（続き）

| カラム                   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Phone Button Template | 次の条件に該当する場合は必ず入力する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>製品名が Phone（または Phone を含むバンドル）または Extension Mobility Access（または Extension Mobility Access を含むバンドル）である。</li> <li>電話機タイプが仮想電話（CTI Port など）でない。</li> <li>Cisco Unified Communications Manager に関連付けられたサービス エリアでオーダーされた。</li> </ul> |
| Domain                | 加入者またはサービスに関連付けられたドメインの名前。                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| New Domain            | 加入者の移動先のドメイン名（moveSubscriber だけに適用されます）。<br>(注) 新しいドメインと古いドメインが同じ場合には、すべての加入者サービスが、同じドメイン内の新しいサービス エリアに移動されます。                                                                                                                                                                                   |
| New Service Area      | 新しいサービス エリアの名前（moveService だけに適用されます）。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Old SA (1...6)        | 現在のサービス エリア（moveSubscriber だけに適用されます）。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| New SA (1...6)        | 移動先の新しいサービス エリア（moveSubscriber だけに適用されます）。                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Apply New Setting     | 新しいサービス エリアの設定を適用するかどうかを指定します（moveService と moveSubscriber だけに適用されます）。                                                                                                                                                                                                                           |
| Phone Type            | 電話機のタイプ。これは、moveService および moveSubscriber バッチ ファイルに固有です。                                                                                                                                                                                                                                        |
| MAC Address           | 電話機の MAC アドレス。<br><br>moveService : Cisco IP Communicator、コール プロセッサ バージョン 5 未満では、MAC アドレスを使用します。バージョン 5 以上では、デバイス名を使用します。                                                                                                                                                                        |

表 6-2 に、ユーザを新規作成するときに使用される追加のカラムを示します（表 6-1 は、すべてのバッチ処理ファイルに必須のカラムです）。

表 6-2 ユーザの新規作成に関連するバッチ処理ファイルのカラム

| カラム             | 説明                                                                                                                                                         |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| First Name      | (任意) ユーザの名。                                                                                                                                                |
| Last Name       | ユーザの姓。                                                                                                                                                     |
| Domain          | 新規ユーザを配置するドメイン。                                                                                                                                            |
| Phone Number    | (任意) 新規ユーザの電話番号。                                                                                                                                           |
| Email           | (任意) 新規ユーザの電子メール アドレス。                                                                                                                                     |
| Department      | (任意) 新規ユーザの部門。                                                                                                                                             |
| Subscriber Type | (任意) 新規ユーザの加入者タイプ。1 人の加入者に複数の加入者タイプを追加できます（加入者タイプをセミコロンで区切ります）。<br>(注) ドメインでサポートされていない加入者タイプは無視されます。有効な加入者タイプが加入者に割り当てられていない場合、その加入者は作成されず、バッチ オーダーは失敗します。 |
| PMPassword      | (任意) プロビジョニングのユーザ パスワード。                                                                                                                                   |



表 6-3 に、ユーザを削除するときに使用される追加のカラムを示します（表 6-1 は、すべてのバッチ処理ファイルに必須のカラムです）。

表 6-3 ユーザの削除に関連するバッチ処理ファイルのカラム

| カラム          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Domain       | (任意) ユーザが存在するドメイン。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| OnlyFromCUPM | (任意) このカラムが有効な場合（Y に設定されている場合）、ユーザの加入者レコード上のサービスはすべて Global Resources 名前空間に移動し、実際のデバイス上の加入者またはそのサービスは削除されません。このカラムが無効な場合、ユーザは プロビジョニング とデバイスの両方から削除されます。<br><br><b>ヒント</b> OnlyFromCUPM を有効にしてあるユーザを削除した場合、そのユーザは削除後にドメインを同期したときに再び作成され（ユーザがドメイン同期化ルールに適合する場合）、対応するサービスがユーザの加入者レコードに追加されます。別の方法として、適切なドメインに手動でユーザを作成した後、ドメインの同期化を実行して対応するサービスを取得することもできます。これにより、ドメイン間でユーザを移動したり、サービス エリア間で加入者サービスを移動したりすることが可能となります。 |

表 6-4 に、ユーザを削除するときに使用される追加のカラムを示します（表 6-1 は、すべてのバッチ処理ファイルに必須のカラムです）。

表 6-4 複数サービス エリアの追加と変更に関連するバッチ処理ファイルのカラム

| カラム                                                                      | 説明                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| Domain                                                                   | サービス エリアが属するドメインの名前。                                                          |
| Subscriber Type                                                          | addServiceArea の場合だけに使用されます。空白のままにできます。使用する場合は、加入者ロールをセミコロンで区切って指定します。        |
| Call Processor Name                                                      | 指定されたサービス エリア内のコール プロセッサの名前。                                                  |
| <b>次のカラムが適用されるのは、[Call Processor Name] カラムが定義されている場合だけです。</b>            |                                                                               |
| • Phone Protocol                                                         | 値は SCCP または SIP です。値が何も指定されない場合のデフォルトは SCCP です。                               |
| • Phone Call Search Space                                                | Phone のコーリング サーチ スペース。                                                        |
| • Line Call Search Space                                                 | Line のコーリング サーチ スペース。                                                         |
| • Common Device Config                                                   | Phone の共通デバイス設定。                                                              |
| • Location                                                               | Phone のロケーション。                                                                |
| • Route Partition                                                        | Line のルート パーティション。                                                            |
| • Device Pool                                                            | Phone のデバイス プール。                                                              |
| Unified Message Processor Name                                           | 指定されたサービス エリア内のユニファイド メッセージ プロセッサの名前。                                         |
| <b>次のカラムが適用されるのは、[Unified Message Processor Name] カラムが定義されている場合だけです。</b> |                                                                               |
| • Subscriber Template Without TTS                                        | 指定されたユニファイド メッセージ プロセッサ内で定義されている、TTS がイネーブルになっていない TT ディセーブル済み加入者テンプレートの 1 つ。 |
| • Subscriber COS With TTS                                                | 指定されたユニファイド メッセージ プロセッサ内で定義されている TTS イネーブル済み加入者 COS の 1 つ。                    |

表 6-4 複数サービス エリアの追加と変更に関連するバッチ処理ファイルのカラム (続き)

| カラム                                                                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Subscriber COS Without TTS</li> </ul> | 指定されたユニファイドメッセージプロセッサ内で定義されている TTS ディセーブル済み加入者 COS の 1 つ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Directory Number Blocks                                                      | <p>サービス エリアへの Directory Number Blocks の追加は、サービス エリア バッチ プロビジョニングの拡張機能です。</p> <p>データ形式は、<code>&lt;Prefix&gt; :&lt;First Number&gt; :&lt;Last Number&gt; :&lt;Minimum Length&gt;; &lt;Prefix&gt; :&lt;First Number&gt; :&lt;Last Number&gt; :&lt;Minimum Length&gt;</code> です。</p> <p>デリミタ「;」は、複数の Directory Number Blocks の設定で使われます。</p> <p>ユーザは、changeServiceArea 操作中に CUPM_BLANK キーワードを使用して既存のすべての Directory Number Blocks を削除できます。changeServiceArea 操作では、CUPM_SKIP キーワードを使用して以前の値を維持できます。</p> |

表 6-5 に、デバイスの追加で使用する追加カラムを示します

表 6-5 デバイスの追加、変更、または削除のためのバッチ アクション ファイルのカラム

| カラム                                                                                                | 説明                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| DeviceType                                                                                         | デバイスのタイプ。                                              |
| IPAddress                                                                                          | デバイスの IP アドレス。                                         |
| DeviceName                                                                                         | デバイスの名前。                                               |
| NewDevicename                                                                                      | デバイスの名前を変更し、新しい名前を指定します。                               |
| Capability <number>                                                                                | 機能に割り当てられる番号。                                          |
| <b>Capability&lt;number&gt; が Unified Communications Manager の場合、次のヘッダーが有効です。</b>                  |                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;Version</li> </ul>                  | Unified Communications Manager デバイスのバージョン。             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;IP Address</li> </ul>               | Unified Communications Manager デバイスの IP アドレス。          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;Action</li> </ul>                   | Unified Communications Manager デバイスにアクセスするアクション。       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;UserName</li> </ul>                 | Unified Communications Manager デバイスにアクセスするためのユーザ名。     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;Password</li> </ul>                 | Unified Communications Manager デバイスにアクセスするためのパスワード。    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;ConfirmPassword</li> </ul>          | Unified Communications Manager デバイスにアクセスするためのパスワードの確認。 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;Protocol</li> </ul>                 | Unified Communications Manager デバイスのプロトコル。             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Capability&lt;number&gt;LDAPDirectoryIntegration</li> </ul> | LDAP 統合が必要かどうかを指定します。                                  |

表 6-5 デバイスの追加、変更、または削除のためのバッチ アクション ファイルのカラム (続き)

| カラム                                                                 | 説明                                       |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| • Capability<number>EMServiceName                                   | 内線移動サービスの名前。                             |
| • Capability<number>EMServiceURL                                    | 内線移動サービスの URL。                           |
| <b>Capability&lt;number&gt; が Unity Connection の場合、次のヘッダーが有効です。</b> |                                          |
| • Capability<number>Version                                         | Unity Connection デバイスのバージョン。             |
| • Capability<number>IPAddress                                       | Unity Connection デバイスの IP アドレス。          |
| • Capability<number>Action                                          | Unity Connection デバイスに関連付けられたアクション。      |
| • Capability<number>UserName                                        | Unity Connection デバイスにログインするユーザ名。        |
| • Capability<number>Password                                        | Unity Connection デバイスにアクセスするためのパスワード。    |
| • Capability<number>ConfirmPassword                                 | Unity Connection デバイスにアクセスするためのパスワードの確認。 |
| <b>Capability&lt;number&gt; が Unity Express の場合、次のヘッダーが有効です。</b>    |                                          |
| • Capability<number>Version                                         | Unity Express デバイスのバージョン。                |
| • Capability<number>CUELineUserName                                 | Unity Express デバイスにログインするユーザ名。           |
| • Capability<number>CUELinePassword                                 | ユーザ名に関連付けられた回線パスワード。                     |
| • Capability<number>ConfirmCUELinePassword                          | Unity Express デバイスにアクセスするためのパスワードの確認。    |
| • Capability<number>ServiceEngineInterfaceNumber                    | サービス エンジンのインターフェイス番号                     |
| <b>Unity カラムが定義されている場合、次のカラムが適用されます。</b>                            |                                          |
| • IP Address                                                        | Unity デバイスの IP アドレス。                     |
| • Version                                                           | Unity デバイスのバージョン。                        |
| • Username                                                          | Unity デバイスにアクセスするためのユーザ名。                |
| • Password                                                          | ユーザ名に関連付けられたパスワード。                       |
| • Capability<number>createbyImport                                  | 詳細をインポートすることによってデバイスを作成。                 |
| • Capability<number>UMPPORT                                         | Unity のポート。                              |
| <b>Unified Presence カラムが定義されている場合、次のカラムが適用されます。</b>                 |                                          |
| • Capability<number>Version                                         | Unified Presence デバイスのバージョン。             |
| • Capability<number>IPAddress                                       | Unified Presence デバイスの IP アドレス。          |
| • Capability<number>Action                                          | Unified Presence デバイスに関連付けられたアクション。      |
| • Capability<number>UserName                                        | Unified Presence デバイスにアクセスするためのユーザ名。     |

表 6-5 デバイスの追加、変更、または削除のためのバッチ アクション ファイルのカラム (続き)

| カラム                                                     | 説明                                  |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| • Capability<number>Password                            | ユーザ名に関連付けられたパスワード。                  |
| • Capability<number>ConfirmPassword                     | パスワードの確認。                           |
| • Capability<number>Protocol                            | Unified Presence デバイスのプロトコル。        |
| <b>Call Manager Express カラムが定義されている場合、次のカラムが適用されます。</b> |                                     |
| • Capability<number>Version                             | Call Manager Express デバイスのバージョン。    |
| <b>IOS カラムを持つルータが定義されている場合、次のカラムが適用されます。</b>            |                                     |
| • DeviceProtocol                                        | Cisco IOS ルータ デバイスのプロトコル。           |
| • DeviceUserName                                        | Cisco IOS ルータ デバイスに関連付けられたユーザ名。     |
| • DevicePassword                                        | ユーザ名に関連付けられたパスワード。                  |
| • DeviceConfirmPassword                                 | パスワードの確認。                           |
| • DeviceEnablePassword                                  | Cisco IOS ルータ デバイスのパスワードをイネーブルにします。 |
| • ConfirmDeviceEnablePassword                           | デバイスをイネーブルにするパスワードの確認。              |

表 6-6 アナログ電話機またはアナログ電話機サービスを追加するためのバッチ アクション ファイル カラム

| カラム                            | 説明                                                          |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| Analog Voice Gateway Reference | 選択したアナログ電話機に関連付けられた [Analog Voice Gateway Reference] フィールド。 |
| VoicePort                      | [Analog Voice Gateway Reference] に関連付けられた [Voiceport]。      |
| Directory Number               | アナログ電話機に関連付けられたディレクトリ番号。                                    |

表 6-7 アナログ電話機を交換するためのバッチ アクション ファイルのカラム

| カラム                                | 説明                                                                                     |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| New Analog Voice Gateway Reference | 既存の [Analog Voice Gateway Reference] を交換する [New Analog Voice Gateway Reference] フィールド。 |
| New VoicePort                      | 既存の [Voiceport] を交換する [New Voiceport] フィールド。                                           |

表 6-8 アナログ電話機を変更するためのバッチ アクション ファイルのカラム

| カラム                      | 説明                                                                                       |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| AAR Calling Search Space | 帯域幅不足が原因でコールがブロックされた場合に、収集された (発信側) 番号の他のルーティング方法を決定するために検索される ルート パーティションのコレクションを指定します。 |

## バッチ処理ファイルの作成に関するガイドライン



(注)

サンプルのバッチ ファイルが用意されています。ファイルは、プロビジョニング システムで、`/opt/cupm/sep/ipt/config/sample/batchProvisioning` フォルダにあります。サンプルのバッチ ファイルには、必要に応じて追加のカラムを追加できます。

バッチ アクション ファイルを作成する場合は、次のガイドラインに従います。

- バッチ処理の値を作成する際に、複数の値を入力するにはコロン デリミタを使用する必要があります。たとえば、複数のルート パーティションを含む新しい `CallingSearchSpace` を作成する際には、`RP1:RP2:RP3` を使用します。
- 作成するユーザにセルフケア アカウントを与える場合は、該当するすべてのドメインについて `CreateSelfCareAccounts` ルールを有効にする必要があります。
- `ProductName` が `Phone` (または `Phone` を含むバンドル) で、なおかつ `Phone Type` が仮想電話 (CTI Port など) でない場合は、MAC アドレスが必要です。
- 電話機を変更するときは、新しい MAC アドレスが必要です。
- 製品をキャンセルするときは、`Object Name` が必要です (`Line` 製品と `Extension Mobility Line` 製品を除く)。
- `Line` 製品または `Extension Mobility Line` 製品をキャンセルするときは、ディレクトリ番号とルート パーティションが必要です。
- `VG202` 製品、`VG 204` 製品および `VG 224` 製品を削除すると、デバイスおよび `Provisioning` のすべての電話機が削除されます。削除に関する警告メッセージが表示されます。メッセージの確認後にのみ、電話機が削除されます。電話機に関連付けられたカスタマー レコードを消去するには、ドメイン同期化を実行する必要があります。
- `ProductName` が `Phone` (または `Phone` を含むバンドル) または `Extension Mobility Access` (または `Extension Mobility Access` を含むバンドル) で、`Phone Type` が仮想電話 (CTI Port) でなく、なおかつ `Cisco Unified Communications Manager` だけに関連付けられたサービス エリアでオーダーされた場合は、`Phone Button Template` が必要です。
- `Cisco Unity` デバイス (`Cisco Unity`、`Cisco Unity Connection`、`Cisco Unity Express`) では、一部の製品とサービスはサポートされていません。指定されたサービス エリアのデバイスでサポートされていない製品がバッチ処理ファイルに設定されている場合、バッチ プロビジョニングは失敗します。
- 手動オーダー入力プロセスでユーザが入力する必要がある製品属性は、バッチ プロジェクトで同等のオーダーを正常に完了するためにも必要となります。次に例を示します。
  - `Phone Type` : オーダーする製品が `Phone` または `Phone` を含むバンドルの場合は、電話機のタイプ (`Cisco 7960` や `Cisco 7912` など) を指定します。
  - `Line Type` : オーダーする製品が `Line` または `Line` を含むバンドルの場合は、回線のタイプ (`Auto-Assigned Line` や `Chosen Line` など) を指定します。
  - `Directory Number` : `ProductName` が `Line` で `Type` が `Chosen Line` の場合は必須です。また、そのオーダーだけでは依存関係が満たされない製品をオーダーする場合は (たとえば、単一の `Line` をオーダーする場合など)、従属オブジェクトを指定するカラムが必要です。
  - `Route Partition` : `ProductName` が `Line` で `Order Type` が `Change` の場合は必須です。

- オーダーする製品に、そのオーダーだけでは満たされない依存関係がある場合は（たとえば、単一の Line をオーダーする場合など）、従属オブジェクトを指定するカラムが必要です。次に例を示します。

- SelectedPhone : 回線を追加する電話機の MAC アドレス。
- SelectedLine : ボイスメールを追加する回線のディレクトリ番号。
- SelectedVoicemail : ユニファイド メッセージングを追加するボイスメールのディレクトリ番号。
- SelectedEM\_Access : EM\_Line を追加する EM\_Access（デバイス プロファイル）の名前。

バンドルに基本製品のインスタンスが複数含まれている場合は、属性のカラム名の末尾に (1)、(2)、などを付ける必要があります（たとえば、Line Type(1) や Directory Number(1) など）。

- バンドル製品で、製品属性名が別の基本製品のものと同一である場合は、区別するために製品名を属性に付加します。

たとえば、コーリング サーチ スペースという属性は、Phone と Line の両方にあります。Phone Service という製品に対しては、[Phone Calling Search Space] と [Line Calling Search Space] を指定できます。

- 短縮ダイヤル情報は次の方法で指定できます。

- 直接 : 1 つのカラムで情報を指定する場合に使用します。カラム ヘッダーは「Speed Dial Info」です。必要な形式は index:number:label で、これをセミコロンで区切って短縮ダイヤルごとに繰り返します。index は短縮ダイヤルの位置（1、4、5 など）、number は電話番号、label は短縮ダイヤル名です。たとえば、1:8675306:Joe;4:888:Voicemail のようになります。

この形式を使用して追加の回線を追加する場合は、それまでにカラムに入力した短縮ダイヤル情報をすべて再入力して、新しい短縮ダイヤル情報を追加する必要があります。

この形式は、短縮ダイヤルの初期設定時に使用することを推奨します。既存の短縮ダイヤルのリストに短縮ダイヤルを追加する場合は、次の項目で説明する形式を使用する必要があります。

- 一致するカラムのセット : 「Speed Dial n」（n は短縮ダイヤルの位置）と「Speed Dial n Name」という 1 組のカラムを使用します。この形式を使用すると、既存の短縮ダイヤル リストの末尾に新しい短縮ダイヤルが追加されます。

例 :

| Speed Dial 1 | Speed Dial 1 Name | Speed Dial 4 | Speed Dial 4 Name |
|--------------|-------------------|--------------|-------------------|
| 8675306      | Joe               | 888          | Voicemail         |

- 回線グループ情報を指定する際は、LineGroupName:position という形式を セミコロンで区切って回線グループごとに繰り返します。LineGroupName は回線グループの名前です。position は選択した回線グループ内のディレクトリ番号の位置で、値として last（または LAST）、または 1 ～ 100 の数字を指定できます。たとえば、LG1:1;LG2:5;LG3:last のようになります。

追加の回線を追加する場合は、すべての回線グループ情報を入力する必要があります。回線グループのカラム ヘッダーは、「Line Groups(1)」や「Line Groups(2)」のようにする必要があります。

- カラムのインスタンスが複数ある場合（たとえば、ディレクトリ番号が複数ある場合など）は、各インスタンスのカラム名の末尾に (1) や (2)などを指定する必要があります（たとえば、Directory Number(1) や Directory Number(2) など）。
- Cisco Unified Communications Manager Express の電話機および回線設定テンプレートでは、区切り文字としてチルダ (~) を使用する必要があります。たとえば、username AAAAA password BBBBBBBB~pin 676771 のようになります。この属性のカラム ヘッダーは、「CME Phone Configuration Template」です。

- Cisco Unified Communications Manager 内で数値が指定されているプロビジョニング属性の値の設定を解除するには、値として 0 を入力する必要があります。値を空にするだけでは、Cisco Unified Communications Manager でプロビジョニング属性は設定解除されません。
- ボイスメール アカウントをオーダーするときに、[Chosen Line] オプションを使用し、E.164 形式のディレクトリ番号を選択した場合、Provisioning は、ディレクトリ番号から + 記号を削除して、内線番号を設定します。ただし、[Alternate Extension] フィールドは、自動的に入力されません。バッチ ファイルの [Alternate Extension] フィールドに、(+ 記号付きで) ディレクトリ番号を入力する必要があります。

## バッチ処理ファイルでのキーワードの使用

特定の機能を実行するには、バッチ処理ファイルで次のキーワードを使用します。

- CUPM\_BLANK : Add オーダー タイプの場合は、その属性に対して値はプロビジョニングされません。Change オーダー タイプの場合は、現在の属性値がクリアされるか (該当する場合)、プロセッサによって要求されるデフォルト値に設定されます。



(注) 設定専用属性に対して Change オーダー タイプを使用するときに、属性が列挙型であり、有効値のステック リストをサポートする場合は (たとえば [Calling Search Space Activation Policy])、CUPM\_BLANK は効果を持たなくなり、古い値が維持されます。

- CUPM\_SKIP : 処理ファイルの処理時にこのプロビジョニング属性をスキップします。この属性は、オーダー中に設定されません。前の設定値が保持されます。



(注) CUPM\_SKIP を Add オーダー タイプとともに使用するときは、すべての属性がスキップ可能とは限りません。次に示す属性はスキップされません。

- 必須属性 (たとえば [Device Pool] や [Location]) はスキップされません。このような属性には、サービス エリア レベルのプロビジョニング属性設定が使用されます。
- [Device Description] と [Display (Internal Caller ID)]。これらの設定にはルールがあるため、そのルールに基づく値が使用されます。

## バッチ処理ファイル内でのプロビジョニング属性の優先順位

バッチ処理ファイル内の属性の値は、次の優先順位に基づいて解析および適用されます。

1. バッチ処理ファイルに指定されている値。
2. それまでプロビジョニング属性に設定されていた値。
3. 上記がどちらも適用されていない場合は、デフォルト設定が適用されます。
4. キーワード CUPM\_BLANK が入力されている場合は、値が空の文字列に設定されます。
5. キーワード CUPM\_SKIP が入力されている場合、その属性はオーダー実行中に設定されません。

## サービス エリアのプロビジョニング属性の設定

updatePA という名前の新しいバッチ テンプレートは、異なるレベル（サービス エリア、ドメイン、および加入者ロール）におけるプロビジョニング属性の更新をサポートします。バッチ テンプレートには、異なるレベルでプロビジョニング属性を設定するように定義されている、新しいカラム [Target Level] が含まれています。[OrderType] フィールドで updatePA を指定する必要があります。

Provisioning では、updatePA はサービス エリア レベルでのみサポートされています。次の表に、updatePA バッチ ファイルのフィールドの説明を示します。

表 6-9 updatePA バッチ ファイルのフィールド

| 必須フィールド名        | 説明                                                                                                                               |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OrderType       | タイプは、updatePA である必要があります。                                                                                                        |
| UserID          | バッチ ファイルをアップロードしたユーザの ID。                                                                                                        |
| ProductName     | 製品の名前。                                                                                                                           |
| ServiceArea     | サービス エリアの名前。                                                                                                                     |
| Domain          | ドメインの名前。                                                                                                                         |
| Target Level    | ターゲット レベル名は、次のいずれかである必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Domain</li> <li>Service Area</li> <li>Subscriber</li> </ul> |
| Subscriber Type | ターゲット レベルが加入者である場合のみ有効です 1 つの加入者ロールのみを含んでいる必要があります。                                                                              |

Cisco Unity Connection 7.1.x または 8.x から 9.x バージョンにアップグレードする場合は、[Voicemail Alternate Extension] フィールド値を [Extension] フィールドに移動するために、バッチ プロジェクトを実行する必要があります（詳細については、「[E.164 のサポート](#)」(P.4-21) を参照してください)。このバッチ プロジェクトは、アップグレードプロセス後に実行する必要があります。

表 6-10 に、バッチ ファイルに含める必要があるカラムを示します。

表 6-10 Unity Connection 7.1.x または 8.x から 9.x にアップグレードする場合に、[Alternate Extension] フィールド値を [Extension] フィールドに移動するためのバッチ ファイルのカラム

| カラム         | 説明                      |
|-------------|-------------------------|
| OrderType   | タイプは、change にする必要があります。 |
| UserID      | ボイスメール ユーザの ID。         |
| First Name  | (任意) ユーザの名。             |
| Last Name   | ユーザの姓。                  |
| Domain      | 新規ユーザを配置するドメイン。         |
| ProductName | 製品の名前。                  |
| ServiceArea | サービス エリアの名前。            |



表 6-10 Unity Connection 7.1.x または 8.x から 9.x にアップグレードする場合に、[Alternate Extension] フィールド値を [Extension] フィールドに移動するためのバッチ ファイルのカラム (続き)

| カラム               | 説明                                                                                                                         |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Voicemail Alias   | ボイスメール エイリアス名。                                                                                                             |
| MoveAEToExtension | [Voicemail Alternate Extension] フィールド値を [Extension] フィールドに移動するには、このフィールドを [True] に設定します。この値を [False] に設定した場合、内線番号は変更されません。 |

## インフラストラクチャ製品のプロビジョニング

バッチ プロビジョニング サポートは、Unified Communications Manager、Unity Connection、および Unity のすべてのインフラストラクチャ製品に提供されています。管理ロールを持つユーザは、バッチ プロビジョニングを使用してインフラストラクチャ製品をプロビジョニングできます。次を実行できます。

- 「バッチ プロジェクトの作成」(P.6-13)
- 「バッチ プロジェクトの編集」(P.6-14)
- 「バッチ プロジェクトの削除」(P.6-14)
- 「バッチ プロジェクトの使用」(P.6-15)



(注)

すべてのインフラストラクチャ製品のサンプル バッチ ファイルは、`opt\cupm\sep\ipt\config\sample\batchProvisioning\infrastructureProducts` フォルダにあります。

## バッチ プロジェクトの作成

バッチ プロビジョニング サポートは、Unified Communications Manager、Unity Connection、Unity、Presence Processor、Unity Express、Call Manager Express、および Generic IOS Router のすべてのデバイスに提供されています。管理ロールを持つユーザは、バッチ プロビジョニングを使用してデバイスをプロビジョニングできます。



(注)

すべてのデバイスのサンプル バッチ ファイルは、`opt\cupm\sep\ipt\config\sample\batchProvisioning` フォルダにあります。

バッチ処理ファイルを作成したら、そのファイルが属するバッチ プロジェクトを作成する必要があります。バッチ処理ファイルをアップロードすると、その内容がバッチ処理に変換され、バッチ処理ファイル内のすべてのバッチ処理に共通するカラムが表示されます。



(注)

バッチ処理ファイルは、バッチ処理間の依存関係に従って正しい順序でアップロードする必要があります。これらの依存関係の詳細については、「バッチ処理ファイルの作成に関するガイドライン」(P.6-9)を参照してください。

バッチ プロジェクトを作成するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Batch Provisioning] を選択します。
- ステップ 2** [Configure a Batch Project] ページで、[New] アイコン (📄) をクリックします。
- ステップ 3** [Create a New Batch Project] ページで、名前を入力して、バッチ プロジェクトの注釈を追加します。
- ステップ 4** [Create] をクリックします。バッチ プロジェクトの作成後、バッチ プロジェクトに 1 つまたは複数のバッチ処理ファイルをアップロードできます。
- ステップ 5** [Configure a Batch Project] 画面で、[Upload a Batch Action File] をクリックします。
- ステップ 6** [Upload a Batch Action file] ページで、次のいずれかを実行します
- [File to Upload] フィールドに、アップロードするファイルの完全なディレクトリパスとファイル名を入力します。
  - [Browse] をクリックし、アップロードするファイルを探してクリックします。
- ステップ 7** [Add] をクリックします。
- ステップ 8** 次のいずれか、または複数の操作を行います。
- 別のバッチ処理ファイルをアップロードします (この手順を繰り返します)。
  - バッチ プロジェクトをすぐに実行します ([「バッチ プロジェクトの実行」\(P.6-15\)](#) を参照)。
  - バッチ プロジェクトを後で実行するためにスケジュール設定します ([「バッチ プロジェクトのスケジュールの設定または再設定」\(P.6-15\)](#) を参照)。
- 

## バッチ プロジェクトの編集

プロビジョニングでは現在、バッチ プロジェクトまたはバッチ処理ファイルの編集はできません。その代わりに、バッチ処理ファイルを手動で更新してからそのファイルを新しいバッチ プロジェクトにアップロードし、不要になったバッチ プロジェクトを削除できます。

## バッチ プロジェクトの削除

不要になったバッチ プロジェクトは削除できます。  
バッチ プロジェクトを削除するには、次の手順に従います。



- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Batch Provisioning] を選択します。
- ステップ 2** [Configure a Batch Project] ページで、[Chooser] アイコン (🔍) をクリックします。
- ステップ 3** 必要なバッチ プロジェクトを選択します。
- ステップ 4** [Configure a Batch Project] ページで、バッチ プロジェクト名の横の [Delete] アイコン (✖) をクリックします。
- ステップ 5** 確認メッセージ ボックスで、[OK] をクリックしてバッチ プロジェクトを削除します。
-

## バッチ プロジェクトの使用

バッチ プロジェクトはすぐに実行することも、特定の時間に実行するためにスケジュール設定することもできます。現在実行中のバッチ プロジェクトを一時停止してから再開またはキャンセルすることも可能です。プロジェクトをスケジュール設定した後、一時停止または完全にキャンセルできます。また、たとえば予定されているメンテナンス停止期間の前にプロジェクトを確実に一時停止する場合など、プロジェクトを後で一時停止するようスケジュール設定することも可能です。



### バッチ プロジェクトの実行

バッチ プロジェクトを実行するには、次の手順に従います。

- ステップ 1 [Deploy] > [Batch Provisioning] を選択します。
- ステップ 2 [Configure a Batch Project] ページで、[Chooser] アイコン () をクリックします。
- ステップ 3 必要なバッチ プロジェクトを選択します。
- ステップ 4 [Project Schedule] ペインで、[Project Start Date/Time] の横の [Now] をクリックします。
- ステップ 5 [OK] をクリックします。バッチ プロジェクトが開始され、ステータスが [In Progress] に変わります (画面をリフレッシュするには、[Refresh] アイコン () をクリックします)。バッチ プロジェクトが完了したら、ステータスが Complete に変わります。

### バッチ プロジェクトのスケジュールの設定または再設定

バッチ プロジェクトをスケジュールまたは再スケジュールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 必要なバッチ プロジェクトを選択します ([「バッチ プロジェクトの実行」\(P.6-15\)](#) を参照)。
- ステップ 2 [Project Schedule] ペインで [Project Start Date/Time] の横の [Chooser] アイコン () をクリックします。
- ステップ 3 確認メッセージ ボックスで [OK] をクリックします。
- ステップ 4 表示されるダイアログボックスに、日付と時刻、および必要に応じて協定世界時 (UTC) オフセットまたは場所を指定し、[Select] をクリックします。  
時計アイコン () が [Status] セクションに表示され、バッチ プロジェクトがスケジュール設定されたことを示します。



(注) インフラストラクチャ設定用に作成されたバッチ プロジェクトは、エラーがあると再起動できません。

### バッチ プロジェクトのキャンセル

実行中のバッチ プロジェクトをキャンセル (中止) できます。プロビジョニング で進行中の処理はすべて完了しますが、残りの処理は実行されません。

バッチ プロジェクトをキャンセルするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 必要なバッチ プロジェクトを選択します ([「バッチ プロジェクトの実行」\(P.6-15\)](#) を参照)。


## ■ バッチ プロジェクトの作成

- ステップ 2** [Project Schedule] ペインで、[Abort] をクリックします。
- ステップ 3** バッチ プロジェクトをキャンセルするには、[OK] をクリックします。

## ■ バッチ プロジェクトの一時停止

バッチ プロジェクトを一時停止すると、プロビジョニング で進行中の処理はすべて完了しますが、それ以上の処理は行われません。


バッチ プロジェクトを一時停止するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 必要なバッチ プロジェクトを選択します（「[バッチ プロジェクトの実行](#)」(P.6-15) を参照）。
- ステップ 2** [Project Schedule] ペインで [Project Pause Date/Time] の横の [Pause] をクリックします。
- ステップ 3** 確認メッセージ ボックスで [OK] をクリックします。バッチ プロジェクトが一時停止したことを示すメッセージが表示されます。
- ステップ 4** [Refresh] アイコン () をクリックします。プロジェクトのステータスが [Paused] に変わります。
- ステップ 5** 次の選択肢があります。
- バッチ プロジェクトを再開するには、[Restart] をクリックします。バッチ プロジェクトが再開されます。
  - バッチ プロジェクトをキャンセルするには、[Abort] をクリックします。バッチ プロジェクトがキャンセルされます。

## ■ バッチ プロジェクトの一時停止のスケジュール設定

バッチ プロジェクトの一時停止をスケジュール設定できます。これはたとえば、バッチ プロジェクトを後で開始するためにスケジュール設定した後、そのプロジェクトを予定されているメンテナンス停止期間の前に確実に停止させる場合などに役立ちます。


バッチ プロジェクトを一時停止するようにスケジュールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 必要なバッチ プロジェクトを選択します（「[バッチ プロジェクトの実行](#)」(P.6-15) を参照）。
- ステップ 2** [Configure a Batch Project] ページの [Pause Execution] セクションで [Project Pause Date/Time] の横の [Chooser] アイコン () をクリックします。
- ステップ 3** [OK] をクリックして確定します。[Select Date and Time] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** 日付と時刻、および必要に応じて UTC オフセットまたは場所を指定し、[Select] をクリックします。日付と時刻が [Pause Execution] の横に表示され、バッチ プロジェクトの一時停止がスケジュール設定されたことを示します。

## ■ スケジュール設定されたバッチ プロジェクトのキャンセル


スケジュール設定したバッチ プロジェクトは、まだ処理が開始されていない場合、キャンセルできます。

スケジュールされたバッチ プロジェクトをキャンセルするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** 必要なバッチ プロジェクトを選択します（「[バッチ プロジェクトの実行](#)」(P.6-15) を参照）。
- ステップ 2** [Configure a Batch Project] ページで、[Project Schedule] ペインの下にある [Project Start Date/Time] の横の [Clear] アイコン (  ) をクリックします。
- ステップ 3** [OK] をクリックして確定します。
- 

### バッチ プロジェクトに対してスケジュール設定された一時停止のキャンセル

バッチ プロジェクトのスケジュール設定された一時停止をキャンセルするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** 必要なバッチ プロジェクトを選択します（「[バッチ プロジェクトの実行](#)」(P.6-15) を参照）。
- ステップ 2** [Project Schedule] セクションで、[Clear] アイコン (  ) をクリックします。
- ステップ 3** [OK] をクリックして確定します。バッチ プロジェクトに対してスケジュール設定された一時停止がクリアされます。
- 

### バッチ プロジェクトの詳細の表示

バッチ プロジェクト処理の詳細を表示して、バッチ プロジェクトの詳細を確認できます。



(注)

バッチ プロビジョニングでは、加入者ロールを持つユーザは、電話のオーダー中に新しい電話を追加できます。疑似ユーザであっても電話を追加できます。


バッチ プロジェクトの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** 必要なバッチ プロジェクトを選択します（「[バッチ プロジェクトの実行](#)」(P.6-15) を参照）。
- ステップ 2** [Batch Project Actions] ペインで [View] をクリックします。
- [View Batch Action Details] ページが表示されます。このページには、バッチ プロジェクト処理の設定情報がすべて表示されます。
- 

### バッチ プロジェクトの現在のステータスの確認

実行中のバッチ プロジェクトのステータスを確認できます。プロビジョニング では、バッチ プロジェクトが進行するにつれてバッチ処理のステータスが更新されます。現在実行中の処理とそのステータスが一目でわかります。

バッチ プロジェクトの現在のステータスを表示するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Batch Provisioning] を選択します。
- ステップ 2** [Configure a Batch Project] ページで、[Chooser] アイコン (  ) をクリックします。
- [Choose a Batch Project] ダイアログボックスが表示されます。バッチ プロジェクト内の単一の実行中オーダーの詳細を表示する場合、管理者は、[My Activities] ([Deploy] > [Order Management] > [My Activities]) を使用して、ワークフローで実行中に各オーダーを表示することもできます。

**ステップ 3** 必要なバッチ プロジェクトを選択します。

[Configure a Batch Project] ページが表示されます。[Batch Project Actions] ペインに、各バッチ処理プロジェクトのステータスが表示されます。バッチ プロジェクトが完了した後、ユーザの加入者レコードをチェックして、オーダーが処理されたことを確認できます。

---



## CHAPTER 7

# インベントリの管理

この章では、電話インベントリとディレクトリ インベントリを管理する方法について説明します。電話インベントリを使用して電話機を追加、更新、または削除できます。ディレクトリ番号の追加と更新、特定のユーザ向けのディレクトリ番号の予約、および [Reserved] 状態の指定期間が経過したディレクトリ番号のクリアが可能です。

## 電話インベントリの管理

Ordering（オーダー）権限ロールを割り当てられているユーザは、次のタスクを実行してそれぞれの電話インベントリを管理できます。

- 電話の追加：すべてのユーザが利用できる電話を追加できるほか、特定の加入者だけが利用できる電話を指定することもできます。
- 電話情報の更新：電話の情報を変更できます。
- 電話の削除：インベントリのリストから電話を削除できます。
- 無効になった予約のクリア：必要に応じて、予約期間が過ぎたすべての電話をインベントリからクリアできます。
- レポートの表示：ドメインに基づいて、電話インベントリのレポートを表示できます。



(注)

プロビジョニング 管理者は、電話インベントリに表示される電話を指定できます。

このセクションで説明している手順では、インベントリの電話アセットを追跡しているだけです。これらのアクティビティの実行中は、プロビジョニングもアクティベーションも実行できません。電話をアクティブにするには、「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照してください。



(注)

サードパーティ製デバイスは Prime Collaboration Provisioning に SIP デバイスとして追加する必要があります。詳細については、『[Supported Devices for Prime Collaboration Provisioning](#)』を参照してください。

電話情報の追加や変更は、[Phone Inventory Management] ページで実行します。表 7-1 は、[Phone Inventory Management] ページに表示される各フィールドの説明です。

表 7-1 [Phone Inventory Management] ページにあるフィールドの説明

| フィールド                   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Phone                   | 更新可能な電話の MAC アドレスのリストを表示する検索機能。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Domain                  | 管理されているドメインのリスト。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Model                   | 電話のタイプのリスト。                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| MAC Address             | 個々の電話を特定する 16 進値。MAC アドレスの長さは 12 文字とする必要があります。有効な値は英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）です。<br>MAC アドレスは、電話機のステッカー、および受話器の電話設定ディスプレイで参照できます。                                                                                                                                                                                          |
| Status                  | 電話のステータス。可能な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• In-use：この電話はいずれかの加入者が使用中です。</li> <li>• Reserved：この電話は特定の加入者向けに予約されています。</li> <li>• Available：この電話は使用可能で、手動または自動でいずれかの加入者に割り当てることができます。</li> <li>• Returned：この電話はインベントリに戻されますが、インベントリへの到着は未確認です。</li> <li>• Provisioning：この電話は現在プロビジョニング中です。</li> </ul> |
| Reserved For（任意）        | 電話の利用者として予約されている特定のユーザ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Reserved On（任意）         | 電話の利用期間として予約されている日付。電話情報を追加または更新すると自動的に表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Reservation Timeout（任意） | 電話が予約中として保持される日数。この予約のタイムアウトは、それぞれのプロビジョニング 管理者が設定するので、このフィールドは編集できません。<br>ドメインの電話予約のタイムアウトは、PhoneReservationTimeout ルールで決まります（「ビジネス ルール」(P.11-2) を参照）。                                                                                                                                                                |



(注)

ユーザは [Self-Care] オプションを使用して、回線の設定、サービスの管理、および電話機のオプションをすばやく簡単に設定できます。詳細については、「個人設定のカスタマイズ」(P.9-3) を参照してください。

## インベントリへの電話の追加

- ステップ 1 [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones] を選択します。
- ステップ 2 [Phone Inventory Management] ページで、必要に応じてフィールドに入力します（表 7-1 を参照）。
- ステップ 3 [Add] をクリックします。



## 電話情報の更新

電話情報を変更できます。現在使用されている電話（ステータスが [In-use] の電話）については、変更できません。

**ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones] を選択します。

**ステップ 2** [Phone] フィールドで [Chooser] アイコン (🔍) をクリックします。



**(注)** 全桁を指定した MAC アドレスまたは一部の桁を指定した MAC アドレスに基づいて電話を検索できます。指定する MAC アドレスの先頭または末尾（あるいはその両方）に、ワイルドカード文字としてアスタリスク (\*) を使用できます。ただし、MAC アドレスの途中には使用できません。検索基準に「SEP」は指定しないでください。

**ステップ 3** [Choose a Phone] ダイアログボックスで、必要な電話を選択します。

**ステップ 4** 必要に応じて電話情報を変更します（表 7-1 を参照）。

**ステップ 5** [Update] をクリックします。

## 期限切れの電話予約のクリア

有効期限を過ぎた電話予約をクリアできます。これによって、その電話のステータスは [Reserved] から [Available] に変化します。


**ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones] を選択します。

**ステップ 2** [for domain] フィールドで、電話予約クリアの対象とするドメインを選択します。

**ステップ 3** [Clear Expired Reservations] をクリックします。

## インベントリからの電話の削除

それぞれのインベントリから電話を削除できます。現在使用されている電話（ステータスが [In-use] の電話）は削除できません。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones] を選択します。
- ステップ 2** [Phone] フィールドで [Chooser] アイコン () をクリックします。  
[Choose a Phone] ダイアログボックスで、必要な電話を選択します。
- ステップ 3** [Remove] をクリックします。指定した電話が削除されたことを通知する確認メッセージが表示されます。
- 

## 電話インベントリ レポートの表示

各自のドメインにある電話インベントリに関する次の詳細を収めたレポートを表示できます。

- Phone
- Type
- MAC Address
- Status
- Reserved For
- Reserved On

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Phones] を選択します。
- ステップ 2** [for domain] フィールドで、レポート表示の対象とするドメインを選択します。
- ステップ 3** [Search Phone] をクリックします。



- (注)** [Phone Inventory Report] の電話の隣にある [Edit] をクリックすると、[Phone Inventory Management] ページが表示されます。このフィールドには電話の情報が入っています。電話インベントリを検索するには、Policy グループまたは Administrator グループのメンバーとしてログインしている必要があります。
- 

## ディレクトリ インベントリの管理

ほとんどの場合、Service Area Directory Number Block (DNB; サービスエリア ディレクトリ番号ブロック) を使用して、ディレクトリ暗号が割り当てられます。ただし、プロビジョニングのインベントリでは、各サービス エリアに関連付けられたディレクトリ番号を明示的に追跡（保存および管理）できます。

ディレクトリ番号の追加と更新、特定のユーザ向けのディレクトリ番号の予約、および [Reserved] 状態の指定期間が経過したディレクトリ番号のクリアが可能です。



(注)

ディレクトリ番号を [Reserved] 状態に保持できる期間を変更するには、DNReservationTimeout ルールを修正します。詳細については、「[ビジネス ルール](#)」(P.11-2) を参照してください。

ディレクトリ番号に可能な状態は次のとおりです。

- In-use : いずれかの加入者が使用中です。
- Reserved : 特定の加入者向けに特定の期間、予約されています。
- Available : 使用可能で、いずれかの加入者に割り当てることができます。

回線を追加すると、プロビジョニング では次の手順でディレクトリ番号が割り当てられます。

1. 該当の加入者向けに予約済みのディレクトリがあるか確認します。
2. [Available] 状態のディレクトリ番号があるか確認します。
3. 使用可能な次のディレクトリ番号のサービス エリア DNB を確認します。

ドメインのサービス エリア コンポーネントでは、個々のディレクトリ番号ではなく、DNB を作成できます。加入者にディレクトリ番号を割り当てると、プロビジョニング で個々のディレクトリ番号の追跡が行われます。

## ディレクトリ番号の追加

プロビジョニング でディレクトリ番号を追加できます。ディレクトリ番号を追加すると、その番号のステータスを指定して、特定の加入者向けに予約できます。

別々のコール プロセッサであれば、それぞれに同じディレクトリ番号が存在してもかまいません。ディレクトリ番号を追加する場合は、コール プロセッサとルート パーティションの両方を指定する必要があります。

[表 7-2](#) は、ディレクトリ番号の追加で使用するフィールドについて説明しています。

**表 7-2 [Directory Number Inventory Management] ページのフィールド**

| フィールド                          | 説明                                                                                                                                                     |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Directory Number               | ディレクトリ番号。                                                                                                                                              |
| Call Processor/Route Partition | ディレクトリ番号の追加先とするコール プロセッサおよびルート パーティション。<br><br>(注) この時点では、ディレクトリ番号は追加されません。ディレクトリ番号を要求するオーダーを受け取ると、コール プロセッサに追加するために、ここで指定したディレクトリ番号が予約されます。           |
| Status                         | ディレクトリ番号のステータス。値は次のとおりです。<br><br>In-use : いずれかの加入者が現在使用中です。<br><br>Reserved : 特定の加入者向けに特定の期間、予約されています。<br><br>Available : 使用可能で、いずれかの加入者に割り当てることができます。 |

表 7-2 [Directory Number Inventory Management] ページのフィールド (続き)

| フィールド             | 説明                                          |
|-------------------|---------------------------------------------|
| (任意) Reserved For | ディレクトリ 番号の予約先とするユーザの指定先。                    |
| (任意) Reserved On  | ディレクトリ 番号を予約した日付。電話情報を追加または更新すると自動的に表示されます。 |

## インベントリへのディレクトリ番号の追加

- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Directory Numbers] を選択します。
- ステップ 2** [Directory Number Inventory Management] ページで、[Add New Directory Number] をクリックします。
- 右側のペインにある各フィールドが編集可能になります。
- ステップ 3** 必要に応じて各フィールドに入力します (表 7-2 を参照)。
- ステップ 4** [Save] をクリックします。

## ディレクトリ番号の情報の更新

ディレクトリ番号を検索し、選択して更新できます。異なるコール プロセッサであれば、それぞれに同じディレクトリ番号を置くことができるので、必要なディレクトリ番号のコール プロセッサとルート パーティションを指定します。



(注) 状態が [In-use] のディレクトリ番号のステータスは変更できません。

- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Directory Numbers] を選択します。
- ステップ 2** [Directory Number] フィールドで、次のいずれかを実行します。
- 目的のディレクトリ番号がわかっている場合は、その番号を入力して [Search] をクリックします。
  - アスタリスク (\*) をワイルドカードとして使用し、ディレクトリ番号を検索します。[Choose a Directory Number] ダイアログボックスで、目的のディレクトリ番号をクリックします。
- ステップ 3** [Update Current Directory Number] をクリックします。
- 右側のペインにある各フィールドが編集可能になります。
- ステップ 4** 必要に応じて各フィールドに入力します (表 7-2 を参照)。
- ステップ 5** [Save] をクリックします。

## 期限が切れた予約済みディレクトリ番号のクリア

期限が切れたディレクトリ番号の予約をクリアして、そのディレクトリ番号を利用可能プールに戻します。

ディレクトリ番号を予約状態に保持する日数を設定するには、「ビジネス ルール」(P.11-2) を参照してください。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Directory Numbers] を選択します。
- ステップ 2** [Directory Number Inventory Management] ページで、[Clear Expired Reservations] をクリックします。予約状態から利用可能プールに戻されたディレクトリ番号の数を確認するメッセージが表示されます。
- 

## ディレクトリ番号の削除

インベントリからディレクトリ番号を削除できます。



(注) 使用されている番号は削除できません。

---

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Manage Directory Numbers] を選択します。
- ステップ 2** [Directory Number] フィールドで、次のいずれかを実行します。
- 目的のディレクトリ番号がわかっている場合は、その番号を入力して [Search] をクリックします。
  - アスタリスク (\*) をワイルドカードとして使用し、ディレクトリ番号を検索します。[Choose a Directory Number] ダイアログボックスで、目的のディレクトリ番号をクリックします。
- ステップ 3** [Remove] をクリックします。
- 

## インベントリの検索

Administration (管理) 権限ロールを割り当てられている場合、プロビジョニングのネットワークとサービス インベントリを参照できます。ネットワークとサービスに関連するさまざまなタイプのデータをツリーベースのセレクトに表示できます。

次のオブジェクトがセレクトに表示されます。

- **Global Resources** : プロビジョニング に保存されているインフラストラクチャ データを示します。たとえば、ルート パーティション、コーリング サーチ スペース、コール ピックアップ グループなどが含まれます。
- **Product Catalog** : 表示される情報を使用しないでください。製品のリストを表示する場合は、プロビジョニング NBI SDK に含まれる製品カタログの外部バージョンを参照してください。データのスキーマは SDK のサブディレクトリ `productcatalog/schema` にあります。製品の定義は SDK のサブディレクトリ `productcatalog/metadata` にあります。すべての必須属性とオプションの属性を定義する XML ファイルが製品ごとに 1 つずつあります。
- **Subscribers** : プロビジョニング のすべての加入者とその場所を示します。

- Domain : 固有のディレクトリ番号、電話、ルール、およびサービス エリア。

Instance Browser およびインベントリ マネージャの検索機能を使用して、プロビジョニング インベントリを参照、検索できます。

## インベントリ検索の使用

基本検索または詳細検索を使用して、インベントリ オブジェクトを検索できます。基本検索を使用すると、そのプロパティを基にしてオブジェクトのインスタンスを検索できます。詳細検索を使用すると、より詳細な検索条件を指定できます。

カスタマー、プロパティ、アソシエーション、ネームスペースなどの複数の制約を組み込んで、検索結果を制限できます。また、検索で戻すプロパティを指定することもできます。詳細検索をレポートとして保存し、カテゴリに分類できます。レポートを作成できるのは、管理者だけです。

## 基本検索の実行

Instance Browser を使用すると、特定のオブジェクトのインスタンスを対象とした基本検索を実行できます。基本検索では、検索パラメータはクラスのプロパティに基づいています。

インスタンス検索の最初の手順は、基となるクラスを指定することです。次の方法で、検索条件と結果の表示方法を指定できます。

- キーワードまたは部分キーワードを指定する。ワイルドカードとしてアスタリスク (\*) を使用する。
- クラス名とラベル プロパティのどちらに従って結果を表示するかを指定する。
- 検索対象を特定のドメインに制限する。
- 抽象、アソシエーション、インターフェイス クラスを含める、または除外する。

インスタンスの基になっているクラスを特定すると、そのクラスのプロパティに基づく検索条件を指定して、検索を絞り込むことができます。検索できるプロパティの数は、クラスによって異なります。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Browser] を選択します。
  - ステップ 2** Instance Browser で、[Search] アイコン (🔍) をクリックします。
  - ステップ 3** [Instance Search] ダイアログボックスで、[Choose a class button] をクリックします。
  - ステップ 4** [Class Search] 画面で、検索パラメータを入力します。
  - ステップ 5** [Search] をクリックします。検索結果がペインの [Searchable Properties] に表示されます。
-

## 詳細検索の実行

詳細検索を実行すると、特定のオブジェクト クラス内のインベントリ インスタンスを検索できます。詳細検索は、将来の使用に備えて保存できます。

- 
- |               |                                                                                                                                                                                                           |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ステップ 1</b> | [Deploy] > [Provisioning Inventory] を選択します。                                                                                                                                                               |
| <b>ステップ 2</b> | 次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [Inventory Browser] をクリックし、基本検索を使用してクラスを選択してから、[Advanced] をクリックします。</li><li>• [Inventory Search] をクリックし、[New] アイコン (📄) をクリックして、クラスを選択します。</li></ul> |
| <b>ステップ 3</b> | 該当する制約を追加します。プロパティ、アソシエーション、ネームスペース、またはカスタマーを使用して、検索を制約できます。                                                                                                                                              |
| <b>ステップ 4</b> | 使用可能なプロパティのリストから、検索で戻すプロパティのリストを作成します。<br>検索結果には、選択したプロパティを含むインスタンスだけが含まれます。                                                                                                                              |
| <b>ステップ 5</b> | 必要に応じてプロパティへのパスを作成し、検索で戻す関連するプロパティを指定します。<br>検索結果には、選択したプロパティを含むインスタンスだけが含まれます。                                                                                                                           |
| <b>ステップ 6</b> | 必要に応じてオブジェクトへのパスを作成し、検索で戻す関連するオブジェクトを指定します。<br>検索結果には、選択したオブジェクトを含むインスタンスだけが含まれます。                                                                                                                        |
| <b>ステップ 7</b> | 検索結果にネームスペースおよびオブジェクト クラスを含めるか除外するかを指定します。                                                                                                                                                                |
| <b>ステップ 8</b> | 検索を実行します。検索結果が表示されます。                                                                                                                                                                                     |
- 

次の項では、制約を選択する方法と、オブジェクトおよびプロパティを戻す方法を詳細に説明しています。

- [「制約」 \(P.7-9\)](#)
- [「プロパティの制約の定義」 \(P.7-10\)](#)
- [「アソシエーションの制約の定義」 \(P.7-11\)](#)
- [「ネームスペースの制約の定義」 \(P.7-12\)](#)
- [「Associated Properties to Return」 \(P.7-13\)](#)
- [「Associated Objects to Return」 \(P.7-14\)](#)

### 制約

[Add Constraint] セクションを使用して、検索の制約を定義します。

詳細検索では、次の制約を使用できます。

- **Properties** : 指定したプロパティの条件に一致するオブジェクトに結果を制限します。プロパティの制約は、大文字と小文字を区別するようにも、区別しないようにも設定できます。値のすべてが一致した場合だけ結果に戻すようにも、一部が一致した場合も戻すようにも指定できます。
- **Associations** : 特定のアソシエーション パスを使用して、他のオブジェクトと関連する（または関連しない）オブジェクトに結果を制限します。アソシエーション パスを使用すると、ソース オブジェクトと照会されるオブジェクトとの関係を、複数のアソシエーション クラスに広げることができます。

- **Namespaces** : 特定のネームスペースに含まれる（または含まれない）オブジェクトに結果を制限します。
- **Customers** : 特定のカスタマーに関連するオブジェクトに結果を制限します。

### プロパティの制約の定義

特定のプロパティの制約に合うオブジェクトだけを選択する検索を定義できます。たとえば、特定の型番を持つインスタンスだけを検索結果に含めるような制約を定義できます。この場合、プロパティの制約は、特定のオブジェクトのプロパティを検索する場合のフィルタとして機能します。

プロパティの制約を定義する場合、次の条件を使用できます。

- **Equals** : 選択したプロパティの値と等しい値を指定します。
- **Contains** : 選択したプロパティの値に含まれる値を指定します。
- **Not equal to** : 選択したプロパティの値と等しくない値を指定します。
- **Does not contain** : 選択したプロパティの値に含まれない値を指定します。
- **In range** : 指定した範囲内の **Date** プロパティを持つ値を指定します。この演算子を使用できるのは、オブジェクトに **Date** プロパティが指定されていて、クラス定義プロパティに **reportable=true** が設定されている場合だけです。

演算子を選択したら、値を指定することも、フィールドをブランクにしておくこともできます。値を指定する場合はデフォルト値になりますが、検索を実行するユーザが必要に応じて値を変更できます。フィールドをブランクにしておくと、後で検索を実行するユーザが、そのプロパティの制約の値を指定できます。

プロパティの制約を定義するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Advanced Instance Search] 画面の [Add Constraint] リストから、プロパティを選択します。
  - ステップ 2** [Add] をクリックします。使用可能な条件がリストに表示されます。
  - ステップ 3** 使用可能な条件のリストから、適切な演算子を選択して [Add] をクリックします。  
[Add Constraint] セクションに [Property] リストが表示されます。
  - ステップ 4** 適切なプロパティを選択します。  
[Add Constraint] セクションに [Value] フィールドが表示されます。
  - ステップ 5** [Value] フィールドで、次のいずれかを実行します。
    - 制約のデフォルト値を指定する。
    - フィールドをブランクのままにして、ユーザが独自の制約を指定できるようにする。
  - ステップ 6** 検索で大文字と小文字を区別しないようにするには、[Ignore Case] をイネーブルにします。
  - ステップ 7** [Add] をクリックします。  
[Selected Constraints] セクションに制約が表示されます。
  - ステップ 8** 他の制約を追加するには、ステップ 1 ～ 7 を繰り返します。
  - ステップ 9** 複数の制約を定義した場合は、必要に応じて *and* または *or* 演算子を [Operand] カラムに指定します。
-



## アソシエーションの制約の定義

他のオブジェクトと関連する、または関連しないオブジェクトを選択する検索を定義できます。たとえば、特定のタイプの音声端末に関連する回線の検索を定義して、他のタイプの音声端末を除外することができます。また、範囲内でソートしたり、2 ～ 6 本の回線を所有するすべての電話機を検索したりすることもできます。

アソシエーションの制約を定義する場合、次の条件を使用できます。

- **Associated with** : 検索クラスを他のオブジェクト インスタンスに関連付けるオブジェクト インスタンスとアソシエーション パスを指定する際に使用します。
- **Not associated with** : 検索クラスに関連付けないオブジェクト インスタンスを指定する際に使用します。
- **Associated with range** : 検索クラスに関連付けるオブジェクト インスタンスの範囲を指定する際に使用します。この条件を選択する場合は、適切なアソシエーション、条件、および数量の情報を入力する必要があります。

演算子を選択したら、制約のオブジェクト インスタンスを選択する必要があります。関連付けるオブジェクト インスタンスを選択する手順は、各演算子によって異なります。

*associated with* 演算子を使用して制約を定義するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Add Constraint] リストから [Associations] を選択します。
  - ステップ 2** [Add] をクリックします。  
使用可能な条件がリストに表示されます。
  - ステップ 3** 使用可能な条件のリストから [Associated with] を選択します。
  - ステップ 4** [Add] をクリックします。  
選択した制約が [Add Constraint] セクションに追加されます。
  - ステップ 5** [Add Constraint] セクションの [Instance] フィールドで、[Search] アイコン (🔍) をクリックします。  
[Instance and Association Path] ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 6** [To Class] リストで、オブジェクト インスタンスを関連付けるクラスを選択し、[Apply] をクリックします。
  - ステップ 7** [By Association] リストで適切なアソシエーションを選択し、[Apply] をクリックします。  
[Participating As] リストが表示されます。
  - ステップ 8** 選択したクラスの適切なロールを選択し、[Apply] をクリックします。
  - ステップ 9** [To Class] フィールドに他のクラスを指定するには、ステップ 6 ～ 8 を繰り返します。
  - ステップ 10** 特定のオブジェクト インスタンスへの制約を制限するには、[Search] アイコン (🔍) をクリックして、そのインスタンスを検索します。  
デフォルトでは、制約は特定のインスタンスに制限されていません。
  - ステップ 11** [Add] をクリックして選択内容を保存します。  
選択したパスが表示されます。
  - ステップ 12** 定義済みの制約を追加するには、[Add] をクリックします。  
[Selected Constraints] セクションに、[Instance and Association Path] 情報が表示されます。
  - ステップ 13** 複数の制約を定義した場合は、必要に応じて [Operand] カラムの *and* または *or* 演算子を選択します。
-

*associated with range* 演算子を使用して制約を定義するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Add Constraint] リストから [Associations] を選択します。
- ステップ 2** [Add] をクリックします。  
使用可能な条件がリストに表示されます。
- ステップ 3** 使用可能な条件のリストから、[Associated with range] 条件を選択して [Add] をクリックします。  
選択した制約が [Add Constraint] セクションに追加されます。
- ステップ 4** [Association] リストから、検索に使用するアソシエーション クラスを選択します。
- ステップ 5** [Condition] リストから、検索に適した条件を選択します。
- ステップ 6** [Quantity] フィールドに、条件が一致する必要があるインスタンスの数を入力し、[Add] をクリックします。  
[Selected Constraints] セクションに制約が表示されます。
- ステップ 7** 他の制約を追加するには、ステップ 1 ～ 6 を繰り返します。
- ステップ 8** 複数の制約を定義した場合は、必要に応じて [Operand] カラムの *and* または *or* 演算子を選択します。
- 

## ネームスペースの制約の定義

ネームスペースの制約を使用して、検索を制限したり、特定のネームスペースを除外したりします。

- 
- ステップ 1** [Add Constraint] リストからネームスペースを選択して、[Add] をクリックします。  
[Add Constraint] セクションにネームスペースが表示されます。
- ステップ 2** 次のいずれかを実行します。
- 検索にネームスペースを指定するには、[Equal] を選択します。
  - 検索からネームスペースを除外するには、[Not Equal To] を選択します。
- ステップ 3** [Value] リストに使用可能なネームスペースが表示されます。
- ステップ 4** [Value] リストからネームスペースを選択して、[Add] をクリックします。  
[Selected Constraints] セクションに制約が表示されます。
- ステップ 5** 他の制約を追加するには、ステップ 1 ～ 4 を繰り返します。
- ステップ 6** 複数の制約を定義した場合は、必要に応じて [Operand] カラムの *and* または *or* 演算子を選択します。
-

## 戻り値

デフォルトでは、各インスタンスのネームスペース、オブジェクト クラス、およびオブジェクトの値は、詳細検索の結果に表示されます。デフォルト値の他に、詳細検索で表示する値を選択できます。

### Properties to Return

[Properties to Return] セクションには、検索されるオブジェクト クラスの使用可能なプロパティと、検索で戻すプロパティが表示されます。[Properties to Return] セクションを使用すると、検索を拡張して、プロパティ値のリストを表示できます。

- 
- ステップ 1** [Properties to Return] セクションの [Available] リストからプロパティを選択し、[Add] をクリックします。
- これらのプロパティが [Selected] リストに表示されます。
- ステップ 2** 必要なプロパティをすべて追加したら、[Apply] をクリックします。
- 

### Associated Properties to Return

[Associated Properties to Return] セクションでは、検索で戻す関連するオブジェクト クラスのプロパティを特定します。[Associated Properties to Return] セクションを使用すると、検索を拡張して、関連するオブジェクトのプロパティ値のリストを含めることができます。

- 
- ステップ 1** [Associated Properties] セクションで、[Add] をクリックします。
- [Associated Property Path] 画面が表示されます。
- ステップ 2** [To Class] リストで、オブジェクト クラスを選択します。
- ステップ 3** [Apply] をクリックします。
- [By Association] リストが表示されます。
- ステップ 4** 適切なアソシエーションを選択します。[Apply] をクリックします。
- [Participating as] リストが表示されます。
- ステップ 5** 選択したクラスの適切なロールを選択します。[Apply] をクリックします。
- [Select Property of] リストが表示されます。
- ステップ 6** 次のいずれかを実行します。
- [To Class] リストからオブジェクト クラスを選択します。[Apply] をクリックします。必要なクラスを追加したら、ステップ 2 ～ 3 を繰り返します。
  - [Select Property of] リストから、ステップ 2 で選択したクラスのプロパティを選択します。[Apply] をクリックします。
- [Associated Property Path] 画面が表示され、選択したパスが表示されます。
- ステップ 7** [Add] をクリックします。新しく関連付けたプロパティが検索画面に表示されます。



#### ヒント

プロパティを削除するには、[Remove] チェックボックスをオンにしてから、[Remove] ボタンをクリックします。

---

## Associated Objects to Return

[Associated Objects to Return] セクションでは、検索で戻す関連するオブジェクト クラスを特定します。[Associated Objects to Return] セクションを使用すると、検索を拡張して、特定のクラスの関連するオブジェクトのリストを含めることができます。

- 
- ステップ 1** [Associated Objects] セクションで、[Add] をクリックします。  
[Associated Object Class Path] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [To Class] リストでオブジェクト クラスを選択し、[Apply] をクリックします。  
[By Association] リストが表示されます。
- ステップ 3** 適切なアソシエーションを選択して、[Apply] をクリックします。  
[Participating as] リストが表示されます。
- ステップ 4** 選択したクラスの適切なロールを選択し、[Apply] をクリックします。  
[To Class] リストが表示されます。
- ステップ 5** 次のいずれかを実行します。
- パスを継続する場合は、ステップ 2 ~ 4 を繰り返します。
  - 完了した場合は、[Add] をクリックします。
- 新しく関連付けたプロパティが検索画面に表示されます。
- 



### ヒント

プロパティを削除するには、[Remove] チェックボックスをオンにしてから、[Remove] ボタンをクリックします。

---

## 検索レポートの作成

将来の使用に備えて、詳細検索を保存できます（「[詳細検索の実行](#)」(P.7-9) を参照）。これらを検索レポートと呼びます。また、プロビジョニング では使用可能なサンプル検索レポートも用意されていますが、独自の検索レポートを作成することもできます。サンプル検索レポートは編集できません。

詳細検索はいつでも保存できます。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Search] を選択します。
- ステップ 2** [Search Reports] ページで、[New] アイコン (📄) をクリックします。
- ステップ 3** [Class Search] ダイアログボックスで、検索フィールドにクラスを入力するか、表示されたクラスの 1 つをクリックします。
- ステップ 4** [Instance Search] ページで、必要な検索条件を入力します。[Instance Search] ページの使用方法については、「[詳細検索の実行](#)」(P.7-9) を参照してください。
- ステップ 5** [Save] をクリックします。
-

- ステップ 6** レポートの名前を入力し、そのレポートのカテゴリを選択します。
- ステップ 7** [Save] をクリックします。[Advanced Search] ページに戻り、ここで検索を開始できます。
- 


## 検索レポートの実行

検索を検索レポートとして保存したら、実行することができます。検索レポートを実行する前に、検索結果を現在のブラウザ ウィンドウに表示するか、新しいウィンドウに表示するかを選択できます。

---

- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Search] を選択します。
- ステップ 2** [Search Reports] ページで実行するレポートをクリックします（サンプル検索レポートの 1 つか、作成した検索レポート）。
- [Inventory Search] ページが表示され、定義されている制約が示されます。
- ステップ 3** 必要に応じて制約の値を変更します。
- ステップ 4** 別のブラウザ ウィンドウに検索結果を表示するには、[Open results in a new window] を選択します。
- ステップ 5** 次のいずれかを実行します。
- 検索を実行して検索結果を表示するには、[Search] をクリックします。
  - 検索を実行して検索結果を Excel スプレッドシートに書き込むには、[Excel] をクリックします。
- 指定したとおりに検索結果が表示されます。
- 

## 検索レポートの編集

- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Search] を選択します。
- ステップ 2** [Search Reports] ページで、編集する検索レポートの横にある [Edit] アイコン () をクリックします。
- そのレポートの [Instance Search] が表示されます。
- ステップ 3** 適切な変更を行います。
- [Instance Search] ページの使用方法については、「[詳細検索の実行](#)」(P.7-9) を参照してください。
-

## 検索レポートの削除

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Provisioning Inventory] > [Inventory Search] を選択します。
- ステップ 2** [Search Reports] ページで、削除する検索レポートの横にある [Edit] アイコン (🔧) をクリックします。
- ステップ 3** [Search Options] セクションで [Delete] をクリックします。
- ステップ 4** 確認のボックスで [OK] をクリックします。
- 

## システム レポートの表示

プロビジョニング には、あらかじめ設定されている次のレポートが用意されています。

- Service Area
- Resource Configuration
- Service Configuration
- Phone Inventory
- DN Inventory
- Directory Number Block
- 監査証跡

- 
- ステップ 1** [Reports] > [Interactive Reports] > [Provisioning Reports] を選択します。(スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの UI のパスを選択するには、表 1-1 を参照してください)。
- ステップ 2** 次の使用可能なレポートのいずれかをクリックします。
- Service Area
  - Resource Configuration
  - Service Configuration
  - Phone Inventory
  - Directory Number Inventory
  - Direct Number Block
  - Audit Trail Report
- 選択したレポートが表示されます。
-

## Phone Inventory レポートの使用

Phone Inventory レポートを検索、エクスポート、および保存するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Report] > [Interactive Reports] > [Inventory Reports] を選択します。(スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの UI のパスを選択するには、表 1-1 を参照してください)。
- ステップ 2** ドメインと電話モデルを選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかを実行します。
- 検索を実行して検索結果を表示するには、[Search] をクリックします。
  - 検索を実行して検索結果を .tsv 形式で表示するには、[Export] をクリックします。検索結果は、タブ区切り値の形式でエクスポートされます。
- 指定したとおりに検索結果が表示されます。
- ステップ 4** 設定をデフォルトに変更するには、[Reset] をクリックします。
- ステップ 5** [Select date and time to schedule report] リンクをクリックします。
- ステップ 6** [calendar] ウィンドウから日付と時刻を選択します。
- ステップ 7** UTC オフセットまたは場所の詳細を選択します。
- ステップ 8** [Select] をクリックして、レポートのスケジュールの日付と時刻を設定します。
- サーバで、スケジュールされたレポートが `opt\cupm\sep\ipt\config\reports\Phone_Inventory_Search<Report Generated Time>.tsv` に保存されます。
-







## CHAPTER 8

# 加入者とユーザの管理

Provisioning の [Manage Subscribers] および [Manage Users] オプションを使用して、加入者およびユーザの追加、加入者情報の同期化、加入者サービスの移動、ユーザ情報の更新、およびドメイン固有のユーザ ロールの管理が可能です。

## 加入者の管理

加入者とは、アクティブな IP Telephony サービスを利用しているユーザを意味します。プロビジョニングでは、加入者を、音声ネットワーク内のすべてのアクティブ サービスの所有者として扱います。すべてのサービスは加入者に繋がっています。



(注)

アウトオブバンドで設定を行う（つまり、プロセッサに対して直接設定を行うけれども Provisioning との同期を行わない）場合は、オーダーが失敗することがあります。プロビジョニングをプロビジョニングを行うプロセッサと常に同期させる必要があります。

## 加入者の作成

- ステップ 1 [Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers] を選択します。
- ステップ 2 [Manage Subscriber] ページで、必要な情報を入力します。
- ステップ 3 [Create] をクリックします。加入者が作成されます。これで、加入者情報をアップデートできます。



(注)

- 加入者 ID は一意でなければなりません。大文字と小文字は区別されません。使用できる文字は、英数文字 (A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9)、アンダースコア (\_)、ハイフン (-)、ピリオド (.)、アポストロフィ (')、スペース ( ), およびアットマーク (@) です。
- Cisco Unified Communications Manager Express および Cisco Unity Express の加入者名を作成するには、[First Name] および [Last Name] フィールドに英字だけを入力します。それ以外のタイプの文字を使用した場合、加入者のオーダーは失敗します。
- コール プロセッサの加入者名を作成するには、[First Name] と [Last Name] の合計が 30 文字を超えることはできません。この上限を超えた状態でオーダーを作成した場合、コール プロセッサからエラー メッセージが送信されます。

- 疑似ロールを使用すると、関連するユーザのない電話をコール プロセッサにプロビジョニングできます。
- 加入者のロールを選択するときに、組織内での従業員の標準的な設定に合わせて、デフォルトまたは **Employee** 加入者ロールを設定しておく必要があります。デフォルトの加入者ロールとなる **Employee** をニーズに合わせて設定しておかないと、従業員加入者レコードに、必要なオプションが記録されなくなります。
- **DefaultUserType** ルール（「**DefaultUserType**」(P.11-6) を参照）は、デフォルトとして設定する加入者ロールを制御します。**Provisioning** では、**Employee** 加入者ロールがデフォルトの加入者ロールとして設定されています。
- **[Self-Care Roles]** チェックボックスは、加入者の作成時にデフォルトでイネーブルになっています。詳細については、「**セルフケア アカウントのパスワードの管理**」(P.9-2) を参照してください。



## ヒント

[Manage Subscriber] ページでは、特定の加入者の [Subscriber Details] ページにアクセスできます。[View Subscriber Services] または [Order Subscriber Services] をクリックします。

## 加入者情報のアップデート

加入者を作成したら、[Manage Subscriber] ページで次の操作が可能です。

- 加入者名の変更：加入者名を変更しても、その加入者の電話や回線の記述フィールドは変更されません（電話や回線が前の加入者名に対してオーダーされている場合）。



## (注)

加入者名を入力する際には、次の点に注意してください。

- Cisco Unified Communications Manager Express および Cisco Unity Express の場合は、[First Name] および [Last Name] のフィールドにはアルファベットだけを入力してください。それ以外のタイプの文字を使用した場合、加入者のオーダーは失敗します。
- Cisco Unified Communications Manager の場合は、[First Name] および [Last Name] のフィールドに入力できる文字の合計数は 30 文字になります。

- 加入者の電話番号を変更します。
- 加入者の電子メールを変更します。
- 加入者の部署を変更します。
- ロールを変更します。
- 加入者サービスを表示します。
- 加入者サービスをオーダーします。
- パスワードを管理します（「**加入者パスワードのリセット**」(P.8-4) を参照）。

- 加入者を同期させます。加入者のオーダーが発行された後に表示されます（「[加入者の同期](#)」(P.8-6) を参照）。

**(注)**

統合モードでの加入者情報の更新は、スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションと同じです。

加入者情報を更新するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers] を選択します。
- ステップ 2** [Manage Subscriber] ページで [Subscriber ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン () をクリックします。
- ステップ 3** 目的の加入者を選択します。
- ステップ 4** 目的の情報を変更し、[Update] をクリックします。
-

## 加入者パスワードのリセット

適切な特権を持っている場合に限り、パスワードをリセットできます（表 8-1 を参照）。

次の情報をリセットできます。

- プロビジョニング ログイン パスワード
- Cisco Unified Communications Manager パスワード（「[コール プロセッサ パスワードの概要](#)」（P.8-5）を参照）  
Cisco Unified Communications Manager が外部認可を使用するように設定されている場合、Cisco Unified Communications Manager パスワードは変更できません。プロビジョニング は、パスワードが（実際にアップデートされていなくても）アップデートされていることを示します。
- Cisco Unified Communications Manager PIN
- Cisco Unified Communications Manager Express パスワード（「[コール プロセッサ パスワードの概要](#)」（P.8-5）を参照）
- Cisco Unity Subscriber パスワード
- Cisco Unity Connection PIN
- Cisco Unity Connection Web パスワード



(注)

Cisco Unity Connection Web パスワードをリセットする場合に、新しいパスワードが強力なパスワードでないとエラー メッセージが表示されることがあります。

Unity Connection Password: Failed to reset credential : The credential does not contain three of the four required character gro

パスワードには、少なくとも次のうちのいずれか 3 種類を組み合わせ需要使用する必要があります。

- 大文字の英字
- 小文字の英字
- 数字
- 特殊文字

パスワードを プロビジョニング システム デフォルトにリセットするか、新しいパスワードを指定できます。これらのシステムのユーザ パスワードのデフォルト値については、プロビジョニング 管理者、Managed Service Provider、または企業の IT 部署にお問い合わせください。

デフォルトのパスワードは次のルールによって制御されます。

- DefaultCUPMPassword
- DefaultCallManagerPassword
- DefaultCallManagerPIN
- DefaultDigestCredentialPassword
- DefaultUnitySubscriberPassword
- DefaultWebAccessPassword

ルールの詳細については、「ビジネス ルール」(P.11-2) を参照してください。



(注)

加入者のパスワードをリセットした場合は、パスワードの変更に必要となるデフォルトの値を必ず加入者に通知してください。

パスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 目的の加入者の [Manage Subscriber] ページを開きます（「加入者情報のアップデート」(P.8-2) を参照）。
- ステップ 2 [Manage Passwords] をクリックします。
- ステップ 3 [Password Management] ページで、[Password/PIN/Digest Credentials] を選択してフィールドを変更します。変更するパスワードをドロップダウン リストから選択します。
- ステップ 4 次のいずれかを実行します。
  - パスワードをデフォルトに戻すには、[Reset to Default] をクリックします。
  - 新しいパスワードを入力して（確認のためにもう 1 回入力して）から [Set to New Value] をクリックします。
- ステップ 5 確認するには、[Done] をクリックします。

## コール プロセッサ パスワードの概要

Provisioning の加入者は、パスワードを使用してコール プロセッサにログインし、自分に関連付けられている電話の設定詳細を表示して編集できます。加入者は次の操作が可能です。

- **Cisco Unified Communications Manager の場合:** URL の `https://ccmhost_ipaddress/ccmuser` で、自分のアカウントのある、Cisco Unified Communications Manager にログインします。加入者は、Web インターフェイスを介して、加入者に割り当てられている電話の設定詳細を表示または編集できます。
- **Cisco Unified Communications Manager Express の場合:** URL の `http://cmehost_ipaddress/ccme.html` で、ブラウザから自分のアカウントのある、Cisco Unified Communications Manager Express にログインします（ブラウザから Cisco Unified Communications Manager Express にログインするためには、Cisco Unified Communications Manager Express で別の設定が必要です）。加入者は、Web インターフェイスを介して、加入者に割り当てられている電話の設定詳細を表示または編集できます。

Cisco Unified Communications Manager Express では各加入者に関連付けできる電話は 1 台のみですが、Provisioning はこの制限を克服し、各加入者に複数台の電話を関連付けられるようになります。

Cisco Unified Communications Manager Express では、2 台目以降の電話には同じユーザ名の後にチルダ (~) と 1 から始まるシーケンス インデックスを付けることによって新しいユーザが作成されます（たとえば、TestUser と TestUser~1）。加入者が Cisco Unified Communications Manager Express の Web インターフェイスを介して電話の詳細を表示するためには、正しいユーザ名を使用しなければなりません。

Provisioning でパスワード値を変更すると、Cisco Unified Communications Manager Express では対応するユーザ名のパスワードがすべて同時に変更されます。

## 加入者の同期

加入者は 1 人ずつ同期させることができます。これにより、プロビジョニングの加入者データがコールプロセッサの加入者データと同期します。同期の詳細については、「[ドメインの同期化](#)」(P.4-3)を参照してください。

加入者を同期させる際には、次の点に注意してください。


- Cisco Unified Communications Manager Express で加入者を最初に作成し、後で Provisioning と同期させた場合、その加入者のユーザ名と電話番号のフィールドには Unknown と表示される場合があります。

加入者情報はプロビジョニングを介してアップデートできますが、この情報は Cisco Unified Communications Manager Express システムに適用され、ephone 記述フィールドのユーザに関する既存の情報をすべて書き換えますので注意してください。

- ドメインおよびサービス エリアに存在するデバイスが Cisco Unified Communications Manager Express だけであり、その Cisco Unified Communications Manager Express で ephone username コマンドが設定されていない場合、ドメインの同期化中に Provisioning に加入者は作成されません。

Cisco Unified Communications Manager Express ですべての加入者について ephone username コマンドが設定されていることを確認してください。

- Cisco Unified Communications Manager Express において、ephone コンフィギュレーション モードで button コマンドを使用する場合は、区切り文字としてコロン (:) を使用してください。プロビジョニングは、button コマンドの区切り文字としてコロンだけをサポートします。他の区切り文字を使用した場合、プロビジョニングは [Subscriber Record Details] ページを表示しません。電話だけが表示されます。

- 
- ステップ 1** 目的の加入者の [Manage Subscriber] ページを開きます（「[加入者情報のアップデート](#)」(P.8-2) を参照）。
- ステップ 2** [Synchronize Subscriber] をクリックします。
- 確認用のダイアログボックスが表示されます。[Synchronize Subscriber] オプションは、加入者のオーダーが発行されるまでは表示されません。
-  **(注)** [Manage Subscriber] ページから 1 人の加入者を同期させる場合、デバイスからユーザ情報を取得するだけでなく、Provisioning はドメインの同期を実行します。ドメインのユーザ数が多い場合は、同期に数分かかることがあります。
- 
- ステップ 3** [OK] をクリックします。
- 

## 加入者の削除

関連するサービスの有無にかかわらず、加入者は プロビジョニング から削除されます。

- 
- ステップ 1** 目的の加入者の [Manage Subscriber] ページを開きます（「[加入者情報のアップデート](#)」(P.8-2) を参照）。
- ステップ 2** [Remove] をクリックします。
- 関連するサービスのある加入者を削除する場合、加入者の削除の前にサービスの関連解除について確認が求められます。
- 加入者に関連するサービスがない場合、加入者の削除について確認が求められます。
- 加入者からサービスが関連解除されても、サービスはデバイス（プロセッサ）から削除または関連解除されません。Provisioning 内で関連解除されるだけです。
- この後にドメイン同期化が発生すると、同期化ルールに応じて、加入者が再度作成され、サービスを加入者に関連付けることができます。
- ステップ 3** [OK] をクリックします。
- 

## 加入者およびサービスの移動

あるドメインから別のドメインに加入者を移動できます。加入者の関連サービスも移動できます。

次のいずれかに該当する場合は、加入者および関連サービスを移動できません。

- 加入者が疑似加入者である。
- 加入者に保留中のオーダーがある。
- そのドメインのデバイスで同期化の処理中である。

- 
- ステップ 1** 目的の加入者の [Manage Subscriber] ページを開きます（「[加入者情報のアップデート](#)」(P.8-2) を参照）。
- ステップ 2** [Move] をクリックします。

- ステップ 3** [Move Subscriber and Services] ページで、加入者の新しいドメインを選択します。  
アクセス可能なドメイン間でのみ加入者を移動できます。
- ステップ 4** 新しいサービス エリアを選択します。  
プロビジョニング での変更オーダーをサポートするサービスに関してのみ、[New Service Area] ドロップダウン リストが表示されます。デバイスに関連付けられているサービス エリアがリストされます。サービスを別のデバイスに移動することはできません。
- ステップ 5** [Apply All] チェックボックスをオンにして、新しいサービス エリア設定をすべてのサービスに適用します。
- ステップ 6** [Perform Move] をクリックします。  
あるサービス エリアへの移動が失敗すると、残りのサービス エリア設定はロールバックされます。加入者を移動している間、加入者レコードの場所は NA と表示されます。製品の変更オーダーが完了した後、少し間を置いて加入者レコード ページの場所が更新されます。

## 加入者サービスの移動

あるサービス エリアからドメイン内の別のサービス エリアに加入者サービスを移動できます。



(注)

複数のサービスを移動する場合に移動処理が 1 つ失敗すると、ロールバック オーダーが作成され、完了済みのすべての移動オーダーが元のサービス エリアにロールバックされます。

- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。
- ステップ 2** 加入者の詳細を入力し、[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。
- ステップ 4** [Subscriber Record Details] ページで、[Move Services] をクリックします。
- ステップ 5** [Move Subscriber and Services] ページで、新しいサービス エリアを選択します。
- ステップ 6** [Apply All] チェックボックスをオンにして新しいサービス エリア設定をすべてのサービスに適用するか、あるいは個々のサービスにチェックを入れて新しいサービス エリア設定を適用します。



**ステップ 7** [Perform Move] をクリックして加入者サービスを移動します。



**(注)** Cisco Unity Express はボイスメールの移動処理をサポートしません。

## 加入者レコードへのアクセス

**ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。

加入者の電話番号を使用して加入者を検索すると、[Subscriber Search Result] ページには加入者の連絡番号だけが表示されます。これは検索に使用した番号とは異なる場合があります。また、検索と一致した複数の番号が 1 人の加入者に割り当てられている場合、各番号のレコードが表示されます。

**ステップ 2** 加入者情報を入力し、[Search] をクリックします。



**ヒント** 情報アイコン (i) をクリックすると、加入者の [Manage Subscriber] ページが表示されます。

**ステップ 3** 目的の加入者を選択します。



**(注)** [Home] ページにあるグローバル検索ツールから加入者レコードにアクセスできます。正確な加入者名を使用して検索する必要があります。検索すると [Subscriber Record Details] ページが表示されます。

## 加入者ロールの作成

加入者ロールは、加入者がオーダーできる製品とサービスを制御します。また、加入者がアクセスできるサービス エリアも加入者ロールによって決まります。



**(注)** 加入者とユーザを混同しないでください。プロビジョニング では、これら 2 つのロールは異なる意味を持ちます。ユーザについての説明は「[ユーザの管理](#)」(P.8-13) を参照してください。

デフォルトの加入者タイプは次のとおりです。

- **Employee** : 新しい加入者に割り当てられるデフォルトのロールです。

**Employee** 加入者ロールは、組織内での従業員の標準的な設定に合わせる必要があります。**Employee** 加入者ロールをニーズに合わせて設定しておかないと、従業員加入者レコードに、必要なオプションが記録されなくなります。

- **Contractor**。
- **Manager**。
- **Senior Manager**。
- **Executive**。

- **Pseudo** : 関連するユーザのない電話のプロビジョニングに使用されます。疑似加入者の名前の変更または削除はできません。

これらの加入者タイプは、プロビジョニングの各ドメインに存在します。これらの事前定義された加入者タイプを追加、削除、または変更することにより、各ドメインにおけるこれらの加入者タイプのセットをカスタマイズできます。

## Pseudo 加入者ロールの使用

疑似加入者を使用して、コール プロセッサに関連するユーザのない電話をプロビジョニングできます (詳細については、「[関連付けられた加入者のない電話の管理](#)」(P.10-24) を参照してください)。

まず、加入者を作成して、加入者を **Pseudo** 加入者ロールに割り当てます。処理は他の加入者を作成する場合と同じです。追加処理の間は疑似ロールの加入者を割り当てる必要があります (「[加入者の作成](#)」(P.8-1) を参照)。

疑似加入者に電話のプロビジョニングを行う方法は、通常の加入者と同じです。コール プロセッサにユーザが作成されていない場合は異なります。

また、疑似加入者は電話の管理およびディレクトリ番号のインベントリを行うことができます。

## 新しい加入者ロールタイプの作成

- 
- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles] を選択します。
- ステップ 2** [Subscriber Role Configuration] ページで、[New Subscriber Role] をクリックします。
- ステップ 3** 次の手順を実行します。
- 新しい加入者ロールの名前を入力します。使用できる文字は、スペース、英数字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、アンダースコア (\_)、およびハイフン (-) です。
  - 適切なドメインを選択します。
  - [Save] をクリックします。



(注)

---

ロールを作成したら、ロールに製品を割り当てます (「[加入者ロールタイプへの製品の割り当て](#)」(P.8-11) を参照)。

---

## 加入者ロールタイプのアップデート

ここでは、加入者ロールタイプに対して実行できる操作について説明します。

- 「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11)
- 「加入者ロールのプロビジョニング属性の優先順位の編集」(P.8-11)
- 「加入者ロールタイプ名の変更」(P.8-12)
- 「加入者ロールタイプのプロビジョニング属性の編集」(P.8-12)
- 「加入者ロールタイプの削除」(P.8-12)

### 加入者ロールタイプへの製品の割り当て

加入者ロールに製品を割り当てると、そのロールを割り当てられた加入者は、それらの製品をオーダーできるようになります（製品のオーダーについては「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照してください）。

- 
- |        |                                                                                               |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | [Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles] を選択します。                                   |
| ステップ 2 | [Options] ペインで、[View Subscriber Role in Domain] フィールドのドロップダウン リストから、加入者ロールタイプが存在するドメインを選択します。 |
| ステップ 3 | [Choose Role to View] をクリックします。                                                               |
| ステップ 4 | 目的の加入者ロールタイプをクリックします。                                                                         |
| ステップ 5 | [Associate Products] をクリックします。                                                                |
| ステップ 6 | 加入者ロールタイプに割り当てる製品の隣にあるチェックボックスをオンにします。                                                        |
| ステップ 7 | [Save] をクリックします。                                                                              |
- 

### 加入者ロールのプロビジョニング属性の優先順位の編集

加入者が複数の加入者ロールタイプに属している場合は、優先順位の設定により、どの加入者タイプのプロビジョニング属性の設定が使用されるかが決まります。

- 
- |        |                                                                                              |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Provisioning Attributes] を選択します。 |
| ステップ 2 | [Subscriber Role in] フィールドで、加入者ロールの優先順位を編集するドメインを選択します。                                      |
| ステップ 3 | [Edit subscriber roles precedence] をクリックします。                                                 |

- ステップ 4** [Manage Precedence] ページで、加入者ロールタイプの隣にある矢印をクリックし、上下に移動して優先順位を変更します。
- ステップ 5** [Save] をクリックします。

## 加入者ロールタイプ名の変更

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles] を選択します。
- ステップ 2** [Options] ペインで、[View Subscriber Role in Domain] フィールドのドロップダウン リストから、加入者ロール タイプが存在するドメインを選択します。
- ステップ 3** [Choose Role to View] をクリックします。
- ステップ 4** 目的の加入者ロールタイプをクリックします。
- ステップ 5** [View Subscriber Role Type] ページで、[Update] をクリックします。
- ステップ 6** [Update Subscriber Role Type] ページで、加入者ロール タイプ名を変更します。
- ステップ 7** [Save] をクリックします。

## 加入者ロールタイプのプロビジョニング属性の編集

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles] を選択します。
- ステップ 2** [Options] ペインで、[View Subscriber Role in Domain] フィールドのドロップダウン リストから、加入者ロール タイプが存在するドメインを選択します。
- ステップ 3** [Choose Role to View] をクリックします。
- ステップ 4** 目的の加入者ロールタイプをクリックします。
- ステップ 5** [View Subscriber Role Type] ページで、[Edit Provisioning Attributes] をクリックします。
- ステップ 6** [Provisioning Attribute Management] ページで、編集する属性見出しの隣にあるプラス記号をクリックします。
- 属性の情報を編集するには、属性の隣にある [Edit] アイコン (✎) をクリックしてから、必要な変更を行います。
  - 属性を削除するには、属性の隣にある [Clear] アイコン (✖) をクリックします。
- ステップ 7** [Done] をクリックします。

## 加入者ロールタイプの削除

- ステップ 1** [Design] > [Set Up Deployment] > [Subscriber Roles] を選択します。
- ステップ 2** [Options] ペインで、[View Subscriber Role in Domain] フィールドのドロップダウン リストから、加入者ロール タイプが存在するドメインを選択します。
- ステップ 3** [Choose Role to View] をクリックします。
- ステップ 4** 目的の加入者ロールタイプをクリックします。

**ステップ 5** [View Subscriber Role Type] ページで、[Remove] をクリックします。

**ステップ 6** 確認ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

## ユーザの管理

プロビジョニングのユーザとは、システムにログインし、プロビジョニングにアクセスしてさまざまなアクティビティを実行できる人を意味します。ユーザは、プロビジョニングのさまざまなロールを実行できるように設定できます。これらのロールは、システム全体に適用したり（たとえば管理者）、1 つのドメインにだけ関連させてユーザが行うことのできる変更の範囲を限定したりできます。ユーザは同時に加入者になることもあります。



(注) プロビジョニングには、永久管理者アカウント (globaladmin) が設定されています。

### User Roles

グローバルとドメイン固有の 2 種類のグローバル プロビジョニング ユーザ ロールがあります。

プロビジョニング ユーザはロールに基づいて Provisioning でさまざまなタスクの実行を許可されます (表 8-1 を参照)。スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションと統合アプリケーションの両方でユーザ ロールを作成できます。新たにインストールした Provisioning サーバ (ユーザ データを含まない) と Assurance サーバを統合するときは、Assurance と Provisioning の両方の共通ユーザを作成するか、Provisioning ロールだけを作成できます。既存のユーザ データ (ユーザ およびサブスクリバ) を持つ Provisioning サーバを接続すると、globaladmin ロールおよび domain-admin ロールが [User Management] ページで自動的に同期化されます。

次の点に注意してください。

- 統合 UI では、Provisioning を Assurance サーバに接続する前に作成した globaladmin ユーザと domain-admin ユーザだけが同期されます。同期後、globaladmin と domain-admin には、Assurance Helpdesk ロールの特権が与えられます。詳細については、『[Cisco Prime Collaboration Administration Guide](#)』を参照してください。
- Provisioning を Assurance サーバに接続する前に作成した、globaladmin と domain-admin 以外のユーザは同期されません。Ordering ロールを持つユーザ、Approval ロールを持つユーザなどです。これらのユーザは統合 UI にログインできません。
- 統合モードでは、マルチドメインと単一ドメインのユーザは、[User Management] ページから作成できます。

## ユーザの作成

統合モードでユーザを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Administration] > [User Management] の順に選択します。
- ステップ 2** [User Management] ページで、[Add] をクリックします。
- ステップ 3** [Add User] ウィンドウで、必要なユーザの詳細情報を入力します。



- (注)
- LDAP サーバが認可を実行するので、LDAP サーバおよび Prime Collaboration アプリケーションに同じユーザ ID を指定します。LDAP サーバを設定するには、「[LDAP サーバの同期化の設定](#)」(P.4-13) を参照してください。
  - [LDAP User] オプションを選択した場合、[Password] フィールドおよび [Confirm Password] フィールドは表示されません。

- ステップ 4** Provisioning のドメインを選択します。
- ステップ 5** [Provisioning Roles] チェックボックスで適切なロールを選択します。Administration と Maintenance の両方か、任意の 1 種類のロールを選択できます。
- ステップ 6** ドメイン固有の Provisioning ロールを作成するには、[Domain Specific] の下にある [Add Row] をクリックします。General、Ordering、および Activity ロールのロール設定オプションが表示されます。権限ロールの詳細については、[表 8-1](#) を参照してください。
- ステップ 7** 適切な情報を入力し、[Done] をクリックします。
- ステップ 8** [Save] をクリックして設定を保存します。



- (注) この新しく追加されたユーザに対してサービスをオーダーするまで、Cisco Unified Communications Manager では、このユーザを表示できません。

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでユーザを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。
- ステップ 2** [Manage User] ページで、[Provisioning Roles] チェックボックスの適切なロールを選択します。Administration と Maintenance の両方か、任意の 1 種類のロールを選択できます。権限ロールの詳細については、[表 8-1](#) を参照してください。
- ステップ 3** 必要なフィールドの情報を入力し、[Create] をクリックします。

表 8-1 権限ロール

| 権限ロール            | 説明                         |
|------------------|----------------------------|
| <b>グローバル ロール</b> |                            |
| 管理機能             | すべての プロビジョニング 機能にアクセスできます。 |

表 8-1 権限ロール（続き）

| 権限ロール                                                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Maintenance                                                  | システムのクリーンアップ アクティビティを設定できます。「 <a href="#">サーバの設定</a> 」(P.2-1) を参照してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>ドメインのロール</b>                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| ドロップダウンリストで、権限ロールを設定するドメインを選択します。選択したロールは、選択したドメインにだけ適用されます。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Policy                                                       | 電話ボタン テンプレートの表示、加入者ロールの修正、および電話インベントリの追加またはアップデートを行うことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Infrastructure Configuration Management                      | インフラストラクチャ設定オブジェクトをプロビジョニングできます。このロールを選択する場合は、[Permission Profile] ボックスからプロファイルも選択する必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Permission Profiles                                          | この権限ロールが割り当てられているインフラストラクチャ設定オブジェクト ユーザが設定できる権限を設定します（権限の設定の詳細については、「 <a href="#">インフラストラクチャ設定権限の管理</a> 」(P.8-20) を参照してください）。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| SelfCare User                                                | 自分のサービスを管理することを許可されています。回線の設定、サービスの管理、および電話機のオプションの設定をすばやく簡単に実施できます。<br><br>(注) スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでは、加入者とユーザの両方を追加中にセルフケアをイネーブルまたはディセーブルにできます。統合モードでは、加入者を追加中に限りセルフケアをイネーブルにできます。<br>[Self-Care] チェックボックスは、ユーザを追加するときには使用できません。ただし、ユーザの作成後に、[Manage Subscriber] ページからのセルフケアのロールを割り当てることができます。「 <a href="#">セルフケア アカウントの作成</a> 」(P.9-1) を参照してください。 |
| <b>オーダー ロール</b>                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| これらのロールを割り当てられたユーザは、他の加入者や自分自身のオーダーを発行できます。                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Ordering                                                     | 許可する操作： <ul style="list-style-type: none"> <li>ドメイン内の加入者の追加、削除、またはアップデート</li> <li>ドメイン内の加入者ロールの追加、削除、またはアップデート（ドメイン ルールで許可されている場合）</li> <li>ドメイン内のインベントリにある電話の追加、削除、またはアップデート（ドメイン ルールで許可されている場合）</li> <li>ドメイン内の詳細加入者情報の検索と表示</li> <li>ドメイン内の加入者に対するオーダーの発行</li> </ul>                                                                                                          |
| Advanced Ordering                                            | Ordering（オーダー）ロールによって指定されているすべての機能にアクセスできます。また、[Order Entry] ページの [Advanced Order] オプションにもアクセスできます。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Advanced Assignment                                          | Ordering（オーダー）ロールによって指定されているすべての機能にアクセスできます。また、オーダーの入力時に電話製品の MAC アドレスを割り当てることができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

表 8-1 権限ロール (続き)

| 権限ロール                                                          | 説明                                      |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| <b>アクティビティ ロール</b>                                             |                                         |
| これらのロールのいずれかを割り当てられたユーザは、オーダー処理中にグループに割り当てられているアクティビティを実行できます。 |                                         |
| Approval                                                       | オーダーを受け入れて承認を完了できます。                    |
| Assignment                                                     | MAC アドレスを割り当てるユーザ アクティビティを受け入れることができます。 |
| Shipping                                                       | オーダーを受け入れて出荷を完了できます。                    |
| Receiving                                                      | オーダーを受け入れて受領を完了できます。                    |

## ユーザ ロールの編集



(注)

グローバル ロールはシステム全体に適用され、ドメイン ロールはユーザが属するドメインにだけ適用されます。

表 8-1 に、スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning と統合アプリケーションでの Provisioning の両方で使用可能な権限ロールを示します。

これらの権限ロールは、スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning と統合アプリケーションの両方で、[User Management] ページから作成および管理できます。

[User Management] ページにナビゲートするには、次の手順に従います。

- 統合アプリケーションで、[Administration] > [User Management] を選択します。
- スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションで、[Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。

統合アプリケーションの権限ロールを管理するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** [Administration] > [User Management] の順に選択します。
- ステップ 2** 編集するユーザ名を選択し、[Edit] をクリックします。
- ステップ 3** 必要な変更を行い、保存します。

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの権限ロールを管理するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。
- ステップ 2** [Manage User] ページで [User ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン (🔍) をクリックします。
- ステップ 3** 割り当てられたロール フィールドの隣にある [Edit] をクリックします。[Assign User Authorization Roles] ページが表示されます。



ヒント

[Manage Authorization Roles] をクリックして [Assign User Authorization Roles] ページにアクセスすることもできます。



**ステップ 4** ユーザに割り当てるロールを選択します。

**ステップ 5** [Update] をクリックします。

**ステップ 6** [Done] をクリックします。

---

[User Management] ページを使用して、次の情報を変更できます。

- User Name
- ユーザの名前。
- ユーザの姓。
- ユーザの電子メール。
- グローバル プロビジョニング ロール (Administration または Maintenance)。
- ドメインのプロビジョニング ロール。

統合モードでは、ユーザの追加機能を使用して作成されたユーザは、Web クライアントだけに適用され、これらのユーザは CLI から Assurance サーバや Provisioning サーバにログインできません。

## ユーザの削除

ユーザを統合アプリケーションから削除するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** [Administration] > [User Management] の順に選択します。

**ステップ 2** 削除するユーザを選択します。

**ステップ 3** [OK] をクリックします。

---

ユーザをスタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションから削除するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** [Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。

**ステップ 2** [Manage User] ページで [User ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン (🔍) をクリックします。

**ステップ 3** 目的のユーザの [User Management] ページを開きます。

**ステップ 4** [Remove] をクリックします。

**ステップ 5** [OK] をクリックします。

## ユーザ パスワードのリセット

適切な特権を持っている場合に限り、パスワードをリセットできます (表 8-1 を参照)。

次のパスワードをリセットできます。

- プロビジョニング ログイン パスワード
- Cisco Unified Communications Manager パスワード (「コール プロセッサ パスワードの概要」(P.8-5) を参照)



(注) Cisco Unified Communications Manager が外部認可を使用するように設定されている場合、Cisco Unified Communications Manager パスワードは変更できません。プロビジョニングは、パスワードが（実際にアップデートされていなくても）アップデートされていることを示します。

- Cisco Unified Communications Manager PIN
- Cisco Unified Communications Manager Express パスワード（「[コール プロセッサ パスワードの概要](#)」(P.8-5) を参照）
- Cisco Unity Subscriber パスワード
- Cisco Unity Connection PIN
- Cisco Unity Connection Web パスワード



(注) Cisco Unity Connection Web パスワードをリセットする場合に、新しいパスワードが強力なパスワードでないとエラー メッセージが表示されることがあります。

Unity Connection Password: Failed to reset credential : The credential does not contain three of the four required character gro

パスワードには、少なくとも次のうちのいずれか 3 種類を組み合わせ需要使用する必要があります。

- 大文字の英字
- 小文字の英字
- 数字
- 特殊文字

パスワードを プロビジョニング システム デフォルトにリセットするか、新しいパスワードを指定できます。ユーザ パスワードのデフォルト値については、プロビジョニング 管理者、Managed Service Provider、または企業の IT 部署にお問い合わせください。

デフォルトのパスワードは次のルールによって制御されます。

- DefaultCUPMPassword
- DefaultCallManagerPassword
- DefaultCallManagerPIN
- DefaultCallManagerDigestCredentials
- DefaultUnitySubscriberPassword
- DefaultWebAccessPassword

ルールの詳細については、「[ビジネス ルール](#)」(P.11-2) を参照してください。



(注) ユーザのパスワードをリセットした場合は、設定された新しい値を必ずユーザに通知してください。

統合アプリケーションでユーザ パスワードをリセットするには、次の手順を実行します。


**ステップ 1** [Administration] > [User Management] の順に選択します。

**ステップ 2** [User Management] ページで、ユーザを選択します。

- ステップ 3** [Change Password] をクリックします。
- ステップ 4** [Reset Password] ウィンドウで、新しいパスワードを入力します。
- ステップ 5** [Save] をクリックします。

---

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでユーザ パスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。
- ステップ 2** [Manage User] ページで [User ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン (  ) をクリックします。
- ステップ 3** 必要なユーザを選択し、[Manage Passwords] をクリックします。
- ステップ 4** [Password Management] ページで、[Password/PIN/Digest Credentials] を選択してフィールドを変更します。変更するパスワードを選択します。
- ステップ 5** 次の手順を実行します。
- パスワードをデフォルトに戻すには、[Reset to Default] をクリックします。
  - 新しいパスワードを入力して（確認のためにもう 1 回入力して）から [Set to New Value] をクリックします。
- ステップ 6** [Done] をクリックします。
- 

## パスワード ポリシー

パスワードを作成するときは、次の点に注意してください。

- ユーザ名と同じ文字列や、ユーザ名を逆にした文字列はパスワードに使用できません。
- パスワードでは、4 回以上続けて同じ文字を繰り返すことはできません。
- 次の文字列はパスワードに使用できません。
  - Cisco またはその逆。
  - Cisc0（o の代わりにゼロを使用）。
  - C!sco（i の代わりに感嘆符を使用）。
  - Ci\$co（s の代わりにドル記号を使用）。
  - 以前のパスワードの大文字と小文字を変えたもの。
- パスワードには、小文字、大文字、特殊文字、および数字を含める必要があります。
- 必要な最小文字数は 8 文字です（デフォルトの文字数ですが、変更できます）。
- 許容される最大文字数は 80 文字です（デフォルトの文字数ですが、変更できます）。

プロビジョニングでは、opt/cupm/sep の下に passwordpolicy.properties というファイル名でパスワード ポリシー プロパティが保存されます。必要に応じて、プロパティ ファイルを修正してパスワード ポリシーを変更できます。パスワード ポリシーの設定を変えた場合は必ず、プロビジョニング を再起動する必要があります。



(注)

プロパティ ファイルでパスワードの複雑度ポリシーをさらに厳しくした場合は、新しいパスワードの複雑度ポリシーに合致するように、ポリシーの変更前に設定したルールベースのパスワードを更新する必要があります。

## インフラストラクチャ設定権限の管理

[Infrastructure Configuration Permission Profiles] ページで、Infrastructure Configuration Management 権限ロールを持つユーザが、設定目的でいずれかのインフラストラクチャ設定製品のアクセス権を持つように権限を設定します。

### インフラストラクチャ設定権限プロファイルの作成

- ステップ 1** [Administration] > [Permission Profiles] を選択します。(スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの UI のパスを選択するには、表 1-1 を参照してください)。
- ステップ 2** [Infrastructure Configuration Permission Profiles] ページで、[Add New] をクリックします。
- ステップ 3** [Permission Profile Configuration] ページで、名前を入力します。使用できる文字は、英数文字 (A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)、アンダースコア (\_)、ハイフン (-)、ピリオド (.)、およびアットマーク (@) です。
- ステップ 4** (任意) 説明を入力します。
- ステップ 5** [Products] ペインで、設定できるようにするプロファイルの製品を選択します。
- ステップ 6** [Save] をクリックします。

### インフラストラクチャ設定権限プロファイルの更新

- ステップ 1** [Administration] > [Permission Profiles] を選択します。(スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの UI のパスを選択するには、表 1-1 を参照してください)。
- ステップ 2** [Infrastructure Configuration Permission Profiles] ページで、更新するプロファイルをクリックします。

**ステップ 3** [Permission Profile Configuration] ページで、必要な変更を行います。

**ステップ 4** [Save] をクリックします。

## インフラストラクチャ設定権限プロファイルの削除

**ステップ 1** [Administration] > [Permission Profile] を選択します。(スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの UI のパスを選択するには、[表 1-1](#)を参照してください)。

**ステップ 2** [Infrastructure Configuration Permission Profiles] ページで、削除するプロファイルをクリックします。

**ステップ 3** [Permission Profile Configuration] ページで、[Delete] をクリックします。

## ユーザの同期


ユーザが加入者でもある場合には、ユーザを同期させることができます。これにより、プロビジョニングのユーザデータがコールプロセッサのユーザデータと同期します。同期の詳細については、「[ドメインの同期化](#)」(P.4-3)を参照してください。



**(注)** [Manage Subscriber] ページから 1 人の加入者を同期させる場合、デバイスからユーザ情報を取得するだけではなく、Provisioning Manager はドメインの同期を実行します。ドメインのユーザ数が多い場合は、同期に数分かかることがあります。

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションの場合：

**ステップ 1** [Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。

**ステップ 2** [Manage User] ページで [User ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン (  ) をクリックします。

**ステップ 3** 目的のユーザをクリックします。

**ステップ 4** [Synchronize Subscriber] をクリックします。




**(注)** ユーザのオーダーが発行されるまでは、[Synchronize Subscriber] オプションは表示されません。

**ステップ 5** [OK] をクリックして確定します。

統合モードで加入者を同期するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Deploy] > [Add Subscribers] を選択します。

**ステップ 2** [Manage Subscribers] ページで [Subscriber ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン (  ) をクリックします。

**ステップ 3** 目的のユーザをクリックします。

**ステップ 4** [Synchronize Subscriber] をクリックします。




(注)

ユーザのオーダーが発行されるまでは、[Synchronize Subscriber] オプションは表示されません。

## ユーザの加入者レコードへのアクセス

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションで加入者レコードにアクセスするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Administration] > [Users and Device Access Management] > [User Management] を選択します。
- ステップ 2** [Manage User] ページで [User ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン () をクリックします。
- ステップ 3** 目的のユーザをクリックします。
- ステップ 4** [View Subscriber Services] をクリックします。  
[Subscriber Record Details] ページが表示されます。

統合モードで加入者レコード内のユーザにアクセスするには、[Deploy] > [Add Subscribers] を選択します。加入者を検索して選択し、加入者サービスを表示します。

## ユーザ ID のロック解除

試行失敗の最大許容回数を超えて、ユーザが間違ったパスワードを入力した場合、Provisioning はユーザをロックします。



(注)

管理者権限を持つユーザ ID も、試行失敗の合計回数が最大許容回数を超えた場合はロックされます。管理者がロックされた場合は、データベース管理者のみが Postgres データベースからその管理者のユーザ ID のロックを解除できます。

ログイン試行の失敗の最大回数は、パスワード設定を制御する `dfc.ipt.security.maxFailedLoginAttempt` 設定ファイルに設定します。次に例を示します。

```
dfc.ipt.security.maxfailedLoginAttempt:5
```

1 から 10 の設定は、ユーザ ID に対して許可されるログイン試行の失敗回数を表します。この回数を超えるとアカウントがロックされます。0 を設定すると、この機能はディセーブルになります。

アカウントがロックされた場合、ユーザ ID のロックを解除できるのはグローバル管理者のみです。失敗の最大回数のしきい値をより大きい数値に変更しても、ロックされたアカウントは、データベース管理者がユーザ ID のロックを解除するまでロックされたままです。ロックされたアカウントのリストがこの画面に表示されます。[Unlock] ボタンを使用すると、ロックされたアカウントのロックを解除できます。ロック イベントおよびロック解除イベントは、Audit Trail レポートに示されます。

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでロックされたユーザをロック解除するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [User Management] > [Locked Users] の順に選択します。  
[Locked Users] ページが表示されます。
- ステップ 2** ロックを解除するユーザ ID を選択します。
- ステップ 3** [Unlock] をクリックします。  
選択したユーザ ID が再アクティブ化されます。



(注) ユーザがロックされた場合またはロック解除された場合は必ず、Audit Trail レポートにエントリが作成されます。

---

統合モードでは、ロック解除のオプションは、ホーム ダッシュボードで使用できます。

## アクティブ セッションの表示またはログアウト

アクティブ セッションを表示し、単一または複数のアクティブ セッションをログアウトさせることができます。

- 
- ステップ 1** [Reports] > [Administrative Reports] > [Who Is Logged On] を選択します。(スタンドアロン Provisioning の UI のパスを選択するには、表 1-1 を参照してください)。  
[Logged In Users] ページが表示され、アクティブ セッションのリストが示されます。
- ステップ 2** 単一または複数のセッションをキャンセルするには、終了するセッションを選択します。
- ステップ 3** [Log Out] をクリックします。  
選択したセッションおよびユーザがサーバからログアウトされます。



(注) [Logged In Users] および [Locked Users] には globaladmin のみがアクセスできます。

---







## CHAPTER 9

# セルフケア ポータルの管理

Prime Collaboration は、ユーザ名、パスワードなどのプリファレンスの設定値を制御できる電話セルフケア ポータルになります。セルフケア ポータルを使用して自身のアカウントおよびサービスを更新できます。セルフケア機能では、回線の設定、サービスの管理、電話機のオプションの設定ができます。

セルフケアが有効になっている場合、加入者は自身のためのサービスをオーダーできます。したがって加入者は、ユーザにもなれます。

## セルフケア アカウントの作成

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションまたは統合アプリケーションで、セルフケア アカウントを作成できます。

作成する加入者ごとにセルフケアをディセーブルまたはイネーブルにすることを選択できます。セルフケアは加入者の作成時にデフォルトでイネーブルになっています。



(注)

- セルフケアのロールを割り当てるには、新しいドメインを作成するときに `CreateSelfCareAccounts` ルールをイネーブルにする必要があります。 `CreateSelfCareAccounts` ルールはデフォルトでディセーブルです。
- セルフケアの移行ユーティリティを実行して、既存のドメインのセルフケア ロールを割り当てることもできます。これにより、既存のユーザのセルフケア ロールがイネーブルになります。詳細については、「[セルフケアのユーザの移行スクリプト](#)」(P.9-8) を参照してください。
- `[SelfCareUser]` チェックボックスは `CreateSelfCareAccounts` ルールがイネーブルの場合にだけ使用できます。
- ユーザを作成した後、ユーザは `globaladmin` または `domain-admin` がアカウント パスワードを変更して始めてセルフケアにログインできます。「[セルフケア アカウントのパスワードの管理](#)」(P.9-2) を参照してください。デフォルトでは、ユーザ パスワードは空です。デフォルトのパスワードを設定するには、`[DefaultCUPMPassword Data]` フィールドにデフォルト パスワードを指定し、`[Enabled]` を `true` に設定する必要があります。

加入者のセルフケア アカウントを作成するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** `[Deploy]` > `[Subscriber Management]` > `[Add Subscribers]` を選択します。

**ステップ 2** `[SelfCareUser]` チェックボックスをオンにします。必要な加入者情報を入力します。

**ステップ 3** [Create] をクリックします。

ユーザのセルフケア アカウントを作成するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** アカウントが作成された後で ([Administration] > [User Management] を使用)、[Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers] を選択します。

**ステップ 2** [Manage Subscriber] ページで、ユーザを検索します。

**ステップ 3** [SelfCareUser] チェックボックスをオンにします。必要な加入者情報を入力します。

**ステップ 4** [Update] をクリックします。



(注)

スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでは、加入者 ([Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers] を選択) とユーザ ([Administration] > [User Management] を選択) の両方を作成中に [Self-Care] チェックボックスをイネーブルまたはディセーブルにできます。[Self-Care] チェックボックスは、デフォルトでイネーブルです。詳細については、「[加入者の作成](#)」(P.8-1) を参照してください。

## セルフケア アカウントのパスワードの管理

ユーザと加入者のセルフケア アカウントを作成したら、パスワードを管理するためにパスワード管理ページを使用できます。

パスワードを管理するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Add Subscribers] を選択します。

**ステップ 2** [Manage Subscriber] ページで [Subscriber ID] フィールドの隣にある [Chooser] アイコン (🔍) をクリックします。

**ステップ 3** 必要な加入者を選択し、[Manage Passwords] をクリックします。

**ステップ 4** [Password Management] ページで、[Password/PIN/Digest Credentials] を選択してフィールドを変更します。ドロップダウン リストから [Provisioning Manager login] を選択します。

**ステップ 5** 次のいずれかを実行します。

- パスワードをデフォルトに戻すには、[Reset to Default] をクリックします。
- 新しいパスワードを入力して (確認のためにもう 1 回入力して) から [Set to New Value] をクリックします。

**ステップ 6** 確認するには、[Done] をクリックします。

セルフケア アカウントのパスワード ポリシーは、Provisioning のパスワード ポリシーと同じです。セルフケア パスワードを設定するには、「[パスワード ポリシー](#)」(P.8-19) を参照してください。

## バッチ プロビジョニングを使用したセルフケアのイネーブル化またはディセーブル化

バッチ プロビジョニングを使用して新規ユーザの作成時にセルフケアをイネーブルにできます。ユーザのセルフケアをイネーブルにするには、バッチ処理ファイルで権限ロールを **SelfCareUser** とします。バッチ プロビジョニングは、既存ユーザのセルフケア ロールをイネーブルまたはディセーブルにするためにも使用できます。イネーブルにするには、バッチ処理ファイルで権限ロールを **SelfCareUser** とし、ディセーブルにするは何も設定しません。



(注)

セルフケア アカウントを作成するには、ドメインの **CreateSelfCareAccounts** ルールをイネーブルにする必要があります。

バッチ プロビジョニングについては、「[バッチ プロジェクトの作成](#)」(P.6-13) を参照してください。

## セルフケアの起動

ユーザ ロールに基づいて、セルフケアを起動できます。

セルフケア ロールだけのユーザは、ログイン後にセルフケア ポータルに転送されます。

**ステップ 1** ブラウザで、<http://<provisioning-ip>/cupm/selfcareuser/Login> を入力します。

**ステップ 2** ログインするにはセルフケアのクレデンシアルを使用します。

ユーザはセルフケア ロールのみを持つため、[Self-Care] メニューだけにアクセスできます。このようなユーザは **Provisioning** メニューを使用できません。

他の権限ロール（メンテナンス、オーダー、アクティビティ ロールなど）とセルフケア ロールを持つユーザは、[Personal Settings] メニューからセルフケア ポータルを起動できます。

個人設定を起動するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** クレデンシアルを使用して **Provisioning** にログインします。

**ステップ 2** [Personal Settings] を選択します。セルフケア ポータル画面が表示されます。



(注)

Globaladmin は [Personal Settings] メニューを表示できません。

## 個人設定のカスタマイズ

セルフケア ポータルを使用すると、電話使用の次の側面について、個々の属性および個人設定を設定できます。

電話オプションには、スピードダイヤル番号、Do Not Disturb オプション、コールが保留されたときの音楽の設定が含まれます。

プロファイル オプションでは、エクステンション モビリティとシングル ナンバー リーチ用のオプションを設定できます。

- [Line] : コール転送、発信者 ID、通知など、電話機の特定の回線に対するオプションです。
- [User] : パスワード、Personal Identification Number (PIN) などの電話ユーザのオプション。

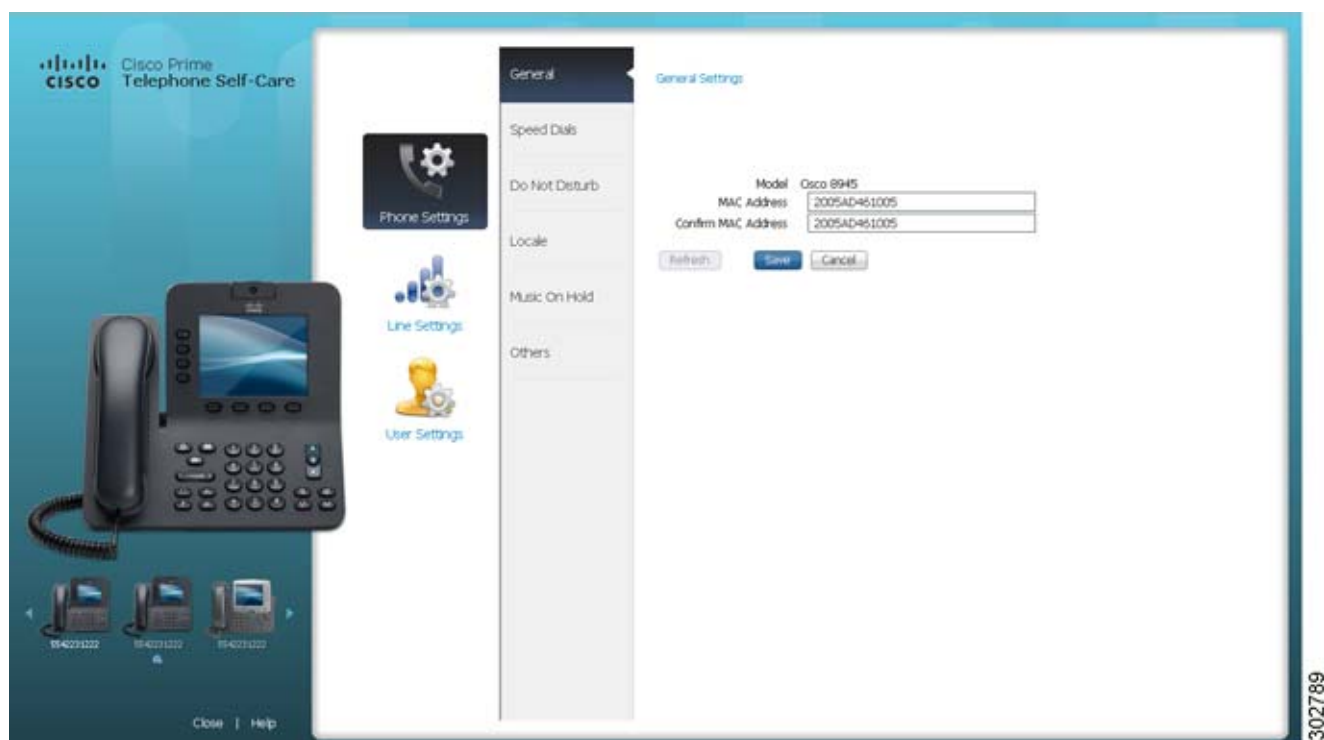
セルフケア ポータルにログインするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** ブラウザで、`http://<provisioning-ip>/cupm/selfcareuser/Login` を入力します。

**ステップ 2** ユーザ名とパスワードを入力します。

セルフケア ポータル画面が表示されます。図 9-1 を参照してください。

図 9-1 セルフケア ポータル



セルフケア ポータル画面には次の要素が含まれます。

**電話カルーセル** : 電話カルーセル（画面の左下に配置）には、電話機および設定できるサービス プロファイルのアイコンが表示されます。追加の電話またはプロファイルを表示するには、表示されているアイコンのいずれかの側のアイコンをクリックします。

**メイン メニュー** : メイン メニュー オプション（電話カルーセルの右側）は、[Phone Settings]、[Line Settings]、および [User Settings] です。電話カルーセルでの選択によっては、[Phone Settings] オプションの代わりに、[Extension Mobility Settings] または [Single Number Reach Settings] があります。

**[Configuration] 領域** : 選択したメイン メニュー オプションの設定可能なカテゴリが隣に表示されます。[Speed Dials] などのカテゴリをクリックすると、画面の右側に設定可能なオプションが表示されます。

必ず正しい電話またはプロファイルを設定するには、次の手順を実行します。

**ステップ 3** 電話カルーセルで、設定する電話機またはプロファイルを選択します。

**ステップ 4** [Line Settings] メニューで、設定するオプションに対応する正しい回線を選択していることを確認します。

次のオプションは、セルフケア ポータルで設定できます。

- 電話機 / エクステンション モビリティ設定
- シングル ナンバー リーチの設定
- 回線の設定
- ユーザ設定

#### 電話機 / エクステンション モビリティ設定

次の表は、セルフケアを使用して実行できる電話およびエクステンション モビリティ設定を示します。

#### 電話機 / エクステンション モビリティ設定

|                       |                                                                                                                       |                                                                                                                                 |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>General</b>        | 電話機の MAC アドレスをアップデートします。                                                                                              | [Phone Settings] > [MAC Address] を選択し、電話機の有効な MAC アドレスを入力して、[Save] をクリックします。                                                    |
| <b>Speed Dials</b>    | スピードダイヤルの電話番号を追加します。                                                                                                  | [Phone Settings] > [Speed Dials] を選択し、[Add] をクリックします。必要な情報を入力し、[Save] をクリックします。                                                 |
| <b>Do Not Disturb</b> | Do Not Disturb 機能を有効または無効にします。<br>Do No Disturb 機能が有効なときに到着する着信コールに対して実行するアクションを選択します。                                | [Phone Settings] > [Do Not Disturb] を選択し、[Enable Do Not Disturb] チェックボックスをオンにします。                                               |
| <b>Locale</b>         | 時刻と言語サポートに使用される、作業ロケールおよびネットワーク ロケールを選択します。                                                                           | [Phone Settings] > [Locale] を選択し、[User Locale] ドロップダウン リストから場所を選択して、[Save] をクリックします。                                            |
| <b>Music On Hold</b>  | ユーザを保留にするとときに、再生される音楽のソースを選択します。                                                                                      | [Phone Settings] > [Music On Hold] を選択し、[User Hold Audio Source] ドロップダウン リストからのコールを保留にするとときに再生するオーディオ ソースを選択して [Save] をクリックします。 |
| <b>Others</b>         | 次のオプションをイネーブルまたはディセーブルにします。<br>Speakerphone<br>Speakerphone and headset<br>Video<br>PC Port use<br>Extension Mobility | [Phone Settings] > [Others] を選択してから、各オプションのチェックボックスを必要に応じてオンまたはオフにし、[Save] をクリックします。                                            |

## Line Settings

選択した電話またはプロフィールの各回線の回線設定を次の表に示します。

|                      |                                                                          |                                                                                                                 |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Call Forward</b>  | デフォルトのコール フォワーディングのオプションを設定します。<br>外部または内部の着信コールのコール フォワーディングをカスタマイズします。 | [Line Settings] を選択してから更新する [Call Forward]、[Caller ID]、[Notification]、または [Music On Hold] を選択し、[Save] をクリックします。 |
| <b>Caller ID</b>     | 発信者 ID オプションを設定します。                                                      |                                                                                                                 |
| <b>Notification</b>  | 着信コールおよびメッセージ通知の音声/可視オプションを設定します。                                        |                                                                                                                 |
| <b>Music On Hold</b> | コールを保留にするときに、再生される音楽のソースを選択します。                                          |                                                                                                                 |

## User Settings

次の表にユーザ設定を示します。

### User Settings

|                    |                                                     |                                                                                      |
|--------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Information</b> | 名前を更新します。<br>自分の電子メール アドレスを入力します。<br>プライマリ電話を選択します。 | [User Settings] を選択してから更新する [Information]、[Password]、または [PIN] を選択し、[Save] をクリックします。 |
| <b>Password</b>    | パスワードを更新します。                                        |                                                                                      |
| <b>PIN</b>         | 個人識別番号を更新します。                                       |                                                                                      |

ユーザが実行可能な一般的なセルフケア タスクの一部を次の表に示します。

一般的なセルフケア タスク

|                       |                                                                                  |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| パスワードの変更              | [User Settings] > [Passwords] を選択します。                                            |
| PIN の変更               | [User Settings] > [PIN] を選択します。                                                  |
| スピーカーフォンの使用のディセーブル化   | [Phone Settings] > [Others] を選択し、[Disable Speakerphone] チェックボックスをオンにします。         |
| エクステンション モビリティのイネーブル化 | [Phone Settings] > [Others] を選択し、[Cisco Extension Mobility] チェックボックスをオンにします。     |
| ビデオ通話のイネーブル化          | [Phone Settings] > [Others] を選択し、[Enable Video] チェックボックスをオンにします。                 |
| コール転送                 | [Line Settings] > [Call Forward] を選択してから、着信コールを転送するためのオプションを設定します。               |
| 電子メール情報の指定            | [User Settings] > [Information] を選択し、電子メール アドレスを入力します。                           |
| プライマリ デバイスとして別の電話を選択  | [User Settings] > [Information] を選択し、[Primary Device] ドロップダウン リストから優先デバイスを選択します。 |

|                    |                                                                                      |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| コール通知およびメッセージ通知の選択 | [Line Settings] > [Notification] を選択し、着信コールおよびメッセージの通知オプションを選択します。                   |
| 保留コールの音楽ソースの選択     | [Phone Settings] > [Music On Hold] を選択し、ユーザまたはネットワークがコールを保留にしたときに使用するオーディオソースを選択します。 |

### シングル ナンバー リーチ

シングル ナンバー リーチ機能を使用すると、ビジネス IP 電話番号に別の電話番号を関連付けることができます。コールがビジネス電話番号に着信すると、コールはビジネス電話機と指定した電話機を鳴らすように Provisioning Manager によって自動転送されます。このように、シングル ナンバー リーチ機能は、ユーザの場所に関係なく、単一の番号をダイヤルして、発信者がユーザに到達できるようにします。

シングル ナンバー リーチ用の代替番号を設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 電話カラーセルで、リモート宛先プロファイルに関連付けられたアイコンを選択します。
- ステップ 2** [Single Number Reach Settings] > [Alternate Numbers] を選択します。
- ステップ 3** 説明のとおり情報を指定し、[Save] をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じて、追加の代替番号を追加するには、[Add New] をクリックします。

表 9-1 シングル ナンバー リーチのフィールドの説明

| フィールド                                                | 説明                                                                                             |
|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Alternate Number                                     | プライマリ電話でコールを受信したときに、Provisioning Manager でコールを転送する代替番号を入力します。                                  |
| Description                                          | (任意) 代替番号の説明を入力します。                                                                            |
| Enable Reach Me Anywhere                             | 着信コールが複数の電話を同時に呼び出すようにする場合にこのチェックボックスをオンにします。                                                  |
| This is a mobile device                              | 代替番号がモバイル デバイスの場合にチェックボックスをオンにします。                                                             |
| Allow me .. seconds to answer                        | 代替番号にコールを転送する前にプライマリ電話で、ユーザがコールに応答するために Provisioning Manager で待機する必要がある時間の長さを入力します (1/10 秒単位)。 |
| Continue ringing the alternate number for .. seconds | Provisioning Manager で代替番号の呼び出し音を鳴らす必要のある時間の長さを入力します (1/10 秒単位)。                               |

表 9-1 シングル ナンバー リーチのフィールドの説明（続き）

| フィールド                                             | 説明                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| If the alternate number answers within .. seconds | Provisioning Manager で代替デバイスへのコールの転送後にデバイスにコールを接続する前に待機する必要のある時間を入力します（1/10 秒単位）。この遅延により、ボイスメールなどのデバイスの自動グリーティングによってコールがピックアップされなくなります。 |
| Line Association Information                      | この代替番号に関連付ける回線のチェックボックスをオンにします。                                                                                                         |

## セルフケアのユーザの移行スクリプト

SelfCareMigrationUtility は、移行中に起動するか、移行後に CLI から起動できます。このツールは CreateSelfCareAccounts ルールおよび DefaultCUPMPasswrod のルールが設定されているドメインのすべてのユーザを処理します。

このツールは、/opt/cupm/sep/ipt/bin から CLI を使用して実行できます。グローバル（全ドメイン）または単一のドメインに対して実行できます。

スクリプトを実行するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** /opt/cupm/sep/ipt/bin に移動します。

**ステップ 2** Run :

```
./SelfCareMigrationUtility.sh ALL ENABLE
```

- ALL : すべてのドメインを示します。
- ENABLE : 指定したドメイン内のすべてのユーザに対してセルフケアをイネーブルにします。

セルフケアのオプションをディセーブルにするには、DISABLE オプションを使用できます。そのためには、次のコマンドを実行します。

```
./SelfCareMigraionUtility.sh ALL DISABLE
```

スクリプトはドメイン レベルでも実行できます。そのためには、次のコマンドを実行します。

```
./SelfCareMigrationUtility.sh <DOMAIN NAME> [ENABLE | DISABLE]
```

移行の詳細については、『[Cisco Prime Collaboration 9.0 Migration Guide](#)』を参照してください。





# CHAPTER 10

## オーダーの管理

プロビジョニング 製品およびサービスのオーダーの作成、オーダーの処理、既存の製品およびサービスの変更とキャンセルを行うことができます。

基盤システムに対する変更はすべて、オーダーの作成とその後のオーダーの処理という 2 段階の処理を通じて実行されます。これらの両方の段階に対してポリシーを設定できます。たとえば、あるユーザグループはオーダーの作成と発行だけができ、別のユーザグループは処理関連のアクティビティの表示と実行ができるように、システムを設定できます。

プロビジョニング には、プロビジョニング の設定内容に応じてサービスのアクティブ化やビジネスフローなどのオーダー処理を実行するオートメーション エンジンが組み込まれています。

## オーダーの表示

1 人の加入者のオーダーはその加入者の加入者レコードに表示され、開始されます。加入者レコードでは加入者の既存の製品をすべて示します。

加入者レコードでは、次の操作が可能です。

- 新しい製品のオーダー。次のセクションを参照してください。
  - 「製品およびサービスのオーダー」 (P.10-3)
  - 「オーダー処理の例」 (P.10-12)
  - 「Line 製品のエンド ユーザ アソシエーション」 (P.10-17)
  - 「共有電話および共有回線のオーダー」 (P.10-19)
  - 「Presence Services のオーダー」 (P.10-23)
  - 「関連付けられた加入者のない電話の管理」 (P.10-24)
- 既存の製品の更新または変更。次のセクションを参照してください。
  - 「既存の電話の交換」 (P.10-25)
  - 「電話設定の変更」 (P.10-26)
  - 「電話の所有者の変更」 (P.10-27)
  - 「回線情報の変更」 (P.10-29)
  - 「Extension Mobility Access 情報の変更」 (P.10-30)
  - 「Remote Destination Profile 情報の変更」 (P.10-31)
  - 「Remote Destination Profile Line 情報の変更」 (P.10-32)
  - 「ボイスメール アカウントのロック解除」 (P.10-33)

- 製品のキャンセル（「[製品のキャンセル](#)」(P.10-38) を参照）。
- 製品のプロビジョニング属性を表示（「[オーダーした製品のプロビジョニング属性の表示](#)」(P.10-2) を参照）。
- 製品のインベントリを表示（「[オーダーした製品のインベントリの表示](#)」(P.10-2) を参照）。
- 製品のノートを追加（「[オーダーした製品へのメモの追加](#)」(P.10-3) を参照）。

## 加入者レコードへのアクセス

Ordering（オーダー）権限ロールが割り当てられている場合は、自分自身の加入者レコードと他のユーザの加入者レコードにアクセスできます。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。
- ステップ 2** [Search Subscribers for Ordering Services] ページで、検索する加入者情報を入力し、[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。
- 

## オーダーした製品のプロビジョニング属性の表示

- 
- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。
- ステップ 3** [Subscriber Record Details] ページで、プロビジョニング属性を表示する製品名上にマウスのカーソルを合わせます。
- オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 4** [View] をクリックします。
- 製品のすべてのプロビジョニング属性が表示される [View Product from Record] ペインが表示されます。このペインは読み取り専用です。プロビジョニング属性設定の詳細については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください。
- 

## オーダーした製品のインベントリの表示

- 
- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。
- ステップ 3** [Subscriber Record Details] ページで、インベントリを表示する製品名上にマウスのカーソルを合わせます。
- オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。

- ステップ 4** [Inventory] をクリックします。製品のインベントリが表示される [Product Inventory Details] ペインが表示されます。

## オーダーした製品へのメモの追加

- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。
- ステップ 3** [Subscriber Record Details] ページで、注釈を追加する製品上にマウスのカーソルを合わせます。
- ステップ 4** [Notes] をクリックします。[Subscriber Record Detail Notes] ページが表示されます。
- ステップ 5** [Add New Note] フィールドで、必要な情報を入力します。
- ステップ 6** [Append Note] をクリックします。
- ステップ 7** [Close] をクリックします。

## 製品およびサービスのオーダー

[Order Management] を使用して、電話機器およびサービスのオーダーを作成できます。個々の製品のオーダーを作成するか、バンドルされた製品およびサービスをオーダーできます。

Ordering（オーダー）権限ロールが割り当てられたユーザは、自分自身または他の加入者のオーダーを追加、変更、またはキャンセルできます。

オーダーのプロビジョニングに要する時間は場合によって異なります。オーダーが正常に完了したかどうかを確認するには、ユーザの加入者レコードにアクセスします（「[加入者レコードへのアクセス](#)」(P.10-2) を参照）。製品は [Subscriber Record Options] セクションに表示され、[View Orders] セクションではオーダーのステータスが [Complete] と表示されます。また、オーダー番号によるオーダーの検索も実行できます。



**(注)** システムが長い期間アイドル状態になると、最初のオーダーが作成されるまでに通常より長くなる場合があります。

オーダーを作成する際は、次の点に注意してください。

- Cisco Unity デバイス（Cisco Unity、Cisco Unity Connection、および Cisco Unity Express）をベースとするユニファイド メッセージ プロセッサの製品およびサービスに対するオーダーを作成する際は、必ずしもすべての製品およびサービスが利用できるわけではありません。これは、デバイスが必ずしもすべての製品およびサービスをサポートしているわけではないためです。[表 10-2](#) は、Cisco Unity デバイス対応のボイス製品およびサービスのうち、オーダー可能なものとオーダー不可能なものの一覧です。
- Cisco Unified Communications Manager Express または Cisco Unity Express のいずれかの製品およびサービスに対するオーダーを作成する際、Cisco IOS CLI コマンドの入力時（[Advanced Order Configuration] ペインのプロビジョニング属性を設定するとき）には注意してください。自分の権限ロールによって設定できる内容が制限されることはありません。

- 属性の中には、特定のプロトコルの特定の電話タイプでサポートされないものがあります。電話のオーダーを作成する場合、選択した電話タイプとプロトコルによってサポートされる属性の値を設定するだけです。これを行わないと、オーダーが失敗する可能性があります。
  - プロビジョニング は、インターコムのコーリング サーチ スペースやルート パーティションなどのサポートされないインフラストラクチャ オブジェクトを Cisco Unified Communications Manager から同期化します。これらのサポートされないオブジェクトを プロビジョニング のオーダーで使用すると、エラーが発生します。
  - Enable Voice Gateway 機能のプロパティを N に設定すると、[Order Entry] 画面にアナログ電話が表示されます。プロパティを Y に設定した場合、この画面にアナログ電話は表示されません。
  - アナログ電話をオーダーするには、[Service Area Configuration] 画面で音声ゲートウェイ参照をサービス エリアに追加する必要があります。
-

表 10-1 は、オーダーできる各種の プロビジョニング 製品およびサービスです。

表 10-1 プロビジョニング の製品およびサービス

| 製品またはサービス               | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Enable Mobility Support | <p>現在選択されているコール プロセッサで、選択されている加入者のモビリティをイネーブルにします。</p> <p>デフォルトのパラメータを使用してオーダーする場合は、次のプロビジョニング属性が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Mobility (モビリティのイネーブル化) : True</li> <li>• Enable Mobile Voice Access (モバイル ボイス アクセスのイネーブル化) : True</li> <li>• Max Desk Pickup Wait Time (デスク選択の最長待ち時間) : 1000 ミリ秒</li> <li>• Remote Destination Limit (リモート宛先の上限) : 4</li> <li>• Primary User Device</li> </ul> <p>この製品は Cisco Unified Communications Manager 6.0.x 以降だけで利用できます。</p> <p>このリリースでは、この製品をオーダーしても Remote Destination Profile 製品をプロビジョニングすることにはなりません。Remote Destination Profile および Remote Destination Profile Line は 2 つの別個の製品であるため、2 つをオーダーして設定することができます。</p> |
| Enable Presence         | <p>コール プロセッサで加入者の Presence Server のライセンスをイネーブルにすることで、プレゼンス メッセージングを更新できるようにします。このオプションは Cisco Unified Communications Manager 8.x だけで利用できます。</p> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Enable Presence Client  | <p>コール プロセッサで加入者の Unified Personal Communicator のライセンスをイネーブルにすることで、Cisco Unified Personal Communicator を使用できるようにします。これは、Enable Presence Client および Client User Settings のバンドルです。</p> <p>[Enable Presence Client] は Cisco Unified Communications Manager 8.x だけで利用できます。この製品は、Enable Presence をオーダーする場合にのみ利用できます。</p> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Client User Settings    | <p>ユニファイド プレゼンス プロセッサで Unified Personal Communicator のユーザ設定をイネーブルにします。Client User Settings は、Enable Client Service または Presence Service などのバンドル製品を通じてのみオーダーできます。</p> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

表 10-1 プロビジョニングの製品およびサービス（続き）

| 製品またはサービス                | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Enable SoftPhone Support | <p>SoftPhone のサポートにより、ユーザは各自の PC を物理電話と組み合わせて使用するか（どちらも同時に呼び出し音が鳴ることになります）、CTI ポートを実行できます。CTI ポートは仮想電話であり、Cisco Unified Communications Manager で定義されていますが、物理的には存在しません。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager Express では SoftPhone はサポートされていません。Cisco Unified Communications Manager Express をベースとするコール プロセッサでオーダーを作成する場合は、この製品をオーダーできなくなります。</p> <p>使用可能なコール プロセッサですでに SoftPhone がサポートされている場合には、製品リストに Enable SoftPhone Support は表示されません。使用可能なコール プロセッサが存在する場合は、その特定のコール プロセッサに対して有効なサービス エリアのリストが表示されます。</p> <p>SoftPhone のサポートをオーダーする際は、ユーザのコンピュータのサーバ名または IP アドレスを [Associated PC] フィールドに指定する必要があります。</p> <p>SoftPhone のサポートはサービス エリアに基づいてイネーブルにしますが、Cisco Unified Communications Manager に関連付けられているサービス エリアが複数ある場合でも、Cisco Unified Communications Manager につき 1 回だけ SoftPhone のサポートをイネーブルにすることができます。</p> <p>SoftPhone Support 製品は、CTI ポートを使用する Cisco SoftPhone に適用されます。別のタイプの SoftPhone アプリケーションである Cisco IP Communicator は、Cisco Unified Communications Manager との通信に CTI ポートを使用しませんが、MAC アドレスを持つ標準のハードウェア電話として機能します。Cisco IP Communicator をオーダーするには、物理 Phone 製品をオーダーし、電話のタイプとして IP Communicator を選択する必要があります。</p> <p>Cisco Unified Client Services Framework が Cisco Unified Client Services Framework クライアントでデスクトップ電話として機能するには、Enable SoftPhone Support が必要です。</p> |
| Enhanced Phone Service   | <p>電話、電話回線、およびボイスメールが含まれます。回線はオーダーした電話に自動的に関連付けられ、ボイスメールは自動的に回線に関連付けられます。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager Express で Enhanced Phone Service のオーダーを作成する際は、コール転送プロビジョニング属性を入力する必要があります。オーダーの入力時には、[Advanced Order Configuration] ボタンをクリックし、[Voicemail Configuration Template] プロビジョニング属性で次のコマンドを入力します。</p> <pre>call-forward busy &lt;voice mail port/dn&gt; call-forward noan &lt;voice mail port/dn&gt; timeout &lt;seconds&gt;</pre> <p>Cisco Unity Express のサービス エリアでは、英字だけを [Voice Mail Display Name] フィールドに入力します。それ以外のタイプの文字を使用した場合、加入者のオーダーは失敗します。</p> <p>Cisco Unity Express のサービス エリアでは、インフラストラクチャまたは加入者の同期化処理中にオーダーを追加、変更、またはキャンセルすることはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

表 10-1 プロビジョニングの製品およびサービス (続き)


| 製品またはサービス                                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Extension Mobility Access または Extension Mobility Access with Line | <p>ユーザが特定の電話タイプにログインして自分の電話のデバイス プロファイルを適用できるようにします。この製品は単独で利用できるか、または回線にバンドルされています。</p> <p>Extension Mobility は、コール プロセッサが プロビジョニング に追加されたときに、オプションの拡張モビリティ詳細がコール プロセッサに対して入力された場合にだけ、オーダーに使用できます。</p> <p>SIP 電話がサポートされているサービス エリアで Extension Mobility Access のオーダーを作成する際は、7911、7941、7942、7945、7961、7962、7965、7970、7971、または 7975 の Cisco Unified IP Phone の場合にだけ、電話ボタン テンプレートを選択します。選択した電話ボタン テンプレートで Extension Mobility がサポートされていない場合、オーダーは失敗します。</p> <p>Extension Mobility は Cisco Unified Communications Manager Express または Cisco Unified Communications Manager 4.0 ではサポートされていません。</p> |
| Extension Mobility Line                                           | <p>Cisco Unified Communications Manager でデバイス プロファイルに対してオーダーされたディレクトリ番号または回線です。ユーザがすでに Extension Mobility Access を所有している場合にアップグレードとしてオーダーできます。</p> <p>Extension Mobility は Cisco Unified Communications Manager Express または Cisco Unified Communications Manager 4.0 ではサポートされていません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Line                                                              | <p>すでに電話を所有しているユーザ用に回線またはディレクトリ番号を追加するためのオーダーを作成します。新しい Line 製品のプロビジョニングでは、出荷、割り当て、受領、または追跡 (返品用) の手順は必要ありません。</p> <p>Line 製品の横にある [Upgrade] の指示は、既存の電話用に回線がオーダーされることを示します。</p> <p>コール プロセッサでは、回線の表示が 30 文字を超えることはできません。[First Name] と [Last Name] を組み合わせた文字が 30 文字を超えないようにしてください。この上限を超えた状態でオーダーを作成した場合、コール プロセッサからエラーが送信されます。</p> <p>Line 製品のエンド ユーザ アソシエーションは自動的にプロビジョニングされます。</p> <p>詳細については、「Line 製品のエンド ユーザ アソシエーション」(P.10-17) を参照してください。</p>                                                                                                                                          |
| Line on a Shared Phone                                            | <p>Line on a Shared Phone は、ユーザが同じ物理電話で独自の別回線を必要としている場合にオーダーします。この製品をプロビジョニングすると、電話とそのすべての回線が各ユーザの加入者レコードに表示されます。</p> <p>加入者レコード内で共有されている電話の横に、[Shared] アイコン () が表示されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Messaging Service                                                 | 電話、電話回線、ボイスメール、および電子メールで構成されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

表 10-1 プロビジョニングの製品およびサービス（続き）

| 製品またはサービス     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Phone         | <p>回線またはディレクトリ番号が関連付けられていない電話をオーダーします。</p> <p>SIP 電話をオーダーする際は、7911、7941、7942、7945、7961、7962、7965、7970、7971、および 7975 の Cisco Unified IP Phone の場合にだけ、Enable Extension Mobility で [Yes] を選択します。選択した SIP 電話で Extension Mobility がサポートされていない場合、オーダーは失敗します。</p> <p>デバイス名を入力する場合は、次の注意事項に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Personal Communicator の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>– デバイス名はユーザ名と一致している必要があります。</li> <li>– UPC では、オーダーがプロビジョニングされた後に自動的にデバイス名が追加されます。</li> <li>– デバイス名に使用できる文字は大文字（A ～ Z）および数字（0 ～ 9）です。他の文字はすべて無視されます。</li> <li>– デバイス名には、UPC の後に追加の 12 文字を含めることができます。</li> </ul> <p>たとえば、ユーザ名が john_jackson の場合、Cisco Unified Personal Communicator デバイス名として「JOHNJACKSON」と入力する必要があります。</p> </li> <li>• Dual Mode for iPhone の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>– プレフィックス TCT を含める必要があります。プレフィックスを入力しないと、プロビジョニングによって自動的に追加されます。</li> <li>– 最大 15 文字を使用できます（プレフィックスを含む）。</li> <li>– デバイス名に使用できる文字は英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）だけです。プロビジョニングは、デバイスに情報をプッシュする前に、すべての小文字を大文字に変換します。</li> </ul> </li> <li>• CTI ポート : 1 ～ 15 文字を使用する必要があります。有効な値は、英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）、アンダースコア（_）、ハイフン（-）、およびピリオド（.）です。</li> <li>• Cisco IP Communicator : 1 ～ 15 文字を使用する必要があります。有効な値は、英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）、アンダースコア（_）、ハイフン（-）、およびピリオド（.）です。</li> <li>• Cisco Services Framework : 1 ～ 15 文字を使用する必要があります。有効な値は英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）です。</li> </ul> |
| Phone Service | <p>電話と電話回線で構成されます。</p> <p>Phone Service をオーダーする場合、回線の最大数は電話タイプの電話ボタン テンプレートによって異なります（電話ボタン テンプレートが使用可能な場合）。Cisco Unified Communications Manager Express では電話ボタン テンプレートを使用できないため、回線の最大数は各電話タイプの製品カタログで定義されます。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager Express 用に Phone Service のオーダーを作成する際は、次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロビジョニング は常に 2 回線の ephone-dn をプロビジョニングします。</li> <li>• 加入者の同期中、プロビジョニング は、1 回線、2 回線、および 8 回線のすべての ephone-dn を同期させます。</li> <li>• デバイスには孤立した ephone-dn（ephone によって使用されていない ephone-dn、または ephone に関連付けられていない ephone-dn）を持たせないでください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |



表 10-1 プロビジョニングの製品およびサービス (続き)

| 製品またはサービス                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Remote Destination Profile         | <p>加入者用の Remote Destination Profile をオーダーし、加入者の属性を設定し、Single Number Reach (SNR) をサポートする Remote Destination Profile Line を選択または設定できるようにします。</p> <p>Remote Destination Profile では、所有者の変更処理と交換処理はサポートされません。</p> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Remote Destination Profile Line    | <p>1 つの Remote Destination Profile で無制限の Remote Destination Profile Line をオーダーします。Remote Destination Profile Line は、回線の自動割り当てまたは選択されたタイプをサポートします。</p> <p>加入者間で Remote Destination Profile Line を共有でき、同じ接続先を Remote Destination Profile、Line、および Enable Mobility Access Line で共有できます。この場合、回線のすべてのタイプが共有回線として表示されます。</p> <p>Remote Destination Profile では、Voice Mail または Extension Mobility を Line 製品でオーダーするようにオーダーできます。</p> <p>Remote Destination Profile のオーダーは、加入者ロールでは可能ですが、疑似ユーザではできません。</p> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p>                  |
| Remote Destination Profile Service | <p>このコール プロセッサを共有するためにすべてのサービス エリアの Remote Destination Profile サービスをイネーブルにします。また、Remote Destination Profile Line を追加します。</p> <p>Remote Destination Profile のオーダーは、加入者ロールでは可能ですが、疑似ユーザではできません。</p> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Single Number Reach Service        | <p>Enable Mobility、Remote Destination Profile、および Remote Destination Profile Line を設定します。</p> <p>デスクトップ電話でモビリティを動作させるには、次の手順を実行する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Phone および Remote Destination Profile の回線を共有するように設定します。</li> <li>• Remote Destination に使用されるユーザ ID を Owner に設定します。</li> <li>• Cisco Unified Communications Manager でソフトキー テンプレートを作成して、これをデスクトップ電話に割り当てます。Provisioning では、ソフトキーのカスタマイズはサポートされていません。Cisco Unified Communications Manager でテンプレートをカスタマイズする必要があります。</li> </ul> <p>加入者ロールに製品を関連付けるまでオーダーについては、この製品を参照できません。<br/>(「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照)。</p> |

表 10-1 プロビジョニングの製品およびサービス（続き）

| 製品またはサービス                              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Unified Messaging                      | <p>すでに電子メールとボイスメールを所有している場合、Unified Messaging 機能を追加するためのオーダーを作成できます。Unified Messaging 機能により、ボイスメールからの電子メールの取得と、電子メールからのボイスメールの取得が可能になります。</p> <p>Cisco Unity では、Text-to-Speech (TTS; テキスト/スピーチ) 機能をイネーブル化することになります。Cisco Unity Connection では、TTS 機能と Internet Mail Access Protocol (IMAP) 機能をイネーブル化することになります。</p> <p>Unified Messaging 製品の横にある [Upgrade] の指示は、Unified Messaging 機能を含めるように既存の電子メールとボイスメールがアップグレードされることを示します。</p>                                                                                            |
| Unified Messaging Service <sup>1</sup> | <p>Unified Messaging Service のオーダーには、Line、Phone、Voicemail and Email、Unified Messaging の各製品が含まれます。</p> <p>ユーザが利用できる製品およびサービスのリストは、ユーザ ロールと プロビジョニング のシステム設定に基づきます。必要な製品およびサービスを含めるようにこのリストを変更する場合は、プロビジョニング の管理者に問い合わせてください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| User Services                          | <p>コール プロセッサで加入者の Presence Server 設定をイネーブルにすることで、プレゼンス メッセージングをイネーブルにします。</p> <p>User Services を設定するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Provisioning にプレゼンス サーバを追加し、インフラストラクチャの同期化を実行します。</li> <li>2. オーダーに使用するサービス エリアに Presence Server を追加します。</li> </ol> <p>(注) User Services は Cisco Unified Communications Manager 9.0 以降だけで利用できます。</p>                                                                                                                                                      |
| Voicemail and Email（バンドル）              | <p>ユーザがすでに回線を所有している場合、追加の Voicemail and Email 製品のオーダーを作成します。</p> <p>Voicemail and Email Service 製品の横にある [Upgrade] の指示は、ボイスメールと電子メールを含めるように Line 製品がアップグレードされることを示します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager Express でボイスメールのオーダーを作成する際は、コール転送プロビジョニング属性を入力する必要があります。オーダーの入力時には、[Advanced Order Configuration] ボタンをクリックし、[Voicemail Configuration Template] プロビジョニング属性で次のコマンドを入力します。</p> <pre>call-forward busy &lt;voice mail port/dn&gt; call-forward noan &lt;voice mail port/dn&gt; timeout &lt;seconds&gt;</pre> |

表 10-1 プロビジョニングの製品およびサービス（続き）

| 製品またはサービス              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Voicemail（個別）          | <p>ユーザがすでに回線を所有している場合、追加の Voicemail 製品のオーダーを作成します。</p> <p>Voicemail 製品の横にある [Upgrade] の指示は、ボイスメールを含めるように Line 製品がアップグレードされることを示します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager Express でボイスメールのオーダーを作成する際は、コール転送プロビジョニング属性を入力する必要があります。オーダーの入力時には、[Advanced Order Configuration] ボタンをクリックし、[Voicemail Configuration Template] プロビジョニング属性で次のコマンドを入力します。</p> <pre>call-forward busy &lt;voice mail port/dn&gt; call-forward noan &lt;voice mail port/dn&gt; timeout &lt;seconds&gt;</pre> |
| Email（個別） <sup>1</sup> | <p>ユーザがすでに回線を所有している場合、追加の Email 製品のオーダーを作成します。</p> <p>Email 製品の横にある [Upgrade] の指示は、電子メールを含めるように Line 製品がアップグレードされることを示します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

1. Cisco Unity の Email または Unified Messaging Service をオーダーした後、[Subscriber Record Details] ページの電子メール アドレスに完全なドメイン情報が付加されるまでには最初の遅延があります。完全な E メール アドレスを表示するには、オーダー後に加入者の同期化およびドメインの同期化を実行する必要があります。

表 10-2 サポートされる Cisco Unity 製品およびサービス

| Cisco Unity デバイス | 製品およびサービス                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Cisco Unity      | <p>オーダー可能なもの：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Voicemail and Email（バンドル）</li> <li>Unified Messaging</li> <li>Unified Messaging Service</li> <li>Messaging Service</li> </ul> <p>オーダー不可能なもの：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Voicemail または Email（個別）</li> <li>Enhanced Phone Service</li> </ul> |

表 10-2 サポートされる Cisco Unity 製品およびサービス（続き）

| Cisco Unity デバイス       | 製品およびサービス                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Cisco Unity Connection | オーダー可能なもの： <ul style="list-style-type: none"> <li>Voicemail and Email（バンドル）</li> <li>Voicemail または Email（個別）</li> <li>Enhanced Phone Service</li> <li>Unified Messaging</li> <li>Unified Messaging Service</li> <li>Messaging Service</li> </ul>                                                           |
| Cisco Unity Express    | オーダー可能なもの： <ul style="list-style-type: none"> <li>Enhanced Phone Service</li> <li>Voicemail</li> </ul> オーダー不可能なもの： <ul style="list-style-type: none"> <li>Unified Messaging</li> <li>Unified Messaging Service</li> <li>Voicemail and Email（バンドル）</li> <li>Email（個別）</li> <li>Messaging Service</li> </ul> |

## オーダー処理の例

すべての製品およびサービスについて、オーダーの作成は同じ基本手順に従います。ここでは、Unified Messaging Service のオーダー手順の例を示します。

ユーザは必ずしもすべての製品およびサービスにアクセスできるわけではありません。特定のユーザの加入者レコードに表示される製品およびサービスのリストは、次の条件によって異なります。

- ユーザに割り当てられているユーザ ロール、およびユーザが利用できるドメインとサービス エリア。
- サービス エリア内で配信をサポートするためのリソースを利用できるかどうか（たとえば、Unified Messaging を提供するには Cisco Unity または Cisco Unity Connection システムが利用できる必要があります）。
- プロビジョニング のシステム設定。
- 製品の依存関係：
  - Line には既存の Phone が必要です。
  - Voicemail and Email には既存の Line が必要です。
  - Unified Messaging には Email が必要です。
  - Extension Mobility Line には Extension Mobility Access が必要です。

表 10-3 では、製品およびサービスをオーダーするための各種のフィールドについて説明します。これらのフィールドがオーダー処理中に表示される場合、それらは常に必須です。

表 10-3 [Order Entry] のフィールド

| GUI 要素                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Associated PC             | SoftPhone のサポートで使用するコンピュータの名前（DNS による解決が可能なもの）または IP アドレスです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Email ID                  | 電子メール ID を入力します。スペースを含めることはできません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Display Name (Email)      | 電子メールの [From] フィールドで使用する名前を入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Enable Extension Mobility | [Yes] または [No] を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Extension Mobility Line   | 次のいずれかを選択します。<br>Auto-assigned : システムによってディレクトリ番号が自動的に割り当てられます。<br>Chosen Line : ユーザがディレクトリ番号を指定します。ディレクトリ番号にはダッシュやスペースを含めることはできません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Line Type                 | 次のいずれかを選択します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>Auto-assigned : システムによってディレクトリ番号が自動的に割り当てられます。</li> <li>Chosen Line : ディレクトリ番号を指定します。ディレクトリ番号にはダッシュやスペースを含めることはできません。</li> </ul> 回線が設定された後で、ページの右側の保存 (  ) アイコンをクリックして設定を保存します。<br>選択すると、ページに [Advanced Order Configuration] オプションが表示されます。回線のプロビジョニング属性を設定します。[Copy Line] フィールドから回線を選択して [Done] をクリックし、同じ電話の設定した回線のプロビジョニング属性をコピーすることもできます。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Directory Number          | ディレクトリ番号をフィールドに入力することも、[Chooser] アイコン (  ) をクリックしてディレクトリ番号を選択することもできます。<br>[Chooser] アイコンをクリックすると、ディレクトリ番号検索ページが表示されます。ディレクトリ番号検索ページを使用するには、次の手順を実行します。<br><ol style="list-style-type: none"> <li>ディレクトリ番号検索ページで、次から検索基準を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Directory Number : 検索する特定の番号を入力します。</li> <li>Available DNs : オンにすると、プロビジョニング データベース内の使用可能なすべてのディレクトリ番号が表示されます。</li> <li>Reserved DNs : オンにすると、オーダーを作成する加入者用に予約されたディレクトリ番号が表示されます。</li> <li>DN Blocks : オーダーを作成するサービス エリア用に設定されたディレクトリ番号のブロックが表示されます。</li> </ul> </li> <li>[Find] をクリックします。<br/>検索結果が表示されます。</li> <li>対象のディレクトリ番号をクリックします。<br/>番号が [Directory Number] フィールドに入力されます。</li> </ol> |


表 10-3 [Order Entry] のフィールド (続き)

| GUI 要素                              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Line Position                       | <p>オーダー処理中は、電話で使用可能な回線ポジションの一覧のページが表示されます。回線ポジションの隣は、回線ポジションが使用可能かどうかを示しています。</p> <p>回線ポジションのページでは、次の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回線タイプを設定：回線の隣の [Not Assigned] をクリックし、次のページで回線タイプを設定します。回線が設定された後で、ページの右側の保存 (  ) アイコンをクリックして設定を保存します。</li> <li>ポジションの変更：回線ポジションの横の上または下の矢印キーを押します。</li> </ul> <p>Cisco Unified Communications Manager Express または Extension Mobility Access Lines では回線ポジションはサポートされていません。</p> |
| Selected Phone                      | リストから電話を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| MAC Address                         | (任意) MAC アドレスを選択するか入力します。アナログ電話の場合は、選択した音声ポートに基づいて MAC アドレスが生成されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Phone Type                          | リストから電話タイプを選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Target Phone                        | リストから対象の電話を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Phone Button Template               | 使用可能な電話ボタン テンプレートのリストです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Analog Voice Gateway Reference      | <p>アナログ音声ゲートウェイ参照を選択します。</p> <p>加入者の同期化を実行する前に、インフラストラクチャの同期化を実行する必要があります。加入者の同期化において、同期化されたアナログ電話が、IM には存在しない音声ゲートウェイ参照に関連付けられていた場合、その音声ポート インスタンスの作成および関連付けはスキップされます。この結果、そのアナログ電話は CUPM を使用して管理できなくなります。</p> <p>アナログ電話の同期化および IM インスタンスの作成は、バージョン 6.x 以上のコール プロセッサでのみ実行できます。バージョン 5.x 以下のコール プロセッサでは、アナログ電話のインスタンス作成はスキップされます。これは、アナログ音声ゲートウェイのサポートがバージョン 6.x 以上のコール プロセッサでのみ提供されるためです。</p>                                                                                                                           |
| Name                                | Remote Destination Profile の名前が表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Description                         | Remote Destination Profile の説明が表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Selected Remote Destination Profile | 選択された Remote Destination Profile の名前が表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Service Area                        | <p>使用可能なサービス エリアのリストです。</p> <p>サービス エリアにユニファイドメッセージ プロセッサとして Unity Connection が設定されており、Unity Connection に外部電子メール サーバがない場合、電子メールのオーダーを行う際に プロビジョニング ではこのサービス エリアがオプションとして表示されません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Unified Messaging                   | Unified Messaging をイネーブル化できる使用可能な電子メールのリストです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

表 10-3 [Order Entry] のフィールド（続き）

| GUI 要素                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Use Dummy MAC Address        | <p>Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) に使用されます。[Y] を選択した場合は、プロビジョニングによってダミーの MAC アドレスを持つ電話が作成されます。この MAC アドレスはシステムで一意になります。</p> <p>TAPS 電話を Cisco Unified Communications Manager でプロビジョニングし、実際の MAC アドレスに更新した後、プロビジョニングで加入者とドメインの同期を実行する必要があります。それによって、プロビジョニング内のダミーの MAC アドレスが実際の MAC アドレスに更新されます。</p> <p>ダミーの電話がオーダーされた後の変更オーダーやキャンセル オーダーでは、加入者とドメインの同期の必要はありません。</p>                                                                                                                            |
| Voicemail Alias              | ボイスメールのエイリアスを入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Voicemail Display Name       | ボイスメールの表示名を入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Voiceport                    | [Analog Voice Gateway Reference] フィールドに基づいて、該当する音声ポートが設定されます。占有されているポートおよび使用可能なポートのリストを表示できます。使用可能なポートのみオーダー用に選択できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Advanced Order Configuration | <p>オーダーしたサービスまたは製品の使用可能なプロビジョニング属性が表示されます。このページでは、オーダーを作成する際のプロビジョニング属性を設定できます（プロビジョニング属性の詳細については、「<a href="#">プロビジョニング属性の設定</a>」(P.11-15) を参照してください）。</p> <p>[Advanced Order Configuration] オプションの隣のプラス記号 (+) をクリックしてこのペインを展開します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager 内で数値が指定されているプロビジョニング属性の値の設定を解除するには、値として 0 を入力する必要があります。値を消去しただけでは、Cisco Unified Communications Manager 内のプロビジョニング属性は解除されません。</p> <p>[Advanced Order Configuration] は、Advanced Ordering（高度なオーダー）権限ロールが割り当てられているユーザだけが使用できます。</p> |

表 10-3 [Order Entry] のフィールド (続き)

| GUI 要素                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Choose a reserved phone | <p>予約済みの電話の一覧の検索ページを開きます。予約済みの電話は特定の加入者のために予約されています。</p> <p></p> <p>(注) 予約済みの電話は、アナログ電話に関してはサポートされません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Copy phone              | <p>加入者ロールでサポートされたシステムのすべての電話を表示する検索ページを開きます。電話をコピーして、既存の電話と同じ設定で新しい電話をプロビジョニングすることができます。</p> <p>設定をコピーするには、検索ページで電話を選択し、[OK] をクリックして電話の設定を新しい電話にコピーすることを確認します。</p> <p>この機能を使用できるのは、Advanced Ordering (高度なオーダー) 権限ロールを持つユーザだけです。</p> <p>グローバル アクセスを行うことができる場合は、電話が同じコール プロセッサに属していれば、管理対象電話および管理対象外電話を含めた、加入者がオーダー可能なすべての電話をコピーできます。</p> <p>ドメイン アクセスを行うことができる場合は、電話が同じコール プロセッサに属していれば、加入者がオーダー可能で、ユーザの管理可能なドメイン内にある管理対象電話だけをコピーできます。</p> <p>これは、各電話に固有の設定が存在するため、すべての設定が新しい電話にコピーされないからです。次の設定は新しい電話にコピーされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Directory Number</li> <li>• MAC Address</li> <li>• Device Description</li> </ul> <p>電話がコピーされても、サービスは新しい電話にコピーされません。たとえば、回線、ボイスメール、電子メールが電話に存在する場合、これらは新しい電話にコピーされません。さらに、電話に関連付けられている設定専用の属性もコピーされません。</p> <p>Copy phone を使用してコピーできるのは、オーダーの作成時に設定されたプロビジョニング属性のみです。</p> <p>コピーされた電話の Cisco Unified Communications Manager のバージョンで属性がサポートされない場合、またはコピーされた電話のタイプで属性がサポートされない場合、その属性は新しい電話ではクリアされます。</p> <p>アナログ電話のみ、別のアナログ電話にコピーすることができます。IP 電話をアナログ電話にコピーすることはできません。</p> <p>電話をコピーする場合、追加オーダー時に設定されたプロビジョニング属性は、コピーされるのみです。</p> <p>オーダーが完了すると、Cisco Unified Communications Manager で、[Overriding Common settings] チェックボックスがオンになります。つまり、新しい電話のデフォルト属性は変更されています。</p> |

**ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。

**ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。





**ヒント** • [New Order] をクリックすると、[Subscriber Record] ページから新しいオーダーを開始できます。

- ステップ 3** [Subscriber Record Details] ページで、[New Order] をクリックします。  
右側ペインに [Order Entry] ウィザードが表示されます。
- ステップ 4** サービス エリアを選択して [Continue] をクリックします。  
オーダー可能な製品が表示されます。このページには、オーダー可能な製品だけが表示されます。
- ステップ 5** オーダーする製品を選択し、[Continue] をクリックします。
- ステップ 6** [Order Entry] ウィザードで、製品に必要な情報を入力します（フィールドの説明については、表 10-3 を参照してください）。  
オーダーを作成する際は、次の点に注意してください。
- 利用できるサービス エリアが複数ある場合は、選択のためのドロップダウン リストが表示されます。
  - [Basic <Product Type> Information] ペインでは、選択した製品の仕様を入力できます。
  - [Advance Order Configuration] ペインを使用すると、オーダーしたサービスまたは製品のプロビジョニング属性にアクセスできます。[Advanced Order Configuration] ペインにアクセスできるのは、Advanced Order（高度なオーダー）または Administrator（管理者）権限ロールが割り当てられているユーザだけです。プロビジョニング属性の詳細については、「[プロビジョニング属性の設定](#)」(P.11-15) を参照してください。



**(注)** Cisco Unified Communications Manager 内で数値が指定されているプロビジョニング属性の値の設定を解除するには、値として 0 を入力する必要があります。値を消去しただけでは、Cisco Unified Communications Manager 内のプロビジョニング属性は解除されません。

- ステップ 7** [Continue] をクリックしてオーダー処理を開始します。
- ステップ 8** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 9** オーダーの確認ペインで [OK] をクリックします。オーダー番号が、加入者レコードの [View Orders] セクションに表示されます。

## Line 製品のエンド ユーザ アソシエーション

プロビジョニング向けの次の Line 製品をオーダーした場合、Line 製品のエンド ユーザ アソシエーションは Cisco Unified Communications Manager デバイスに対して自動的にプロビジョニングされます。

- Line
- Line on a Shared Phone
- Extension Mobility Line
- Remote Destination Profile Line

エンド ユーザは、Phone、Extension Mobility Access、または Remote Destination Profile に関連付けられている主加入者またはオーダーを行った加入者を指します。

アソシエーションは、次のルールに基づいて作成されます。

- Line 製品の ADD オーダーの場合、すべての Line 製品に対してアソシエーションが自動的にプロビジョニングされます。
- Line 製品の Change オーダーの場合、アソシエーションは次のように作成されます。
  - エンド ユーザ アソシエーションが存在しない場合、オーダーを行った加入者 ID と Line 製品との間でアソシエーションがプロビジョニングされます。
  - エンド ユーザ アソシエーションが存在していてオーダーを行った加入者 ID がすでに関連付けられている場合、アソシエーションが保持されます。
  - エンド ユーザ アソシエーションが存在していてオーダーを行った加入者 ID が関連付けられていない場合、既存の加入者とともにオーダーを行った加入者に対して新しいアソシエーションがプロビジョニングされます。
- Line 製品のキャンセル オーダーの場合、製品自体がデプロビジョニングされているため、エンド ユーザ アソシエーションもまた Cisco Unified Communications Manager から削除されます。
- 電話オーダーを変更または交換する場合は、電話のタイプに基づいてサポートされる値を入力する必要があります。有効な値を入力しないと、オーダーは回復不能な状態になります。たとえば、iPhone および Nokia では特定の値のセットがサポートされます。
- 電話の Replace オーダーの場合、古い電話のエンド ユーザ アソシエーションが保持されます。
- 所有者変更の場合（IP Phone にのみ適用）
  - 以前の所有者の改選に関連付けられているエンド ユーザは、新しい所有者のアソシエーションに置き換える必要があります。
  - 登録ユーザから疑似ユーザに電話の所有者を変更する場合、アソシエーションがデプロビジョニングされます。
  - 疑似ユーザから通常のユーザに所有者を変更する場合、アソシエーションが追加されます。

プロビジョニングによって回線がプロビジョニングされていない場合、回線がプロビジョニングに同期されると、Cisco Unified Communications Manager で回線のエンド ユーザ アソシエーションが作成されないことがあります。

この場合、Line to End-user Association ユーティリティを実行する必要があります。このユーティリティを実行しない場合、主内線以外の回線のプレゼンス ステータスがレポートされず、Single Number Reach Service 製品が正しく動作しなくなります。

Line to End-user Association ユーティリティの実行については、

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps12363/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12363/prod_installation_guides_list.html) を参照してください。

## 加入者の同期化

加入者の同期化中は、Provisioning によって、デバイスにある Line オブジェクトのすべてのエンド ユーザ アソシエーションが同期されます。

- 6.0.x 以降のバージョンの Cisco Unified Communications Managers だけが、このアソシエーションとプロビジョニングされます。
- このアソシエーションは、疑似加入者には提供されません（「Pseudo 加入者ロールの使用」（P.8-10）を参照）。

### 制限事項

関連付けられたエンド ユーザのリストに設定されている特定のエンド ユーザを削除することはできません。この制限に対処するには、デバイスからユーザのアソシエーションを手動で削除して、Cisco Unified Communications Manager を Provisioning と同期させます。

## 共有電話および共有回線のオーダー

プロビジョニングの中で共有電話と共有回線の両方を設定できます。次のシナリオが可能です。

- 共通共有回線：複数のユーザが異なる電話から同じ回線を共有します。
- 主共有回線：複数のユーザが異なる電話から同じ回線を共有しますが、すべてのユーザについて 1 人のユーザの回線ディスプレイ（ヘルプ デスクなど）が使用されます。ユーザは、共有回線とは別に独自の回線を所有することもできます。
- 共有電話：複数のユーザが同じ電話を共有しますが、その電話から別々の回線を所有します。

## 共有電話および共有回線のオーダーに関する特記事項

共有電話および共有回線をオーダーする際は、次の点に注意してください。

- ボイスメール、電子メール、およびユニファイド メッセージングを装備している回線がすでに存在する共有電話に対して、2 番目の加入者が回線をオーダーした場合、それらの 1 番目の回線の製品は、その加入者の加入者レコードに表示されません。共有回線をオーダーした場合もこのようになります。
- 2 番目の加入者が共有電話を削除した場合、その共有電話は 1 番目の加入者の加入者レコードに引き続き表示され、Cisco Unified Communications Manager にも引き続き存在します。ただし、2 番目の加入者が共有電話の回線を削除した場合には、その回線は 1 番目の加入者の加入者レコードから削除され、Cisco Unified Communications Manager からも削除されます。
- 2 番目の加入者が共有回線を削除した場合、その共有回線は Cisco Unified Communications Manager 上で 2 番目の加入者の電話から削除されます。ただし、1 番目の加入者の加入者レコードには引き続き表示され、Cisco Unified Communications Manager 上で 1 番目の加入者の電話にも引き続き存在します。
- 1 番目の加入者は、2 番目の加入者の回線に対して新しいボイスメールをオーダーしないようにしてください（オーダーした場合、ボイスメールが独自の加入者レコードに表示されます）。この場合、ボイスメールは同じディレクトリ番号ですでに存在するため、Cisco Unity で 2 番目のボイスメールは機能しません。
- 共有回線に設定されているディレクトリ番号プロビジョニング属性に対して行われた変更も、ディレクトリ番号が同じすべての回線に適用されます。新規の共有回線には既存の回線のディレクトリ番号属性が適用されます。
- 1 番目の加入者が共有回線または電話を削除すると、その共有回線または電話のアソシエイトは 2 番目の加入者に移ります。

回線に対して使用できるディレクトリ番号属性は次のとおりです。

- AAR Group
- Alerting Name
- Auto Answer
- Call Pickup Group
- Calling Search Space

- Forward All
- Forward Busy Internal
- Forward Busy External
- Forward No Answer Internal
- Forward No Answer External
- Forward No Coverage Internal
- Forward No Coverage External
- Unregistered Internal
- Unregistered External
- MLPP Calling Search Space
- MLPP No Answer Ring Duration
- MLPP Target
- Network Hold Audio Source
- No Answer Ring Duration
- Route Partition
- User Hold Audio Source
- Voicemail Profile

## 共通共有回線の設定

複数のユーザが各自の電話で回線を使用することによって同じディレクトリ番号を共有する、というシナリオを設定できます。

- ユーザ名はそれぞれ、各自の電話における共有回線上に表示されます。
- 他の人に電話をかけると、発信者 ID にはユーザ名が表示されます。
- ユーザの各自の電話と共有回線はそれぞれ、各自の加入者レコードに表示されます。

### 共通共有回線の設定手順の例

- 
- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。
- ステップ 3** [Subscriber Record Details] ページで、[New Order] をクリックします。  
右側ペインに [Order Entry] ウィザードが表示されます。
- ステップ 4** サービス エリアを選択して [Continue] をクリックします。
- ステップ 5** [Line on a Shared Phone] を選択し、[Continue] をクリックしてオーダー処理を開始します。  
[Configure Product] ページが表示されます。
- ステップ 6** 次の手順を実行します。
- [Chosen Line for the line on a shared phone type] を選択します。
  - 回線の [Line Position] を選択します。
  - 対象の電話を指定します。

- 共有回線のディレクトリ番号を指定します。

- ステップ 7** [Advanced Order Configuration] ペインを展開します。
- ステップ 8** [Directory Number Information] ペインで、ディレクトリの Route Partition を選択します。
- ステップ 9** [Directory Number Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 10** [AAR Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 11** [Call Forward and Call Pickup Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 12** [MLPP Alternate Party Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 13** [Line Particular Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 14** [Call Waiting Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 15** [Forwarded Call Information Display] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 16** [Line Group Configuration] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 17** [Set-only Provisioning Attributes Settings] ペインに必要な情報を入力します。
- ステップ 18** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 19** 残りの各ユーザについて上記の手順を繰り返します。

## 主共有回線の設定

複数の加入者が各自の電話から同じ回線を共有するものの、主加入者の回線ディスプレイが他の加入者よりも優先される、というシナリオを設定できます。

- 1 人の主ユーザと 1 人または複数の副ユーザの全員が、同じ回線を共有できます。
- 主ユーザの回線ディスプレイは、すべての加入者の電話における共有回線上に表示されます。
- 副加入者が共有回線を使用してコールを発信すると、発信者 ID に、主加入者の回線ディスプレイが表示されます。
- 副加入者の加入者レコードには、共有回線と、各自の個々の回線が表示されます。
- 主加入者の加入者レコードには、3 つすべての共有電話と 3 つすべての回線、および個々の加入者の回線が表示されます。

### 主共有回線の設定手順の例

このシナリオでは、ヘルプ デスクは主ユーザであり、副ユーザ 1 および 2 と回線を共有しています。

| ユーザ   | 回線ディスプレイ  | 宛先番号 |
|-------|-----------|------|
| 主ユーザ  | Help Desk | 123  |
| ユーザ 1 | ユーザ 1     | 321  |
| ユーザ 2 | ユーザ 2     | 345  |



- (注)** すべての電話について、共有回線に対応するキャパシティを備えた電話モデルを選択していることを確認してください。

- 
- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。  
検索結果のページが表示されます。
- ステップ 3** [User 1] をクリックします。  
[Subscriber Record Details] ページが表示されます。
- ステップ 4** 左側ペインで、[New Order] をクリックします。  
右側ペインに [Order Entry] ウィザードが表示されます。
- ステップ 5** サービス エリアを選択して [Continue] をクリックします。
- ステップ 6** [Phone Service] を選択し、[Continue] をクリックします。
- ステップ 7** [Not Assigned] リンクをクリックして回数のタイプを割り当てます。
- ステップ 8** ディレクトリ番号に 321 を指定します（「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照）。
- ステップ 9** ユーザ 2 について [ステップ 1](#) ～ [ステップ 8](#) を繰り返しますが、ディレクトリ番号を 345 と指定します。
- ステップ 10** 主ユーザ（ヘルプ デスク）について [ステップ 1](#) ～ [ステップ 8](#) を繰り返しますが、宛先番号を 123 と指定します。
- ステップ 11** [ステップ 1](#) を繰り返します。
- ステップ 12** [Primary User] をクリックします。
- ステップ 13** 新しい [Line on Shared Phone] を選択し、必ず次の手順を実行します。
- [Chosen Line] を選択します。
  - ディレクトリ番号を 123 と指定します。
  - ユーザ 1 の電話の MAC アドレスを選択します。
- ステップ 14** [ステップ 12](#) を繰り返し、必ず次の手順を実行します。
- [Chosen Line] を選択します。
  - ディレクトリ番号を 123 と指定します。
  - ユーザ 2 の電話の MAC アドレスを選択します。
- ステップ 15** [Confirm] をクリックします。
- 

## 共有電話の設定

2 人以上の加入者が同じ電話を共有するものの、それぞれ独自の回線と回線ディスプレイ情報を持つ、というシナリオを設定できます。

- 各加入者の回線ディスプレイは、共有電話の各自の回線に表示されます。
- 他の人に電話をかけると、発信者 ID には、該当する加入者の回線ディスプレイが表示されます。
- 各加入者の加入者レコードには、共有電話、自分の回線、および他の加入者の回線が表示されません。

- 
- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。  
[Subscriber Record Details] ページが表示されます。

- ステップ 3** [Phone Service] を選択します（「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照）。電話の MAC アドレスを書き留めておきます。



(注) 2 回線をサポートする電話をオーダーする必要があります。

- ステップ 4** 2 番目の加入者について **ステップ 1** ～ **ステップ 3** を繰り返します。

- ステップ 5** [Line on Shared Phone] を選択します。[Target Phone] フィールドで、1 番目の加入者に関する電話の MAC アドレスを選択します。

加入者レコードで、共有電話の横に [Shared] アイコン (👤) が表示されます。

## Presence Services のオーダー

Presence Service をオーダーするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。

- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。

- ステップ 3** [Subscriber Record Details] ページで、必要なユーザを選択し、[New Order] をクリックします。  
右側ペインに [Order Entry] ウィザードが表示されます。

- ステップ 4** サービス エリアを選択して [Continue] をクリックします。

- ステップ 5** [User Services] を選択してから [Continue] をクリックし、User Services 製品を設定します。



(注) User Services 製品は Cisco Unified Communications Manager 9.x 以降だけで利用できます。



(注) Provisioning 9.0 にアップグレードすると、User Services 製品をオーダーに使用できなくなります。対応する加入者ロールにこの製品を手動で関連付ける必要があります。「加入者ロールタイプへの製品の割り当て」(P.8-11) を参照してください。

表 10-4 に、User Services を設定するためのさまざまなフィールドの説明を示します。

表 10-4 User Services の入力フィールド

| フィールド                                      | 説明                                                     |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| Enable User for Unified CM IM and Presence | Unified CM IM および Presence をイネーブルまたはディセーブルにするために使用します。 |
| Home Cluster                               | このクラスタがエンド ユーザに対してホーム クラスタであるかどうかを示します。                |
| UC Service Profile                         | サービス プロファイルをエンド ユーザに関連付けるために使用します。                     |

- ステップ 6** [Continue] をクリックします。

**ステップ 7** [Order confirmation] ページで、[Confirm] をクリックします。

## 関連付けられた加入者のない電話の管理

プロビジョニングを使用すると、Cisco Unified Communications Manager でユーザに関連付けられていない電話を管理できます。プロビジョニングでは、これらの電話を疑似加入者ロールを持つ加入者に関連付ける必要があります。

関連付けられた加入者のない電話の管理では、次の内容について説明します。

- 「関連付けられた加入者のない既存の電話の使用」(P.10-24)
- 「関連付けられた加入者のない電話のオーダー」(P.10-24)

## 関連付けられた加入者のない既存の電話の使用

ここでは、関連付けられた加入者のない既存の電話の一覧を作成する方法について説明します。また、これらの電話を加入者に関連付ける方法について説明します。

- ステップ 1** 関連付けられたユーザのないすべての電話をファイルにエクスポートします（「[ユーザが関連付けられていない電話機のエクスポート](#)」(P.4-10) を参照）。
- ステップ 2** エクスポートしたファイルを修正して、各電話を新しい疑似加入者または対象の既存の加入者に関連付けます。
- ステップ 3** 修正したファイルを使用してバッチ プロジェクトを作成し、次に、ファイルをアップロードして実行します（「[インフラストラクチャ製品のプロビジョニング](#)」(P.6-13) を参照）。
- ステップ 4** バッチ プロジェクトの完了では、ドメインの同期化を実行して電話にサービス エリアを割り当て、電話が加入者レコードに表示されるようにする必要があります。



(注)

サービス エリアがファイルに表示される場合、ドメインの同期化が実行されると、電話がサービス エリアに割り当てられます（正確に一致する場合）。ドメインが限定されない同期化ルールを使用するよう設定されている場合、電話は最初に利用可能なサービス エリアに割り当てられます。

## 関連付けられた加入者のない電話のオーダー

関連付けられている加入者のない電話をオーダーする場合は、Pseudo 加入者ロールが割り当てられている加入者を使用する必要があります（「[Pseudo 加入者ロールの使用](#)」(P.8-10) を参照）。Pseudo 加入者ロールでは、コール プロセッサの関連付けられたユーザのない電話をプロビジョニングすることができます。

これにより、コール プロセッサのユーザに関連付けられていない電話を表示または管理できます。電話が加入者レコードに追加されると、所有者の変更処理を実行して通常のユーザに電話を関連付けることができます。



(注)

加入者にサービスが設定されていない場合だけ、加入者ロールを疑似ロールから通常のロールに変更するか、またはその逆の変更が可能です。



疑似加入者に電話のプロビジョニングを行う方法は、通常の加入者と同じです。コール プロセッサにユーザが作成されていない場合は異なります。

疑似加入者向けの次の基本製品を含む製品をオーダーできます。

- Phone（すべての電話タイプを含む）
- Line
- Voicemail
- Email
- Unified Messaging

## 既存の電話の交換

交換機能を使用して、加入者の既存の電話を交換したり、電話の MAC アドレスを変更したり、または他の電話の設定を更新したりできます。



(注) 交換機能では割り当てられた回線の回線ポジションを変更できません。

同じ電話タイプを選択するか、加入者が利用できるその他の電話タイプのリストから選択できます。加入者がアクセスできる電話タイプは、加入者のロールと、交換する電話の回線数によって決まります。必要な回線数をサポートしていない電話は、変更オーダー処理では利用できません。

電話を交換すると、そのすべての回線が新しい電話に移されます。新しい電話に割り当てられるサービスエリアは、元の電話のものと同じです。

Ordering（オーダー）権限ロールを持つユーザは、自分の電話や他の加入者の電話を交換できます。

電話交換オーダーを作成する際は、次の点に注意してください。

- プロビジョニングでサポートされておらず、電話交換オーダーの前に電話に存在していた属性はすべて、デフォルト値にリセットされるか、電話から削除されます。プロビジョニングでサポートされている属性の一覧については、表 11-1 の「[プロビジョニング属性の説明](#)」を参照してください。
- 元の電話に割り当てられていた回線は新しく追加した電話に関連付けられます。ただし、新しく選択され関連付けられた電話ボタン テンプレートで、元の電話と同様に、割り当てられた回線の同じ番号（または、その番号を含む複数の番号）がサポートされている必要があります。
- 電話交換オーダーを実行すると、ドメイン用に設定されたサービスだけが維持されます。それ以外のサービスが電話に存在する場合、それらのサービスは削除されます。
- 属性の中には、特定のプロトコルの特定の電話タイプでサポートされないものがあります。電話のオーダーを作成する場合、選択した電話タイプとプロトコルによってサポートされる属性の値を設定するだけです。これを行わないと、オーダーが失敗する可能性があります。
- 電話オーダーを交換する場合、電話タイプに基づいて DND Option 属性に、サポートされる値を指定する必要があります。Nokia や iPhone などのいくつかの電話では、この属性について値が 1 つしかサポートされませんが、他の電話では最大で 3 つまたは 4 つの値がサポートされます。DND Option に不適切な値を入力すると、オーダーは交換されません。



## ヒント

同じ電話タイプと同じ MAC アドレスを選択する場合は、この処理を使用して電話の属性を変更することもできます。たとえば、[Advance Order Configuration] を使用してプロビジョニング属性を変更できます。

- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。
- ステップ 2** [Search] ページで、検索する加入者情報を入力し、[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。
- 選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、交換する電話の上にマウスのカーソルを合わせます。
- オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Replace] をクリックします。
- [Order Entry] ペインが表示されます。
- ステップ 6** [Phone Type] リストで、新しい電話を選択します。電話のタイプに応じて、画像や他の電話オプションが表示されます。また、必要に応じて電話の MAC アドレスを変更します。
- ステップ 7** [Continue] をクリックします。
- [Order Confirmation] ペインが表示されます。
- ステップ 8** [Confirm] をクリックします。
- [Confirmation of Order] メッセージが表示されます。
- ステップ 9** [OK] をクリックします。
- オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。



- (注)** [Products] カラムでは、変更した製品の横に情報アイコン (i) が表示されます。このアイコンは、この製品に対してオーダーが実行中であることを示します。オーダーの処理が完了すると、情報アイコンは表示されなくなります。

## 電話設定の変更

変更機能を使用して、電話の設定を更新するオーダーを発行できます。変更機能では物理電話を交換しないため、この機能では電話タイプまたは MAC アドレスを交換できません。

電話タイプまたは MAC アドレスを変更するには、交換機能を使用します（「[既存の電話の交換](#)」(P.10-25) を参照）。

電話変更オーダーを作成する際は、次の点に注意してください。

- 電話ボタン テンプレートを変更する際は、新しく選択され関連付けられた電話ボタン テンプレートは、元の電話と同様に、割り当てられた回線の同じ番号（または、その番号を含む複数の番号）をサポートする必要があります。
- 属性の中には、特定のプロトコルの特定の電話タイプでサポートされないものがあります。電話のオーダーを作成する場合、選択した電話タイプとプロトコルによってサポートされる属性の値を設定するだけです。これを行わないと、オーダーが失敗する可能性があります。

Ordering（オーダー）権限ロールを持つユーザは、自分の電話や他の加入者の電話の設定を変更できます。

- 
- ステップ 1** [Home] ページの右上隅にあるドロップダウン リストから [Provisioning Data] を選択します。
- ステップ 2** 検索フィールドに加入者情報を入力し、Enter キーを押します。  
[Subscriber Record Details] ページが表示されます。
- ステップ 3** [Products] ペインで、変更する電話の上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 4** [Change] をクリックします。  
[Order Entry] ペインが表示されます。  
このペインを使用して電話の基本設定を変更できます。電話の事前設定を変更するには、[Advanced Order Configuration] の隣のプラス記号 (+) をクリックします。  
Cisco Unified Communications Manager 内で数値が指定されているプロビジョニング属性の値の設定を解除するには、値として 0 を入力する必要があります。値を消去しても、Cisco Unified Communications Manager 内のプロビジョニング属性は解除されません。
- ステップ 5** 目的の変更をすべて行ったら、[Continue] をクリックします。  
次のページでは電話の回線が含まれ、電話の回線ポジションを設定できます（電話に複数の回線がある場合）。
- ステップ 6** [Continue] をクリックします。
- ステップ 7** [Confirm] をクリックします。  
[Confirmation of Order] メッセージが表示されます。
- ステップ 8** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。



- 
- (注) [Products] カラムでは、変更した製品の横に情報アイコン (i) が表示されます。このアイコンは、この製品に対してオーダーが実行中であることを示します。オーダーの処理が完了すると、情報アイコンは表示されなくなります。
- 

## 電話の所有者の変更

電話の所有権を、同じドメイン内のある加入者から別の加入者に変更できます。

電話の所有権を変更すると、その電話に関連付けられているすべての製品（Line、Email、Voicemail、Unified Messaging など）も変更されます。

必要に応じて、電子メール ID および表示名に異なる値を入力します。電子メール ID、電子メール表示名、ボイスメールエイリアス、またはボイスメール表示名を変更しない場合、

ユニファイドメッセージプロセッサのサービスは変更されません。変更されるのは、古い所有者と新しい所有者に対するプロビジョニング内の加入者レコードだけです。

ただし、これらの設定のうちいずれかが変更された場合、ユニファイドメッセージプロセッサのボイスメールアカウントおよび電子メールアカウントは、いったん非アクティブにされた後で、再びアクティブにされます。

新しい所有者に割り当てられるサービス エリアは、元の所有者のサービス エリアと同じです。



(注) Ordering（オーダー）または Advanced Ordering（高度なオーダー）権限ロールを持つユーザは、各自の電話または他の加入者の電話に対してこれらの変更を行うことができます。

ユーザのログイン ID（姓名）を含む属性は、ドメイン ルールおよびユーザのプロビジョニング属性に応じて、新しいユーザの情報とともに更新されます。

ユーザのログイン ID を含む可能性がある属性は次のとおりです。

- Phone Description
- Alerting Name（オンライン）
- Phone Owner User ID
- ASCII Display (Internal Caller ID)
- ASCII Line Text Label
- Line Text Label ASCII Alerting Name

回線が移動すると、新しいユーザと古いユーザの電話番号および主内線はそれに合わせて更新されます。



(注) 電話が共有されている場合、電話の所有者は変更できません。[Change Owner] ボタンは表示されません。

- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力します。[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、変更する電話の上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Change Owner] をクリックします。  
[Review Products] ペインが表示され、関連付けられている製品のリストが表示されます。
- ステップ 6** [Continue] をクリックします。  
[Choose a New Owner] ペインが表示されます。



(注) 関連付けられている製品のいずれかに対して処理中のオーダーがある場合は、警告メッセージが表示され、続行できません。

- ステップ 7** [Choose New Owner] フィールドで、[Chooser] アイコン (👤) をクリックします。  
[Choose a User] ダイアログボックスが表示されます。



**ヒント** ユーザが多数いる場合は、検索フィールドを使用して対象のユーザを見つけます。

- ステップ 8** ユーザを選択します。  
新しいユーザのユーザ ID が [Choose New Owner] フィールドに表示されます。
- ステップ 9** 電話にボイスメールまたは電子メールが関連付けられている場合は、次を変更できます。
- Voicemail Alias
  - Voicemail Display Name
  - Email ID
  - Email display name
- ステップ 10** [Continue] をクリックします。  
[Change Owner Confirmation] ペインが表示されます。
- ステップ 11** [Submit] をクリックします。`  
[Confirmation of Order] メッセージが表示されます。
- ステップ 12** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。

## 回線情報の変更

回線詳細を変更するオーダーを発行できます。次の回線詳細を変更できます。

- ディレクトリ番号
- 回線ポジション
- プロビジョニング属性

Line、Line on Shared Phone、および Extension Mobility Line 製品の詳細を変更できます。

Line 製品には 2 組のプロビジョニング属性があります。1 つはディレクトリ番号レベルのもので、もう 1 つは回線レベルのもので。複数の回線で同じディレクトリ番号を共有している場合、ディレクトリ番号レベルで設定されたプロビジョニング属性は共通となり、回線間で共有されます。ある回線のプロビジョニング属性を変更すると、すべての回線に影響を与えます。

回線レベルで設定されたプロビジョニング属性は共有されません。ある回線のプロビジョニング属性を変更しても、他の回線には影響を与えません。



**(注)**

[Provisioning Attribute Management] ウィザードで、属性の表示名の前にアスタリスク (\*) が付いているものは、ディレクトリ番号レベルのプロビジョニング属性であり、回線間で共有できます。

新しいディレクトリ番号が入力され、新しい番号と元のルートパーティションの組み合わせが既存のディレクトリ番号オブジェクトと一致した場合、ディレクトリ番号レベルのプロビジョニング属性にはすべて、[Provisioning Attribute Management] ウィザードでの既存のディレクトリ番号オブジェクトからの値が表示されます。

ルートパーティションを変更しても、ウィザードが自動的にリフレッシュされて新しい一致するディレクトリ番号値が表示されることはなく、ウィザード上で表示されている内容がデバイスでプロビジョニングされます。


- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力します。[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、変更する回線の上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Change] をクリックします。  
[Change Line] ペインが表示されます。
- ステップ 6** 次の情報を変更できます。
- ディレクトリ番号：変更するには、新しいディレクトリ番号を入力します。この番号は、変更処理が開始する前に判明する必要があります。
  - 回線ポジション：Cisco Unified Communications Manager でプロビジョニングされる回線だけに適用されます。
  - プロビジョニング属性：Advanced Ordering（高度なオーダー）権限ロールが割り当てられているユーザだけが使用できます。[Advanced Order Configuration] オプションの隣のプラス記号 (+) をクリックして、プロビジョニング属性設定にアクセスします。
- ステップ 7** [Continue] をクリックします。
- ステップ 8** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 9** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。
- 

## Extension Mobility Access 情報の変更

Extension Mobility Access の詳細を変更して、オーダーを発行できます。次の情報を変更できます。

- 名前
- EM 電話タイプ
- 電話ボタン テンプレート
- プロビジョニング属性
- 回線ポジション（回線がすでに追加されている場合）

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力します。[Search] をクリックします。

- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、[Extension Mobility Access] の上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Change] をクリックします。  
[Order Entry] ペインが表示されます。
- ステップ 6** 次の情報を変更できます。
- 名前
  - EM 電話タイプ
  - 電話ボタン テンプレート：選択した EM 電話タイプに適用可能な電話ボタン テンプレートだけがリストされます。
  - プロビジョニング属性：Advanced Ordering（高度なオーダー）権限ロールが割り当てられているユーザだけが使用できます。[Advanced Order Configuration] オプションの隣のプラス記号（）をクリックして、プロビジョニング属性設定にアクセスします。
  - 回線ポジション（回線がすでに追加されている場合）
- ステップ 7** [Continue] をクリックします。
- ステップ 8** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 9** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。
- 

サービス エリア レベルに追加される名前属性については、EM アクセスの注文時にキーワード USERID、FIRSTNAME、LASTNAME、DOMAIN、SERVICEAREA は、対応する動的な値に置き換えられます。

## Remote Destination Profile 情報の変更

Remote Destination Profile の詳細情報を変更するオーダーを発行できます。次の情報を変更できます。

- 名前
- デバイス説明
- プロビジョニング属性

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力し、[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、[Remote Destination Profile] の上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。

- ステップ 5** [Change] をクリックします。  
[Order Entry] ペインが表示されます。
- ステップ 6** 次の情報を変更できます。
- 名前
  - デバイス説明
  - プロビジョニング属性 : Advanced Ordering (高度なオーダー) 権限ロールが割り当てられているユーザだけが使用できます。[Advanced Order Configuration] オプションの隣のプラス記号 (+) をクリックして、プロビジョニング属性設定にアクセスします。
- ステップ 7** [Continue] をクリックします。
- ステップ 8** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 9** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。
- 

## Remote Destination Profile Line 情報の変更

Remote Destination Profile Line の詳細情報を変更するオーダーを発行できます。次の情報を変更できます。

- 名前
- デバイス説明
- プロビジョニング属性

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力します。[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、[Remote Destination Profile Line] の上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Change] をクリックします。  
[Order Entry] ペインが表示されます。
- ステップ 6** 次の情報を変更できます。
- 名前
  - デバイス説明
  - プロビジョニング属性 : Advanced Ordering (高度なオーダー) 権限ロールが割り当てられているユーザだけが使用できます。[Advanced Order Configuration] オプションの隣のプラス記号 (+) をクリックして、プロビジョニング属性設定にアクセスします。
- ステップ 7** [Continue] をクリックします。
- ステップ 8** [Confirm] をクリックします。



- ステップ 9** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。

## ボイスメールの詳細の変更

Unity および Unity Connection 製品のボイスメールの詳細を変更するオーダーを発行できます。  
[Voicemail] オプションの下に [Change] ボタンが表示されます。ボイスメールを別のサービス エリアに変更することはできません。

- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力し、[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、変更するボイスメールの上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Change] をクリックします。
- ステップ 6** [Basic Voicemail Information] ペインで、必要に応じてボイスメール エイリアスおよびボイスメール表示名を変更します。



- (注)** すべてのバージョンの Provisioning でボイスメール エイリアスを変更できるわけではありません。Cisco Unity Connection については、すべてのバージョンでボイスメール エイリアスを変更することができます。8.0 より前のバージョンの Cisco Unity では、ボイスメールの変更において選択済みのボイスメール エイリアスまたは回線を変更することはできませんが、表示名は変更できます。

- ステップ 7** [Advanced Order Configuration - Subscriber] ペインで、必要に応じてフィールドを変更します。
- ステップ 8** [Continue] をクリックします。
- ステップ 9** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 10** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。

## ボイスメール アカウントのロック解除


ユーザ エラーやシステム エラーが原因でボイスメール アカウントがロックされた場合、プロビジョニングを通じてアカウントのロックを解除できます。

次のアカウントのロックを解除できます。

- ボイスメール アカウント : Cisco Unity デバイス、Cisco Unity Connection デバイス、および Cisco Unity Express デバイスの場合
- Web アクセス アカウント : Cisco Unity Connection デバイスの場合

### はじめる前に

ボイスメール アカウントのロックを解除するには、Cisco Unity デバイスまたは Cisco Unity Connection デバイスを設定する必要があります。「[プロビジョニング がボイスメール アカウントのロックを解除できるように Cisco Unity を設定する方法](#)」(P.10-34) または「[プロビジョニング がボイスメール アカウントのロックを解除できるように Cisco Unity Connection を設定する方法](#)」(P.10-34) を参照してください。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Subscriber Management] > [Search Subscribers] を選択します。  
加入者の [Search] ページが表示されます。
- ステップ 2** 検索情報を入力します。[Search] をクリックします。
- ステップ 3** 対象の加入者をクリックします。  
選択した加入者の [Subscriber Record Details] が表示されます。
- ステップ 4** [Products] ペインで、ロックを解除するボイスメールの上にマウスのカーソルを合わせます。  
オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 5** [Unlock] をクリックします。
-  **(注)** Cisco Unity Connection では、ボイスメール アカウントか Web アクセス アカウントのいずれかを選択できる場合があります。ロックを解除する対象のアカウントを選択します。
- 
- ステップ 6** [Confirm] をクリックします。
- ステップ 7** [OK] をクリックします。  
オーダーが [View Orders] ペインに表示されます。
- 

### プロビジョニング がボイスメール アカウントのロックを解除できるように Cisco Unity を設定する方法

- 
- ステップ 1** [Cisco Unity Administrator] ページにログインします。
- ステップ 2** [Subscribers] の下の左側ペインで、[Account Policy] をクリックします。
- ステップ 3** 左側ペインで、[Phone Lockout Policies] をクリックします。
- ステップ 4** ロックアウト期間として、[Forever] を選択します。
- 

### プロビジョニング がボイスメール アカウントのロックを解除できるように Cisco Unity Connection を設定する方法

- 
- ステップ 1** [Cisco Unity Connection Administration] ページにログインします。
- ステップ 2** [System Settings] の下の左側ペインで、[Authentication Rules] をクリックします。

- ステップ 3** [Voice Mail] ルールまたは [Web Application] ルールを選択します（両方のルールを設定する必要があります）。
- ステップ 4** ロックアウト期間として、[Administrator Must Unlock] を選択します。
- 

## オーダーの検索

次のいずれかの情報を使用してオーダーを検索できます。

- オーダー情報
    - オーダー番号
    - 作成者：オーダーを作成した人
    - オーダー ステータス
    - 拡張ステータス：オーダーの状態（プロビジョニング中、承認待ち、出荷待ちなど）
  - 加入者情報
    - ログイン
    - 氏名
    - 電話番号
    - Email
    - 部門
    - ドメイン
  - オーダー日
  - 要求された提供日
- 

**ステップ 1** [Deploy] > [Order Management] > [Search Orders] を選択します。

オーダーの [Search] ページが表示されます。

**ステップ 2** 検索情報を入力します。

**ステップ 3** [Search] をクリックします。

オーダーの詳細が表示されます。

---

## バルク サービスのオーダー

多数のサービスを展開している場合は、それらのアクティビティを 1 つのアクティビティにまとめることができます。プロビジョニングのバッチ プロビジョニング機能を使用すると、複数のタイプのオーダーを含む単一のバッチを作成できます。また、種類が異なる複数のサービスを 1 つのバッチ操作で処理することもできます。

Subscriber Dashboard ([Deploy] > [Batch Provisioning]) から [Batch Provisioning] ページにアクセスできます。

バッチ プロビジョニングの詳細については、「[インフラストラクチャ製品のプロビジョニング](#)」(P.6-13) を参照してください。

## オーダーの処理

加入者のオーダーの発行が完了すると、オーダーが承認され、出荷されます。これらの手順は、プロビジョニングシステムがどのように設定されたのかに応じて、自動的に実行される場合や、手順中にユーザによる処理が必要になる場合があります。

オーダー処理の段階では、4 つのアクティビティがユーザに割り当てられる可能性があります。これらのアクティビティは、ドメインに対して設定されたルールに基づいて割り当てられます。ルールの詳細については、「[ビジネス ルール](#)」(P.11-2) を参照してください。

ここでは 4 つのアクティビティについて説明します。



(注)

プロビジョニングの管理者は、これらのアクティビティの割り当て方法を設定できます。

- オーダーの承認：プロビジョニングの実行にはオーダーの承認が必要です。オーダーを却下することもできます。このユーザには **Approval** (承認) 権限ロールが割り当てられている必要があります。この割り当ては次のルールによって制御されます。
  - IsAuthorizationRequiredForAddOrder
  - IsAuthorizationRequiredForChangeOrder
  - IsAuthorizationRequiredForCancelOrder
- 割り当て：MAC アドレスを電話に割り当てます。このユーザには **Assignment** (割り当て) ロールが割り当てられている必要があります。この割り当ては **PhoneAssignmentDoneBy** ルールによって制御されます。
- 出荷：オーダーを出荷します。このユーザには **Shipping** (出荷) 権限ロールが割り当てられている必要があります。この割り当ては **PhoneShippingDoneBy** ルールによって制御されます。
- 受領：Receiver (受領) ユーザ ロールを持つユーザが実行します。オーダーした電話を受領したことを示します。この割り当ては **PhoneReceiptDoneBy** ルールによって制御されます。

## オーダーの承認

管理者が承認をイネーブルにした場合は、オーダーを承認する必要があります。オーダーを承認するには、**Approval** (承認) 権限ロールが割り当てられている必要があります (「[P.8-5](#)」を参照)。

オーダーが承認または却下された後、オーダーが作成された対象の加入者に電子メールが送信されます。電子メールを送信するには、次のビジネス ルールをイネーブルにする必要があります (「[ビジネス ルール](#)」(P.11-2) を参照)。

- EmailSender
- MailHost
- OrderProvisionedEmailTemplate
- OrderRejectedEmailTemplate

電子メールは、加入者に対して設定された電子メール アカウントに送信されます (「[\[User Management\]](#) ページを使用して、次の情報を変更できます。」(P.8-17) を参照)。



(注)

オーダーが却下された場合は、加入者レコードでオーダー ステータスが **[Cancel]** に設定され、プロビジョニングは実行されません。オーダーに問題が生じ、ユーザがエラー処理ワークフロー手順の中でオーダーの残りを中止することを選択した場合には、オーダー ステータスが **[Hold]** に設定されます。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Order Management] > [My Activities] を選択します。  
[My Activities] ページが表示されます。
- ステップ 2** 処理するオーダーをクリックします。  
[Viewing Activity] ページが表示されます。
- ステップ 3** [Accept] をクリックします。  
表示されている [Viewing Activity] ページに [Add a Note] フィールドが追加されます。



**(注)** オーダーを却下したり、別のユーザまたはグループにオーダーを委任したりすることもできます。アクティビティを委任した場合は、新しいユーザまたはグループにそのアクティビティが割り当てられます。

---

- ステップ 4** 電話の MAC アドレスを入力します。
- ステップ 5** [Step Complete] をクリックします。  
選択したオーダーが承認され、[My Activities] ページが表示されます。
- 

## 電話の出荷

プロビジョニング システムの設定内容によっては、この手順が不要となる場合があります。管理者が出荷をイネーブルにした場合、この手順を実行するには **Shipping**（出荷）権限ロールが割り当てられている必要があります（「[P.8-5](#)」を参照）。電話の出荷は、MAC アドレスの割り当てと出荷の 2 部構成になっています。

- 
- ステップ 1** [Deploy] > [Order Management] > [My Activities] を選択します。  
[My Activities] ページが表示されます。
- ステップ 2** 出荷するオーダーをクリックします。  
[Viewing Activity] 画面が表示されます。
- ステップ 3** [Accept] をクリックします。  
[Viewing Activity Phone Assignment] ページが表示され、[MAC Address] フィールドがアクティブになります。
- ステップ 4** [MAC Address] フィールドに、16 進値を入力します。有効な値は英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）です。値の長さは 12 文字にする必要があります。



**(注)** MAC アドレスは、電話機のステッカー、および受話器の電話設定ディスプレイで参照できます。

---

- ステップ 5** 必要な情報を追加したら、[Step Complete] をクリックします。  
[My Activities] ページが表示されます。
- ステップ 6** [Refresh] アイコンをクリックします。  
オーダーが [My Activities] ページに表示されます。
- ステップ 7** 同じオーダーをクリックします。

- [Viewing Activities Form] ページが表示されます。
- ステップ 8** [Accept] をクリックします。
- [Viewing Activities Form] ページの内容が変わります。
- ステップ 9** [Step Complete] をクリックします。オーダーを作成しなかった場合、オーダーは [My Activities] ページに表示されなくなります。

## 電話の受領

管理者が受領をイネーブルにした場合、この手順を実行するには Receiving（受領）権限ロールが割り当てられている必要があります（「[P.8-5](#)」を参照）。

- ステップ 1** [Deploy] > [Order Management] > [My Activities] を選択します。
- [My Activities] ページが表示されます。
- ステップ 2** 必要なオーダーをクリックします。
- [Viewing Activities Form] ページが表示されます。
- ステップ 3** [Accept] をクリックします。
- [Viewing Activity] ページが表示されます。
- ステップ 4** [Step Complete] をクリックします。
- [My Activities] ページで、オーダーがリストに表示されなくなります。

## 製品のキャンセル

製品をキャンセルするには、キャンセル オーダーを発行する必要があります。製品をキャンセルすると、その製品に関連付けられているすべての製品もキャンセルされます。



- (注)** Single Number Reach Service 製品については、Enable Mobility 製品をキャンセルしても、Remote Destination Profile 製品または Remote Destination Profile Line 製品はキャンセルされません。また、Remote Destination Profile 製品をキャンセルしても Enable Mobility 製品はキャンセルされません。

表 10-5 に、オーダー可能な製品に関連付けられている個々の製品を示します。

**表 10-5**      **オーダー可能な製品**

| 製品        | 関連付けられている製品                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------|
| Voicemail | Email、Unified Messaging。                                                  |
| Email     | Voicemail、Unified Messaging。                                              |
|           | <b>(注)</b> Cisco Unity Connection では、Email がキャンセルされた場合でも Voicemail は残ります。 |
| Line      | Email、Voicemail、Unified Messaging。                                        |

表 10-5 オーダー可能な製品（続き）

| 製品                         | 関連付けられている製品                                                                                                                                         |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Phone                      | Line、Email、Voicemail、Unified Messaging。<br>(注) 電話をキャンセルした場合、関連付けられているディレクトリ番号が Cisco Unified Communications Manager から削除されます。                       |
| Remote Destination Profile | Remote Destination Profile Line。<br>(注) Remote Destination Profile Line をキャンセルすると、関連付けられているディレクトリ番号が Cisco Unified Communications Manager から削除されます。 |
| Unified Messaging          | なし。                                                                                                                                                 |

- ステップ 1** 加入者レコード（「[加入者レコードへのアクセス](#)」(P.10-2) を参照）の [Products] ペインで、キャンセルする製品の上にマウスのカーソルを合わせます。
- オプション ボタンが付いた [Actions] リストが表示されます。ここで、選択した製品に対して処理を実行することができます。
- ステップ 2** [Cancel] をクリックします。
- [Order Cancel Form] ペインが表示されます。
- ステップ 3** [Submit] をクリックします。`
- [Confirmation of Order] メッセージが表示されます。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。
- ステップ 5** [Done] をクリックします。
- キャンセルされたオーダーが、[View Orders] ペインに完了ステータスで表示されます。



- (注) [Products] セクションで、製品の横に情報アイコン (i) が表示され、製品に対してオーダーが実行中であることを示します。オーダーの処理が完了すると、情報アイコンは表示されなくなります。

オーダーの処理が完了した後は、キャンセルされた製品が [Subscriber Record Details] ペインに表示されなくなります。

## ワーク オーダーの状態

ここでは、オーダーが入力された後に遷移する状態について説明します。

ワーク オーダー状態は、次のとおりです。

- 初期
- リリース済み
- 完了
- 保留

オーダーが発行されると、ワーク オーダーが作成され、初期状態になります。ワーク フローの実行が始まると、オーダーはリリース済み状態に移行します。ワーク フローが完了し、すべての手順が成功すると、オーダーは完了状態に移行するか、または手順のいずれかが失敗すると保留状態に移行します。保留状態に変化するオーダーについて、ワーク オーダーの発行元によっては、オーダーが失敗したか、この変化が自動的に発生していることを確認する必要がある場合があります。

ワーク オーダーには、拡張ステータス フィールドもあります。オーダーが実行中の場合、拡張ステータスは **Being Provisioned** となります。オーダーが失敗すると、拡張ステータスは **Recoverable Error** または **Unrecoverable Error** となります。オーダーがユーザの操作を待っている場合、拡張ステータスは特定の **Wait** ステータスに設定されます。待ち状態は通常、割り当てのために使用されますが、出荷または受領の場合に使用される事もあります。拡張ステータスの変更は、ワーク オーダーが変化している状態でも行われます。

ワーク オーダーが失敗すると、リリース済み状態から保留状態への移行動作は、ワーク オーダーを送信するときの次の状態によって異なります。

- **Provisioning NBIIImmediate** がリリース済み状態から保留状態へ移行します。
- **Provisioning** ユーザ インターフェイスがリリース済み状態のままになり、そのオーダーに対するアクションを待ちます。
- バッチ プロビジョニングは、拡張ステータスによって異なります。障害が回復可能なエラーである場合、オーダーはリリース済み状態のままになり、アクションを待ちます。障害が回復不可能なエラーである場合、オーダーは保留状態に移行します。

## Email Notifications

Email Notifications を使用すると、次のようなクリティカル イベントを表示できるため、通知の管理性が向上します。

- オーダーの承認
- オーダー エラー
- 同期エラー

通知は次の 2 つのレベルで設定できます。

- **[Domain Settings]** : ドメインでのオーダーの承認、割り当て、出荷、および受け取りなどのワーク フロー イベント。「[ドメイン通知テンプレートの設定](#)」(P.10-41) および「[ドメイン通知の設定](#)」(P.10-42) を参照してください。
- **[System Settings]** : オーダー エラーや同期エラーのようなイベントの場合。「[システム通知の設定](#)」(P.10-43) を参照してください。

システムとドメインの通知設定をテストして、SMTP ホストおよびその他の設定が有効であることを確認できます。「[通知設定のテスト](#)」(P.10-44) を参照してください。



(注)

Provisioning Notification オプションは、スタンドアロン Prime Collaboration Provisioning アプリケーションでのみ使用できます。これらのオプションは、統合アプリケーションでは使用できません。



## ドメイン通知テンプレートの設定

[Order Approvals]、[Handle Assignment]、[Handle Shipping]、および [Handle Receiving] などのドメイン固有のイベントの通知設定は、ドメイン レベルで設定できます。ドメイン通知テンプレートは、システムで作成される新しいドメインに適用される値を設定するために使用できます。また、システム内の既存のすべてのドメインにテンプレートから値を適用するように選択することもできます。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [Provisioning Notification Management] > [Domain Settings] を選択します。
- ステップ 2** [Notification Configuration - Domain Settings] ページで、ドメインのテンプレートを必要に応じて修正します。
- [Email Settings] ペインでは、SMTP サーバの詳細と [From Address] の値がシステム設定から継承され、読み取り専用形式で表示されます。これらの設定はドメイン テンプレートでは変更できません。ただし、特定のドメインについては、これらの設定を上書きできます。
- ステップ 3** 表示される [Aggregation] ウィンドウと [Escalation] ウィンドウのタイム スロットを設定します。
- ステップ 4** [Test Settings] ボタンをクリックして、SMTP ホストやその他の詳細が正しく設定されていることを確認します。テスト通知設定を行うには、「[通知設定のテスト](#)」(P.10-44) を参照してください。
- ステップ 5** [Notification Events] ペインで、通知を送信する必要があるイベントを選択します。



(注)

[Workflow Pending Activity] フィールドには、[Order Approvals]、[Handle Assignment]、[Handle Shipping]、[Handle Receiving] などのイベントが含まれます。

- 
- ステップ 6** [Approval Notification Group]、[Assignment Notification Group]、[Shipping Notification Group]、[Receiving Notification Group] の各ペインで、次のことを行います。
- [External email addresses] : 通知を送信する電子メール アドレスを入力します。
  - [Aggregation] ウィンドウ : イベントが発生するとすぐに、ドメイン イベントの通知が集約されるか、送信されるかを指定する設定を選択します。値が <Not Set> の場合は集約されず、イベントが発生するとただちに通知が送信されます。
- その他の値の場合、イベントの発生後、[Aggregation] ウィンドウで設定された時間だけシステムが待機します。待機中に他の関連イベントが発生すると、このようなすべてのイベントの詳細が集約された通知が単一の電子メールに送信されます。
- 
- (注)** イベントはワークフロー イベント タイプに基づきます。承認通知と割り当て通知は別の電子メールに集約されます。



- 
- [Escalation] ウィンドウ : ワークフロー イベントでの非アクティブによって、システム管理者へのエスカレーション電子メールが送信されるかどうかを指定する設定を選択します。値 <Not set> はエスカレーション電子メールが送信されないことを意味します。
- その他の値は、トリガーされたイベントに対してアクション（例：オーダーの承認）が実行されない場合、指定された時間の経過後に、システムに対してシステム管理者への電子メールの送信をトリガーします。
- ステップ 7** 次のいずれかを実行します。
- 将来作成されるドメインに対するデフォルト値として設定を保存するには、[Apply to domain template only] をクリックします。
  - 既存のドメインに通知設定を適用するには、[Apply to all domains] をクリックします。
-

## ドメイン通知の設定

[Order Approvals]、[Handle Assignment]、[Handle Shipping]、および [Handle Receiving] などのドメイン固有のイベントの通知設定は、ドメイン レベルで設定できます。このページの設定は、テンプレートの設定後にドメインが作成された場合、またはテンプレートの作成時に [Apply to all domains] オプションが選択された場合に、ドメイン通知テンプレートから継承されます。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [Provisioning Notification Management] > [Domain Settings] を選択します。
- ステップ 2** [Notification Configuration - Domain Settings] ページで、ドロップダウン リストから、目的のドメインを選択します。ページが更新され、選択したドメインに固有の通知設定が表示されます。
- ステップ 3** [Email Settings] ペインで、次の SMTP サーバの詳細を入力します。
- [Mail Server Name] : SMTP サーバのホスト名または IP アドレス（例：mailer.company.com）。
  - [Mail Server Port] : SMTP サーバ ポート。デフォルトでないポートが使用されている場合のオプション設定。
  - [Mail Server User Name] : SMTP サーバ アカウントのユーザ名。認証された SMTP サーバが使用される場合にだけ指定します。
  - [Mail Server User Password] : SMTP サーバ アカウントのパスワード。認証された SMTP サーバが使用される場合にだけ指定します。
  - [From address] : Provisioning 通知内の [from] アドレスとして使用する電子メール アドレス（例：ProvisioningManagerNotification@company.com）。
- ステップ 4** [Test Settings] ボタンをクリックして、SMTP ホストやその他の詳細が正しく設定されていることを確認します。テスト通知設定を行うには、「[通知設定のテスト](#)」(P.10-44) を参照してください。
- ステップ 5** [Notification Events] ペインで、通知を送信するイベントを選択します。
- [Workflow Pending Activity] フィールドには、[Order Approvals]、[Handle Assignment]、[Handle Shipping]、[Handle Receiving] などのイベントが含まれます。
- ステップ 6** [Approval Notification Group] ペインで、外部電子メール アドレスの場合に、通知を送信する電子メール アドレスを入力します。
- 承認通知グループは、ドメイン内でオーダーの承認を実行する権限を持つユーザのグループです。ドメインに対してこのロールを持つようにシステム内で設定されたユーザは、[System Users] として表示されます。このようなユーザは常に承認イベントを通知されます。
- 承認通知グループに送信される通知の集約とエスカレーションの設定は変更できます。「[ドメイン通知テンプレートの設定](#)」(P.10-41) の **ステップ 6** を参照してください。
- ステップ 7** [Assignment Notification] ペインで、外部電子メール アドレスの場合に、通知を送信する電子メール アドレスを入力します。
- 割り当て通知グループは、ドメイン内で電話のオーダーの MAC アドレスを割り当てる権限を持つユーザのグループです。ドメインに対してこのロールを持つようにシステム内で設定されたユーザは、[System Users] として表示されます。このようなユーザは常に承認イベントを通知されます。
- 割り当て通知グループに送信される通知の集約とエスカレーションの設定は変更できます。「[ドメイン通知テンプレートの設定](#)」(P.10-41) の **ステップ 6** を参照してください。
- ステップ 8** [Shipping Notification Group] ペインで、外部電子メール アドレスの場合に、通知を送信する電子メール アドレスを入力します。
- 出荷通知グループは、ドメイン内で出荷アクティビティを実行する権限を持つユーザのグループです。ドメインに対してこのロールを持つようにシステム内で設定されたユーザは、[System Users] として表示されます。このようなユーザは常に出荷イベントを通知されます。

出荷通知グループに送信される通知の集約とエスカレーションの設定は変更できます。「ドメイン通知テンプレートの設定」(P.10-41) の **ステップ 6** を参照してください。

**ステップ 9** [Receiving Notification Group] ペインで、外部電子メール アドレスの場合に、通知を送信する電子メール アドレスを入力します。

受け取り通知グループは、ドメイン内で受け取りアクティビティを実行する権限を持つユーザのグループです。ドメインに対してこのロールを持つようにシステム内で設定されたユーザは、[System Users] として表示されます。このようなユーザは常に受け取りイベントを通知されます。

受け取り通知グループに送信される通知の集約とエスカレーションの設定は変更できます。「ドメイン通知テンプレートの設定」(P.10-41) の **ステップ 6** を参照してください。

**ステップ 10** [Save] をクリックして設定を適用します。

## システム通知の設定

通知設定は、同期エラーやオーダー エラーなどのシステム イベントに対応する通知を管理するために、システム レベルで設定できます。

**ステップ 1** [Administration] > [Provisioning Notification Management] > [System Settings] を選択します。

**ステップ 2** [Email Settings] ペインで、次の SMTP サーバの詳細を入力します。

- [Mail Server Name] : SMTP サーバ名または IP アドレス (例 : mailer.company.com)。
- [Mail Server Port] : SMTP サーバ ポート。デフォルト ポートが使用される場合、このフィールドはオプションです。
- [Mail Server User Name] : SMTP サーバ アカウントのユーザ名。認証された SMTP サーバが使用される場合にだけ指定します。
- [Mail Server User Password] : SMTP サーバ アカウントのパスワード。認証された SMTP サーバが使用される場合にだけ指定します。
- [Confirm Mail Server User Password] : 確認のために SMTP サーバ アカウントのパスワードを再入力します。
- [From address] : Provisioning が通知を送信する電子メール アドレス (例 : CUPMNotification@company.com)。

**ステップ 3** [Test Settings] ボタンをクリックして、SMTP ホストやその他の詳細が正しく設定されていることを確認します。テスト通知設定を行うには、「通知設定のテスト」(P.10-44) を参照してください。

**ステップ 4** [Email Content URL Parameters] ペインで、次の詳細を入力します。これは電子メール コンテンツに表示される URL を構築するために使用されます。

- [Protocol] : Provisioning にアクセスするプロトコル (HTTP または HTTPS)。
- [Host] : Provisioning にアクセスするホスト名または IP アドレス。
- [Port] : Provisioning にアクセスするために使用されるポート (80 以外のポートが使用される場合にだけ必要)。



(注) [Email Content URL Parameters] ペインのフィールドには、関連情報が自動的に入力されます。

**ステップ 5** [Notification Events] ペインで、通知を送信する必要があるイベントを選択します。

**ステップ 6** [Administration Notification Group] ペインで、次の詳細を入力します。

- [External Email Addresses] : 選択したシステム イベントの電子メール通知を送信するユーザまたはメーリング リストの電子メール ID。電子メール アドレスがシステム内で指定されている場合、通知が管理者に送信されます。このリストは [System Users] フィールドに読み取り専用テキストとして表示されます。
- [Aggregation] ウィンドウ : イベントが発生するとすぐに、システム イベントの通知が集約されるか、送信されるかを指定する設定を選択します。値が <Not Set> の場合は集約されず、イベントが発生するとただちに通知が送信されます。

その他の値の場合、イベントの発生後、[Aggregation] ウィンドウで設定された時間だけシステムが待機します。待機中に他の関連イベントが発生すると、このようなすべてのイベントの詳細が集約された通知が単一の電子メールに送信されます。



(注) イベントはタイプに基づいて集約されます。同期エラーとオーダー エラーは別の電子メールに集約されます。

**ステップ 7** [Save] をクリックします。

## 通知設定のテスト

システムおよびドメインの通知設定をテストして、SMTP ホストやその他の詳細が正しく設定されていることを確認できます。

通知設定をテストするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** 次のいずれかを選択します。

- [Administration] > [Provisioning Notification Management] > [System Settings]
- [Administration] > [Provisioning Notification Management] > [Domain Settings]

[Notification Configuration - System Settings] ページまたは [Notification Configuration - Domain Settings] ページが表示されます。

**ステップ 2** [Test Settings] ボタンをクリックします。

[Test Email Settings] ページが表示されます。

**ステップ 3** [Send Test Email To] フィールドに電子メール アドレスを入力します。

**ステップ 4** [Send test email] をクリックして、現在の設定を使用して電子メールを送信します。

正常に送信されたことを示すメッセージがページの一番上に表示されます。



(注) テストに失敗した場合は、エラー メッセージが表示されます。設定で必要な変更を行い、もう一度テストを実行します。ただし、テストに成功しても、設定が自動的に保存されることはありません。必ず [Test Email Settings] ペインを閉じ、設定を保存してください。



# CHAPTER 11

## ルールの設定

電話ボタン テンプレート、ビジネス ルール、およびプロビジョニング属性を設定できます。プロビジョニング には、プロビジョニング 内のコンポーネントの使用方法を決定する、一連の定義済みのビジネス ルールが用意されています。これらのビジネス ルールは、オーダーの処理、同期処理の動作、およびシステム内のさまざまなオブジェクトのデフォルト値を制御します。

## 電話ボタン テンプレートの設定

特定の電話機タイプで利用できる最大回線数は、電話ボタン テンプレートを使用して設定します。

Cisco Unified Communications Manager の電話ボタン テンプレートは、電話機で利用できる回線数および短縮ダイヤルの数と、電話機上でそれらが表示される場所を指定するものです。旧式の電話機モデルの場合は、テンプレートが固定されており、つまり回線は電話機上の特定のボタンに直接マッピングされます。新型の電話機モデルは、より動的なボタン構造を備えています。たとえば、Cisco 7960 には 6 つのボタンがあり、それぞれが 1 つの回線または短縮ダイヤルに対応します。

Cisco Unified Communications Manager のインフラストラクチャを同期する際、プロビジョニング では Cisco Unified Communications Manager で定義されているすべての電話ボタン テンプレートが取得されます。電話ボタン テンプレートは、標準的なセットが必ず 1 つは存在するため、どの電話機タイプにも最低 1 つのテンプレートがあります。

## 電話ボタン テンプレートの最大回線数の表示

コール プロセッサの各電話ボタン テンプレートの最大回線数を表示できます。ブランクまたは負の値は、無制限として扱われます。

電話ボタン テンプレートの最大行数を表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Phone Button Templates] を選択します。
- ステップ 2** [Phone Button Template Configuration] ページで、コール プロセッサを選択します。
- ステップ 3** [View Maximum Line Information] をクリックします。

## 電話機タイプ別のデフォルトの電話ボタン テンプレートの指定

デフォルトの電話ボタン テンプレートを指定するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Phone Button Templates] を選択します。
- ステップ 2** [Phone Button Template Configuration] ページで、コール プロセッサを選択します。
- ステップ 3** 電話のタイプを選択し、[Update Template List] をクリックします。
- ステップ 4** [Phone Button Template Configuration Edit] フォームで、テンプレートを選択し、[Update] をクリックします。
- 

## ビジネス ルール

プロビジョニングには、プロビジョニング内のコンポーネントの使用方法を決定する、一連の定義済みのビジネス ルールが用意されています。これらのビジネス ルールは、オーダーの処理、同期処理の動作、およびシステム内のさまざまなオブジェクトのデフォルト値を制御します。

ビジネス ルールはドメイン レベルで適用されます。プロビジョニングをインストールする際、独自のビジネス プロセスに基づいて、Customer Domain Template でビジネス ルールを設定します。新規ドメインを作成すると、そのドメインは Customer Domain Template から標準的なビジネス ルールのセットを継承します。その後、必要に応じてそれぞれの新規ドメインのビジネス ルールを変更できます。Customer Domain Template に対して加えた変更は、それ以降に新しく作成されるドメインにだけ反映されます。

新規ドメインはビジネス ルールに加え、デフォルトの加入者タイプ情報も継承し、そのドメイン内に配置されるユーザ用の Inventory Manager Instance Browser、サービス エリア、および音声端末内にフォルダが自動作成されます。

## ビジネス ルールの説明

ルールはデータ主導型（プロビジョニングでは [Data] フィールドを使用）、イネーブル/ディセーブル主導型、またはその両方にすることができます。どちらが該当するかは、ルールの説明で示されます。標準的なビジネス ルールは、デフォルトの [Data] 設定および [Enabled] 設定を含めて、アルファベット順で示してあります。



(注)

一部のビジネス ルールでは、[Data] フィールドまたは [Enabled] フィールドは該当せず、その場合は *N/A* と表示されます。ユーザがフィールドに入力した事項のうち、*N/A* とマークされているものはすべてシステムによって無視されます。

## AssignSoftPhoneName

ワークフローでプロビジョニングされている SoftPhone に、一意の名前を割り当てます。この名前はコール プロセッサが、[Data] フィールドの値をプレフィックスとして使用し、そこに CTI ポートのカウンタ番号 +1 を追加して自動的に生成します。コール プロセッサはこのプレフィックスと CTI ポートのカウンタ番号の組み合わせがすでに使用中かどうかをチェックし、使用中の場合は一意の組み合わせになるまで CTI ポートのカウンタ番号に 1 を加えていきます。

```
Data SoftPhone_
Enabled true (n/a)
```

## AssociateAllUsersInCallProcessor

イネーブルの場合は、ドメインの同期時に、ドメイン内のすべてのコール プロセッサの全ユーザ アカウントが、同期中のドメインに割り当てられます。ディセーブルの場合は、ドメインと同じ部門のユーザだけがドメインに割り当てられます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## AssociateAllUsersInUMProcessor

このルールがイネーブルの場合は、特定のユニファイド メッセージ プロセッサの全ユーザ アカウントが Provisioning ドメインに割り当てられます。そうでない場合は、特定のユニファイド メッセージ プロセッサのユーザ アカウントのうち、コール プロセッサに一致するユーザ アカウントがあるものだけが割り当てられます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## AssociateOnlyExistingUsers

イネーブルの場合、ドメインの同期時に新しいユーザは作成されません。ドメイン内の既存のユーザのサービスだけが同期されます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## AssociateUsersByDeptCode

イネーブルの場合、コール プロセッサのユーザ アカウントは、指定された値リスト内の値と一致する部門コード値に基づいて、この プロビジョニング ドメインに関連付けられます。部門コード値のリストは、二重引用符 (") で囲み、セミコロン (;) デリミタで区切る必要があります。部門コード値には、ワイルドカード文字 (\* または %) を含めることができます。

たとえば、[Data] フィールドでは次のように指定します。

```
"Dept 1";"";"Dept 2"
```

コール プロセッサのユーザ アカウントのうち、Dept 1 または Dept 2 に属するもの、あるいは部門コードが設定されていないものが、ドメインに関連付けられます。

## AssociateUsersByDevicePool

イネーブルの場合、コール プロセッサのユーザ アカウントは、データ フィールドでデバイス プール値が指定された電話機がある場合に限り、この プロビジョニング ドメインに関連付けられます。デバイス プール値には、ワイルドカード文字 (\* または %) を含めることができます。また、Cisco Unified Communications Manager の名前の値 (プロビジョニング のコール プロセッサ名) をプレフィックスにする必要があります。値は二重引用符 (") で囲み、セミコロン (;) デリミタで区切る必要があります。

例 :

```
"CUCM1:DevicePool1";"CUCM2:Device*2"
```

コールプロセッサ CUCM1 にデバイス プール DevicePool1 の電話機または Remote Destination Profile を持つユーザ、およびコールプロセッサ CUCM2 にデバイス プール DevicePool2 の電話機または Remote Destination Profile を持つユーザが、ドメインに関連付けられます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## AssociateUsersByLocation

イネーブルの場合、コールプロセッサのユーザアカウントは、データフィールドでロケーション値が指定された電話機がある場合に限り、このプロビジョニングドメインに関連付けられます。ロケーション値には、ワイルドカード文字 (\* または %) を含めることができます。また、Cisco Unified Communications Manager の名前の値 (プロビジョニングのコールプロセッサ名) をプレフィックスにする必要があります。値は二重引用符で囲み、セミコロン (;) デリミタで区切る必要があります。

例 :

"CUCM1:Location1";"CUCM2:Loc\*2"

コールプロセッサ CUCM1 にロケーション Location1 の電話機を持つユーザ、およびコールプロセッサ CUCM2 にロケーション Location2 の電話機を持つユーザが、ドメインに関連付けられます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## ChangeUnityPasswordOnNextLogin

イネーブルの場合、Cisco Unity または Cisco Unity Connection の加入者は、プロビジョニングでパスワードがリセットされた後、強制的にパスワードの変更を求められます。このルールでは [Data] フィールドは使用されず、システムによって無視されます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## CreateSelfCareAccounts

イネーブルの場合、新しい加入者が独自にオーダーを行うことができるように、新しい加入者のログインアカウントが自動的に作成されます。このルールがディセーブルになっている場合も、ログインアカウントは作成されますが、そのアカウントで独自にオーダーを行うことはできません。

**Data** <blank>

**Enabled** true

## DefaultCallManagerPassword

新しい Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified Communications Manager Express のアカウントに対し、ユーザの電話または回線の初回オーダー時に作成されたデフォルトのパスワードを設定します。このパスワードは、Cisco SoftPhone でユーザが割り当てた回線にアクセスする際にも使用できます。最低文字数は 5 文字です。

**Data** admin123

**Enabled** true (n/a)



## DefaultCallManagerPIN

ユーザを Cisco Unified Communications Manager でアクティブ化する際に使用するデフォルトの PIN を設定します。Cisco Unified Communications Manager では、ユーザは回線または電話がそのユーザについてオーダーされたときに初めてアクティブ化されます。このルールは、初回に PIN を設定する際以外、Provisioning では使用されません。最低文字数は 5 文字です。

**Data** 12345

**Enabled** true

## DefaultCUPMPassword

セルフケア アカунツのデフォルトのパスワードを指定します。デフォルトではユーザ パスワードは空で、管理者が加入者ウィザードでユーザのパスワードを変更するまでユーザはログインできません。デフォルト パスワードを指定するには、[Data] フィールドでデフォルト パスワードを指定し、[Enabled] を true に設定する必要があります。



(注)

新しいパスワード値は、パスワード ポリシーに一致する必要があります。

**Data** <blank>

**Enabled** true

## DefaultDeviceProfile

内線移動対応の電話機に使用します。デフォルト設定の NONE（または空欄のまま）では、このルールは使用されません。

**Data** NONE

**Enabled** true (n/a)

## DefaultUnitySubscriberPassword

Cisco Unified Messaging システム（Cisco Unity、Cisco Unity Connection など）上の新しいボイス メール アカウンツにデフォルト パスワードを設定します。ワークフローでは [Data] の値が初期パスワードとして使用されます。Cisco Unity または Cisco Unity Connection では、この値を整数にする必要があります。Cisco Unity および Cisco Unity Connection では、12345 のような明白な値は拒否されます。このルールでは [Enabled] フィールドは使用されず、システムによって無視されます。

DefaultUnitySubscriberPassword ルールでは、データ フィールドに入力されたデフォルト パスワードの長さは検証されません。場合によっては、Cisco Unity および Cisco Unity Connection に異なるクレデンシャル ポリシーが設定されていることがあります。

プロビジョニングの管理者は、デバイスに設定されているポリシーに応じて、これらのルールにデフォルト パスワードを入力する必要があります。これらのルールに入力されたデフォルト パスワードがデバイスで受け入れられない場合、デフォルト操作へのリセット クレデンシャルに失敗し、デバイスからエラー メッセージが返されます。

**Data** 053421

**Enabled** true (n/a)

## DefaultCallManagerDigestCredentials

ダイジェスト クレデンシャルのデフォルト パスワードを指定します。デフォルト パスワードを指定するには、[Data] フィールドにパスワードを入力し、[Enabled] を true に設定する必要があります。



(注)

新しいパスワード値は、パスワード ポリシーに一致する必要があります。

**Data** <blank>

**Enabled** true

## DefaultUserType

新しいユーザにデフォルトで割り当てるユーザ タイプを指定します。[Data] フィールドの値には、有効なユーザ タイプの名前が含まれていなければなりません。



(注)

このルールは、組織の大部分を構成する加入者のロールに設定する必要があります。これにより、ドメイン同期化の際には大部分のユーザが正しく設定されます。

**Data** Employee

**Enabled** true (n/a)

## DefaultWebAccessPassword

Cisco Unified Messaging システム (Cisco Unity、Cisco Unity Connection など) 上の新しいボイス メール アカウントに Web アクセス用のデフォルト パスワードを設定します。ワークフローでは [Data] の値が初期パスワードとして使用されます。このルールでは [Enabled] フィールドは使用されず、システムによって無視されます。

DefaultWebAccessPassword ルールでは、データ フィールドに入力されたデフォルト パスワードの長さは検証されません。場合によっては、Cisco Unity および Cisco Unity Connection に異なるクレデンシャル ポリシーが設定されていることがあります。

プロビジョニングの管理者は、デバイスに設定されているポリシーに応じて、これらのルールにデフォルト パスワードを入力する必要があります。これらのルールに入力されたデフォルト パスワードがデバイスで受け入れられない場合、デフォルト操作へのリセット クレデンシャルに失敗し、デバイスからエラー メッセージが返されます。

**Data** Admin123

**Enabled** true (n/a)

## DescriptionString

新しい電話、新しいユーザ デバイス プロファイル (EM\_Access)、および新しいユーザに使用されるデフォルトの説明ストリングです。FIRSTNAME、LASTNAME、USERID、および EXTENSION というキーワードはそれぞれ、ユーザの名、姓、ユーザ ID および内線番号に置き換えられます。(この情報はユーザの電話に追加される最初の行です)。

所有者変更オーダーの場合、このルールからデフォルト値が自動的に適用されます。新しい電話所有者の名前、姓、ユーザ ID、内線番号が使用されます。



(注) 電話の説明を以前に設定したままにする場合、このルールをディセーブルにします。

**Data** FIRSTNAME LASTNAME USERID EXTENSION

**Enabled** true (n/a)

## DNAutoReservation

イネーブルの場合、回線がキャンセルされると、回線に関連付けられたディレクトリ番号が自動的に元の所有者のために予約されます。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## DNAutoReservationTimeout

ディレクトリ番号が **Reserved** 状態で保持される期間（日：時間）を指定します。

**Data** 7:0

**Enabled** true

## ExternalNumberMasks

イネーブルの場合、オーダーのサービス エリアに関連付けられた **External Number** マスクが、このサービス エリアに対してオーダーされた回線の回線表示の **External Phone Number Mask** 値として使用されます。電話の変更をオーダーする場合、このルールの値は前回の電話サービスのオーダーから継承されます。ただし前回のオーダー時に値が設定されなかった場合は、サービス エリアの値が使用されます。



(注) このルールには、Cisco Unified Communications Manager で外部電話マスクに使用するのと同じ値を使用できます。

**Data** <blank>

**Enabled** true

## IsAuthorizationRequiredForAddOrder

イネーブルの場合、プロビジョニングを実行するには、まずアプルーバが **Add** オーダーを承認する必要があります。ディセーブルの場合は、自動的に **Add** オーダーが承認されます。



(注) このルールはバッチ プロビジョニングまたは Provisioning NBI を使用してオーダーを行う場合には適用されません。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## IsAuthorizationRequiredForOrder

イネーブルの場合、プロビジョニングを実行するには、まずアプルーバがオーダーを承認する必要があります。ディセーブルの場合は、自動的にオーダーが承認されます。



(注)

このルールはバッチ プロビジョニングまたは Provisioning NBI を使用してオーダーを行う場合には適用されません。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## IsAuthorizationRequiredForChangeOrder

イネーブルの場合、プロビジョニングを実行するには、まずアプルーバが **Change** オーダーを承認する必要があります。ディセーブルの場合は、自動的に **Change** オーダーが承認されます。



(注)

このルールはバッチ プロビジョニングまたは Provisioning NBI を使用してオーダーを行う場合には適用されません。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## LineDisplayString

電話回線の Internal Caller ID の表示形式の構成に使用されるテンプレート スtring です。ディセーブルの場合は、FIRSTNAME LASTNAME がデフォルトに設定されます。このルールは、サービス エリアで Cisco Unified Communications Manager Express がコール プロセッサとなっている場合は適用されません。

[Display (Internal Caller ID)] プロビジョニング属性のデフォルト値は、このルールから適用されます。バッチ プロビジョニングまたは プロビジョニング ユーザ インターフェイスで CUPM\_BLANK または空の値を指定する場合、[Display (Internal Caller ID)] プロビジョニング属性はこのルールで設定されます。

したがって、[Display (Internal Caller ID)] プロビジョニング属性に空の値を設定する場合は、このルールをイネーブルにして、値が空であることを確認する必要があります。



(注)

コール プロセッサの場合は、[First Name] および [Last Name] のフィールドに入力できる文字の合計数は 30 文字になります。この上限を超えた状態でオーダーを作成した場合、コール プロセッサからエラーが送信されます。

**Data** FIRSTNAME LASTNAME

**Enabled** true

## MonitorPhoneReturnEnabled

イネーブルの場合、[Data] フィールドで指定したユーザ グループに割り当てられた追加のワークフロー アクティビティを実装することで、電話が返されたかどうかを追跡します。

```
Data Shipping
```

```
Enabled false
```

## NameDialingInfo

このストリングは、自動アテンダント名ダイヤル ストリングの構成に使用されます。FIRSTNAME LASTNAME は置き換えられますが、EXTENSION は置き換えられません。



(注)

この機能を使用できるのは、Cisco Unified Communications Manager バージョン 3.3.3 だけです。

```
Data FIRSTNAME LASTNAME
```

```
Enabled true
```

## Non-RestrictedDomainSync

Non-RestrictedDomainSync がイネーブルの場合、一部のドメイン同期操作のルールが削減されると、ドメイン同期が実行されます。

製品に該当するサービス エリアがない場合、製品のサービス エリアを検索する条件が緩やかになり、次の製品のコール プロセッサおよびプロトコルが含まれます。

- Extension Mobility Access
- Extension Mobility Access Line
- Line
- Phone

次の各製品では、サービス エリアを判断するため、コール プロセッサだけが使用されます。

- CTI Port
- Enable Extension Mobility
- Enable Mobility Support

次の各製品では、サービス エリアを判断するため、コール プロセッサとユニファイド メッセージ プロセッサだけが使用されます。

- Voicemail
- Email
- Unified Messaging

ボイスメールのアソシエーションのためのディレクトリ番号を判断するには、コール プロセッサとユニファイド メッセージ プロセッサだけが使用されます。

このルールのデータ フィールドには、どのサービス エリアで無制限のドメイン同期を実行するかを入力します。サービス エリア名は二重引用符 (") で囲み、セミコロン (;) で区切る必要があります。

たとえば、"SA1";"SA2" と入力すると、このリスト中で最初に条件（コール プロセッサ + ユニファイド メッセージ プロセッサ）を満たすサービス エリアが使用されます。データ フィールドが空欄か、またはデータ フィールドで指定されたサービス エリアがいずれもサービス エリアの選択基準を満たさない場合は、プロビジョニング の機能により、条件を満たすサービス エリアが選択されます。

```
Data <blank>
```

**Enabled** false

## PhoneAssignmentDoneBy

電話のオーダー ワークフローのうち、割り当ての手順の遂行を担当するユーザ グループを指定します。有効なオプションは次のとおりです。

- Receiving
- Shipping
- Assignment
- OrderOwner（オーダーを開始したユーザ）
- None（ワークフローにより自動的に電話と MAC アドレスを割り当てる）

**Data** None

**Enabled** true (n/a)

## PhoneReceiptDoneBy

電話のオーダー ワークフローのうち、受領の手順の遂行を担当するユーザまたはユーザ グループを指定します。受領手順は、ユーザが実際に電話機を受領したことを示します。

有効なオプションは次のとおりです。

- Receiving
- Shipping
- Assignment
- OrderOwner（オーダーを開始したユーザ）
- None（手順をスキップ）

**Data** None

**Enabled** true (n/a)

## PhoneReservationTimeout

電話機がシステム内で予約済みのままとなる期間（日数）を指定します。ディセーブルの場合、電話機は無期限で予約済みとなります。

**Data** 10

**Enabled** true (n/a)

## PhoneShippingDoneBy

電話のオーダー ワークフローのうち、出荷の手順の遂行を担当するユーザを指定します。有効なオプションは次のとおりです。

- Receiving
- Shipping
- Assignment
- OrderOwner（オーダーを開始したユーザ）

- None (手順をスキップ)

**Data** None

**Enabled** true (n/a)

## PseudoUserID

Associated Users 機能を使用せずに Export Phones によって生成されたエクスポートされたデータ ファイルの [NewUserID] フィールドを構築するために使用されます。次のキーワードがサポートされます。

- *DIRECTORYNUMBER* : 電話機の 1 行目の [Directory Number-Route Partition] の値に置き換えられます。
- *MACADDRESS* : (Softphone の) MAC アドレスまたはデバイス名に置き換えられます。
- *RANDOMNUMBER* : 自動的に生成される 6 桁のランダムな番号に置き換えられます。

このルールがディセーブルの場合、Associated Users 機能を使用せずに Export Phones を使用することはできません。

**Data** pseudo-DIRECTORYNUMBER

**Enabled** true (n/a)

## PurgeUponUmRemoval

イネーブルの場合、ユーザの Cisco Unity アカウントが削除されると、ユーザの電子メールおよびボイスメールはシステムから消去されます。



(注)

このルールは、[Data] フィールドで true または false を指定することで、イネーブルとディセーブルを切り替えます。

**Data** false

**Enabled** true (n/a)

## TakePrimaryUserInfoFromUMProcessor

イネーブルの場合、ユーザおよび加入者の情報は関連付けられたユニファイド メッセージ プロセッサのアカウントから更新されます。そうでない場合、これらの情報はコール プロセッサから更新されます。ルールがイネーブルの場合は、ユニファイド メッセージ プロセッサ ID も指定できます。ユーザが複数のユニファイド メッセージ プロセッサにアカウントを持っている場合、この ID が優先されます。この値は空欄にしておくことも可能で、その場合は優先順位を設定しないことを意味します。

**Data** <blank>

**Enabled** false

## ビジネス ルールの使用

プロビジョニングを設定する際は、ビジネス ルールをどのように使用するかを検討しておくことが重要です。ここでは、プロビジョニング コンポーネントをどのように機能させるかに基づいて、考慮する必要があるビジネス ルールの詳細を説明します。少なくとも次のルールについて考慮する必要があります。

- AssociateAllUsersInCallProcessor
- CreateSelfCareAccounts
- EmailSender
- IsAuthorizationRequiredForAddOrder
- IsAuthorizationRequiredForOrder
- IsAuthorizationRequiredForChangeOrder
- MailHost
- OrderProvisionedEmailTemplate
- OrderRejectedEmailTemplate
- PhoneAssignmentDoneBy
- PhoneReceiptDoneBy
- PhoneShippingDoneBy

## ユーザ アクセスの設定

- ユーザが回線を使用する際、その番号を自動的にその特定のユーザのために予約しますか。
  - DNAutoReservation : 予約の切り替え
  - DNReservationTimeout : 番号を予約する期間
- ユーザにセルフケア アカウントを設定しますか。
  - CreateSelfCareAccounts
  - DefaultCUPMPassword
- 新しいユーザには、デフォルトでどのユーザ タイプを割り当てますか。
  - DefaultUserType
- 特定のドメインのユーザに電話インベントリを管理させますか。
  - DomainPhoneManagement
  - PhoneReservationTimeout
- ユーザにユーザ タイプを管理させますか。
  - DomainUserTypeConfiguration

## ドメイン同期化の設定

- 同期を行う際、プロビジョニング で Cisco Unified Communications Manager ユーザをどのドメインに配置しますか。
  - AssociateUsersByDeptCode



- ドメインの同期時、ドメイン内のすべてのコール プロセッサの全加入者アカウントを、同期するドメインに割り当てますか。
  - AssociateAllUsersInCallProcessor
- 同期を行う際、特定のユニファイド メッセージ プロセッサの全加入者アカウントをドメインに割り当てますか。
  - AssociateAllUsersInUMProcessor



(注)

ドメイン同期化に関するビジネス ルールの詳細については、「[ドメインの同期化用のビジネス ルール](#)」(P.4-7) を参照してください。

## 製品の設定

- Cisco Unified Communications Manager の CTI ポートにはどのような名前をつけますか。
  - AssignSoftPhoneName : デフォルト値についてはルールを参照
- ディレクトリ番号を予約する必要がありますか。
  - DNReservationTimeout
- 電話がキャンセルされた後に返されたかどうかを追跡する必要がありますか。
  - MonitorPhoneReturnEnabled

## オーダーの設定

- Cisco Unity または Cisco Unified Communications Manager のアカウントでは、どのようなデフォルト パスワードを使用しますか。
  - DefaultCallManagerPassword
  - DefaultCallManagerPIN
  - DefaultUnitySubscriberPassword
- オーダーが拒否されたときや完了したとき、電子メールを送信しますか。電子メールはオプションにより、一切送信しないことも可能です。



(注)

プロビジョニング で電子メール機能を使用するには、EmailSender と MailHost を両方イネーブルにする必要があります。

- EmailSender
- MailHost
- OrderProvisionedEmailTemplate
- OrderRejectedEmailTemplate
- すべてのタイプのオーダーに認可を義務付けますか。
  - IsAuthorizationRequiredForAddOrder
  - IsAuthorizationRequiredForOrder
  - IsAuthorizationRequiredForChangeOrder

- 電話の割り当て、出荷、および受領をどのように処理しますか。
  - PhoneAssignmentDoneBy
  - PhoneReceiptDoneBy
  - PhoneShippingDoneBy
- ボイスメールまたは電子メールのアカウントがキャンセルされた場合、キャンセルされたアカウントのメッセージも削除する必要がありますか。
  - PurgeUponUmRemoval

## ビジネス ルールの設定

ビジネス ルールを変更する際は、まずドメインを選択する必要があります。変更できるのは、ルールの値、およびルールをイネーブルにするかどうかです。ルール名や説明は変更できません。

すべてのビジネス ルールには次のようなプロパティがあります。[Data] および [Enabled] の各フィールドを修正できます。

| プロパティ       | 説明                                          |
|-------------|---------------------------------------------|
| Rule Name   | ルールの名前。                                     |
| Description | ルールの詳細な説明。                                  |
| Data        | ルールに設定する値。                                  |
| Enabled     | ルールを適用するかどうかを指定します。有効な値は true または false です。 |



(注)

各ビジネス ルールについての資料は注意深く読み、Data プロパティと Enabled プロパティを適切に設定してください。



注意

プロビジョニングには、ビジネス ルールのデフォルトのリセット機能はありません。ビジネス ルールの設定を変更した後、デフォルト設定に戻したくなった場合は、手動で設定を変更する必要があります。

次の手順は、AssignSoftPhoneName ルールを例に、ルールのプロパティを変更する方法を説明したものです。

- ステップ 1** [Advanced Setup] > [Policies] > [Rules] を選択します。
- ステップ 2** [Rule Configuration] ページで、ルールを変更するドメインを選択します。[Select Rule] リストが表示されます。
- ステップ 3** ルールを選択します。
- ステップ 4** [Edit] アイコン (🔧) をクリックします。[Data] および [Enabled] の各フィールドがアクティブになります。

- ステップ 5** 必要な変更を行って、[Save] をクリックします。AssignSoftPhoneName ルールに変更が加えられます。

## ドメイン同期に関するビジネス ルールの設定

ドメイン同期に関するビジネス ルールは、他のビジネス ルールと同様の手順で設定しますが、ドメイン同期関連のビジネス ルールはすべて 1 つのページ ([Configure Domain Sync Rules] ページ) にまとめて配置されます。



### ヒント

各ビジネス ルールの説明は、ルールの横の情報アイコン (i) 上にカーソルを配置すると表示されます。

- ステップ 1** [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Provisioning Rules] を選択します。

- ステップ 2** [Rule Configuration] ページで、ルールを変更するドメインを選択します。

- ステップ 3** [Configure Domain Sync Rules] をクリックします。

すべてのドメイン同期化ルールは、[Configure Domain Sync Rules] ページに表示されます。



**ヒント** このページには [Synchronize Domain] ページからもアクセスできます。

- ステップ 4** 必要な変更を加えます。

コール プロセッサの同期ルールを 1 つ選択してください。AssociateUsersByOtherAttributes を選択した場合は、AssociateUsersByOtherAttributes に表示されているルールのうち少なくとも 1 つを選択する必要があります。

ドメイン同期化の設定については、「[ドメインの同期化用のビジネス ルール](#)」(P.4-7) を参照してください。

- ステップ 5** [Update] をクリックします。

## プロビジョニング属性の設定

プロビジョニング では、プロビジョニング属性を使用して製品の属性を設定できます。プロビジョニング属性は、製品のアクティベーション時に適用される設定です。プロビジョニング 内のさまざまなレベルで、プロビジョニング属性の割り当てと設定を実行できます。

オーダーの際、プロビジョニング では設定済みのプロビジョニング属性割り当てがサービス エリア設定とともに考慮され、プロビジョニングする最終的な製品構成が決定されます。

プロビジョニング属性は次のレベルで、次の順序で割り当てられます (これはデフォルトの設定です)。

- Service Area
- Subscriber type
- Domain

プロビジョニング属性が割り当てられる順序は変更できます (「[プロビジョニング属性の優先順位の変更](#)」(P.11-70) を参照)。

プロビジョニング属性の内容を設定するには、管理者権限を持っている必要があります (P.8-5) を参照)。



#### ヒント

[Subscriber Record] で目的の製品の [View] ボタンをクリックすると、製品のプロビジョニング属性を表示できます (「加入者レコードへのアクセス」(P.10-2) を参照)。**[View]** ボタンを押しても、プロビジョニング属性が表示されるだけで、[Subscriber Record] ページから **[View Product]** でプロビジョニング属性を設定できません。

表 11-1 に、設定可能なすべてのプロビジョニング属性を示します。すべての電話タイプまたはすべての Cisco Unified Communications Manager バージョンに、すべての属性を適用できるとは限りません。プロビジョニングの設定によっては、一部の属性は使用できない場合があります。

表 11-2 は、それぞれのプロビジョニング属性をどのレベル (ドメイン、加入者タイプ、サービス エリア) に割り当てることができるかを示したものです。

**ステップ 1** [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Provisioning Attributes] を選択します。  
[Provisioning Attributes Management] ページが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかを実行します。

- [Domain] をクリックし、表示される検索ページから、プロビジョニング属性を設定するドメインを選択します。
- [Service Area] をクリックし、表示される検索ページから、プロビジョニング属性を設定するサービス エリアを選択します。
- 加入者のロールを選択します。
  - a. Subscriber Role リストから、加入者が属するドメインまたはドメイン テンプレートを選択します。
  - b. [Choose Subscriber Role] をクリックします。[Choose a Subscriber Role] ダイアログボックスが表示されます。
  - c. 表示された検索ページで、必要な加入者ロールを選択します。

[Provisioning Attribute Management] ページが表示されます。実際に表示されるページは、選択したオプションによって異なります。表 11-1 に、設定可能なすべてのプロビジョニング属性を示します。

プロビジョニングの設定と、コール プロセッサまたはユニファイド メッセージ プロセッサのバージョンによっては、すべての属性を使用できない場合もあります。表 11-3 および表 11-4 は、コール プロセッサとユニファイド メッセージ プロセッサの各バージョンでどの属性を使用できるかをそれぞれ示したものです。



#### (注)

各オブジェクト (ドメイン、サービス エリア、加入者ロール) の [Provisioning Attribute Management] ページは、それぞれのオブジェクトの設定時にもアクセスできます。詳細については、次の説明を参照してください。

- 「加入者ロールタイプのプロビジョニング属性の編集」(P.8-12)
- 「ドメインのプロビジョニング属性の編集」(P.4-10)
- 「サービス エリアのプロビジョニング属性の編集」(P.4-20)

**ステップ 3** 設定するプロビジョニング属性が含まれる属性見出しの横にあるプラス記号をクリックします。属性が表示されます。

**ステップ 4** 次のいずれかを実行します。

- 属性設定を変更する場合は、[Edit] アイコン (✎) をクリックして、必要な変更を行います。
- 属性を削除する場合は、[Delete] アイコン (✖) をクリックします。

**ステップ 5** 終了したら、[Done] をクリックします。

表 11-1 プロビジョニング属性の説明

| 属性                              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AAR Calling Search Space        | 自動代替ルーティング (AAR) コーリング サーチ スペース。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| AAR Destination Mask            | ディレクトリ番号に自動代替ルーティング (AAR) の Destination Mask を設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| AAR Group                       | 自動代替ルーティング (AAR) グループ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| AAR Keep Call History           | ディレクトリ番号に自動代替ルーティング (AAR) の Keep Call History を設定すると、宛先がコール転送履歴に保持されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Admin Username                  | Admin ユーザのユーザ ID。デフォルトは admin です。<br>ユーザ名に apache、daemon、nobody、root、および shutdown は使用できません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Admin Password                  | Admin ユーザのパスワード。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Advertise G.722 and iSAC Codecs | 電話アプリケーションが広帯域コーデックを Cisco Unified Communications Manager にアドバタイズするかどうかを指定します。<br>コーデックのネゴシエーションでは、次の 2 つの手順が実行されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>電話アプリケーションは、サポートされるコーデックを Cisco Unified Communications Manager にアドバタイズします (すべてのエンドポイントが同じコーデックのセットをサポートしているわけではありません)。</li> <li>Cisco Unified Communications Manager が、コール試行に関連するすべての電話からサポートされるコーデックのリストを取得すると、リージョン ペア設定などのさまざまな要因に基づいて一般にサポートされるコーデックが選択されます。</li> </ul> 次の値が有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Use System Default (電話アプリケーションは [Advertise G.722 Codec] エンタープライズ パラメータで指定された設定に従います)。</li> <li>Disabled (電話アプリケーションが広帯域コーデックを Cisco Unified Communications Manager にアドバタイズしません)。</li> <li>Enabled (電話アプリケーションが広帯域コーデックを Cisco Unified Communications Manager にアドバタイズします)。</li> </ul> |
| Alerting Name                   | 回線からコールを発信した際に表示される名前。<br>このプロビジョニング属性を設定するときは、\${FIRSTNAME}、\${LASTNAME}、\${EXTENSION}、および \${USERID} の各キーワードを使用できます。これらのキーワードはそれぞれ、ユーザの名、姓、内線番号、ユーザ ID に置き換えられます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Alternate Voicemail Extensions          | <p>ボイスメール アカウントの 1 つ以上の代替内線番号。</p> <p>ボイスメール アカウントのオーダー中に、[Advanced Order Options] を使用して、このプロビジョニング属性を設定できます（「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照）。</p> <p>[Alternate Voicemail Extension] フィールドには、次の文字を入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 数字 (0 ～ 9)</li> <li>• アスタリスク (*)</li> <li>• ダッシュ (-)</li> <li>• プラス記号 (+)</li> <li>• パーセント (%)</li> <li>• バックスラッシュ (\)</li> <li>• エックス文字 (X)</li> <li>• 疑問符 (?)</li> </ul> |
| Allow Applications from Android Market  | ユーザが Android Marketplace から Android アプリケーションをインストールできるかどうかを制御します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Allow Applications from Cisco AppHQ     | ユーザが Cisco AppHQ からアプリケーションをインストールできるかどうかを制御します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Allow Applications from Unknown Sources | URL から、あるいは電子メール、インスタントメッセージ (IM)、または Secure Digital (SD) カード経由で受け取った Android パッケージ (APK) から、ユーザが Android アプリケーションをデバイス上にインストールできるかどうかを制御します。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Allow Control of Device from CTI        | [True] に設定した場合は、CTI でデバイスを制御およびモニタできます。有効な値は [True] または [False] です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Allow EnergyWise Overrides              | EnergyWise ドメイン コントローラ ポリシーで、電力レベルの更新を電話機に送信できるかどうかを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Allow User-Defined VPN Profiles         | AnyConnect VPN クライアントを使用して VPN プロファイルを作成できるかどうかを制御します。無効にすると、ユーザは VPN プロファイルを作成できません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Always on VPN                           | 常にデバイスが VPN AnyConnect クライアントを起動し、Cisco Unified Communications Manager の設定済みの VPN プロファイルで接続を確立するかどうかを示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Always Use Prime Line                   | <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Off] : 電話機がアイドルで、いずれかの回線でコールを受信すると、電話のユーザは、コールを受信した回線からのコールに応答します。</li> <li>• [On] : 電話機がアイドル（オフ フック）で、いずれかの回線でコールを受信すると、そのコールにプライマリ回線が選択されます。他の回線のコールは鳴り続け、電話機ユーザはそれらの回線を選択して、これらのコールに応答する必要があります。</li> <li>• [Default] : Provisioning では、[Always Use Prime Line] サービス パラメータの設定が使用されます。</li> </ul>                                                        |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Always Use Prime Line for Voice Message | 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [On] : 電話機がアイドルの場合、電話機のユーザが電話機の [Messages] ボタンを押すと、ボイスメッセージを受信するために電話のプライマリ回線がアクティブ回線になります。</li> <li>• [Off] : 電話機がアイドルの場合、電話機の [Messages] ボタンを押すと、ボイスメッセージのある回線から、ボイスメッセージシステムを自動的にダイヤルします。電話機のユーザが [Messages] ボタンを押したときに、ボイスメッセージがある回線がない場合、プライマリ回線が使われます。</li> <li>• [Default] : Provisioning では、[Always Use Prime Line for Voice Message] サービスパラメータの設定が使用されます。</li> </ul>                                                                                             |
| Android Debug Bridge (ADB)              | デバイス上で Android Debug Bridge (ADB) を有効または無効にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Application Dial Rules URL              | アプリケーションのダイヤル ルールの URL。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| AppHQ Domain                            | Cisco AppHQ のドメイン。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Area Code                               | サイトのエリアコード。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ASCII Alerting Name                     | 回線からコールを発信した際に表示される名前。入力には ASCII 文字で行うことができます。<br>このプロビジョニング属性を設定するときは、\${FIRSTNAME}、\${LASTNAME}、\${EXTENSION}、および \${USERID} の各キーワードを使用できます。これらのキーワードはそれぞれ、ユーザの名、姓、内線番号、ユーザ ID に置き換えられます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ASCII Display (Internal Caller ID)      | 表示される社内発信者 ID。このフィールドを空欄にしておいた場合は、内線番号が表示されます。入力には ASCII 文字で行うことができます。<br>このプロビジョニング属性を設定するときは、\${FIRSTNAME}、\${LASTNAME}、\${EXTENSION}、および \${USERID} の各キーワードを使用できます。これらのキーワードはそれぞれ、ユーザの名、姓、内線番号、ユーザ ID に置き換えられます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| ASCII Line Text Label                   | 回線と電話の組み合わせについて、このディレクトリ番号を特定するテキスト。入力には ASCII 文字で行うことができます。このプロビジョニング属性を設定するときは、\${FIRSTNAME}、\${LASTNAME}、\${EXTENSION}、および \${USERID} の各キーワードを使用できます。<br>これらのキーワードはそれぞれ、ユーザの名、姓、内線番号、ユーザ ID に置き換えられます。<br>また、このフィールドにテンプレートを入力して、電話機に表示されるディレクトリ番号の桁を操作することもできます。<br>テンプレートでは、テキスト文字列内に変換マスクを埋め込むことで、ディレクトリ番号の任意の桁を削除、挿入、順序変更、または変更することができます。<br>変換テンプレートの設定方法については、「 <a href="#">プロビジョニング属性の変換テンプレートの設定 (P.11-69)</a> 」を参照してください。<br><b>(注)</b> テンプレートではなく標準的なテキストを入力する場合、このフィールドには 30 文字まで入力できます。テンプレートを入力する場合、最大文字数は 60 文字になります。 |
| Audio Profile                           | ノイズの抑制やエコーなどのオーディオ設定を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Authentication Server URL               | 電話 Web サーバに対する要求を検証するために電話機で使用される URL。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Auto Answer                             | 自動応答のオプションを設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Auto Barge                              | 自動割り込みオプションを有効にするか無効にするかを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Auto Line Select                        | 自動での回線選択を有効にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                     | 説明                                                                                                                                               |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Automatic Port Synchronization         | 電話で PC ポートおよび SW ポートを同じ速度およびデュプレックスに同期することを有効にします。                                                                                               |
| BLF Audible Alert Setting (Phone Idle) | 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [On] : 可聴アラート サウンド。</li> <li>• [Off] : 可聴アラート サウンドなし。</li> <li>• Default</li> </ul> |
| BLF Audible Alert Setting (Phone Busy) | 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [On] : 可聴アラート サウンド。</li> <li>• [Off] : 可聴アラート サウンドなし。</li> <li>• Default</li> </ul> |
| BLF Presence Group                     | このディレクトリ番号をモニタできるエンド ユーザとアプリケーション ユーザを指定するグループ。                                                                                                  |
| Bluetooth                              | Bluetooth デバイスを有効にするか無効にするかを指定します。                                                                                                               |



表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Busy Lampfield Info | <p>デバイスのディレクトリ番号または SIP URI のステータスをリアルタイムでモニタするために使用します。これは Cisco Unified Communications Manager の Cisco Unified Presence 機能の一部です。</p> <p>この属性の設定フィールドを、次のリストで説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Index</b> : 数字 (1 ~ 199) を入力します。</li> <li>• <b>Destination</b> : 次のいずれかのタスクを実行して、SIP URI またはディレクトリ番号を Busy Lampfield として設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– SIP フォンの場合は、SIP URI を入力します。</li> <li>– SIP または SCCP フォンの場合は、数値、アスタリスク (*)、ポンド記号 (#) だけを使用してディレクトリ番号を入力するか、[Directory Number] ドロップダウン リストから番号を選択します。</li> </ul> <p>Cisco Unified Communications Manager 以外のディレクトリ番号を Busy Lampfield として設定する場合は、そのディレクトリ番号を入力します。[Destination] フィールドを設定する場合は、[Directory Number] ドロップダウン リストからオプションを選択しないでください。</p> <p>このフィールドでは、数字 (0 ~ 9)、アスタリスク (*)、ハッシュ記号 (#)、およびプラス記号 (+) を使用できます。</p> </li> <li>• <b>[Directory Number]</b> : Cisco Unified Communications Manager データベースに存在するディレクトリ番号のリストを表示します。この設定は、[Destination] フィールドを設定しなかった場合だけ行ってください。</li> </ul> <p>SCCP または SIP フォンの場合は、短縮ダイヤル ボタンを使用した際にダイヤルさせる番号を選択します。</p> <p>このフィールドでは、数字 (0 ~ 9)、アスタリスク (*)、ハッシュ記号 (#)、およびバックslashとプラス記号 (\+) を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Label</b> : 表示させるテキストを入力します。このフィールドは国際化をサポートしています。電話機が国際化をサポートしていない場合、プロビジョニング では [Label ASCII] フィールドに入力したテキストが使用されます。</li> <li>• <b>Label ASCII</b> : [Busy Lamp] フィールドに表示させるテキストを入力します。[Label ASCII] フィールドは、[Label] フィールドに入力したテキストの非国際化バージョンを表します。</li> </ul> <p>[Label ASCII] フィールドは、Cisco Unified Communications Manager 6.1.3 以降でサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Call Pickup</b> : Cisco Unified IP Phone で [Busy Lampfield] ボタンをディレクトリ番号に関連付けます。これによって、Cisco Unified Communications Manager で、ディレクトリ番号からコールが受けられるのを待機しているときに、電話機ユーザを通知できるようになります。</li> </ul> <p>ディレクトリ番号は Busy Lampfield ディレクトリ番号を示し、Busy Lampfield ディレクトリ番号への通話を受ける電話機は Busy Lampfield コール ピックアップ発信側を示します。</p> <p>Batch Provisioning で Busy Lampfield 情報を指定する場合、次の形式を使用する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Batch Provisioning で Add、Change Order、UpdatePA を実行する場合。<br/> <b>Index:DirectoryNumber:Label:LabelAscii:Destination:Call Pickup;</b><br/> デバイスですでに Busy Lampfield 値が設定されている場合、既存の値がこの形式に置換されます。</li> <li>• Batch Provisioning で Add および Change Order を実行する場合。<br/> <b>&amp;Index:DirectoryNumber:Label:LabelAscii:Destination:Call Pickup;</b><br/> この形式は、Busy Lampfield の特定の値を変更し、他の既存の Busy Lampfield 値を保持するために使用されます。</li> </ul> |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Busy Trigger                                 | 回線に一度に送られるコールの最大数。コールがこの数を超えると、ビジー信号が発生するか、コール転送に回されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Built in Bridge                              | バージ機能で、ビルトインの会議ブリッジのイネーブルとディセーブルを切り替えます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Call Pickup Group                            | ユーザが独自のグループ内で着信コールを受けることを可能にするディレクトリ番号。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Caller ID                                    | 発信者に割り当てられた ID を識別します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Caller Input Keys                            | <p>発信者の入力キーを設定します。有効な属性は次のとおりです。</p> <p>Locked : True または False。</p> <p>Action : キーのアクションを指定します。</p> <p>Extension</p> <p>Description</p> <p>Call Handler</p> <p>Directory Handler</p> <p>Interview Handler</p> <p>User with Mailbox</p> <p>Attempt Transfer Or Go Greeting</p> <p>Conversation</p> <p>内線番号ダイヤリングが許可されるかどうか、および Wait for Additional Digits の値を指定できます。</p>   |
| Calling Party Transformation CSS             | 発呼側変換用のコーリング サーチ スペースを選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Calling Search Space                         | コールの終了を試みる際にデバイスが検索できるパーティションを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| CIP Profile                                  | Cisco Unified Communications Manager CIP Web サービスのホスト名を設定します。このホスト名は、Unified Presence Client で電話サービスへのアクセス、認証、およびローカリゼーションに使用できます。                                                                                                                                                                                                                                         |
| Cisco Camera                                 | カメラが電話機に接続されている場合に、カメラ機能がイネーブルかどうかを示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Cisco Discovery Protocol (CDP) : PC Port     | 管理者は、ドックの PC ポート上で CDP を有効または無効にできます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Cisco Discovery Protocol (CDP) : Switch Port | 管理者は、ドックのスイッチ ポート上で CDP を有効または無効にできます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Cisco Usage and Error Tracking               | Cisco Usage and Error Tracking システムに送信される使用状況情報のレベルを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| CME Line Configuration Template              | <p>Cisco Unified Communications Manager Express のライン コンフィギュレーション モードで実行される Cisco IOS コマンドを入力する、自由形式のテキスト フィールド。</p> <p>入力する CLI コマンドはすべて、正しい構文である必要があります。ライン コンフィギュレーション モードを変更するコマンド (<b>exit</b> など) は使用しないでください。</p> <p>このテンプレートでは、ライン コンフィギュレーション コマンド (<b>number</b> や <b>description</b> など) は使用しないでください。これらのコマンドでは、回線製品をプロビジョニングする際、プロビジョニングによって行われた設定が上書きされます。</p> |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CME Phone Configuration Template     | <p>Cisco Unified Communications Manager Express の電話機コンフィギュレーション モードで実行される Cisco IOS コマンドを入力する、自由形式のテキスト フィールド。</p> <p>入力する CLI コマンドはすべて、正しい構文である必要があります。ライン コンフィギュレーション モードを変更するコマンド (<b>exit</b> など) は使用しないでください。</p> <p>このテンプレートでは、電話機コンフィギュレーション コマンド (<b>mac-address</b>、<b>description</b>、<b>button</b>、<b>type</b>、<b>username</b> など) は使用しないでください。これらのコマンドでは、電話機製品をプロビジョニングする際、プロビジョニング によって行われた設定が上書きされます。</p> |
| Common Device Configuration          | <p>共通のデバイス設定（ソフトキー テンプレートやユーザ ロケールなど）。</p> <p>この属性は、Edit Provisioning Attributes リンク（「サービス エリアのプロビジョニング属性の編集」(P.4-20) を参照）の使用時や、[Provisioning Attribute Management] ページからは使用できません。</p> <p>この属性の更新は、[Update Service Area] ページ（「サービス エリアの設定」(P.4-17) を参照）で行う必要があります。</p>                                                                                                                                                  |
| Company Photo Directory              | ユーザに関連するイメージのクエリーを実行してイメージを取得する URL を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Conferencing Profile                 | プライマリ サーバ、スタンバイ サーバ、およびプロファイルに関連付けられたユーザなど、Cisco MeetingPlace に関する設定を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Corporate Email Address              | 社内 IT 部門の電子メール アドレスを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Country Code                         | サイトの国番号を示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| CTI Gateway Profile                  | プライマリ サーバ、スタンバイ サーバ、およびプロファイルに関連付けられたユーザなど、CTI ゲートウェイに関する設定を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| CUE User Configuration Template      | Cisco Unity Express の EXEC モードとコンフィギュレーション モードの CLI コマンドを入力する、自由形式のテキスト フィールド。コンフィギュレーション モードを開始したり終了したりするための、適切な CLI コマンドを格納します。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| CUE Voicemail Configuration Template | Cisco Unity Express のメールボックス コンフィギュレーション モードの CLI コマンドを入力する、自由形式のテキスト フィールド。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Days Display Not Active              | デフォルトでディスプレイの電源がオフに設定される日を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Default Call Protocol                | <p>デバイスの標準通信プロトコル。デフォルト値は SIP です。</p> <p>(注) Cisco Unified Communication Manager に登録する場合は、SIP プロトコルだけがサポートされます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Detect Unified CM Connection Failure | <p>電話アプリケーションで Cisco Unified Communications Manager への接続エラーを検出するための感度を指定します。これは、デバイスのバックアップ Cisco Unified Communications Manager/SRST へのフェールオーバーが発生する前に最初に実行されます。</p> <p>次の値が有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>– [Normal]（標準のシステム レートで発生する Unified CM 接続エラーの検出）。Unified CM 接続エラーの高速認識のためには、[Normal] を選択します。</li> <li>– [Delayed] ([Normal] の約 4 分の 1 の速度で発生する Unified CM 接続エラーの検出)。接続自体で接続を再確立できるようにするためにフェールオーバーを少し遅らせる場合は、[Delayed] を選択します。</li> </ul> <p>[Normal] と [Delayed] の接続エラー検出の正確な時間の差は、常に変化する多数の変数に応じて異なります。これは有線イーサネット接続に適用されます。</p> |
| Device Description                   | デバイスの目的を特定する説明文。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Device Mobility Mode                 | ローミング デバイスのコーリング サーチ スペース、地域、日付/時刻グループ、SRST リファレンスなどのロケーション設定を動的に変更します。有効な値は、[On]、[Off]、および [Default] です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Device Pool                          | デバイスが使用するデバイス プール。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Device Security Mode                 | デバイスと Cisco Unified Communications Manager との間で使用するセキュリティ モード（認証または暗号化）。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Directory Lookup Rules URL           | ディレクトリ検索ルールの URL。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Directory URL                        | 電話機がディレクトリ情報を取得するサーバの URL。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Disable Speakerphone                 | デバイスのスピーカーフォンをディセーブルにします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Disable Speakerphone And Headset     | デバイスのスピーカーフォンおよびヘッドセットをディセーブルにします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Disable USB                          | デバイスおよびドックの USB ポートをディセーブルにします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Display (Internal Caller ID)         | 表示される社内発信者 ID。このフィールドを空欄にしておいた場合は、内線番号が表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Display Idle Timeout                 | <p>ディスプレイがユーザ アクティビティによってアクティブになった後に再び非アクティブになるまでの時間を指定する自由形式のフィールド。このフィールドを空にした場合は、デバイスのデフォルト値は 1 時間になります。</p> <p>最大値は 24 時間です。"1:30" と入力すると、1 時間 30 分放置された後にディスプレイがオフになります。非アクティビティ タイマーは、ユーザのアクティビティ中、継続的にリセットされます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Display On Duration                  | プログラミングされたスケジュールによって電源がオンになったときにディスプレイがアクティブになるまでの時間を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Display On Time                      | ディスプレイの電源が自動的にオンになる時刻を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Digest User                          | ダイジェスト認証（SIP セキュリティ）の設定に関連付けられるエンド ユーザ。SIP フォン タイプのみがサポートされます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Display On When Incoming Call        | デバイスがスクリーンセーバー モードのときにコールが着信した場合、ディスプレイがアクティブになります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| DND Incoming Call Alert              | Do Not Disturb 機能がイネーブルになっている場合に、電話でコールを表示する方法を指定します。有効な値は、[Beep Only]、[Disable]、および [Flash Only] です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                         | 説明                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| DND Option                                 | 着信コールが Do Not Disturb 機能によってどのように処理されるかを指定します。Cisco Unified Communications Manager 6.0.x でサポートされる有効な値は [Ringer Off] です。7.0.x では、[Ringer Off]、[Call Reject]、および [Use Common Phone Profile Setting] がサポートされます。 |
| Do Not Disturb                             | その電話機で Do Not Disturb をイネーブルにします。有効な値は [True] または [False] です。                                                                                                                                                |
| Domain Name                                | ドメインの名前です。                                                                                                                                                                                                   |
| Emergency Numbers                          | 緊急番号のカンマ区切りのリストです（例：911）。これらの番号は SoftPhone ではなく、GSM からダイヤルされます。                                                                                                                                              |
| Enable Audible Alert                       | 可聴アラート メッセージをイネーブルにします。                                                                                                                                                                                      |
| Enable Cisco UCM App Client                | アプリケーション クライアントがデバイス上で動作するかどうかを制御します。Application Client がイネーブルの場合、Cisco Unified Communications Manager からインストールするアプリケーションを選択できます。                                                                            |
| Enable Cisco Unified Mobile Communicator   | Cisco Unified Mobile Communicator をイネーブルにします。                                                                                                                                                                |
| Enable LDAP SSL                            | LDAP への SSL 接続をイネーブルにします。                                                                                                                                                                                    |
| Enable LDAP User Authentication            | LDAP トランザクションに対するクライアント ユーザ認証をイネーブルにします。                                                                                                                                                                     |
| Enable Mobile Voice Access                 | 現在選択されているコール プロセッサの加入者のモバイル ボイス アクセスをイネーブルにします。                                                                                                                                                              |
| Enable Mobility                            | 現在選択されているコール プロセッサの加入者のモビリティ機能をイネーブルにします。                                                                                                                                                                    |
| Enable Power Save Plus                     | スケジュールに基づいて電話機の電源をオフにする日数を指定します。                                                                                                                                                                             |
| Enable ResyncMWI                           | 追加された加入者について、MWI と統合 Cisco Unified Communications Manager との再同期をイネーブルにします。                                                                                                                                   |
| Enable Telnet                              | 管理者が電話機の Telnet をイネーブルまたはディセーブルにすることを許可します。                                                                                                                                                                  |
| Enable User for Unified CM IM and Presence | Unified CM IM および Presence サービスをイネーブルまたはディセーブルにするために使用します。                                                                                                                                                   |
| EnergyWise Domain                          | 電話機が参加している Energywise ドメインを指定します。                                                                                                                                                                            |
| EnergyWise Endpoint Security Secret        | Energywise ドメイン内の通信に使用されるパスワードを指定します。                                                                                                                                                                        |
| Fax Error Correction Mode Override         | ファクス送信に対してエラー訂正モード（ECM）をディセーブルにするかどうかを指定します。                                                                                                                                                                 |
| Fax Mode                                   | ファクス モード（ファクス パススルーまたは T.38 ファクス リレー）を指定します。                                                                                                                                                                 |
| Forward All                                | すべてのコールを転送します。<br><br>[Forward All Destination] フィールドでは、数字（0 ～ 9）、プラス記号（+）、アスタリスク（*）、ハッシュ記号（#）、および大文字のエクス（X）を使用できます。                                                                                         |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                              | 説明                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Forward All - Calling Search Space <sup>1</sup> | すべてのコーリング サーチ スペースをコール転送します。                                                                                       |
| Forward Busy External                           | 回線が使用中で、Busy Trigger 設定値に達した場合、コールを転送します。これは外部コール用です。                                                              |
| Forward Busy Internal                           | 回線が使用中で、Busy Trigger 設定値に達した場合、コールを転送します。これは内部コール用です。                                                              |
| Forwarded Call Information - Caller Name        | コール転送時に、発信者名を表示させます。                                                                                               |
| Forwarded Call Information - Dialed Number      | コール転送時に、リダイレクトされた番号を表示させます。                                                                                        |
| Forwarded Call Information - Redirected Number  | コール転送時に、最初にダイヤルされた番号を表示させます。                                                                                       |
| Forward No Answer External                      | 応答がなく設定済みの無応答リング時間に達した場合、または宛先が未登録の場合に、コールを転送します。これは外部コール用です。                                                      |
| Forward No Answer Internal                      | 応答がなく設定済みの無応答リング時間に達した場合、または宛先が未登録の場合に、コールを転送します。これは内部コール用です。                                                      |
| Forward No Coverage External                    | カバレッジが使い切られたかまたはタイムアウトし、カバレッジの関連付けられているハント パイロットで最終転送用の Use Personal Preferences が指定されている場合、コールを転送します。これは外部コール用です。 |
| Forward No Coverage Internal                    | カバレッジが使い切られたかまたはタイムアウトし、カバレッジの関連付けられているハント パイロットで最終転送用の Use Personal Preferences が指定されている場合、コールを転送します。これは内部コール用です。 |
| Forward Unregistered External                   | 一時的に登録解除された宛先へのコールを再ルーティングします。これは外部コール用です。                                                                         |
| Forward Unregistered Internal                   | 一時的に登録解除された宛先へのコールを再ルーティングします。これは内部コール用です。                                                                         |
| Forwarding Delay                                | 電話機がアクティブになった際、内部スイッチが電話機の PC ポートとスイッチ ポート間のパケットの転送を開始するかどうかを示します。                                                 |
| Geolocation                                     | 地理的ロケーション フィルタおよび論理パーティション ポリシーで使用する地理的ロケーションを指定します。                                                               |
| Gratuitous ARP                                  | デバイスがネットワーク上にその存在を公表するために使用する、ARP パケットの受信をディセーブルにします。                                                              |
| Home Cluster                                    | このクラスタがエンド ユーザに対してホーム クラスタであるかどうかを示します。                                                                            |
| Hookflash Timer                                 | 上限検証タイマーを指定します。                                                                                                    |
| Idle Timer                                      | Idle URL オプションで指定した URL が表示されるまでの時間の長さ（秒単位）。                                                                       |
| Idle URL                                        | Idle URL Timer で指定した時間の間電話機が使用されなかった場合、電話機に表示される URL。                                                              |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                                                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ignore Presentation Indicators                                               | コールごとのコール表示制限の設定に使用します。有効な値は [True] または [False] です。                                                                                                                                                                                                                       |
| Information URL                                                              | 電話機に表示されるヘルプ テキストの URL。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Inter Site Access Code                                                       | クラスタ ルーティングのためのサイト間アクセス コードを指定します。                                                                                                                                                                                                                                        |
| International Dialing Digits                                                 | 国際アクセスのためにダイヤルする番号を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| IVR Password                                                                 | IVR のパスワードです。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Join Across Lines                                                            | このオプションがイネーブルになっている場合、ユーザは電話に表示されるさまざまな回線間のコールに参加できます。                                                                                                                                                                                                                    |
| Join And Direct Transfer Policy                                              | 同じ回線および異なる回線での参加および直接転送ポリシーを指定します。                                                                                                                                                                                                                                        |
| LDAP Field Mappings                                                          | フィールドのマッピングのセミコロンで区切られたリスト。指定されていないフィールドはデフォルトを使用します。                                                                                                                                                                                                                     |
| LDAP Photo Location                                                          | LDAP ディレクトリ内の写真の場所を示す文字列。これは LDAP フィールドまたは URL です。                                                                                                                                                                                                                        |
| LDAP Profile                                                                 | LDAP のディレクトリ情報、検索コンテキスト情報、サーバ情報、およびプロファイルに関連付けられたユーザを設定します。                                                                                                                                                                                                               |
| LDAP Search Base                                                             | LDAP 検索のための検索ベース。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| LDAP サーバ                                                                     | LDAP サーバ名または IP アドレスおよびポート（例：ldap.company.com:389）。ポートが指定されない場合、アプリケーションはバックエンド ディレクトリ サービスに最適なポートを選択します。                                                                                                                                                                 |
| Legacy Mailbox                                                               | Octel アナログ ネットワークのノード上の Cisco Unity 加入者を特定するために使用される番号。<br>また、このフィールドにテンプレートを入力して、表示される番号の桁を操作することもできます。<br>テンプレートでは、テキスト文字列内に変換マスクを埋め込むことで、ディレクトリ番号の任意の桁を削除、挿入、順序変更、または変更することができます。<br>変換テンプレートの設定方法については、「 <a href="#">プロビジョニング属性の変換テンプレートの設定</a> 」(P.11-69) を参照してください。 |
| Line Groups                                                                  | ディレクトリ番号の選択順序を指定するために使用します。Cisco Unified Communications Manager では、着信コールは回線グループ内のアイドル状態または待機中のメンバーに分配されます。                                                                                                                                                                |
| LLDP Asset ID                                                                | 管理者はリンク層検出プロトコル（LLDP）のアセット ID を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                    |
| Link Layer Discovery Protocol (LLDP) : PC Port                               | 管理者は、ドックの PC ポート上でリンク層検出プロトコル（LLDP）を有効または無効にできます。                                                                                                                                                                                                                         |
| Link Layer Discovery Protocol - Media Endpoint Discover (LLDP-MED) : PC Port | 管理者は、ドックの PC ポート上でリンク層検出プロトコル（LLDP-MED）を有効または無効にできます。                                                                                                                                                                                                                     |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (LLDP-MED) : Switch Port  | 管理者は、ドックのスイッチ ポート上でリンク層検出プロトコル（LLDP-MED）を有効または無効にできます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| LLDP Power Priority       | 管理者は、リンク層検出プロトコル（LLDP）用の電源優先度を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Line Text Label           | <p>このフィールドは、回線にディレクトリ番号を表示させない場合にだけ使用します。回線と電話の組み合わせについて、このディレクトリ番号を特定するテキストを入力します。このプロビジョニング属性を設定するときは、<code>\${FIRSTNAME}</code>、<code>\${LASTNAME}</code>、<code>\${EXTENSION}</code>、および <code>\${USERID}</code> の各キーワードを使用できます。これらのキーワードはそれぞれ、ユーザの名、姓、内線番号、ユーザ ID に置き換えられます。</p> <p>また、このフィールドにテンプレートを入力して、電話機に表示されるディレクトリ番号の桁を操作することもできます。テンプレートでは、テキスト文字列内に変換マスクを埋め込むことで、ディレクトリ番号の任意の桁を削除、挿入、順序変更、または変更することができます。</p> <p>変換テンプレートの設定方法については、「<a href="#">プロビジョニング属性の変換テンプレートの設定</a>（P.11-69）を参照してください。</p> <p><b>(注)</b> テンプレートではなく標準的なテキストを入力する場合、このフィールドには 30 文字まで入力できます。テンプレートを入力する場合、最大文字数は 60 文字になります。</p> |
| Local Number              | デバイスの加入者番号を示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Location                  | 使用するロケーション。このロケーションに行き来するコールが使用できる合計帯域幅を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Lock Device               | このパラメータでは、管理者がデバイスをロックして、不正なユーザ アクセスを防ぐことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Load Server               | デバイスが、定義されている TFTP サーバではなく、代替サーバを使用して、ファームウェア ロードとアップグレードを取得することを示します。このオプションでは、ファームウェアのアップグレードに使用されるローカル サーバを指定して、特に WAN を介したアップグレードの場合に、インストール回数を減らすことができます。サーバのホスト名または IP アドレスを入力します（標準の IP アドレス形式を使用します）。指定されるサーバは TFTP サービスを実行している必要があり、TFTP パスにロードファイルが必要です。ロードファイルが見つからない場合、ロードがインストールされません。デバイスは TFTP サーバにリダイレクトされません。このフィールドが空白のままの場合、デバイスは指定された TFTP サーバを使用してロードファイルおよびアップグレードを取得します。                                                                                                                                                                                                                       |
| Log Server                | ログ メッセージの送信先となるリモート システムの IP アドレスとポートを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Logged into Hunt Group    | 電話が現在ハント リスト（グループ）にログインしていることを示します。有効な値は、[On] および [Off] です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Logging Display           | 許可されるコンソールへのロギングのタイプを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Max Desk Pickup Wait Time | デスクの応答までの最大待機時間。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Maximum Fax Rate          | ネゴシエートする最大ファクス レートを指定します。このパラメータは、Cisco ファクス リレーを使用するファクス送信だけに適用されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Maximum Number of Calls   | 回線に送られるコールの最大数を決定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Media Resource Group List | 使用するメディア リソース グループ リスト。これを使用しない場合、電話機はデバイス プールで指定された電話機にデフォルト設定されます。メディア リソース グループ リストには、優先順位付けされたメディア リソース グループの分類が記載されています。アプリケーションは、Media Resource Group List で定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースから必要なメディア リソース（保留音サーバなど）を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |



表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                               | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Media Termination Point Required | SIP 通話コールに必要です。有効な値は [True] または [False] です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Message Lamp Waiting Policy      | 受話器のランプ点灯ポリシーを設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Messages                         | メッセージ URL を設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| MLPP Calling Search Space        | 代替パーティ ターゲット（宛先）の番号に関連付けるコーリング サーチ スペースです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| MLPP Domain                      | このデバイスに関連付けられた <b>Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)</b> ドメイン。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| MLPP Indication                  | <p>優先トーンを再生できるデバイスで、MLPP 優先コールを発信する際にその機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>このプロビジョニング属性は、一部の Cisco IP Phones では設定解除できません。電話機が SIP フォンの場合、この属性の設定を変更できません。</p> <p>影響を受ける Cisco IP Phone は、7905、7906、7911、7912、7940、7941、7941 G-GE、7942、7945、7960、7961、7961 G-GE、7962、7965、7970、7971、および 7975 です。</p> <p>Extension Mobility Access をオーダーする際は、どの電話ボタン テンプレートのプロビジョニング属性も設定解除できません。</p>                       |
| MLPP No Answer Ring Duration     | 代替パーティの無応答リング時間の長さ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| MLPP Preemption                  | <p>デバイス プール内の、進行中のコールのプリエンプション機能のあるデバイスが、MLPP 優先コールを発信するときにその機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>このプロビジョニング属性は、一部の Cisco IP Phones では設定解除できません。電話機が SIP フォンの場合、この属性の設定を変更できません。</p> <p>影響を受ける Cisco IP Phone は、7905、7906、7911、7912、7940、7941、7941 G-GE、7942、7945、7960、7961、7961 G-GE、7962、7965、7970、7971、および 7975 です。</p> <p>Extension Mobility Access をオーダーする際は、どの電話ボタン テンプレートのプロビジョニング属性も設定解除できません。</p> |
| MLPP Target                      | 代替パーティの無応答ターゲット。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Mobility User ID                 | Nokia S60 または iPhone に関連付けられたユーザのユーザ ID を決定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Module 1                         | <p>デバイスで使用する展開モジュール。</p> <p>電話を追加または変更するときは、サポートされる展開モジュール（電話機がサポートしているモジュール）を選択する必要があります。サポートされていない展開モジュールを選択すると、オーダーは失敗します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Module 1 Load Name               | 展開モジュール 1 のロード名。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Module 2                         | <p>デバイスで使用する展開モジュール。</p> <p>電話を追加または変更するときは、サポートされる展開モジュール（電話機がサポートしているモジュール）を選択する必要があります。サポートされていない展開モジュールを選択すると、オーダーは失敗します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                               |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                           | 説明                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Module 3                     | デバイスで使用する展開モジュール。<br><br>電話を追加または変更するときは、サポートされる展開モジュール（電話機がサポートしているモジュール）を選択する必要があります。サポートされていない展開モジュールを選択すると、オーダーは失敗します。                                                                                |
| Module 2 Load Name           | 展開モジュール 2 のロード名。                                                                                                                                                                                          |
| Module 3 Load Name           | 展開モジュール 3 のロード名。                                                                                                                                                                                          |
| more Soft Key Timer          | more ソフト キーが押されると、表示されるソフト キーが初期設定に戻ります。                                                                                                                                                                  |
| National Dialing Digits      | 国内アクセスのためにダイヤルする番号を指定します。                                                                                                                                                                                 |
| Network Hold Audio Source    | ネットワークが保留操作を開始したときに再生されるオーディオ ソース。                                                                                                                                                                        |
| Network Locale               | ユーザの電話に関連付けられたネットワーク ロケーション。ネットワーク ロケーションによって、特定のロケーションにある電話機をサポートする一連の詳細情報が識別されます。これには電話機で使用するトーンやリズムの定義などが含まれます。                                                                                        |
| Off-Net Access Code          | サイトのオフネット アクセス コードを示します。                                                                                                                                                                                  |
| Owner User ID                | 電話機に関連付けられたユーザのユーザ ID を決定します。ユーザ ID は、その電話機から発信されるすべてのコールについて、呼詳細レコードに記録されます。この属性はディレクトリ検索に使用して、ディレクトリ URL をサポートすることができます。<br><br>このプロビジョニング属性を設定するときは、\${USERID} キーワードを使用できます。このキーワードはユーザの ID に置き換えられます。 |
| Packet Capture Duration      | パケット キャプチャの 1 つのセッションに割り当てられた最大時間（分単位）。デフォルト設定は 0 で、範囲は 0 ～ 300 分です。                                                                                                                                      |
| Packet Capture Mode          | このオプションは、暗号化シグナリング情報のトラブルシューティングを行う場合に設定します。                                                                                                                                                              |
| PC Port                      | 電話機の PC ポートがイネーブルかディセーブルかを示します。                                                                                                                                                                           |
| PC Port Remote Configuration | ドッキングされているときのデバイスの PC ポートの速度とデュプレックスのリモート設定を許可します。これは、デバイス上での手動設定よりも優先されます。                                                                                                                               |
| PC Voice VLAN Access         | 電話機の PC ポートに、音声 VLAN にアクセスするためのデバイスを接続できるかどうかを示します。このオプションを [No]（ディセーブル）に設定すると、接続された PC で音声 VLAN のデータを送受信することができなくなります。                                                                                   |
| Peer Firmware Sharing        | サブネット内の 1 台のデバイスがイメージ ファームウェア ファイルを取得し、それを各ピアに配布できるようにするためのピアツーピア イメージ配信を有効または無効にします。これによって TFTP 帯域幅が減少し、ファームウェアのアップグレード時間が短縮されます。                                                                        |
| Phone Load Name              | Cisco IP Phone のカスタム ソフトウェアです。値は現在のモデルのデフォルト値を上書きします。                                                                                                                                                     |
| Phone Off Idle Timeout       | デバイスがアイドル状態になっている必要がある分数を指定します。                                                                                                                                                                           |
| Phone Off Time               | [Enable Power Save Plus] フィールドで選択された日数だけ電話機の電源が自動的にオフになるのはいつかを指定します。                                                                                                                                      |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Phone On Time                                 | [Enable Power Save Plus] フィールドで選択された日数だけ電話機の電源が自動的にオンになるのはいつかを指定します。                                                                                                                                                                                            |
| Port Ranges for IP Communicator               | IP Communicator のポート範囲。                                                                                                                                                                                                                                         |
| Power Negotiation                             | 管理者は、Power Negotiation を有効または無効にできます。Power Negotiation 機能は、この機能をサポートしているスイッチにドックが接続されるとイネーブルになります。<br><br>スイッチがこの機能をサポートしていない場合、PoE を介してアクセサリの電源をオンにする前に、Power Negotiation をディセーブルにする必要があります。Power Negotiation 機能がディセーブルの場合、ドックはアクセサリの電源を最大 12.9W まで上げることができます。 |
| Presence and Chat Server (Primary)            | プライマリ プレゼンスとチャットのサーバのホスト名または IP アドレス。                                                                                                                                                                                                                           |
| Presence and Chat Server Type                 | プレゼンスとチャットのサーバのタイプ。                                                                                                                                                                                                                                             |
| Presence and Chat Single Sign-On (SSO) Domain | プレゼンスとチャットのサーバのシングル サインオンをイネーブルまたはディセーブルにします。                                                                                                                                                                                                                   |
| Presence Group                                | このディレクトリ番号をモニタできるエンド ユーザおよびアプリケーション ユーザを指定します。                                                                                                                                                                                                                  |
| Presence Status                               | 短縮ダイヤル番号とコール リストのエントリにプレゼンス情報が表示されるかどうかを示します。                                                                                                                                                                                                                   |
| Preset Wi-fi Networks                         | クライアントが自動的に登録を試行する、プリセットされた Wi-Fi ネットワークのカンマ区切りのリスト。                                                                                                                                                                                                            |
| Privacy                                       | 同じ回線を共有する電話を持つユーザが、コールのステータスを表示したりコールを中断したりできるかどうかを指定します。                                                                                                                                                                                                       |
| Primary Device                                | Cisco Unified Mobile Communicator がセカンダリ デバイスである場合に、[Phone Configuration] ウィンドウで Cisco Unified Mobile Communicator を設定できるようにします。                                                                                                                                |
| Primary Phone                                 | アプリケーションに関連付けられている物理的な電話機です。この属性は、Cisco IP Communicator、Cisco Unified Client Services Framework、Cisco Unified Personal Communicator、および Cisco Dual Mode for iPhone だけで使用できます。                                                                                   |
| Proxy Server URL                              | 電話機の HTTP クライアントからローカル以外のホスト アドレスに対するアクセスの HTTP 要求をプロキシするために使用する URL。                                                                                                                                                                                           |
| Quality Improvement Server                    | デバイスから品質向上レポートを収集するリモート システムのホスト名または IP アドレスを指定します。                                                                                                                                                                                                             |
| Recording Tone                                | 電話機で録音トーンがイネーブルかディセーブルかを指定します。                                                                                                                                                                                                                                  |
| Recording Tone Duration                       | 録音トーンがオーディオ ストリームに挿入される時間をミリ秒単位で指定します。                                                                                                                                                                                                                          |
| Recording Tone Local Volume                   | ローカル側で再生される録音トーンのボリュームを指定します。                                                                                                                                                                                                                                   |
| Recording Tone Remote Volume                  | リモート側で再生される録音トーンのボリュームを指定します。                                                                                                                                                                                                                                   |
| Remote Destination Limit                      | 現在選択されているコール プロセッサの加入者用の、リモート宛先の最大数。                                                                                                                                                                                                                            |
| Remote Node ID                                | Cisco Unity の加入者が関連付けられる、Octel アナログ ネットワークのノードのシリアル番号です。                                                                                                                                                                                                        |
| Rerouting CSS                                 | 再ルーティングに使用するコーリング サーチ スペース。値の例は、CSSName です。                                                                                                                                                                                                                     |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Retry Video Call As Audio   | コールを受信するビデオ エンドポイントにだけ適用されます。この電話機が、ビデオとして接続しないコールを受信した場合、そのコールはオーディオ コールとしての接続を試みます。                                                                                                                                                                                        |
| Require DTMF Reception      | SIP と SCCP を実行している電話機で、DTMF 受信をイネーブルにするにはこのチェックボックスをオンにします。                                                                                                                                                                                                                  |
| Require Screen Lock         | デバイス上で画面ロックが必要かどうかを示します。[None] が選択された場合、デバイスは PIN またはパスワードの入力を求めません。[PIN] または [Password] のオプションでは、画面のロックを解除するためのパスワードを入力する必要があります。PIN は数字のパスワードで、少なくとも 4 桁の長さが必要です。Password はアルファベットのパスワードで、少なくとも 4 文字で構成され、1 文字は数字以外、1 文字は大文字にする必要があります。                                    |
| Remote Device               | SCCP パイプで、リモート サイトへの接続時間の遅延が発生する場合に、このチェックボックスをオンにします。                                                                                                                                                                                                                       |
| Ring Setting (Phone Active) | 電話機の別の回線にアクティブ コールがあるときに使用されるリング設定。                                                                                                                                                                                                                                          |
| Ring Setting (Phone Idle)   | 電話機の別の回線にアクティブ コールがあるときに使用されるリング設定。                                                                                                                                                                                                                                          |
| Room Name (from Exchange)   | Exchange の会議室名（TelePresence システム用）。                                                                                                                                                                                                                                          |
| Route Partition             | ディレクトリ番号が属するパーティション。<br><br>この属性は、Edit Provisioning Attributes リンク（「サービス エリアのプロビジョニング属性の編集」 <a href="#">(P.4-20)</a> ）を参照）の使用時や、[Provisioning Attribute Management] ページからは使用できません。この属性の更新は、[Update Service Area] ページ（「サービス エリアの設定」 <a href="#">(P.4-17)</a> ）を参照）で行う必要があります。 |
| RTCP                        | オーディオの統計情報を維持します。                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Screen Lock Timeout         | デバイスによって画面が自動的にロックされるまでの最大アイドル時間を分単位で示します。画面がロックされると、画面のロックを解除する際にユーザ パスワードが要求されます。                                                                                                                                                                                          |
| SDIO                        | デバイス上の SDIO デバイスが有効になっているか無効になっているかを示します。                                                                                                                                                                                                                                    |
| Security Profile            | 電話で使用するセキュリティ プロファイル。                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Services URL                | Cisco IP Phone Services の URL。                                                                                                                                                                                                                                               |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設定専用属性 | <p>同期中にコール プロセッサから設定はできるものの、保存や取得はできないプロビジョニング属性のリスト。</p> <p>プロビジョニング属性情報は、テキスト フィールドに正確に入力する必要があります。プロビジョニングはエントリを検証しません。無効な値を入力した場合、オーダーが失敗することがあります。</p> <p>変更オーダーを出す場合は、デバイスに設定されている既存の値は表示されず、値は空になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>値を入力しない場合は、既存の値がデバイスに保存されます。</li> <li>値を入力すると、新しい値がデバイスに設定されます。キーワード CUPM_BLANK を入力すると、空の値がデバイスに設定されます。</li> </ul> <p>[Presence Group]、[Device Mobility Mode]、または [SIP Profile] の設定専用属性を設定する際には、CUPM_BLANK 設定は使用しないでください。これらは Cisco Unified Communications Manager の必須属性です。</p> <p><b>(注)</b> 次のプロビジョニング属性は、このリリースの Provisioning で、設定専用プロビジョニング属性から完全管理プロビジョニング属性に変換されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Allow Control of Device from CTI</li> <li>Device Mobility Mode</li> <li>DND Incoming Call Alert</li> <li>Logged into Hunt Group</li> <li>Media Termination Point Required</li> <li>Presence Group (Phone)</li> <li>Primary Phone</li> <li>SIP Profile</li> <li>SUBSCRIBE Calling Search Space</li> <li>Use Trusted Relay Point</li> </ul> <p>使用可能な設定専用属性は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Audible Message Waiting Indicator Policy : 有効な値は [Off]、[On]、および [Default] です。</li> <li>BLF Directed Call Park : ユーザが設定した使用可能なダイレクト コール パーク番号にコールを転送できます。</li> </ul> <p>設定専用のプロビジョニング属性である BLF ダイレクト コール パークを設定または設定解除するときは、次のガイドラインに留意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定するときは、次のフォーマットを使用します。<br/> index1:DN1:partition1:label1:labelascii1; index2:DN2:partition2:label2:labelascii2<br/> Index = ダイレクト コール パークの位置 (1、2、3 など)。<br/> DN = ディレクトリ番号。<br/> Label = BLF ダイレクト コール パーク名。<br/> labelascii = BLF ダイレクト コール パークの名前を ASCII 文字で表したもの。これを各 BLF ダイレクト コール パークについて、セミコロンで区切りながら繰り返します。</li> <li>設定を解除するときは、インデックスを指定し、その後に空の値を続ける必要があります (たとえば 1:::;)。</li> </ul> |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設定専用属性（続き） | <ul style="list-style-type: none"> <li> <p>— BLF ダイレクト コール パークのインデックスのセットのうち 1 つの設定を解除するときは、残す必要のある古い値をすべて指定し、設定を解除するインデックスに対しては空の値を入力する必要があります。情報は順に指定する必要があります。</p> <p>たとえば、次に示すセットのうちインデックス 3 の設定を解除するとします。</p> <p>1:10:RP_T341:XXX:XXXASCII;<br/>2:100:BATS-PT-NYC-PHONE:YYY:YYYASCII;3:200:BATS-PT-NYC-PHONE:ZZZ:ZZZASCII;</p> <p>次のとおりに入力する必要があります。</p> <p>1:10:RP_T341:XXX:XXXASCII;2:100:BATS-PT-NYC-PHONE:YYY:YYYASCII;3:::;"</p> </li> <li> <p>• Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Active) : 着信コールがコール応答グループのメンバーに送る通知のタイプを決定します。有効な値は、[Beep Only]、[Use System Default]、および [Disable] です。</p> </li> <li> <p>• Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Idle) : 着信コールがコール応答グループのメンバーに送る通知のタイプを決定します。有効な値は、[Ring Once]、[Use System Default]、および [Disable] です。</p> </li> <li> <p>• Calling Search Space Activation Policy : 有効な値は [Use System Default]、[With Configured CSS]、および [With Activating Device/Line CSS] です。</p> </li> <li> <p>• Cisco Discovery Protocol (CDP) : 管理者が CDP をイネーブルまたはディセーブルにできます。ネットワーク ポートでは CDP をディセーブルにする必要があります。この電話機がシスコ以外のスイッチに接続されている場合、ネットワーク ポートで CDP をディセーブルにする必要があります。これは ATA 187 電話機タイプだけに適用できます。デフォルト値は [Enabled] です。</p> </li> <li> <p>• Description : ディレクトリ番号とルート パーティションの説明。説明には 50 文字まで使用できますが、二重引用符 (" )、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&amp;)、または山カッコ (&lt;&gt;) を含むことはできません。</p> </li> <li> <p>• Monitoring Calling Search Space : スーパーバイザのライン アピアランスのコーリング サーチスペースのモニタリングには、エージェントの回線またはエージェントのモニタリングを可能にするデバイス パーティションが含まれている必要があります。値の例は、MonitoringCSSName です。</p> </li> <li> <p>• MTP Preferred Originating Codec : メディア ターミネーション ポイントが SIP のコールに必要な場合、使用するコーデックを選択します。有効な値は [711ulaw]、[711alaw]、[G729/G729a]、および [G729b/G729ab] です。</p> </li> <li> <p>• Recording Profile : エージェントのライン アピアランスの記録プロファイルを判断します。デフォルト設定は [None] です。値の例は、RecordingProfileName です。</p> </li> <li> <p>• Secondary Calling Search Space for Forward All : コールの転送に使用します。値の例は、CSSName です。</p> </li> <li> <p>• Services : Cisco Unified IP Phone サービス。すべてのサービスは最初に Cisco Unified Communications Manager で設定する必要があります。値の例は、ServiceName1!ServiceURL1;ServiceName2!ServiceURL2 です。</p> <p>[Services] の設定を解除するには、キーワード CUPM_BLANK を入力する必要があります。</p> </li> <li> <p>• SURL : デバイス上に存在し、プロビジョニング ルールによって設定されるサービスにボタンを割り当てます。値の例は、buttonindex1:servicename1:label1:labelascii1;buttonindex2:servicename2:label2 です。</p> <p>SURL を設定するには、Services Set-only Provisioning Attribute を設定する必要があります。</p> <p>SURL の設定を解除するには、インデックスの後ろに空の値を入力します (1::;2::; など)。</p> </li> </ul> |

表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性               | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設定専用属性（続き）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Impedance</b> : アナログ ポートのインピーダンスを指定します。この属性は、ATA 187 電話機タイプだけに適用できます。有効な値は、次のようにセミコロンで区切られます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– 600 ohms complex;600 Ohms real;900 Ohms complex;900 ohms real;</li> <li>– 220 ohms + (820 ohms    115nF);270 ohms + (750 ohms    150nF);</li> <li>– 370 ohms + (620 ohms    310nF);</li> <li>– 600r, line = 270 ohms + (750 ohms    150nF);320 + (1050    230 nF), line = 12Kft;</li> <li>– 600r, line = 350 + (1000    210nF);200 ohms + (680 ohms    100nF)</li> </ul> </li> <li>• <b>Input Audio Level</b> : Cisco ATA FXS ポートの入力レベル制御（アナログからデジタルへのパス）を指定します。この属性は ATA 187 電話機タイプだけに適用できます。デフォルト値は NoDbPadding です。<br/>有効な値は Minus14db、Minus13db、Minus12db、Minus11db、Minus10db、Minus9db、Minus8db、Minus7db、Minus6db、Minus5db、Minus4db、Minus3db、Minus2db、Minus1db、NoDbPadding、Plus1db、Plus2db、Plus3db、Plus4db、Plus5db、および Plus6db です。</li> <li>• <b>Output Audio Level</b> : Cisco ATA FXS ポートの出力レベル制御（アナログからデジタルへのパス）を指定します。</li> <li>• <b>Caller Connect Polarity</b> : Cisco ATA が発信側で、コールが接続される際の Cisco ATA FXS ポートの回線の極性を制御します。</li> <li>• <b>Caller Disconnect Polarity</b> : Cisco ATA が発信側で、コールが接続を解除される際の Cisco ATA FXS ポートの回線の極性を制御します。</li> <li>• <b>Callee Connect Polarity</b> : Cisco ATA が着信側で、コールが接続される際の Cisco ATA FXS ポートの回線の極性を制御します。</li> <li>• <b>Callee Disconnect Polarity</b> : Cisco ATA が着信側で、コールが接続を解除される際の Cisco ATA FXS ポートの回線の極性を制御します。</li> <li>• <b>Call Sequence</b> : コール シーケンスを指定します。</li> <li>• <b>Offhook Validation Timer (50-1000ms)</b> : この検証タイマーの最小値および最大値は 50ms と 1000ms です。</li> <li>• <b>Onhook Validation Timer (50-1000ms)</b> : この検証タイマーの最小値および最大値は 50ms と 1000ms です。</li> <li>• <b>Hookflash Timer (100-1500ms)</b> : このタイマーの最小値および最大値は 100ms と 1500ms です。</li> <li>• <b>On-hook Delay Timer (0-155ms)</b> : このタイマーの最小値および最大値は 0ms と 155ms です。</li> <li>• <b>SIP Dial Rules</b> : Cisco Unified IP Phone にローカル ダイヤル プランを提供し、コールが処理される前に、ユーザがキーを押したり、タイマーを待機したりする必要がないようにします。</li> </ul> |
| Settings Access  | デバイス設定へのアクセス。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| SIP Profile      | SIP トランクおよび SIP エンドポイントに関連付けられている SIP 属性を指定します。これらの属性は、SIP フォン タイプにだけ設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Site Access Code | サイトのアクセス コードを指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Softkey Template | Cisco IP Phone のソフトキーの設定を指定するソフトキー テンプレート。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-1 プロビジョニング属性の説明 (続き)

| 属性                                      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Span to PC Port                         | <p>デバイスにおいて、ドックのネットワーク ポートで送受信したパケットを PC ポートへ転送するかどうかを指定します。</p> <p>診断目的で使用されるモニタリングと記録用のアプリケーション（コール センター環境で共通）や、ネットワーク パケットキャプチャ ツールなど、デバイス トラフィックのモニタリングを必要とするアプリケーションが PC ポート上で実行されている場合は、[Enabled] を選択します。</p> <p>この機能を使用するには、PC Voice VLAN へのアクセスを有効にする必要があります。</p>                                                                                                          |
| Speed Dial Info                         | <p>デバイスのスピード ダイアル設定を指定します。</p> <p>[Speed Dial Settings] ページには、次のフィールドがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Index</li> <li>• Directory Number</li> <li>• Label</li> </ul> <p>(注) [Speed dial directory number] フィールドでは、数字 (0 ~ 9)、アスタリスク (*)、プラス記号 (+)、およびハッシュ記号 (#) を使用できます。</p>                                                                                     |
| SSH Access                              | <p>デバイスが SSH 接続を受け入れるかどうかを示します。デバイスの SSH サーバ機能をディセーブルにすると、ログ ファイルの収集などの特定のサポート機能がブロックされますが、通常の操作には影響しません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Subscribe Calling Search Space          | <p>SIP トランクに接続するデバイス、サーバ、またはアプリケーションからのプレゼンス要求を Cisco Unified Communications Manager によってどのようにルーティングするかを設定します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Subscriber CoS without TTS enabled      | <p>ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者アカウントで Unified Messaging をディセーブルにする際に使用する Service Template のクラス。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Subscriber CoS with TTS Enabled         | <p>ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者アカウントで Unified Messaging をイネーブルにする際に使用する Service Template のクラス。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Subscriber Template without TTS Enabled | <p>ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者アカウントで Unified Messaging をディセーブルにする際に使用する Service Template。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Subscriber Template with TTS Enabled    | <p>ユニファイド メッセージ プロセッサの加入者アカウントで Unified Messaging をイネーブルにする際に使用する Service Template。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Switch ID                               | <p>Unity デバイスのボイスメールのプロビジョニング属性。高度なオーダー権限ロールを持つユーザまたは管理者がこの属性を設定できます。</p> <p>整数だけが使用できます。Unity Windows レジストリで、Cisco Unified Communications Manager に対応付けられた有効な値を見つけることができます。</p> <p>このフィールドは add voice mail 操作ではオプションで、change voice mail 操作では必須です。</p>                                                                                                                             |
| Switch Port Remote Configuration        | <p>ドッキングされているときのデバイスのスイッチ ポートの速度とデブプレックスのリモート設定を許可します。これは、デバイス上での手動設定よりも優先されます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <br/> <b>注意</b> </div> <div> <p>このポートを設定すると、デバイスがドック上にある場合にネットワーク接続が失われる可能性があります。</p> </div> </div> |
| Telnet Password                         | <p>Telnet にアクセスするためのパスワード。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Telnet Username                         | <p>telnet shell ユーザのユーザ名。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |



表 11-1 プロビジョニング属性の説明（続き）

| 属性                                               | 説明                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Transfer to Mobile Network                       | Handoff to GSM 機能のためのアクティベーションおよび方法。                                                                                      |
| UC Service profile                               | サービス プロファイルをエンド ユーザに関連付けるために使用します。                                                                                        |
| Unattended Port                                  | オンの場合は、不在ポート（たとえばボイスメール ポート）へのコールのリダイレクトや転送が可能になります。<br>デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。                                     |
| Use Device Pool Calling Party Transformation CSS | デバイス プールで設定され、デバイスに割り当てられている発呼側変換 CSS を使用するには、この属性を選択します。                                                                 |
| Use Trusted Relay Point                          | Cisco Unified Communications Manager が、このメディア エンドポイントにトラスト リレー ポイント (TRP) を挿入できるようにします。有効な値は、[Off]、[On]、および [Default] です。 |
| User Hold Audio Source                           | ユーザが保留処理を開始した際に再生するオーディオ リソース。                                                                                            |
| User Locale                                      | 電話機ユーザに関連付けられたユーザ ロケール。User Locale は、言語、フォント、日付と時刻のフォーマット、英数字キーボードのテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。                   |
| Video Capabilities                               | 電話機が、適切な設備を持つ PC に接続している際に、ビデオ コールに参加できるかどうかを示します。                                                                        |
| Voicemail Profile                                | プライマリ サーバ、スタンバイ サーバ、およびプロファイルに関連付けられたユーザなど、Unity/Unity Connection に関する設定を行います。                                            |
| Voicemail Server (Backup)                        | バックアップ ビジュアル ボイスメール サーバのホスト名または IP アドレス。                                                                                  |
| Voicemail Server (Primary)                       | プライマリ ビジュアル ボイスメール サーバのホスト名または IP アドレス。                                                                                   |
| Web Access                                       | 電話機の内部 Web サーバがイネーブル (Yes) かディセーブル (No) かを示します。ディセーブルの場合、電話の Web ページにはアクセスできません。                                          |
| Wifi                                             | デバイス上の Wi-Fi が有効になっているか無効になっているかを示します。                                                                                    |
| Wipe Device                                      | このパラメータでは、管理者がデバイス上のユーザ データおよび設定を消去できます。                                                                                  |
| Wireless LAN Video Call Bandwidth (kbps)         | ビデオ コールに割り当てられる無線帯域幅。有効な値の範囲は 0 ～ 4000 です。このフィールドを空白のままにしておくと、Cisco Unified Communications Manager のデフォルトの範囲値を使用します。      |

- この属性は、Edit Provisioning Attributes リンク（「サービス エリアのプロビジョニング属性の編集」(P.4-20) を参照）の使用時や、[Provisioning Attribute Management] ページからは使用できません。この属性を設定するには、[Service Area Configuration] ページ（「サービス エリアの設定」(P.4-17) を参照）の [Update Default Settings] ボタンを使用するか、またはオーダー時に [Advanced Order Options] ボタンを使用します（「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照）。

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル

| 製品                        | プロビジョニング属性                                                                                | Domain | User Type | Service Area |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Client User Settings      | Audio Profile                                                                             |        |           | ○            |
|                           | CIP Profile                                                                               |        |           | ○            |
|                           | CTI Gateway Profile                                                                       |        |           | ○            |
|                           | Conferencing Profile                                                                      |        |           | ○            |
|                           | LDAP Profile                                                                              |        |           | ○            |
|                           | Voicemail Profile                                                                         |        |           | ○            |
| Enable Mobility Support   | Enable Mobile Voice Access                                                                | ○      | ○         | ○            |
|                           | Enable Mobility                                                                           | ○      | ○         | ○            |
|                           | Max Desk Pickup Wait Time                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|                           | Remote Destination Limit                                                                  | ○      | ○         | ○            |
| Extension Mobility Access | DND Option                                                                                | ○      | ○         | ○            |
|                           | Do Not Disturb                                                                            | ○      | ○         | ○            |
|                           | Ignore Presentation Indicators                                                            | ○      | ○         | ○            |
|                           | MLPP Domain                                                                               | ○      | ○         | ○            |
|                           | MLPP Indication                                                                           | ○      | ○         | ○            |
|                           | MLPP Preemption                                                                           | ○      | ○         | ○            |
|                           | Module 1                                                                                  | ○      | ○         | ○            |
|                           | Module 2                                                                                  | ○      | ○         | ○            |
|                           | Privacy                                                                                   | ○      | ○         | ○            |
|                           | 設定専用属性 :<br>• BLF Directed Call Park<br>• DND Incoming Call Alert<br>• Services<br>• SURL | ○      | ○         | ○            |
|                           | Softkey Template                                                                          |        |           | ○            |
|                           | Speed Dial Info                                                                           | ○      | ○         | ○            |
|                           | User Hold Audio Source                                                                    |        |           | ○            |
|                           | User Locale                                                                               | ○      | ○         | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品                      | プロビジョニング属性                                     | Domain | User Type | Service Area |
|-------------------------|------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Extension Mobility Line | AAR Destination Mask                           | ○      | ○         | ○            |
|                         | AAR Group                                      |        |           | ○            |
|                         | AAR Keep Call History                          | ○      | ○         | ○            |
|                         | Alerting Name                                  | ○      | ○         | ○            |
|                         | ASCII Alerting Name                            | ○      | ○         | ○            |
|                         | ASCII Display (Internal Caller ID)             | ○      | ○         | ○            |
|                         | ASCII Line Text Label                          | ○      | ○         | ○            |
|                         | Auto Answer                                    | ○      | ○         | ○            |
|                         | Busy Trigger                                   | ○      | ○         | ○            |
|                         | Call Pickup Group                              |        |           | ○            |
|                         | Calling Search Space                           |        |           | ○            |
|                         | Display (Internal Caller ID)                   | ○      | ○         | ○            |
|                         | External Phone Number Mask                     | ○      | ○         |              |
|                         | Forward All                                    |        |           | ○            |
|                         | Forward Busy External                          |        |           | ○            |
|                         | Forward Busy Internal                          |        |           | ○            |
|                         | Forwarded Call Information - Caller Name       |        |           | ○            |
|                         | Forwarded Call Information - Caller Number     |        |           | ○            |
|                         | Forwarded Call Information - Dialed Number     |        |           | ○            |
|                         | Forwarded Call Information - Redirected Number |        |           | ○            |
|                         | Forward No Answer External                     |        |           | ○            |
|                         | Forward No Answer Internal                     |        |           | ○            |
|                         | Forward No Coverage External                   |        |           | ○            |
|                         | Forward No Coverage Internal                   |        |           | ○            |
|                         | Forward Unregistered External                  |        |           | ○            |
|                         | Forward Unregistered Internal                  |        |           | ○            |
|                         | Line Groups                                    |        |           | ○            |
|                         | Line Text Label                                | ○      | ○         | ○            |
|                         | Maximum Number of Calls                        | ○      | ○         | ○            |
|                         | Message Waiting Policy                         | ○      | ○         | ○            |
|                         | MLPP Calling Search Space                      |        |           | ○            |
|                         | MLPP No Answer Ring Duration                   | ○      | ○         | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品                              | プロビジョニング属性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | Domain | User Type | Service Area |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Extension Mobility Line<br>(続き) | MLPP Target                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Network Hold Audio Source                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |           | ○            |
|                                 | No Answer Ring Duration                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Ring Setting (Phone Active)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |           | ○            |
|                                 | Ring Setting (Phone Idle)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |           | ○            |
|                                 | User Hold Audio Source                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |           | ○            |
|                                 | Voicemail Profile                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |        |           | ○            |
|                                 | Network Locale                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Settings Access                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|                                 | 設定専用属性 :<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• Audible Message Waiting Indicator Policy</li> <li>• Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Active)</li> <li>• Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Idle)</li> <li>• Calling Search Space Activation Policy</li> <li>• Description</li> <li>• Monitoring Calling Search Space</li> <li>• Presence Group</li> <li>• Recording Option</li> <li>• Recording Profile</li> <li>• Secondary Calling Search Space for Forward All</li> </ul> | ○      | ○         | ○            |
|                                 | User Hold Audio Source                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |           | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品   | プロビジョニング属性                                     | Domain | User Type | Service Area |
|------|------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Line | AAR Destination Mask                           | ○      | ○         | ○            |
|      | AAR Group                                      |        |           | ○            |
|      | AAR Keep Call History                          | ○      | ○         | ○            |
|      | Alerting Name                                  | ○      | ○         | ○            |
|      | ASCII Alerting Name                            | ○      | ○         | ○            |
|      | ASCII Display (Internal Caller ID)             | ○      | ○         | ○            |
|      | ASCII Line Text Label                          | ○      | ○         | ○            |
|      | Auto Answer                                    | ○      | ○         | ○            |
|      | Busy Trigger                                   | ○      | ○         | ○            |
|      | Call Pickup Group                              |        |           | ○            |
|      | Calling Search Space                           |        |           | ○            |
|      | CME Line Configuration Template                | ○      |           | ○            |
|      | Display (Internal Caller ID)                   | ○      | ○         | ○            |
|      | External Phone Number Mask                     | ○      | ○         |              |
|      | Forward All                                    |        |           | ○            |
|      | Forward Busy External                          |        |           | ○            |
|      | Forward Busy Internal                          |        |           | ○            |
|      | Forwarded Call Information - Caller Name       |        |           | ○            |
|      | Forwarded Call Information - Caller Number     |        |           | ○            |
|      | Forwarded Call Information - Dialed Number     |        |           | ○            |
|      | Forwarded Call Information - Redirected Number |        |           | ○            |
|      | Forward No Answer External                     |        |           | ○            |
|      | Forward No Answer Internal                     |        |           | ○            |
|      | Forward No Coverage External                   |        |           | ○            |
|      | Forward No Coverage Internal                   |        |           | ○            |
|      | Forward Unregistered External                  |        |           | ○            |
|      | Forward Unregistered Internal                  |        |           | ○            |
|      | Line Groups                                    |        |           | ○            |
|      | Line Text Label                                | ○      | ○         | ○            |
|      | Maximum Number of Calls                        | ○      | ○         | ○            |
|      | Message Waiting Policy                         | ○      | ○         | ○            |
|      | MLPP Calling Search Space                      |        |           | ○            |
|      | MLPP No Answer Ring Duration                   | ○      | ○         | ○            |
|      | MLPP Target                                    | ○      | ○         | ○            |
|      | Network Hold Audio Source                      |        |           | ○            |
|      | No Answer Ring Duration                        | ○      | ○         | ○            |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品        | プロビジョニング属性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | Domain | User Type | Service Area |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Line (続き) | Ring Setting (Phone Active)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |           | ○            |
|           | Ring Setting (Phone Idle)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |           | ○            |
|           | Route Partition                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |           | ○            |
|           | 設定専用属性 :                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○      | ○         | ○            |
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>Audible Message Waiting Indicator Policy</li> <li>Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Active)</li> <li>Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Idle)</li> <li>Calling Search Space Activation Policy</li> <li>Description</li> <li>Monitoring Calling Search Space</li> <li>Presence Group</li> <li>Recording Option</li> <li>Recording Profile</li> <li>Secondary Calling Search Space for Forward All</li> </ul> |        |           |              |
|           | User Hold Audio Source                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |           | ○            |
|           | Voicemail Profile                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |        |           | ○            |
|           | Route Partition                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |           | ○            |
|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |           |              |
|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |           |              |
| Phone     | AAR Calling Search Space                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |           | ○            |
|           | AAR Group                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○      | ○         | ○            |
|           | Admin Password                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○      | ○         | ○            |
|           | Admin Username                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○      | ○         | ○            |
|           | Advertise G.722 and iSAC Codecs                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|           | Allow Applications from Android Market                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ○      | ○         | ○            |
|           | Allow Applications from Cisco AppHQ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○      | ○         | ○            |
|           | Allow Applications from Unknown Sources                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|           | Allow Control of Device from CTI                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ○      | ○         | ○            |
|           | Allow Energy Wise Overrides                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○      | ○         | ○            |
|           | Allow User-Defined VPN Profiles                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|           | Always on VPN                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | Always Use Prime Line                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ○      | ○         | ○            |
|           | Always Use Prime Line for Voice Message                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|           | Android Debug Bridge                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|           | Application Dial Rules URL                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○      | ○         | ○            |
|           | AppHQ Domain                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ○      | ○         | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                   | Domain | User Type | Service Area |
|------------|----------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Phone (続き) | Area Code                                    | ○      | ○         | ○            |
|            | Authentication Server URL                    | ○      | ○         | ○            |
|            | Auto Barge                                   | ○      | ○         | ○            |
|            | Auto Line Select                             | ○      | ○         | ○            |
|            | Automatic Port Synchronization               | ○      | ○         | ○            |
|            | BLF Audible Alert Setting (Phone Busy)       | ○      | ○         | ○            |
|            | BLF Audible Alert Setting (Phone Idle)       | ○      | ○         | ○            |
|            | BLF Presence Group                           | ○      | ○         | ○            |
|            | Built in Bridge                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Busy Lampfield Info                          |        |           | ○            |
|            | Bluetooth                                    | ○      | ○         | ○            |
|            | Caller ID                                    | ○      | ○         | ○            |
|            | Calling Search Space                         |        |           | ○            |
|            | Cisco Camera                                 | ○      | ○         |              |
|            | Cisco Discovery Protocol (CDP) : PC Port     | ○      | ○         | ○            |
|            | Cisco Discovery Protocol (CDP) : Switch Port | ○      | ○         | ○            |
|            | Cisco Usage and Error Tracking               | ○      | ○         | ○            |
|            | CME Phone Configuration Template             | ○      |           | ○            |
|            | Common Device Configuration                  |        |           | ○            |
|            | Company Photo Directory                      | ○      | ○         | ○            |
|            | Country Code                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Days Display Not Active                      | ○      | ○         | ○            |
|            | Default Call Protocol                        | ○      | ○         | ○            |
|            | Detect Unified CM Connection Failure         | ○      | ○         | ○            |
|            | Device Description                           |        |           | ○            |
|            | Device Mobility Mode                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Device Pool                                  |        |           | ○            |
|            | Device Security Mode                         |        |           | ○            |
|            | Directory Lookup Rules URL                   | ○      | ○         | ○            |
|            | Directory Server URL                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Disable Speakerphone                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Disable Speakerphone and Headset             |        |           | ○            |
|            | Display Idle Timeout                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Display On Duration                          | ○      | ○         | ○            |
|            | Display On Time                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Display On When Incoming Call                | ○      | ○         | ○            |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                               | Domain | User Type | Service Area |
|------------|------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Phone (続き) | DND Incoming Call Alert                  | ○      | ○         | ○            |
|            | DND Option                               | ○      | ○         | ○            |
|            | Do Not Disturb                           | ○      | ○         | ○            |
|            | Domain Name                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Emergency Numbers                        | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable Audible Alert                     | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable Cisco UCM App Client              | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable Cisco Unified Mobile Communicator | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable Extension Mobility Feature        | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable LDAP User Authentication          | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable Power Save Plus                   | ○      | ○         | ○            |
|            | Enable Telnet                            | ○      | ○         | ○            |
|            | Energy Wise Domain                       | ○      | ○         | ○            |
|            | Energy Wise Endpoint Security Secret     | ○      | ○         | ○            |
|            | Fax Error Correction Mode Override       | ○      | ○         | ○            |
|            | Fax Mode                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Forwarding Delay                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Geolocation                              |        |           | ○            |
|            | Hookflash Timer                          | ○      | ○         | ○            |
|            | Ignore Presentation Indicators           | ○      | ○         | ○            |
|            | Inter Site Access Code                   | ○      | ○         | ○            |
|            | International Dialing Digits             | ○      | ○         | ○            |
|            | IVR Password                             | ○      | ○         | ○            |
|            | Join Across Lines                        | ○      | ○         | ○            |
|            | Join And Direct Transfer Policy          | ○      | ○         | ○            |
|            | Local Number                             | ○      | ○         | ○            |
|            | Logging Display                          | ○      | ○         | ○            |
|            | Maximum Fax Rate                         | ○      | ○         | ○            |
|            | MLPP Indication                          | ○      | ○         | ○            |
|            | Module 1                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Module 2                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Module 3                                 | ○      | ○         |              |
|            | National Dialing Digits                  | ○      | ○         | ○            |
|            | Rerouting CSS                            |        |           | ○            |
|            | Calling Party Transformation CSS         |        |           | ○            |
|            | Gratuitous ARP                           | ○      | ○         | ○            |



表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル（続き）

| 製品        | プロビジョニング属性                                                                    | Domain | User Type | Service Area |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Phone（続き） | Idle URL                                                                      | ○      | ○         | ○            |
|           | Idle Timer                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|           | Information URL                                                               | ○      | ○         | ○            |
|           | LDAP Field Mappings                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | LDAP Photo Location                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | LDAP Search Base                                                              | ○      | ○         | ○            |
|           | LLDP Asset ID                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|           | Link Layer Discovery Protocol（LLDP）：PC Port                                   | ○      | ○         | ○            |
|           | Link Layer Discovery Protocol - Media Endpoint Discover（LLDP-MED）：PC Port     | ○      | ○         | ○            |
|           | Link Layer Discovery Protocol - Media Endpoint Discover（LLDP-MED）：Switch Port | ○      | ○         | ○            |
|           | LLDP Power Priority                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | Load Server                                                                   | ○      | ○         | ○            |
|           | Location                                                                      |        |           | ○            |
|           | Lock Device                                                                   | ○      | ○         | ○            |
|           | Log Server                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|           | Logged into Hunt Group                                                        | ○      | ○         | ○            |
|           | Media Resource Group List                                                     |        |           | ○            |
|           | Media Termination Point Required                                              | ○      | ○         | ○            |
|           | Messages                                                                      | ○      | ○         | ○            |
|           | MLPP Domain                                                                   | ○      | ○         | ○            |
|           | MLPP Indication                                                               | ○      | ○         | ○            |
|           | MLPP Preemption                                                               | ○      | ○         | ○            |
|           | Mobility User ID                                                              | ○      | ○         | ○            |
|           | Module 1 Load Name                                                            | ○      | ○         | ○            |
|           | Module 2 Load Name                                                            | ○      | ○         | ○            |
|           | Module 3 Load Name                                                            | ○      | ○         |              |
|           | more Soft Key Timer                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | Network Hold Audio Source                                                     |        |           | ○            |
|           | Network Locale                                                                |        |           | ○            |
|           | Off-Net Access Code                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | Owner User ID                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|           | Packet Capture Duration                                                       | ○      | ○         | ○            |
|           | Packet Capture Mode                                                           | ○      | ○         | ○            |
|           | PC Port                                                                       | ○      | ○         | ○            |
|           | PC Port Remote Configuration                                                  | ○      | ○         | ○            |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                    | Domain | User Type | Service Area |
|------------|-----------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Phone (続き) | PC Voice VLAN Access                          | ○      | ○         | ○            |
|            | Peer Firmware Sharing                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Phone Load Name                               | ○      | ○         | ○            |
|            | Phone Off Idle Timeout                        | ○      | ○         | ○            |
|            | Phone Off Time                                | ○      | ○         | ○            |
|            | Phone On Time                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Port Ranges for IP Communicator               | ○      | ○         | ○            |
|            | Power Negotiation                             | ○      | ○         | ○            |
|            | Presence and Chat Server (Primary)            | ○      | ○         | ○            |
|            | Presence and Chat Server Type                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Presence and Chat Single Sign-On (SSO) Domain | ○      | ○         | ○            |
|            | Presence Group                                |        |           | ○            |
|            | Presence Status                               | ○      | ○         | ○            |
|            | Preset Wi-fi Networks                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Primary Phone                                 |        |           | ○            |
|            | Privacy                                       | ○      | ○         | ○            |
|            | Proxy Server URL                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Quality Improvement Server                    | ○      | ○         | ○            |
|            | Recording Tone                                | ○      | ○         | ○            |
|            | Recording Tone Duration                       | ○      | ○         | ○            |
|            | Recording Tone Local Volume                   | ○      | ○         | ○            |
|            | Recording Tone Remote Volume                  | ○      | ○         | ○            |
|            | Retry Video Call as Audio                     | ○      | ○         | ○            |
|            | Remote Device                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | Require DTMF Reception                        | ○      | ○         | ○            |
|            | Require Screen Lock                           | ○      | ○         | ○            |
|            | Room Name                                     | ○      | ○         | ○            |
|            | RTCP                                          | ○      | ○         | ○            |
|            | Screen Lock Timeout                           | ○      | ○         | ○            |
|            | Security Profile                              |        |           | ○            |
|            | Services URL                                  | ○      | ○         | ○            |
|            | Settings Access                               | ○      | ○         | ○            |
|            | SDIO                                          | ○      | ○         | ○            |
|            | SIP Profile                                   |        |           | ○            |
|            | Site Access Code                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Softkey Template                              |        |           | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | Domain | User Type | Service Area |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Phone (続き) | Span to PC Port                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Speed Dial Info                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|            | SSH Access                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○      | ○         | ○            |
|            | 設定専用属性 :                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○      | ○         | ○            |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• BLF Directed Call Park</li> <li>• Callee Connect Polarity</li> <li>• Callee Disconnect Polarity</li> <li>• Caller Connect Polarity</li> <li>• Caller Disconnect Polarity</li> <li>• Call Sequence</li> <li>• Cisco Discovery Protocol (CDP)</li> <li>• Hookflash Timer (100-1500ms)</li> <li>• MTP Preferred Originating Codec</li> <li>• Impedance</li> <li>• Input Audio Level</li> <li>• Offhook Validation Timer (50-1000ms)</li> <li>• Onhook Validation Timer (50-1000ms)</li> <li>• On-hook Delay Timer (0-155s)</li> <li>• Output Audio Level</li> <li>• Services</li> <li>• SIP Dial Rules</li> <li>• SURL</li> </ul> |        |           |              |
|            | Subscribe Calling Search Space                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |        |           | ○            |
|            | Switch Port Remote Configuration                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ○      | ○         | ○            |
|            | Telnet Password                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Telnet Username                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Transfer to Mobile Network                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Unattended Port                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ○      | ○         | ○            |
|            | Use Trusted Relay Point                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ○      | ○         | ○            |
|            | User Hold Audio Source                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |           | ○            |
|            | User Locale                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○      | ○         | ○            |
|            | Video Capabilities                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ○      | ○         | ○            |
|            | Web Access                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○      | ○         | ○            |
|            | Wifi                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|            | Wipe Device                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○      | ○         | ○            |
|            | Wireless LAN Video Call Bandwidth (kbps)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○      | ○         | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品                              | プロビジョニング属性                                       | Domain | User Type | Service Area |
|---------------------------------|--------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Remote Destination Profile      | Calling Party Transformation CSS                 |        |           | ○            |
|                                 | Device Description                               |        |           | ○            |
|                                 | DND Option                                       | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Do Not Disturb                                   | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Ignore Presentation Indicators                   | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Network Hold Audio Source                        |        |           | ○            |
|                                 | Privacy                                          | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Rerouting CSS                                    |        |           | ○            |
|                                 | Use Device Pool Calling Party Transformation CSS | ○      | ○         | ○            |
|                                 | User Hold Audio Source                           |        |           | ○            |
|                                 | User Locale                                      | ○      | ○         | ○            |
| Remote Destination Profile Line | AAR Destination Mask                             | ○      | ○         | ○            |
|                                 | AAR Group                                        | ○      | ○         | ○            |
|                                 | AAR Keep Call History                            | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Alerting Name                                    | ○      | ○         | ○            |
|                                 | ASCII Alerting Name                              | ○      | ○         | ○            |
|                                 | ASCII Display (Internal Caller ID)               | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Busy Trigger                                     | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Call Pickup Group                                |        |           | ○            |
|                                 | Display (Internal Caller ID)                     | —      | —         | —            |
|                                 | External Phone Number Mask                       | ○      | ○         | ○            |
|                                 | Forward All                                      |        |           | ○            |
|                                 | Forward Busy External                            |        |           | ○            |
|                                 | Forward Busy Internal                            |        |           | ○            |

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル (続き)

| 製品                                   | プロビジョニング属性                                                                                                                                    | Domain | User Type | Service Area |
|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|--------------|
| Remote Destination Profile Line (続き) | Forwarded Call Information - Caller Name                                                                                                      | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Forwarded Call Information - Caller Number                                                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Forwarded Call Information - Dialed Number                                                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Forwarded Call Information - Redirected Number                                                                                                | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Forward No Answer External                                                                                                                    |        |           | ○            |
|                                      | Forward No Answer Internal                                                                                                                    |        |           | ○            |
|                                      | Forward No Coverage External                                                                                                                  |        |           | ○            |
|                                      | Forward No Coverage Internal                                                                                                                  |        |           | ○            |
|                                      | Forward Unregistered External                                                                                                                 |        |           | ○            |
|                                      | Forward Unregistered Internal                                                                                                                 |        |           | ○            |
|                                      | Line Groups                                                                                                                                   |        |           | ○            |
|                                      | Maximum Number of Calls                                                                                                                       | ○      | ○         | ○            |
|                                      | MLPP Calling Search Space                                                                                                                     |        |           | ○            |
|                                      | MLPP No Answer Ring Duration                                                                                                                  | ○      | ○         | ○            |
|                                      | MLPP Target                                                                                                                                   | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Network Hold Audio Source                                                                                                                     |        |           | ○            |
|                                      | No Answer Ring Duration                                                                                                                       | ○      | ○         | ○            |
|                                      | 設定専用属性 :<br>• Calling Search Space Activation Policy<br>• Description<br>• Presence Group<br>• Secondary Calling Search Space for Forward All | ○      | ○         | ○            |
|                                      | User Hold Audio Source                                                                                                                        |        |           | ○            |
|                                      | Voicemail Profile                                                                                                                             |        |           | ○            |
| User Services                        | Enable User for Unified CM IM and Presence                                                                                                    | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Home Cluster                                                                                                                                  | ○      | ○         | ○            |
|                                      | UC Service Profile                                                                                                                            |        |           | ○            |
| Voice Mail                           | CUE User Configuration Template                                                                                                               | ○      | ○         | ○            |
|                                      | CUE Voicemail Configuration Template                                                                                                          | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Alternate Voicemail Extensions <sup>1</sup>                                                                                                   | —      | —         | —            |
|                                      | Allow Extension Dialing                                                                                                                       |        |           | ○            |
|                                      | Caller Input Keys                                                                                                                             |        |           | ○            |
|                                      | Enable ResyncMWI                                                                                                                              | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Legacy Mailbox                                                                                                                                | ○      | ○         | ○            |
|                                      | Switch ID                                                                                                                                     |        |           | ○            |
|                                      | Wait for Additional Digits                                                                                                                    |        |           | ○            |
|                                      | Remote Node ID                                                                                                                                | ○      | ○         | ○            |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-2 プロビジョニング属性の割り当てレベル（続き）

| 製品                | プロビジョニング属性                             | Domain | User Type | Service Area          |
|-------------------|----------------------------------------|--------|-----------|-----------------------|
| Unified Messaging | UM Disabling Class Of Service Template |        |           | <input type="radio"/> |
|                   | UM Enabling Class Of Service Template  |        |           | <input type="radio"/> |
|                   | UM Disabling Subscriber Template       |        |           | <input type="radio"/> |
|                   | UM Enabling Subscriber Template        |        |           | <input type="radio"/> |

1. この属性を設定するには、オーダーを行うときに [Advanced Order Options] ボタンを使用する必要があります（「製品およびサービスのオーダー」(P.10-3) を参照）。

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性

| 製品                        | プロビジョニング属性                     | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                           |                                | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Enable Mobility Support   | Enable Mobile Voice Access     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Enable Mobility                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Max Desk Pickup Wait Time      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Remote Destination Limit       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Primary Device                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Extension Mobility Access | DND Option                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Do Not Disturb                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Ignore Presentation Indicators | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Module 1                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Module 2                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | MLPP Domain                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | MLPP Indication                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | MLPP Preemption                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Network Locale                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Privacy                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Setting Access                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | 設定専用属性 :                       |                                                                                      |       |       |       |     |
|                           | • BLF Directed Call Park       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | • DND Incoming Call Alert      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | • Services                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | • SURL                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Speed Dial Info                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | Softkey Template               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | User Hold Audio Source         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                           | User Locale                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                            | プロビジョニング属性                                     | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|-------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                               |                                                | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Extension<br>Mobility<br>Line | AAR Destination Mask                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | AAR Group                                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | AAR Keep Call History                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Alerting Name                                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | ASCII Alerting Name                            | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | ASCII Display (Internal Caller ID)             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | ASCII Line Text Label                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Auto Answer                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Busy Trigger                                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Call Pickup Group                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Calling Search Space                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Display (Internal Caller ID)                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | External Phone Number Mask                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forward All                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forward Busy External                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forward Busy Internal                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forwarded Call Information - Caller Name       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forwarded Call Information - Caller Number     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forwarded Call Information - Dialed Number     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forwarded Call Information - Redirected Number | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                               | Forward No Answer External                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |



表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                                     | プロビジョニング属性                       | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|----------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                        |                                  | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Extension<br>Mobility<br>Line (続<br>き) | Forward No Answer<br>Internal    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Forward No Coverage<br>External  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Forward No Coverage<br>Internal  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Forward Unregistered<br>External | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Forward Unregistered<br>Internal | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Line Text Label                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Line Groups                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Maximum Number of Calls          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Message Waiting Policy           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | MLPP Calling Search<br>Space     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | MLPP No Answer Ring<br>Duration  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | MLPP Target                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Network Hold Audio<br>Source     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | No Answer Ring Duration          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Privacy                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Route Partition                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Ring Setting (Phone<br>Active)   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Ring Setting (Phone Idle)        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                                     | プロビジョニング属性                                                   | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                        |                                                              | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Extension<br>Mobility<br>Line (続<br>き) | 設定専用属性 :                                                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Audible Message<br>Waiting Indicator<br>Policy             |                                                                                      |       |       |       |     |
|                                        | • Call Pickup Group<br>Audio Alert Setting<br>(Phone Active) | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Call Pickup Group<br>Audio Alert Setting<br>(Phone Idle)   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Calling Search Space<br>Activation Policy                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Description                                                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Monitoring Calling<br>Search Space                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Presence Group                                             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Recording Option                                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Recording Profile                                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | • Secondary Calling<br>Search Space for<br>Forward All       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | User Hold Audio Source                                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                        | Voicemail Profile                                            | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品   | プロビジョニング属性                                     | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|      |                                                | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Line | AAR Destination Mask                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | AAR Group                                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | AAR Keep Call History                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Alerting Name                                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | ASCII Alerting Name                            | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | ASCII Display (Internal Caller ID)             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | ASCII Line Text Label                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Auto Answer                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Busy Trigger                                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Call Pickup Group                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Calling Search Space                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Display (Internal Caller ID)                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | External Phone Number Mask                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forward All                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forward Busy External                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forward Busy Internal                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forwarded Call Information - Caller Name       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forwarded Call Information - Caller Number     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forwarded Call Information - Dialed Number     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forwarded Call Information - Redirected Number | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|      | Forward No Answer External                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品        | プロビジョニング属性                      | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|-----------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|           |                                 | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Line (続き) | Forward No Answer Internal      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Forward No Coverage External    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Forward No Coverage Internal    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Forward Unregistered External   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Forward Unregistered Internal   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | CME Line Configuration Template | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Line Groups                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Line Text Label                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Maximum Number of Calls         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Message Waiting Policy          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | MLPP Calling Search Space       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | MLPP No Answer Ring Duration    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | MLPP Target                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Route Partition                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Ring Setting (Phone Active)     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Ring Setting (Phone Idle)       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Network Hold Audio Source       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | No Answer Ring Duration         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品        | プロビジョニング属性                                             | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|-----------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|           |                                                        | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Line (続き) | 設定専用属性 :                                               |                                                                                      |       |       |       |     |
|           | • Audible Message Waiting Indicator Policy             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Active) | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Call Pickup Group Audio Alert Setting (Phone Idle)   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Calling Search Space Activation Policy               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Description                                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Monitoring Calling Search Space                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Presence Group                                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Recording Option                                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Recording Profile                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | • Secondary Calling Search Space for Forward All       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Phone     | User Hold Audio Source                                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Voicemail Profile                                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | AAR Calling Search Space                               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Advertise G.722 and iSAC Codecs                        | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Allow Applications from Android Market                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Allow Applications from Unknown Sources                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Allow Applications from Cisco AppHQ                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Allow Applications from Cisco Marketplace              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Allow Energy Wise Overrides                            | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|           | Allow User-Defined VPN Profiles                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                   | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|            |                                              | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き) | Always on VPN                                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Android Debug Bridge (ADB)                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Application Dial Rules URL                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | AppHQ Domain                                 | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Authentication Server URL                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Auto Line Select                             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Auto Barge                                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Automatic Port Synchronization               | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Bluetooth                                    | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Built in Bridge                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Busy Lampfield Info                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Call Sequence                                | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Callee Connect Polarity                      | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Callee Disconnect Polarity                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Caller Connect Polarity                      | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Caller Disconnect Polarity                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Caller ID                                    | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Calling Search Space                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Calling Party Transformation CSS             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Cisco Camera                                 | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Cisco Discovery Protocol (CDP)               | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Cisco Discovery Protocol (CDP) : PC Port     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Cisco Discovery Protocol (CDP) : Switch Port | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Cisco Usage and Error Tracking               | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | CME Phone Configuration Template             | N                                                                                    | N     | Y     | Y     | Y   |
|            | Common Device Configuration                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                               | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|            |                                          | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き) | Company Photo Directory                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Days Display Not Active                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Detect Unified CM Connection Failure     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Device Description                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Device Pool                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Device Security Mode                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Digest User                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Directory URL                            | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Directory Lookup Rules URL               | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Disable Speakerphone                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Disable Speakerphone and Headset         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Display Idle Timeout                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Display On Duration                      | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Display On Time                          | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Display On When Incoming Call            | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | DND Option                               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Disable USB                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Do Not Disturb                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Domain Name                              | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Emergency Numbers                        | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable Audible Alert                     | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable LDAP User Authentication          | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable Cisco UCM App Client              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable Cisco Unified Mobile Communicator | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable LDAP SSL                          | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable LDAP User Authentication          | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable Power Save Plus                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Enable Telnet                            | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                                                       | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|            |                                                                                  | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き) | Energy Wise Endpoint Security Secret                                             | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Energy Wise Domain                                                               | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Fax Error Correction Mode Override                                               | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Fax Mode                                                                         | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Ignore Presentation Indicators                                                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Impedance                                                                        | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Input Audio Level                                                                | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | IVR Password                                                                     | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Join And Direct Transfer Policy                                                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | LDAP Field Mappings                                                              | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | LDAP Photo Location                                                              | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | LDAP サーバ                                                                         | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | LDAP Search Base                                                                 | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Link Layer Discovery Protocol - (LLDP) : PC Port                                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Link Layer Discovery Protocol - Media Endpoint Discover (LLDP-MED) : PC Port     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Link Layer Discovery Protocol - Media Endpoint Discover (LLDP-MED) : Switch Port | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | LLDP Power Priority                                                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Lock Device                                                                      | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Logging Display                                                                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Maximum Fax Rate                                                                 | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Mobility User ID                                                                 | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Module 1                                                                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Module 2                                                                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Module 3                                                                         | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Forwarding Delay                                                                 | N                                                                                    | N     | Y     | Y     | Y   |



表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                           | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|            |                                      | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き) | Generic IOS Commands                 | N                                                                                    | N     | Y     | Y     | Y   |
|            | Gratuitous ARP                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Hookflash Timer                      | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Idle URL                             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Idle Timer                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Information                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | LLDP Asset ID                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Load Server                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Location                             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Log Server                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Media Resource Group List            | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Messages                             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | MLPP Domain                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | MLPP Indication                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Module 1 Load Name                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Module 2 Load Name                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Module 3 Load Name                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | more Soft Key Timer                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | MLPP Preemption                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Network Hold Audio Source            | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Network Locale                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Offhook Validation Timer (50-1000ms) | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Onhook Delay Timer (0-155s)          | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Onhook Validation Timer (50-1000ms)  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Output Audio Level                   | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Owner User ID                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | PC Port                              | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | PC Port Remote Configuration         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | PC Voice VLAN Access                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

## ■ プロビジョニング属性の設定

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                    | Cisco Unified Communications Manager Express |       |       |       |     |
|------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|            |                                               | Cisco Unified Communications Manager         |       |       |       |     |
|            |                                               | 7.1.x                                        | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き) | Peer Firmware Sharing                         | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Phone Load Name                               | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Phone Off Idle Timeout                        | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Phone Off Time                                | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Phone On Time                                 | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Port Ranges for IP Communicator               | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Power Negotiation                             | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Presence and Chat Server (Primary)            | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Presence and Chat Server Type                 | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Presence and Chat Single Sign-On (SSO) Domain | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Presence Status                               | N                                            | N     | Y     | Y     | Y   |
|            | Preset Wi-fi Networks                         | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Privacy                                       | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Proxy Server URL                              | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Quality Improvement Server                    | N                                            | N     | Y     | Y     | Y   |
|            | Recording Tone                                | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Recording Tone Duration                       | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Recording Tone Local Volume                   | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Recording Tone Remote Volume                  | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Retry Video Call as Audio                     | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Require Screen Lock                           | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Rerouting CSS                                 | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | RTCP                                          | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Security Profile                              | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Services                                      | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Settings Access                               | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | SDIO                                          | N                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Screen Lock Timeout                           | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Softkey Template                              | Y                                            | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品         | プロビジョニング属性                                       | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|            |                                                  | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き) | Span to PC Port                                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Speed Dial Info                                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | 設定専用属性                                           |                                                                                      |       |       |       |     |
|            | • Allow Control of Device from CTI               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • BLF Directed Call Park                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Device Mobility Mode                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • DND Incoming Call Alert                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Logged into Hunt Group                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Media Termination Point Required               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • MTP Preferred Originating Codec                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Presence Group                                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Primary Phone                                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Services                                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • SIP Dial Rules                                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • SIP Profile                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Subscribe Calling Search Space                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • SURL                                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | • Use Trusted Relay Point                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Switch Port Remote Configuration                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Transfer to Mobile Network                       | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Telnet Password                                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Telnet Username                                  | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Use Device Pool Calling Party Transformation CSS | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | User Hold Audio Source                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | User Locale                                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|            | Video Capabilities                               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                         | プロビジョニング属性                                       | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|----------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                            |                                                  | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Phone (続き)                 | Voicemail Server (Backup)                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Voicemail Server (Primary)                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Web Access                                       | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Wifi                                             | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Wipe Device                                      | N                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Wireless LAN Video Call Bandwidth (kbps)         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
| Remote Destination Profile | Calling Party Transformation CSS                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Device Description                               | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | DND Option                                       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Do Not Disturb                                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Ignore Presentation Indicators                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Network Hold Audio Source                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Privacy                                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Rerouting CSS                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | Use Device Pool Calling Party Transformation CSS | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | User Hold Audio Source                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                            | User Locale                                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                                       | プロビジョニング属性                            | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|------------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                          |                                       | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Remote<br>Destination<br>Profile<br>Line | AAR Destination Mask                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | AAR Group                             | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | AAR Keep Call History                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | ASCII Alerting Name                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Alerting Name                         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | ASCII Display (Internal<br>Caller ID) | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Busy Trigger                          | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Call Pickup Group                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Display (Internal Caller<br>ID)       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | External Phone Number<br>Mask         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Forward All                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Forward Busy External                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                          | Forward Busy Internal                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                                   | プロビジョニング属性                                     | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|--------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                      |                                                | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Remote Destination Profile Line (続き) | Forwarded Call Information - Caller Name       | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forwarded Call Information - Caller Number     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forwarded Call Information - Dialed Number     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forwarded Call Information - Redirected Number | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forward No Answer External                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forward No Answer Internal                     | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forward No Coverage External                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forward No Coverage Internal                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forward Unregistered External                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Forward Unregistered Internal                  | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Line Groups                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Maximum Number of Calls                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | MLPP Calling Search Space                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | MLPP No Answer Ring Duration                   | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | MLPP Target                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Network Hold Audio Source                      | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | No Answer Ring Duration                        | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |

表 11-3 コール プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性 (続き)

| 製品                                   | プロビジョニング属性                                       | Cisco Unified Communications Manager Express<br>Cisco Unified Communications Manager |       |       |       |     |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|
|                                      |                                                  | 7.1.x                                                                                | 8.0.x | 8.5.x | 8.6.x | 9.0 |
| Remote Destination Profile Line (続き) | 設定専用属性 :                                         |                                                                                      |       |       |       |     |
|                                      | • Calling Search Space Activation Policy         | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | • Description                                    | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | • Presence Group                                 | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | • Secondary Calling Search Space for Forward All | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | User Hold Audio Source                           | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
|                                      | Voicemail Profile                                | Y                                                                                    | Y     | Y     | Y     | Y   |
| User Services                        | Enable User for Unified CM IM and Presence       | N                                                                                    | N     | N     | N     | Y   |
|                                      | Home Cluster                                     | N                                                                                    | N     | N     | N     | Y   |
|                                      | UC Service Profile                               | N                                                                                    | N     | N     | N     | Y   |

表 11-4 ユニファイド メッセージ プロセッサのサポートされるプロビジョニング属性

| 製品グループ            | プロビジョニング属性                             | Cisco Unity Express | Cisco Unity | Cisco Unity Connection |
|-------------------|----------------------------------------|---------------------|-------------|------------------------|
| Voicemail         | Alternate Voicemail Extensions         | N                   | Y           | Y                      |
|                   | CUE User Configuration Template        | Y                   | N           | N                      |
|                   | CUE Voicemail Configuration Template   | Y                   | N           | N                      |
|                   | Enable ResyncMWI                       | N                   | Y           | N                      |
|                   | Legacy Mailbox                         | N                   | Y           | N                      |
|                   | Switch ID                              | N                   | Y           | N                      |
|                   | Remote Node ID                         | N                   | Y           | N                      |
| Unified Messaging | UM Disabling Class Of Service Template | N                   | Y           | Y                      |
|                   | UM Enabling Class Of Service Template  | N                   | Y           | Y                      |
|                   | UM Disabling Subscriber Template       | N                   | Y           | Y                      |
|                   | UM Enabling Subscriber Template        | N                   | Y           | Y                      |

表 11-5 Presence Server のサポートされるプロビジョニング属性

| 製品                   | プロビジョニング属性           | Cisco Unified Communications Manager |       |       |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------|-------|-------|
|                      |                      | 8.0.x                                | 8.5.x | 8.6.x |
| Client User Settings | Audio Profile        | Y                                    | Y     | Y     |
|                      | CIP Profile          | Y                                    | Y     | Y     |
|                      | CGI Gateway Profile  | Y                                    | Y     | Y     |
|                      | Conferencing Profile | Y                                    | Y     | Y     |
|                      | LDAP Profile         | Y                                    | Y     | Y     |
|                      | Voicemail Profile    | Y                                    | Y     | Y     |

一部の電話機プロビジョニング属性は、オーダーの発行時に設定しない限り、「*Not Set*」と表示されます。ただし Cisco Unified Communications Manager のユーザ インターフェイスで電話を表示すると、これらの属性はデフォルト値に設定されているものとして表示されます。この現象は、電話機のプロビジョニング時に Cisco Unified Communications Manager AXL インターフェイスがプロビジョニングにこれらの属性のデフォルト値を返さないために発生します。これに該当するのは、次のプロビジョニング属性です。

- Auto Line Select
- Disable Speakerphone
- Disable Speakerphone and Headset
- Forwarding Delay
- Gratuitous ARP
- PC Port
- PC Voice VLAN Access
- Port Ranges for IP Communicator
- Retry Video Call as Audio
- Settings Access
- Video Capabilities
- Web Access
- Display Idle Timeout
- Display On When Incoming Call

同様に、CUPM\_BLANK を使用するバッチを介した変更オーダーは、Cisco Unified Communications Manager ユーザ インターフェイスで共通の設定のチェックボックスを上書きする電話プロビジョニング属性に影響しません。この現象は、電話機のプロビジョニング時に Cisco Unified Communications Manager が Provisioning にこれらの属性のデフォルト値を返さないために発生します。これに該当するのは、次のプロビジョニング属性です。

- Join And Direct Transfer Policy
- Phone On Time



- Phone Off Time
- Phone Off Idle Timeout
- Enable Audible Alert
- EnergyWise Domain
- EnergyWise Endpoint Security Secret
- Allow EnergyWise Overrides
- Automatic Port Synchronization
- Display Idle Timeout
- Display On When Incoming Call

## プロビジョニング属性の変換テンプレートの設定

一部のプロビジョニング属性（表 11-1 を参照）については、プロビジョニング属性のフィールドに変換テンプレートを入力して、電話機に表示されるディレクトリ番号の桁を操作することができます。ディレクトリ番号のマスキングの桁変換を行うと、何を表示するかを選択できます。

テンプレートでは、プロビジョニング属性のテキスト文字列内に変換マスクを埋め込むことで、ディレクトリ番号の任意の桁を削除、挿入、順序変更、または変更することができます。

1 つの変換テンプレートには、1 つまたは複数の変換マスクが含まれます。

変換マスクでは次の文字を使用できます。

- W または w：ディレクトリ番号の桁を、同じ位置に左から表示します。
- X または x：ディレクトリ番号の桁を、同じ位置に右から表示します。
- （ピリオド）：ディレクトリ番号の同じ位置にある桁を無視します。
- 数字：出力にそのまま表示されます。
- %（パーセント記号）：デリミタです。
- \（バックスラッシュ）：デリミタ（エスケープ文字）です。

マスクでこれ以外の文字を使用した場合、マスクはマスクとして認識されず、文字は通常のテキストとして扱われます。



**(注)** テンプレートの設定時には、次のことに注意してください。

- 変換マスクに W と X が両方含まれている場合は、有効なマスクとして認識されず、通常のテキストとして扱われます。ただし、テンプレートに複数のマスクが含まれる場合は、同じテンプレート内の別のマスクで W と X を使用することができます。
- エスケープ文字 (\) のプレフィックスを含まないデリミタ文字は、変換マスクの一部の有効なデリミタとして認識されない場合、通常の文字として扱われます。エスケープ文字は、通常のテキストと変換マスクを区切る必要がある位置でだけ使用できます。
- テンプレートの最大文字数は 60 文字です。

表 11-6 に、変換テンプレートのサンプルの一覧を示します。このサンプルで使用するディレクトリ番号は 1234567891 です。

表 11-6 変換テンプレートのサンプル

| テンプレート                  | 結果                 |
|-------------------------|--------------------|
| %XXX%                   | 891                |
| %WWW%                   | 123                |
| %XXX.....%              | 123                |
| %XXXXX%                 | 7891               |
| %.....WWW%              | 7891               |
| %...WWW%                | 456                |
| %XXX...%                | 456                |
| %9XXX0000%              | 94560000           |
| %..9WWW0000%            | 94560000           |
| %55585XX000%            | 5558567000         |
| %55585WW000%            | 5558567000         |
| %WWXX%                  | %WWXX%             |
| (%WWW%) %...WWW%-%XXXX% | (123) 456-7891     |
| John Smith x%XXXXX%     | John Smith x67891  |
| %John Smith\%x%XXXXX%   | %John Smith%x67891 |
| %WWW% Engineering       | 123 Engineering    |

## プロビジョニング属性の優先順位の変更

ここでは、プロビジョニング属性が割り当てられる順序を変更する方法について説明します。



(注)

加入者ロールのプロビジョニング属性の優先順位を変更するには、「[加入者ロールのプロビジョニング属性の優先順位の編集](#)」(P.8-11)を参照してください。

プロビジョニング属性はレベルに応じて、次の順序で割り当てられます（これはデフォルトの設定です）。

- Service Area
- Subscriber type
- Domain

これは、サービス エリアに定義されているプロビジョニング属性が加入者タイプに定義されているプロビジョニング属性を上書きし、加入者タイプのプロビジョニング属性はドメインに定義されている属性を上書きすることを意味します。

次のいずれかを行うと、優先順位を変更できます。

- [Order Entry] ページの [Advanced Order Configuration] を使用する（「[製品およびサービスのオーダー](#)」(P.10-3)を参照）。[Advanced Order Configuration] を使用して行ったプロビジョニング属性の変更はすべて、サービス エリア、加入者タイプ、またはドメインに設定されているプロビジョニング属性よりも優先されます（[Advanced Order Configuration] を使用するには、Advanced Order（高度なオーダー）ロールを割り当てられている必要があります（「[P.8-5](#)」を参照）。
- [Edit Global Precedence] ページを使用する（次の手順を参照）。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [System Setup] > [Provisioning Setup] > [Provisioning Attributes] を選択します。  
[Provisioning Attributes Management] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Edit attribute precedence] をクリックします。  
[Manage Precedence] ページが表示されます。
- ステップ 3** 矢印をクリックすると、目的の順序まで、レベル（サービス エリア、ドメイン、または加入者ロール）を上または下に移動します。
- ステップ 4** [Save] をクリックします。
-





# CHAPTER 12

## バックアップおよび復元の実行

Prime Collaboration を使用すると、データのバックアップを作成し、復元することができます。ただし、管理ユーザ（CLI ユーザ）としてシステムにログインし、手動でバックアップと復元コマンドを実行する必要があります。

### プロビジョニングデータベースのバックアップと復元

バックアップと復元のシナリオには次の 2 種類があります。使用するシナリオに適した手順を選択してください。

- 単一マシン用のバックアップと復元のシナリオ。同一インストールまたは新規インストールで使います。このシナリオについては、「[単一マシンの Provisioning データベースのバックアップ](#)」(P.12-1) および「[単一マシンの Provisioning データベースの復元](#)」(P.12-2) を参照してください。
- 分散データベース用のバックアップと復元のシナリオ。同一インストール、同一 IP アドレスを使用した新規インストール、または新しい IP アドレスを使用した新規インストールで使います。このシナリオについては、「[分散データベース用の Provisioning のバックアップ](#)」(P.12-3) および「[分散データベース用の Provisioning の復元](#)」(P.12-4) を参照してください。



(注) ファイルをバックアップする場合は、そのファイルを別のファイル サーバに置く必要があります。また、バックアップデータは CD にも焼き付けてください。

### 単一マシンの Provisioning データベースのバックアップ

この手順を実行するには、プロビジョニング データベース（PostgreSQL データベース）に管理者レベルでアクセスする必要があります。

**ステップ 1** 次のコマンドを使用して、Apache サービス、JBoss サービス、および NICE サービスを停止します。

```
ps -aef | grep startcupm
ps -aef | grep nice
kill -9 <startcupm process id>
kill -9 <nice process id>
```

**ステップ 2** 次のディレクトリに移動します。

/opt/postgres/9.0/bin。

**ステップ 3** 次のコマンドを実行します。

```
./pg_dumpall -o -Upmadmin > /opt/bak
```

ここで、pmadmin は、postgres のユーザ ID であり、/opt/bak は、バックアップ ファイルが作成されるディレクトリです。

**ステップ 4** 次のファイルをバックアップします。

バックアップ フォルダで、次のファイルとディレクトリのコピーを作成します。

- /opt/cupm/logs/install.log
- /opt/cupm/sep/dfc.properties
- /opt/cupm/sep/ipt.properties
- /opt/cupm/sep/dfc.keystore
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/conf/login-config.xml
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml

**ステップ 5** Apache、JBoss、および NICE サービスを再開するには、次の手順を実行します。

- a. /opt/cupm フォルダに移動します。
- b. ./cupm-app-service.sh start を実行します

## 単一マシンの Provisioning データベースの復元

新規インストールに復元する場合は、この手順を開始する前に、システムを新規インストールで起動して稼働させます。

この手順を実行するには、プロビジョニング データベース (PostgreSQL データベース) に管理者レベルでアクセスする必要があります。

### はじめる前に

データベースを新しいシステムに復元する場合は、次のポートが他のアプリケーションで使用されていないことを確認する必要があります。

- dfc.jboss.port=46008
- dfc.postgres.port=5432
- dfc.nice.rmi.registry.internal.port=46001
- dfc.webport=80

ポートが他のアプリケーションで使用されている場合は、ポート番号を空いているポートに変更する必要があります。これらの設定は、/opt/cupm/sep/dfc.properties ファイルに定義されています。(インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール ディレクトリは、/opt/cupm です)。

**ステップ 1** 次のコマンドを使用して、Apache サービス、JBoss サービス、および NICE サービスを停止します。

```
ps -aef | grep startcupm
ps -aef | grep nice
kill -9 <startcupm process-id>
kill -9 <nice process-id>
```

To check whether the nice process is still holding on the postgres connection, enter the following command: **ps -aef**

次のプロセスを探します。/opt/cupm/jvm/bin/java -server -classpath /opt/cupm/sep/lib/dom.jar:/opt/cupm/sep/lib/jaxbapi.jar:/opt/cupm/sep/lib/jaxb-impl.jar

プロセスが実行中の場合は、次のコマンドを入力します。

```
kill -9 <Process-Id found earlier>
```

- ステップ 2** 同一インストールに復元する場合は、次のステップに進みます。新規インストールに復元する場合は、バックアップ ファイル (bak) を、/mnt フォルダに貼り付けます
- ステップ 3** 次のディレクトリに移動します。
- ```
cd /opt/postgres/9.0/bin
```
- ステップ 4** 次のコマンドを実行します。
- ```
./CUPM-restore.sh <username> <password> /mnt/bak
```
- ここで、*username* は PostgreSQL 管理者のユーザ名です。デフォルトの管理者ユーザ名は *pmadmin* です。
- ここで、*password* は *globaladmin* のパスワードです。
- ステップ 5** 同一インストールに復元する場合は、次の手順に進みます。新規インストールに復元する場合は、次のバックアップ ファイルをコピーします。
- /opt/cupm/logs/install.log
  - /opt/cupm/sep/dfc.properties
  - /opt/cupm/sep/ipt.properties
  - /opt/cupm/sep/dfc.keystore
  - /opt/cupm/jboss/server/cupm/conf/login-config.xml
  - /opt/cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml
- ステップ 6** Apache、JBoss、および NICE サービスを再開するには、次の手順を実行します。
- a. /opt/cupm フォルダに移動します。
  - b. `./cupm-app-service.sh start` を実行します。

## 分散データベース用の Provisioning のバックアップ

この手順を実行するには、プロビジョニング データベース (PostgreSQL データベース) に管理者レベルでアクセスできる必要があります。

- ステップ 1** アプリケーション サーバで、次のコマンドを使用して、Apache サービス、JBoss サービス、および NICE サービスを停止します。
- ```
ps -aef | grep startcupm
ps -aef | grep nice
kill -9 <startcupm process id>
kill -9 <nice process id>
```
- ステップ 2** データベース サーバで、次のディレクトリに移動します。
- ```
cd /opt/postgres/9.0/bin。
```
- ステップ 3** 次のコマンドを実行します。
- ```
./pg_dumpall -o -Upmadmin /opt/bak
```
- ここで、*pmadmin* は、postgres のユーザ ID であり、/opt/bak は、バックアップ ファイルが作成されるディレクトリです。
- ステップ 4** アプリケーション サーバで、次のファイルをバックアップします。
- バックアップ フォルダで、次のファイルとディレクトリのコピーを作成します。

- /opt/cupm/logs/install.log
- /opt/cupm/sep/dfc.properties
- /opt/cupm/sep/ipt.properties
- /opt/cupm/sep/dfc.keystore
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/conf/login-config.xml
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml

ステップ 5 Apache、JBoss、および NICE サービスを再開するには、次の手順を実行します。

- a. /opt/cupm フォルダに移動します。
- b. ./cupm-app-service.sh start を実行します。

分散データベース用の Provisioning の復元

新規インストールに復元する場合は、同一 IP アドレスと新規 IP アドレスのどちらを使用する場合でも、この手順を開始する前にシステムを新規インストールで起動して稼働させます。

この手順を実行するには、プロビジョニング データベース (PostgreSQL データベース) に管理者レベルでアクセスする必要があります。



(注) データベースを新しいシステムに復元する場合は、次のポートが他のアプリケーションで使用されていないことを確認する必要があります。

- dfc.jboss.port=46008
- dfc.postgres.port=5432
- dfc.nice.rmi.registry.internal.port=46001
- dfc.webport=80

ポートが他のアプリケーションで使用されている場合は、ポート番号を空いているポートに変更する必要があります。これらの設定は、/sep/dfc.properties ファイルに定義されます。(インストール中にデフォルトの場所を受け入れた場合、インストール ディレクトリは、/opt/cupm です)。

また、次のいずれかの設定でシステム名を変更する必要があります。

- dfc.postgres.host=<system name> (データベースが 1 つのシステム上にある場合)
- dfc.postgres.hostlist=<system name> (データベースが複数のシステム上にある場合)

データベース サーバでのデータベースの復元

ステップ 1 アプリケーション サーバで、次のコマンドを使用して、Apache サービス、JBoss サービス、および NICE Provisioning サービスを停止します。

```
ps -aef | grep startcupm
ps -aef | grep nice
kill -9 <startcupm process id>
kill -9 <nice process id>
To check whether the nice process is still holding on the postgres connection, enter the
following command: ps -aef
```


次のプロセスを探します。/opt/cupm/jvm/bin/java -server -classpath /opt/cupm/sep/lib/dom.jar:/opt/cupm/sep/lib/jaxbapi.jar:/opt/cupm/sep/lib/jaxb-impl.jar

プロセスが実行中の場合は、次のコマンドを入力します。

```
kill -9 <Process-Id found earlier>
```

ステップ 2 同一インストールに復元する場合は、次のステップに進みます。新規インストールに復元する場合は、バックアップ ファイル (bak) を、/mnt フォルダに貼り付けます

ステップ 3 次のディレクトリに移動します。

```
cd /opt/postgres/9.0/bin
```

ステップ 4 次のコマンドを実行します。

```
./CUPM-restore.sh <username> <password> /mnt/bak
```

ここで、*username* は PostgreSQL 管理者のユーザ名です。デフォルトの管理者ユーザ名は *pmadmin* です。

password は *globaladmin* のパスワードです。

ステップ 5 同一インストールに復元する場合は、次の手順に進みます。新規インストールに復元する場合は、次のバックアップ ファイルをコピーします。

- /opt/cupm/logs/install.log
- /opt/cupm/sep/dfc.properties
- /opt/cupm/sep/ipt.properties
- /opt/cupm/sep/dfc.keystore
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/conf/login-config.xml
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml

ステップ 6 Apache、JBoss、および NICE サービスを再開するには、次の手順を実行します。

- a. /opt/cupm フォルダに移動します。
- b. ./cupm-app-service.sh start を実行します。

アプリケーション サーバでのデータベースの復元

ステップ 1 同一インストールに復元する場合は、次の手順に進みます。新規インストールに復元する場合は、次のバックアップ ファイルをコピーします。

- /opt/cupm/logs/install.log
- /opt/cupm/sep/dfc.properties
- /opt/cupm/sep/ipt.properties
- /opt/cupm/sep/dfc.keystore
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/conf/login-config.xml
- /opt/cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml

ステップ 2 opt/cupm/sep/dfc.properties に含まれているデータベース サーバ (postgres ホスト) の IP アドレスを更新します

ステップ 3 cupm/jboss/server/cupm/deploy/dfc-ds.xml に含まれているデータベース サーバ (postgres ホスト) の IP アドレスを更新します

ステップ 4 Apache、JBoss、および NICE サービスを再開するには、次の手順を実行します。

- a. /opt/cupm フォルダに移動します。
 - b. `./cupm-app-service.sh start` を実行します。
-



APPENDIX A

Maximum Calls および Busy Trigger 属性のデフォルト値のプロビジョニング

Maximum Calls および Busy Trigger は、プロビジョニングで電話のタイプに基づいてデフォルト値が設定される、Line プロビジョニング属性です。表 A-1 に、プロビジョニングで電話のタイプごとに設定されるデフォルト値の一覧を示します。

表 A-1 Maximum Calls および Busy Trigger プロビジョニング属性のデフォルト設定

製品	Maximum Calls	Busy Trigger
アナログ電話	1	1
Blackberry MVS クライアント	2	2
CTI Port	4	2
Cisco 3905	2	2
Cisco 6901	2	2
Cisco 6911	2	2
Cisco 6921	2	1
Cisco 6941	2	1
Cisco 6945	2	1
Cisco 6961	2	1
Cisco 7902	2	2
Cisco 7905	4	2
Cisco 7905 (SIP)	2	2
Cisco 7906	4	2
Cisco 7906 (SIP)	4	2
Cisco 7910	2	2
Cisco 7911	4	2
Cisco 7911 (SIP)	4	2
Cisco 7912	4	2
Cisco 7912 (SIP)	2	2
Cisco 7920	2	2
Cisco 7921	4	2
Cisco 7925	4	2

表 A-1 Maximum Calls および Busy Trigger プロビジョニング属性のデフォルト設定 (続き)

製品	Maximum Calls	Busy Trigger
Cisco 7926 G	4	2
Cisco 7931	1	1
Cisco 7935	2	1
Cisco 7936	2	1
Cisco 7937	6	2
Cisco 7940	4	2
Cisco 7940 (SIP)	2	2
Cisco 7941	4	2
Cisco 7941 (SIP)	4	2
Cisco 7941G-GE	4	2
Cisco 7941G-GE (SIP)	4	2
Cisco 7942	4	2
Cisco 7942 (SIP)	4	2
Cisco 7945	4	2
Cisco 7945 (SIP)	4	2
Cisco 7960	4	2
Cisco 7960 (SIP)	2	2
Cisco 7961	4	2
Cisco 7961 (SIP)	4	2
Cisco 7961G-GE	4	2
Cisco 7961G-GE (SIP)	4	2
Cisco 7962	4	2
Cisco 7962 (SIP)	4	2
Cisco 7965	4	2
Cisco 7965 (SIP)	4	2
Cisco 7970	4	2
Cisco 7970 (SIP)	4	2
Cisco 7971	4	2
Cisco 7971 (SIP)	4	2
Cisco 7975	4	2
Cisco 7975 (SIP)	4	2
Cisco 7985	4	2
Cisco 8941	3	2
Cisco 8945	3	2
Cisco 8961 (SIP)	4	2
Cisco 9951 (SIP)	4	2
Cisco 9971 (SIP)	4	2
Cisco IP Communicator	4	2

表 A-1 Maximum Calls および Busy Trigger プロビジョニング属性のデフォルト設定 (続き)

製品	Maximum Calls	Busy Trigger
Cisco IP Communicator (SIP)	4	2
Cisco ATA-186	2	2
Cisco ATA-187	2	2
Cisco Dual Mode for Android	3	2
Cisco Cius	4	2
Cisco E20	5	2
Cisco Dual Mode for iPhone	3	2
Cisco EX60	4	4
Cisco EX90	4	4
Cisco Unified Client Services Framework	6	2
Cisco Unified Personal Communicator	6	2
Nokia S60 ¹	3	2
Remote Destination Profile	2	2
サードパーティ製 SIP デバイス (高性能)	2	2
サードパーティ製 SIP デバイス (基本機能)	2	2

1. アップグレード後に、デフォルトでは Nokia および iPhone などの新しい電話をオーダーできません。適切なユーザ タイプにこれらの新しい電話タイプを関連付ける必要があります。



INDEX

A

AAA サーバ

- 削除 [3-27](#)
- 情報の変更 [3-26](#)
- 接続のテスト [3-27](#)
- 追加 [3-25](#)

ACS サーバ [3-24](#)

AssignSoftPhoneName [11-2](#)

AssociateAllUsersInCallProcessor [11-3](#)

AssociateAllUsersInUMProcessor [11-3](#)

AssociateOnlyExistingUsers [11-3](#)

AssociateUsersByDeptCode [11-3](#)

AssociateUsersByDevicePool [11-3](#)

AssociateUsersByLocation [11-4](#)

B

Busy Trigger 属性、デフォルト値 [A-1](#)

C

ChangeUnityPasswordOnNextLogin [11-4](#)

Cisco IOS コマンドおよび設定テンプレート [5-1](#)

Cisco IOS ルータ

- 概要 [3-27](#)
- 追加 [3-5](#)

Cisco Unified Communications

- 展開、継続 [1-14](#)
- 展開、初期 [1-1, 1-14](#)

Cisco Unified Communications Manager

- PIN [8-4](#)
- インフラストラクチャ データ オブジェクト

リリースでサポート [5-1](#)

加入者、パスワード [8-4](#)

コール プロセッサ [3-6](#)

スロットリングの設定 [3-13](#)

設定テンプレート [5-1](#)

依存関係 [5-39](#)

追加 [3-1](#)

同期されるオブジェクト [3-11](#)

Cisco Unified Communications Manager Express

コール プロセッサ [3-6](#)

設定テンプレート [5-1](#)

Cisco IOS コマンド [5-1](#)

依存関係 [5-39](#)

追加 [3-5](#)

Cisco Unified Communications Manager Express コール プロセッサ

設定 [3-8, 3-21](#)

Cisco Unified Communications Manager コール プロセッサ

設定 [3-8](#)

Cisco Unified Operations Manager

Provisioning Manager から起動 [2-11](#)

Provisioning Manager から開くための設定 [2-12](#)

Cisco Unity

加入者、パスワード [8-4](#)

製品およびサービス [10-11](#)

Cisco Unity Connection

追加 [3-5](#)

Cisco Unity Connection、製品およびサービス [10-12](#)

Cisco Unity Connection ユニファイド メッセージ プロセッサ

設定 [3-16](#)

Cisco Unity Express

製品およびサービス [10-12](#)

設定テンプレート [5-1](#)

Cisco IOS コマンド [5-1](#)

依存関係 [5-39](#)

追加 [3-5](#)

Cisco Unity Express ユニファイド メッセージ プロセッサ

設定 [3-16](#)

Cisco Unity ユニファイド メッセージ プロセッサ

設定 [3-15](#)

CreateSelfCareAccounts [11-4](#)

CTI ルート ポイント [5-4](#)

D

DefaultCallManagerPassword [11-4](#)

DefaultCallManagerPIN [11-5](#)

DefaultCUPMPassword [11-5](#)

DefaultDeviceProfile [11-5](#)

DefaultUnitySubscriberPassword [11-5](#)

DefaultUserType [11-6](#)

Defaultusertype ビジネス ルール [8-2](#)

DescriptionString [11-6](#)

DNAutoReservation [11-7](#)

DNAutoReservationTimeout [11-7](#)

DNB (ディレクトリ番号ブロック) [7-5](#)

E

EmailSender [11-7](#)

Extension Mobility Access

変更 [10-30](#)

Extension Mobility Line

プロビジョニング属性

コール プロセッサのサポート [11-51, 11-68](#)

割り当てレベル [11-38](#)

ExternalNumberMasks [11-7](#)

H

H323 ゲートウェイ [5-8, 5-9](#)

I

IOS コマンド。「Cisco IOS コマンド」を参照。

IP アドレス

Provisioning Manager サーバでの変更 [2-9](#)

Provisioning Manager システムでの変更 [2-9](#)

Provisioning Manager データベースでの変更 [2-10](#)

IP 電話の詳細

ダイアログボックスを開く [2-12](#)

IsAuthorizationRequiredForAddOrder [11-7](#)

IsAuthorizationRequiredForCancelOrder [11-8](#)

IsAuthorizationRequiredForChangeOrder [11-8](#)

L

LDAP directory integration [3-7](#)

LDAP サーバ [3-24](#)

同期 [4-11](#)

同期化レポートの説明 [4-14](#)

同期化レポートの表示 [4-14](#)

同期のスケジュール [4-13](#)

同期の設定 [4-13](#)

LineDisplayString [11-8](#)

M

MailHost [11-8](#)

Maximum Calls、デフォルト値 [A-1](#)

MonitorPhoneReturnEnabled [11-8](#)

N

NameDialingInfo [11-9](#)

Non-RestrictedDomainSync [11-9](#)

O

[Order Entry] フィールド [10-13](#)
 OrderProvisionedEmailTemplate [11-10](#)
 OrderRejectedEmailTemplate [11-10](#)

P

PhoneAssignmentDoneBy [11-10](#)
 PhoneReceiptDoneBy [11-10](#)
 PhoneReservationTimeout [11-10](#)
 PhoneShippingDoneBy [11-10](#)
 Provisioning Manager
 IP アドレスの変更 [2-9](#)
 インターフェイス [1-2](#)
 加入者のログイン [8-4](#)
 製品およびサービス [10-5](#)
 Provisioning Manager のインターフェイス [1-2](#)
 Provisioning とは [1-1](#)
 Provisioning を使用したライセンス ファイルの登録 [2-3](#)
 PseudoUserID [11-11](#)
 PurgeUponUmRemoval [11-11](#)

S

SIP Profile
 インフラストラクチャ [5-33](#)
 SIP トランク [5-17, 5-33](#)
 インフラストラクチャ [5-17](#)

T

TakePrimaryUserInfoFromUMProcessor [11-11](#)

U

Unified CM グループ [5-27](#)
 Unified Messaging

プロビジョニング属性
 コール プロセッサのサポート [11-51, 11-68](#)
 割り当てレベル [11-38](#)

あ

アクセス、加入者レコードへの [10-2](#)
 アセット、トラッキング。「インベントリ」を参照
 アップデート
 加入者 [8-2](#)
 加入者ロール タイプ [8-11](#)
 項目 [5-46](#)
 コール プロセッサ [3-9, 3-21](#)
 設定テンプレート [5-45](#)
 ディレクトリ番号 [7-6](#)
 ユーザ [8-17](#)
 ユニファイド メッセージ プロセッサ [3-16](#)

い

一時停止、バッチ プロジェクトの [6-16](#)
 インターフェイス
 Provisioning Manager [1-2](#)
 インフラストラクチャ設定
 インスタンスの追加 [5-53](#)
 インスタンスの編集 [5-56](#)
 概要 [5-52](#)
 項目の順序の変更 [5-55](#)
 項目の選択 [5-55](#)
 削除 [5-57](#)
 スケジュール [5-58](#)
 スケジュールされたタスクの削除 [5-59](#)
 スケジュールされたタスクの消去 [5-60](#)
 タスクのスケジュール [5-58](#)
 複雑な属性、使用 [5-53](#)
 インフラストラクチャ設定のスケジュール
 概要 [5-58](#)
 タスクの表示 [5-58](#)
 インフラストラクチャ データ オブジェクト

Cisco Unified Communications Manager のリリース
番号による [5-1](#)

CTI ルート ポイント [5-4](#)

H323 ゲートウェイ [5-8, 5-9](#)

SIP トランク [5-17, 5-33](#)

Unified CM グループ [5-33, 5-37](#)

音声

地域 [5-38](#)

回線グループ [5-13](#)

共通のデバイス設定 [5-6](#)

コール

サーチ スペース [5-6](#)

パーク [5-5](#)

ピックアップ グループ [5-5](#)

デバイス プール [5-8](#)

トランスレーション パターン [5-36](#)

ハント

パイロット [5-11](#)

リスト [5-10](#)

ボイスメール

パイロット [5-38](#)

プロファイル [5-38](#)

メディア リソース

グループ [5-14](#)

グループ リスト [5-14](#)

ルート

グループ [5-15](#)

パーティション [5-15](#)

パターン [5-15](#)

リスト [5-15](#)

ロケーション [5-13](#)

インフラストラクチャ プロビジョニングの状態 [5-60](#)

インベントリ

検索

基本 [7-8](#)

詳細 [7-9](#)

ディレクトリ番号 [7-4](#)

電話 [7-1](#)

レポート [7-4](#)

インポート

設定テンプレート [5-51](#)

う

請負業者の加入者ロール [8-9](#)

え

エクスポート

関連付けられたユーザのない電話 [4-15](#)

設定テンプレート [5-52](#)

エクゼクティブの加入者ロール [8-9](#)

お

オーダー

関連付けられた加入者のない電話 [10-24](#)

キャンセル [10-38](#)

共有回線 [10-19](#)

共有電話 [10-19](#)

検索 [10-35](#)

承認 [10-36](#)

処理 [10-36](#)

出荷 [10-37](#)

受領 [10-38](#)

承認 [10-36](#)

追加、バッチ アクション ファイルに [6-1](#)

手順、例 [10-12](#)

バルク サービス [10-35](#)

ビジネス ルールの設定 [11-13](#)

表示 [10-1](#)

メモの追加 [10-3](#)

オーダー、権限ロール [8-15](#)

オペレータの加入者ロール [8-9](#)

音声サービス、管理 [1-13](#)

音声地域 [5-38](#)

か

回線

エンド ユーザ アソシエーション [10-17](#)

共通の共有、設定 [10-20](#)

情報、変更 [10-29](#)

プライマリ共有、設定 [10-21](#)

回線グループ [5-13](#)

概要

Cisco IOS ルータ [3-27](#)

インフラストラクチャ設定 [5-52](#)

インフラストラクチャ設定のスケジュール [5-58](#)

サービス エリア [4-15](#)

設定テンプレート [5-1](#)

バッチ プロジェクト [6-15](#)

ビジネス ルール [11-2](#)

プロビジョニング属性 [11-15](#)

ライセンス [2-3](#)

カスタマー ドメイン テンプレート [4-1](#)

加入者

アップデート [8-2](#)

移動 [8-7](#)

権限ロール、適用 [8-5](#)

削除 [8-7](#)

作成 [8-1](#)

定義 [8-1](#)

同期化 [8-6](#)

レコード

検索 [8-9, 8-22](#)

同期化 [3-9](#)

表示 [10-1](#)

「加入者ロール タイプ」も参照

加入者サービス

移動 [8-7](#)

加入者サービスの移動 [8-8](#)

加入者の移動 [8-7](#)

加入者レコード

アクセス [10-2](#)

加入者ロール タイプ

アップデート [8-11](#)

関連付けられた製品 [8-11](#)

削除 [8-12](#)

追加 [8-10](#)

プロビジョニング属性 [8-12, 11-15](#)

優先順位 [8-11](#)

管理権限ロール [8-14](#)

き

キーワード

概要 [5-43](#)

形式 [5-43](#)

削除 [5-45](#)

図 [5-44](#)

設定テンプレートへの追加 [5-43](#)

編集 [5-44](#)

リスト、削除 [5-45](#)

キーワード置換。「キーワード」を参照

疑似加入者ロール

使用 [8-10](#)

起動

クライアント システムから Provisioning Manager [1-15](#)

サーバから Provisioning Manager [1-15](#)

起動、Cisco Unified Operations Manager の IP Phone Details の [2-11](#)

キャンセル

オーダー [10-38](#)

製品 [10-38](#)

バッチ プロジェクト [6-15](#)

共通の共有回線 [10-20](#)

共通のデバイス設定 [5-6](#)

共有 [10-22](#)

回線、設定

プライマリ [10-21](#)

電話、設定 [10-22](#)

共有回線

オーダー [10-19](#)

設定
 共通 [10-20](#)
 共有電話
 オーダー [10-19](#)

け

権限ロール
 加入者に適用 [8-5](#)
 許可されたタスク [8-14](#)
 権限ロールの出荷 [8-16](#)
 権限ロールの受領 [8-16](#)
 権限ロールの認可 [8-16](#)
 権限ロールの割り当て [8-16](#)
 言語
 設定 [1-16](#)
 検索、インベントリの [2-11](#)
 検索レポート
 削除 [7-16](#)
 作成 [7-14](#)

こ

交換、電話の [10-25](#)
 高度な
 権限ロールのオーダー [8-15](#)
 権限ロールの割り当て [8-15](#)
 項目
 コピー [5-47](#)
 削除 [5-47](#)
 順序、変更 [5-46](#)
 編集 [5-46](#)
 「インフラストラクチャ データ オブジェクト」も参照 [5-46](#)
 コール
 サーチ スペース [5-6](#)
 パーク [5-5](#)
 ピックアップ グループ [5-5](#)
 コール プロセッサ

Cisco Unified Communications Manager Express の設定 [3-8, 3-21](#)

Cisco Unified Communications Manager の設定 [3-8](#)

アップデート [3-9, 3-21](#)
 インフラストラクチャ データ、例 [3-9](#)
 加入者データ、例 [3-9](#)
 削除 [3-12](#)
 定義 [3-6](#)
 ディレクトリ番号ブロック [4-23](#)
 同期化 [3-9](#)
 同期化のトラブルシューティング [3-12](#)
 プロビジョニング属性
 製品でサポート [11-51, 11-68](#)
 コール プロセッサのパスワード
 説明 [8-5](#)
 コピー
 項目 [5-47](#)
 設定テンプレート [5-48](#)

さ

サービス
 移動 [8-7](#)
 サービス エリア
 削除 [4-20](#)
 設定 [4-17](#)
 追加 [4-17](#)
 定義 [4-15](#)
 ディレクトリ番号ブロック [4-23](#)
 プロビジョニング属性、設定 [4-20, 11-15](#)
 レポート [7-16](#)
 サービス設定レポート [7-16](#)
 再起動、バッチ プロジェクトの [6-16](#)
 再スケジュール、バッチ プロジェクトの [6-15](#)
 再設定、パスワード
 加入者 [8-4](#)
 ユーザ [8-17](#)
 削除
 インフラストラクチャ設定インスタンス [5-57](#)

加入者 [8-7](#)
 加入者ロール タイプ [8-12](#)
 キーワードリスト [5-45](#)
 項目 [5-47](#)
 コール プロセッサ [3-12](#)
 設定テンプレート [5-48](#)
 ドメイン [4-15](#)
 ユーザ [8-17](#)
 ユニファイド メッセージ プロセッサ [3-18](#)

作成

加入者 [8-1](#)
 加入者ロール タイプ [8-10](#)
 疑似加入者 [8-10](#)
 サービス エリア [4-17](#)
 ディレクトリ番号ブロック [4-21](#)
 ドメイン [4-1](#)
 汎用 IOS ルータ [3-5](#)
 ユーザ [8-14](#)

し

システム レポート [7-16](#)
 実行、バッチ プロジェクトの [6-15](#)
 シニア マネージャの加入者ロール [8-9](#)
 従業員の加入者ロール [8-9](#)
 使用

疑似加入者ロール [8-10](#)
 使用方法のシナリオ [1-13](#)
 音声サービス、他のユーザが管理できるようにする [1-13](#)
 加入者サービス、管理 [1-14](#)
 設定テンプレート [5-1](#)
 展開
 初期 [1-14](#)
 追加のサイト [1-14](#)

す

スケジュール

同期化 [2-11](#)
 バッチ プロジェクト [6-15](#)
 スロットリング
 Cisco Unified Communications Manager の設定 [3-13](#)

せ

生成、設定の [5-48](#)
 製品

インベントリの表示 [10-2](#)
 ビジネス ルール、設定 [11-13](#)
 プロビジョニング属性 [11-17](#)
 プロビジョニング属性の表示 [10-2](#)
 メモの追加 [10-3](#)

製品およびサービス [10-3](#)

Cisco Unity [10-11](#)
 Cisco Unity Connection [10-12](#)
 Cisco Unity Express [10-12](#)
 Provisioning Manager [10-5](#)
 オーダー [10-3](#)
 キャンセル [10-38](#)

セキュリティ

Internet Explorer および Provisioning Manager [1-15](#)
 Windows 2003 および Provisioning Manager [1-15](#)

設定

AAA サーバ [3-24](#)
 ACS [3-24](#)
 Cisco Unified Operations Manager の IP Phone Details を開く [2-12](#)
 LDAP [3-24](#)
 オーダー [11-13](#)
 共有回線、プライマリ [10-21](#)
 コール プロセッサ [3-6](#)
 サービス エリア [4-17](#)
 システム通知 [10-43](#)
 製品 [11-13](#)
 電話、共有 [10-22](#)
 ドメイン [4-3](#)

ドメイン通知 [10-42](#)
 ドメイン通知テンプレート [10-41](#)
 ドメイン同期化 [11-12](#)
 ドメインの同期化用のビジネス ルール [11-15](#)
 ビジネス ルール [11-14](#)
 プロビジョニング属性 [11-15](#)
 プロビジョニング属性の変換テンプレート [11-69](#)
 メッセージ プロセッサ [3-6](#)
 ユーザ アクセス [11-12](#)
 ユニファイド メッセージ プロセッサ [3-14](#)

設定テンプレート

Cisco IOS コマンド [5-1](#)
 インポート [5-50](#)
 エクスポート [5-50](#)
 概要 [5-1](#)
 キーワード [5-43](#)
 作成 [5-39](#)
 使用方法のシナリオ [5-1](#)
 設定
 アイテムの追加 [5-39](#)
 アップデート [5-45](#)
 コピー [5-48](#)
 削除 [5-48](#)
 名前変更 [5-47](#)
 設定の生成 [5-48](#)

設定、テンプレートを使用した生成 [5-48](#)

つ

追加

Cisco IOS ルータ [3-5](#)
 Cisco Unified Communications Manager Business Edition [3-5](#)
 Cisco Unified Communications Manager Express [3-5](#)
 Cisco Unity Connection [3-5](#)
 Cisco Unity Express [3-5](#)
 インフラストラクチャ設定インスタンス [5-53](#)
 デバイス [3-1, 3-5](#)

通知 [3-13](#)
 システム [10-43](#)
 テスト [10-44](#)
 電子メール [3-13](#)

て

ディレクトリ インベントリ、管理 [7-4](#)
 「ディレクトリ番号」も参照
 ディレクトリ番号
 アップデート [7-6](#)
 削除 [7-7](#)
 状態 [7-4](#)
 追加 [7-5, 7-6](#)
 予約、期限切れの [7-7](#)
 ディレクトリ番号のインベントリ レポート [7-16](#)
 ディレクトリ番号ブロック
 追加 [4-21](#)
 表示
 コール プロセッサ [4-23](#)
 サービス エリア [4-23](#)
 データの消去、イネーブル化 [2-7](#)
 データベースのバックアップ [12-1](#)
 データベースのバックアップと復元 [12-1](#)
 テスト
 通知設定 [10-44](#)
 テスト、接続の
 汎用 IOS ルータ [3-23](#)
 デバイス
 削除 [3-6](#)
 情報のアップデート [3-5](#)
 情報の表示 [3-5](#)
 追加 [3-5](#)
 デバイス プール [5-8](#)
 デバッグ、イネーブル化とディセーブル化 [2-4](#)
 デフォルト値、Busy Trigger 属性 [A-1](#)
 デフォルト値、Maximum Calls [A-1](#)
 展開
 音声インフラストラクチャ、サイトの追加 [1-14](#)

音声インフラストラクチャ、初期 **1-14**

テンプレート

- カスタマー ドメイン **4-1**
- 設定 **5-1**
- 電話ボタン **11-1**

電話

- アクティブ化 **10-3**
- 関連付けられた加入者のないオーダー **10-24**
- 関連付けられた加入者のない電話の管理 **10-24**
- 共有 **10-22**
- 交換 **10-25**
- 所有権、変更 **10-27**
- 設定 **10-22**
- 設定の変更 **10-26**
- 設定、変更 **10-26**
- プロビジョニング属性
 - コール プロセッサのサポート **11-51, 11-68**
 - 割り当てレベル **11-38**

電話インベントリ

- 期限切れの予約のクリア **7-3**
- 電話情報、更新 **7-2, 7-3**
- 電話を削除 **7-4**
- 電話を追加 **7-2**
- レポート、表示 **7-4**

電話インベントリ レポート **7-4**

電話回線

- プロビジョニング属性
 - コール プロセッサのサポート **11-51, 11-68**
 - 割り当てレベル **11-38**

電話、関連付けられた加入者のない **10-24**

- オーダー **10-24**

電話、関連付けられたユーザのない

- エクスポート **4-15**

電話タイプ、デフォルトの電話ボタン テンプレート **11-1**

電話ボタン テンプレート

- 最大行数、表示 **11-1**
- デフォルトの電話タイプ **11-1**
- 同期化、取得 **11-1**

と

同期化

- 加入者 **8-6**
- コール プロセッサ **3-9**
- 推奨オーダー **3-9, 3-17, 4-3**
- 同期されるオブジェクト **3-11**
- ドメイン **4-3**
 - 目的 **4-3**
 - ログ ファイル **4-9**
- トラブルシューティング **3-12**
- ユーザ **8-21**
- ユニファイド メッセージ プロセッサ **3-17**
 - ログ ファイル **3-18**

同期化、スケジュール **2-11**

同期化ログ メッセージ

- LDAP 同期 **4-14**
- ドメイン **4-9**

ドメイン

- LDAP サーバとの同期 **4-11**
- 削除 **4-15**
- 作成 **4-2**
- 設定 **4-3**
- 通知 **10-42**
- テンプレート **4-1**
- 同期化 **4-3**
- 同期化ログ、表示 **4-9**
- 同期化ログ メッセージ **4-9**
- ビジネス ルール、同期化 **4-7**
- プロビジョニング属性 **4-10, 11-15**

ドメイン通知テンプレート **10-41**

トラッキング、アセット。「インベントリ」を参照

トラブルシューティング

- 同期化
 - コール プロセッサ **3-12**

トランク

- SIP **5-33**

トランスレーション パターン **5-36**

は

場所 [5-13](#)

パスワード

加入者、再設定 [8-4](#)

Cisco Unified Communications Manager Express [8-4](#)

Cisco Unity [8-4](#)

Provisioning Manager へのログイン [8-4](#)

ユーザ、再設定 [8-17](#)

パターン

トランスレーション [5-36](#)

ルート [5-15](#)

バッチ アクション ファイル

ガイドライン [6-9](#)

形式 [6-1](#)

サーバのサンプル ファイル [6-1](#)

製品

依存関係 [6-9](#)

複数のインスタンス [6-9](#)

追加

オーダー [6-1](#)

ユーザ [6-1](#)

バッチ プロジェクト

アップデート [6-14](#)

概要 [6-15](#)

キーワードの使用方法 [6-11](#)

削除 [6-14](#)

作成 [6-13](#)

実行 [6-15](#)

一時停止 [6-16](#)

一時停止、再起動 [6-16](#)

キャンセル [6-15](#)

ステータス、表示 [6-17](#)

詳細の表示 [6-17](#)

スケジュール [6-15](#)

キャンセル [6-16](#)

再スケジュール [6-15](#)

スケジュールされた一時停止、キャンセル [6-17](#)

スケジュールされた一時停止、追加 [6-16](#)

属性の優先順位のプロビジョニング [6-11](#)

ハント パイロット [5-11](#)

ハント リスト [5-10](#)

汎用 IOS ルータ

削除 [3-23](#)

情報の変更 [3-23](#)

接続のテスト [3-23](#)

表示 [3-23](#)

ひ

ビジネス ルール

概要 [11-2](#)

使用 [11-12](#)

設定 [11-14](#)

オーダー [11-13](#)

製品 [11-13](#)

必須 [11-12](#)

説明 [11-2](#)

ドメイン同期化 [4-7](#)

表示、プロビジョニング属性の [10-2](#)

表示、ライセンス情報の [2-2](#)

開く、Cisco Unified Operations Manager の IP Phone Details ダイアログボックスを [2-12](#)

ふ

復元、データベースの [12-1](#)

複雑な属性

設定 [5-54](#)

複雑な属性、使用 [5-53](#)

プライマリ共有された回線 [10-21](#)

プロセス、システムで実行中 [2-11](#)

プロセッサ、設定 [3-6](#)

プロビジョニング属性

概要 [11-15](#)

説明 [11-17](#)

変換テンプレートの設定 [11-69](#)

編集

加入者ロール タイプ [8-12](#)

サービス エリア [4-20](#)

ドメイン [4-10](#)

優先順位 [11-15](#)

優先順位、変更 [11-70](#)

レベル

加入者タイプ [11-15](#)

サービス エリア [11-15](#)

ドメイン [11-15](#)

プロビジョニング、属性の優先順位の

バッチ プロジェクト [6-11](#)

プロビジョニングの状態

インフラストラクチャ [5-60](#)

へ

変換テンプレート、プロビジョニング属性の

設定 [11-69](#)

変更、IP アドレスの

Provisioning Manager システム [2-9](#)

変更、設定テンプレートの名前の [5-47](#)

変更、電話設定の [10-26](#)

編集

インフラストラクチャ設定インスタンス [5-56](#)

ほ

ボイスメール

アカウントのロック解除 [10-33](#)

パイロット [5-38](#)

プロビジョニング属性

コール プロセッサのサポート [11-51, 11-68](#)

割り当てレベル [11-38](#)

プロファイル [5-38](#)

変更 [10-33](#)

ボイスメール アカウントのロック解除 [10-33](#)

ボイスメールの変更 [10-33](#)

ポリシー権限ロール [8-15](#)

ま

マネージャの加入者ロール [8-9](#)

め

メディア リソース

グループ [5-14](#)

グループ リスト [5-14](#)

メンテナンス権限ロール [8-15](#)

メンテナンス モード [2-8](#)

ゆ

ユーザ

アクセス

設定 [11-12](#)

例 [10-12](#)

作成 [8-14](#)

追加、バッチ アクション ファイルに [6-1](#)

同期化 [8-21](#)

優先順位

プロビジョニング属性 [11-70](#)

ユニファイド メッセージ プロセッサ

Cisco Unity Connection の設定 [3-16](#)

Cisco Unity Express の設定 [3-16](#)

Cisco Unity の設定 [3-15](#)

アップデート [3-16](#)

削除 [3-18](#)

定義 [3-6](#)

同期化 [3-17](#)

同期化ログ、表示 [3-18](#)

よ

予約、電話

- 期限切れ [7-3](#)
- ステータス [7-2](#)

ら

ライセンス

- PAK の入手 [2-3](#)
- Provisioning Manager NBI [2-3](#)
- Provisioning Manager に登録 [2-3](#)
- アップグレード [2-3](#)
- 概要 [2-3](#)
- 新規 [2-3](#)
- ライセンス ファイルの入手 [2-3](#)

ライセンス情報、表示 [2-2](#)

ライセンスの管理 [2-2](#)

り

リスト

- 項目の追加 [5-46](#)
- 順序変更 [5-46](#)

「インフラストラクチャ データ オブジェクト」も参照

リソース設定レポート [7-16](#)

る

ルート

- グループ [5-15](#)
- パーティション [5-15](#)
- パターン [5-15](#)
- リスト [5-15](#)

ルール。「ビジネス ルール」を参照

れ

レポート

- サービス エリア [7-16](#)
- サービス設定 [7-16](#)
- ディレクトリ番号のインベントリ [7-16](#)
- 電話インベントリ [7-4](#)
- リソース設定 [7-16](#)

ろ

ローカライズ [1-16](#)

ロール

- 加入者 [8-9](#)

ログアウト

- Provisioning Manager [1-15](#)

ログイン

- Provisioning Manager [1-15](#)

ログ ファイル [2-4](#)

- 最大サイズ、変更 [2-6](#)

デバッグ [2-4](#)

命名 [2-4](#)

- ログのパーズング レベル、変更 [2-6](#)

ログ レベル、アップデート [2-4](#)

わ

ワーク オーダーの状態 [10-39](#)

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は 2008 年 10 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間 : 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>